

第3期保健事業実施計画 (データヘルス計画) 素案

令和6年度～令和11年度



令和5年11月 1日

神奈川県後期高齢者医療広域連合

目次 (1/2)

【本編】 第1章 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）の基本的事項	
(1) 計画の趣旨	1
(2) 計画期間	2
(3) 実施体制・関係者連携	2
(4) 二次医療圏域の分析について	3
第2章 当広域連合の現状	
(1) 保険者の特性	
1) 総人口と被保険者数の推移	4
2) 被保険者の状況	4
3) 年齢階層別構成比の推移	6
4) 被保険者の要介護認定状況	7
(2) 前期計画に対する実績と評価	
1) 総括評価	9
2) 個別事業評価	10
第3章 健康医療情報等の分析	
(1) 被保険者数に関する分析	
1) 年齢階層別被保険者数の推移予測	20
2) 市区町村別被保険者数の推移予測	21
(2) 寿命に関する分析	
1) 平均余命と平均自立期間	23
2) 要介護期間	24
3) 死因	26
(3) 健康診査に関する分析	
1) 健康診査受診状況	27
2) 健康診査結果からみるリスク状況	29
3) 後期高齢者質問票からみるリスク状況	32
4) 歯科健康診査受診状況	35
(4) 医療費に関する分析	
1) 医療費基礎統計値	37
2) 地域別の被保険者1人当たり医療費	39
3) 高額医療費の状況	43
4) 疾病別医療費の状況	47
5) 生活習慣病の医療費	50
6) 健康診査受診と医療費との関係	51
7) 重複受診等の状況	52
8) ジェネリック医薬品の普及状況	54
(5) 介護に関する分析	
1) 要介護認定者数の状況	55
2) 要介護認定者の有病状況	56
3) 要介護認定者の医療費状況	57
4) 要介護認定者の介護給付状況	57
第4章 課題と対策	
(1) 計画全体に関わる目的と現状把握	58
(2) 事業推進に関わる課題と対策	60

目次 (2/2)

第5章 保健事業計画

(1) 高齢者保健事業の全体像	61
(2) 総合的な評価指標について	62
(3) 本計画書の事業全体計画	63
(4) 個別事業計画	
1) 健康診査事業	64
2) 歯科健康診査事業	65
3) ハイリスク者対策事業	66
4) 低栄養予防事業	67
5) 口腔機能低下予防事業	68
6) 服薬等適正化事業	69
7) 身体的フレイル予防事業	71
8) 重症化予防事業	72
9) 健康状態不明者対策事業	74
10) 後発医薬品差額通知事業	75
11) 平均自立期間	76

第6章 その他

(1) 計画の評価・見直し	77
(2) 計画の公表・周知	77
(3) 個人情報の取扱い	77
(4) 地域包括ケアに関する取組	77

【資料】

(資料-1) 市区町村別の被保険者数の推移明細 (平成30年度～令和4年度)	
(資料-2) 市区町村別の年齢階層別被保険者数明細 (令和4年度)	
(資料-3) 市区町村別の要介護認定者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)	
(資料-4) 市区町村別の75歳以上人口の推移予測明細 (令和7年度・令和12年度・令和17年度)	
(資料-5) 市区町村別の平均余命・平均自立期間明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)	
(資料-6) 市区町村別の要介護期間明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)	
(資料-7) 75歳以上死亡者における主要死因別人数明細 (平成30年度・令和2年度)	
(資料-8) 死亡レセプトから見た75歳以上死亡者における主要死因別明細 (令和4年度)	
(資料-9) 市区町村別の健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)	
(資料-10) 二次医療圏域別の健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)	
(資料-11) 年齢階層別の健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)	
(資料-12) 市区町村別の健康診査結果6項目リスク保有者数明細 (令和4年度)	
(資料-13) 市区町村別のCKDリスクレベル別人数明細 (令和4年度)	
(資料-14) 市区町村別の質問票リスク保有者数明細 (令和4年度)	
(資料-15) 市区町村別の歯科健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)	
(資料-16) 市区町村別の1人当たり医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)【年齢調整なし】	
(資料-17) 市区町村別の1人当たり医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)【年齢調整あり】	
(資料-18) 市区町村別の高額・長期入院レセプト件数明細 (平成30年度・令和4年度)	
(資料-19) 市区町村別の人工透析導入者数明細 (平成30年度・令和4年度)	
(資料-20) 大分類による疾病別医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)	
(資料-21) 中分類による疾病別医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)	
(資料-22) 市区町村別の医療費上位5疾病分類 (令和4年度)	
(資料-23) 生活習慣病の疾病別医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)	
(資料-24) 市区町村別の重複・頻回・重複投薬者数明細 (令和4年度)	
(資料-25) 市区町村別のジェネリック医薬品利用状況明細 (令和4年度)	
(資料-26) 75歳以上要介護認定者の主要疾病別人数明細 (令和4年度)	
(資料-27) 市区町村別の75歳以上要介護認定者の介護給付額明細 (令和4年度)	

【参考】

(参考-1) 本計画書で使用した疾病分類表	
(参考-2) 本計画書で使用した死因分類表 (死因簡単分類)	
(参考-3) 健康診査結果のリスク判定基準	
(参考-4) 後期高齢者質問票リスク判定基準	
(参考-5) 本計画書で使用したフレイル該当疾病分類	

【本 編】

第1章 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）の基本的事項

（1）計画の趣旨

「第3期保健事業実施計画」の対象期間は、令和6年度～令和11年度となります。計画開始の翌年令和7年度には、「2025年問題」として戦後の第一次ベビーブーム（1947～1949年）に生まれた、いわゆる「団塊の世代」のすべての人が75歳を迎える年度となり、日本がさらなる「超高齢社会」に突入します。本広域連合においても被保険者の大幅な人数の増加が見込まれる中、後期高齢者の心身の健康保持や自立・自律した日常生活の維持が求められています。

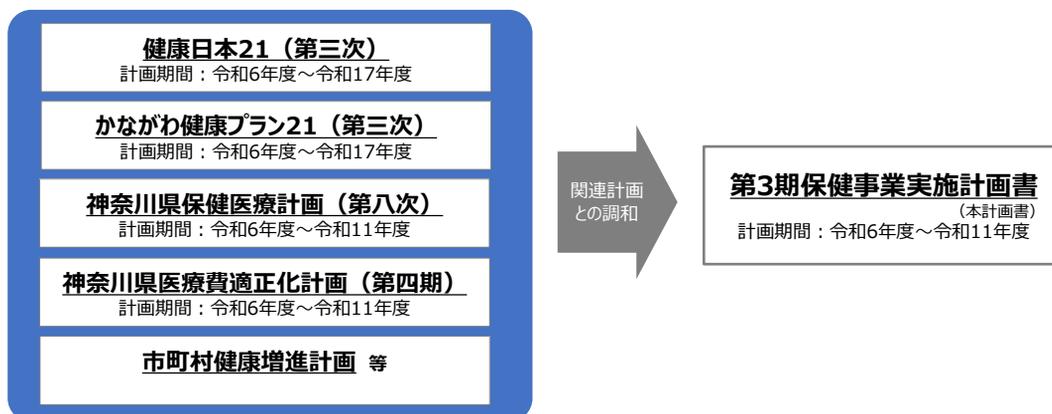
これまで本広域連合の保健事業実施計画（データヘルス計画）は「高齢者の医療の確保に関する法律に基づく保健事業の実施等に関する指針」（平成二十六年厚生労働省告示第百四十一号）に基づき作成してきました。本広域連合においても、第1期・第2期を通じ、約10年間においてはKDBシステムのデータや診療報酬明細書（レセプトデータ）の分析による現状把握と健康課題の抽出により、被保険者の生活習慣病をはじめとする疾病の発症や重症化の予防に重きを置いた保健事業が主でした。

しかし、令和2年度からスタートした「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の推進を図るためには、これまでのレセプト等によるデータ分析に基づいて疾病や医療費に関する事業計画を検討するだけでなく、介護保険者である構成市町村が取り組む介護予防事業や地域包括ケアシステムの深化をも取り込む必要があります。

また、これまでの全国的なデータヘルス計画に基づいた保健事業の実施状況を踏まえ、「高齢者保健事業の実施計画（データヘルス計画）策定の手引き」（令和5年3月30日改正）が示され、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、標準化の取組の推進や共通評価指標の設定の推進が進められています。本広域連合においても、標準化された計画策定における考え方のフレーム（構造的な計画様式）や共通評価指標を活用することにより、全国の広域連合間の実績等を比較可能にすることで、市町村との連携を含めた効果的な保健事業の抽出につなげることが期待されています。

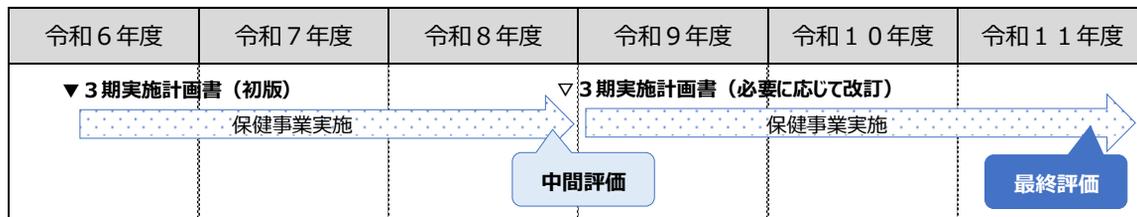
本計画による保健事業は、本広域連合が構成市町村と協力して高齢者保健事業を実施していくことにより、できる限り長く在宅で自立した生活を送ることのできる高齢者を増やすことを目的とします。効果的な保健事業の実施により、生涯にわたる健康の保持増進、生活の質（QOL:Quality Of Life）の維持及び向上が図られ、結果として医療費の適正化、要介護認定率の低下や介護給付費の減少に資するものと考えます。

本計画の策定に当たっては、令和6年度から開始される『健康日本21（第三次）』に示された方針を踏まえ、今後神奈川県にて策定される『かながわ健康プラン21（第三次）』、『神奈川県保健医療計画（第八次）』、『神奈川県医療費適正化計画（第四期）』、さらに構成市町村にて策定される健康増進計画等と整合性を図りながら推進していきます。



(2) 計画期間

本計画の計画期間は、令和6年度～令和11年度とします。計画期間の途中の令和8年には中間評価を実施し、計画の見直しを図ります。更に、令和11年度には、最終報告書を作成する予定です。



(3) 実施体制・関係者連携

本計画に基づき実施する各保健事業については、国及び神奈川県の高齢者の保健・医療・介護に関する計画書と整合性を図ります。また、事業に関する市町村毎に作成する具体的な計画書の策定の刷り合わせと、データ分析結果や情報提供等は本広域連合が支援を行っていきます。

第2章 当広域連合の現状

(1) 保険者の特性

1) 総人口と被保険者数の推移

平成30年度から令和4年度までの神奈川県人口、および本広域連合の被保険者数の推移は以下のとおりです。

【神奈川県総人口と被保険者数の推移】

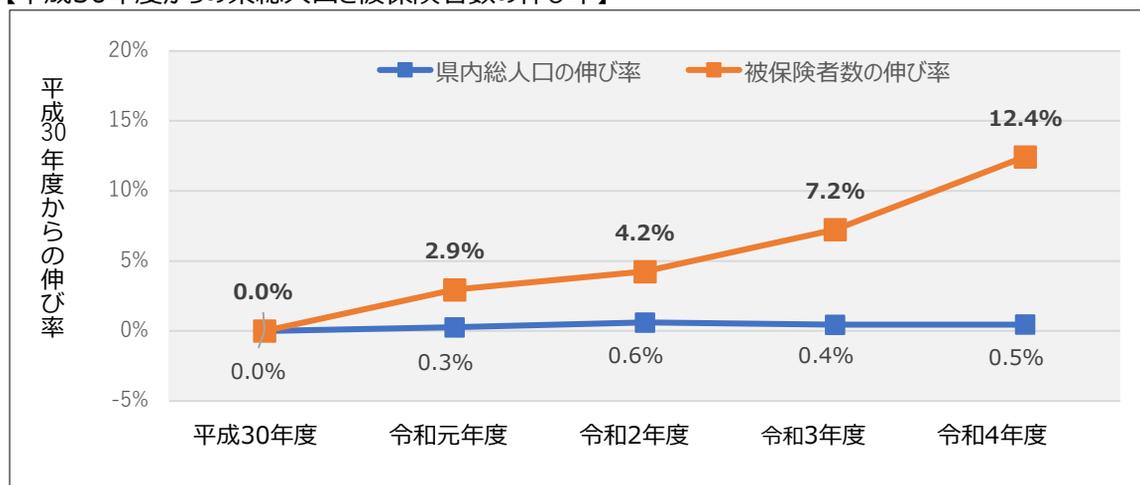
(年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
県内総人口(人)	9,180,510	9,204,965	9,236,337	9,221,129	9,222,108
被保険者数(人)	1,117,923	1,150,895	1,165,372	1,198,906	1,257,039
被保険者率	12.2%	12.5%	12.6%	13.0%	13.6%
県内総人口の伸び率	0%	0.3%	0.6%	0.4%	0.5%
被保険者数の伸び率	0%	2.9%	4.2%	7.2%	12.4%

* 出典：「神奈川県人口統計調査(月報)」翌年度初日(4月1日)現在

* 伸び率は平成30年度からの増減率を示す

令和4年度の県総人口は、平成30年と比較すると41,598人(伸び率0.45%)の微増となった一方、本広域連合の被保険者数は、139,116人(伸び率12.44%)の増加となります。令和3年度以降の被保険者数の伸び率が大幅に増加している要因は、昭和22年～昭和24年生れの、いわゆる「団塊世代」の全員の方が75歳に到達する「2025年問題」に差し掛かったためです。

【平成30年度からの県総人口と被保険者数の伸び率】



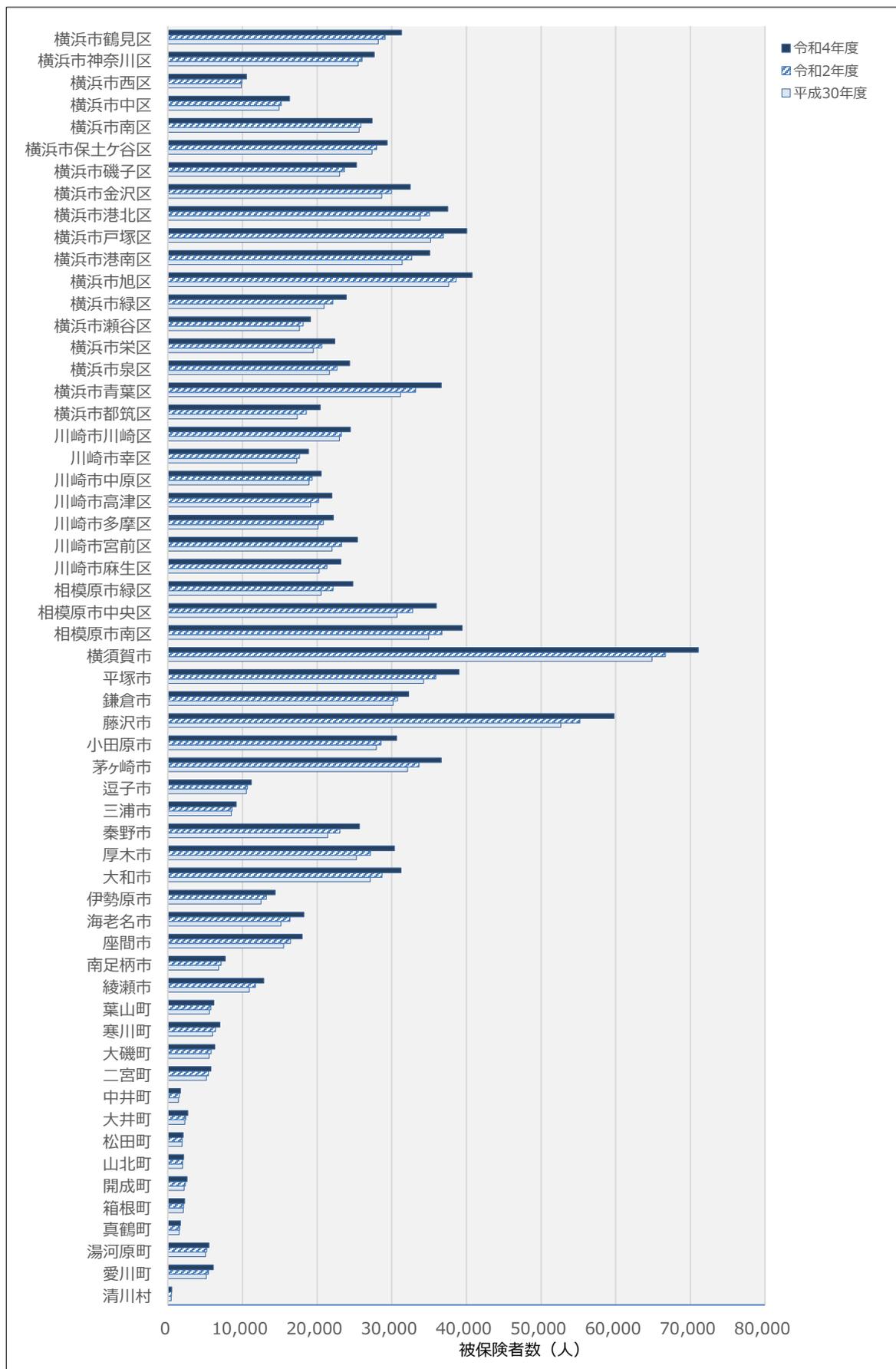
* 出典：「神奈川県人口統計調査(月報)」翌年度初日(4月1日)現在

* 伸び率は平成30年度からの増減率を示す

2) 被保険者の状況

平成30年度・令和2年度・令和4年度の本広域連合の市区町村別の被保険者数の推移を次ページに掲載します。平成30年度からの5年間で、県内58の市区町村すべてで被保険者数が増加しており、特に増加人数が多いのは、藤沢市、横須賀市、横浜市青葉区、相模原市中央区、厚木市であり、これら5市区の増加人数はいずれも5,000人を超えています。また、増加率が著しいのは、相模原市緑区、海老名市、厚木市であり、これら3市区の増加率はいずれも20%を超えています。なお、被保険者数の多い横浜市と川崎市における市全体としての増加率は11%台で、県平均の増加率：12.4%を下回っています。

【市区町村別の被保険者数の推移】



* 本広域連合にて管理している最新被保険者基本情報データ（令和5年5月末時点）より独自集計
 * 平成30年度～令和4年度の各年度末（翌年3月31日）時点での被保険者資格保有者のみを計上
 * 詳細の明細については（資料 - 1）参照

3) 年齢階層別構成比の推移

平成30年度、令和2年度、令和4年度における被保険者の年齢階層別（5歳刻み）・男女別の人数は下表の通りです。各年齢階層ともに男女の比率に大きな変動はなく、75歳未満は減少しているものの、75歳以上はすべての年齢階層においては増加が続いています。特に85歳以上の年齢階層においては、各年齢階層ともに平成30年度からの5年間で10%を大きく越える増加が続いています。

【被保険者の年齢階層別被保険者数の推移】

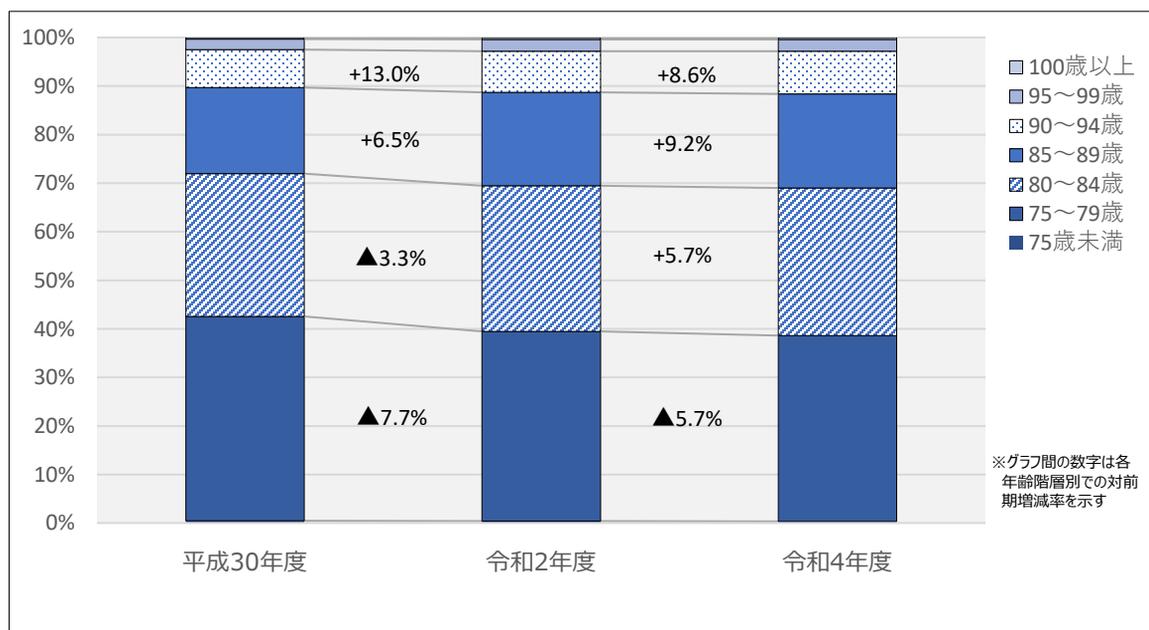
(単位：人)

年齢階層	平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	男性	女性	(計)	男性	女性	(計)	男性	女性	(計)
75歳未満	2,594	2,443	5,037	2,507	2,142	4,649	2,333	2,053	4,386
75～79歳	212,955	257,805	470,760	204,389	250,845	455,234	216,462	264,526	480,988
80～84歳	141,928	186,893	328,821	151,292	198,852	350,144	163,849	218,345	382,194
85～89歳	73,371	124,895	198,266	85,074	138,950	224,024	94,268	149,050	243,318
90～94歳	25,554	62,002	87,556	29,685	69,132	98,817	33,783	76,767	110,550
95～99歳	4,570	19,113	23,683	5,801	22,319	28,120	6,704	24,199	30,903
100歳以上	489	3,311	3,800	542	3,842	4,384	586	4,114	4,700
(計)	461,461	656,462	1,117,923	479,290	686,082	1,165,372	517,985	739,054	1,257,039

* 本広域連合にて管理している最新被保険者基本情報データ（令和5年5月末時点）より独自集計
* 令和4年度の市区町村別明細については（資料－1）参照

男女合わせた被保険者の年齢階層別構成比をみると、各年齢階層別の増減率に大きな差が見受けられます。75～79歳の年齢階層においては平成30年度から連続して減少、80～84歳の年齢階層は令和2年度では一旦減少したものの令和4年度では増加、85歳以上の年齢階層は連続して増加が続いています。この状況は後期高齢者の中でもより高齢化にシフトしていていることを示しており、高齢者の寿命延伸要因によるものと考えられます。

【被保険者の年齢階層別構成比】



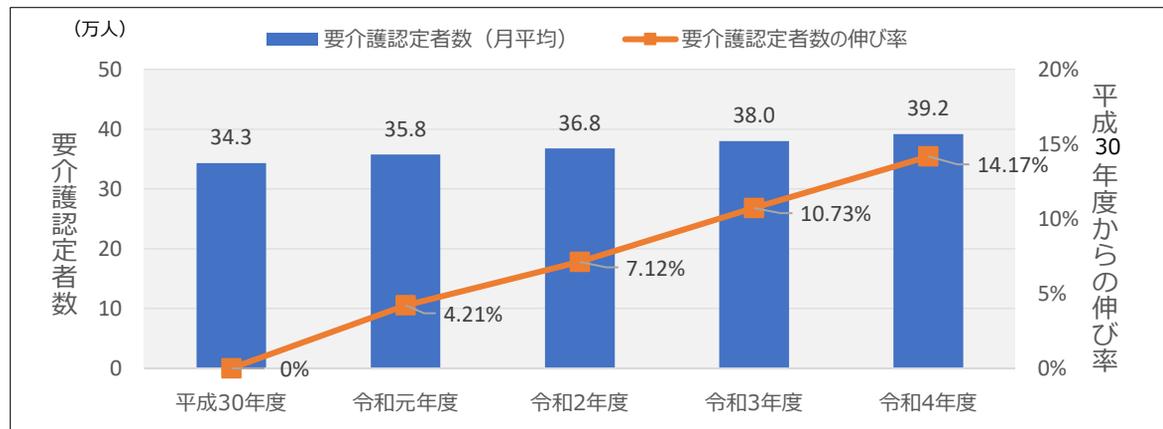
* 本広域連合にて管理している最新被保険者基本情報データ（令和5年5月末時点）より独自集計
* 令和4年度の市区町村別明細については（資料－2）参照

4) 被保険者の要介護認定状況

令和2年度からスタートした「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」にも深く関わる、75歳以上被保険者の要介護または要支援の認定状況（以下、介護保険における「要介護認定」と「要支援認定」をまとめて「要介護認定」と記載）について見てみます。

厚生労働省の「介護保険事業状況報告（令和5年3月暫定版）」によると、令和5年3月末時点における神奈川県75歳上介護保険第1号被保険者数は1,297,201人です。このほぼすべての方が本広域連合の被保険者でもありますが、平成30年度以降の要介護認定者数の推移状況は次のグラフのとおりです。

【75歳以上の要介護認定者数とその伸び率（対平成30年度）】

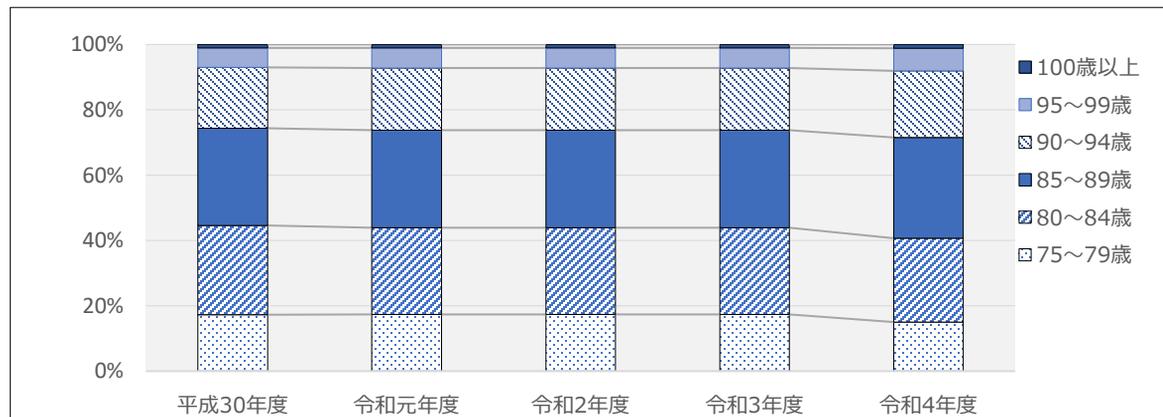


* KDB健康スコアリング(介護)より集計
 * 認定者数は月次集計値の年間累積数を12カ月で除して月平均として算出した値
 * 市区町村別の推移と明細については(資料-3)を参照

要介護認定者数は平成30年度以降毎年1万人以上の増加が続いており、平成30年度からの5年間で約14%の増加となっています。なお、市区町村別の要介護認定者数の推移状況については次ページのとおりです。

さらに、要介護認定者の年齢階層別の構成比の推移をみたのが次のグラフです。年齢階層ごとの構成割合は平成30年度から令和3年度までは大きな変動はなかったものの、令和4年度については75～79歳の年齢階層の割合が減少した代わりに、85～89歳、90～94歳、95～99歳の3つの年齢階層の割合が大幅に増加し、これらの年齢階層だけで全体の7割を超えています。

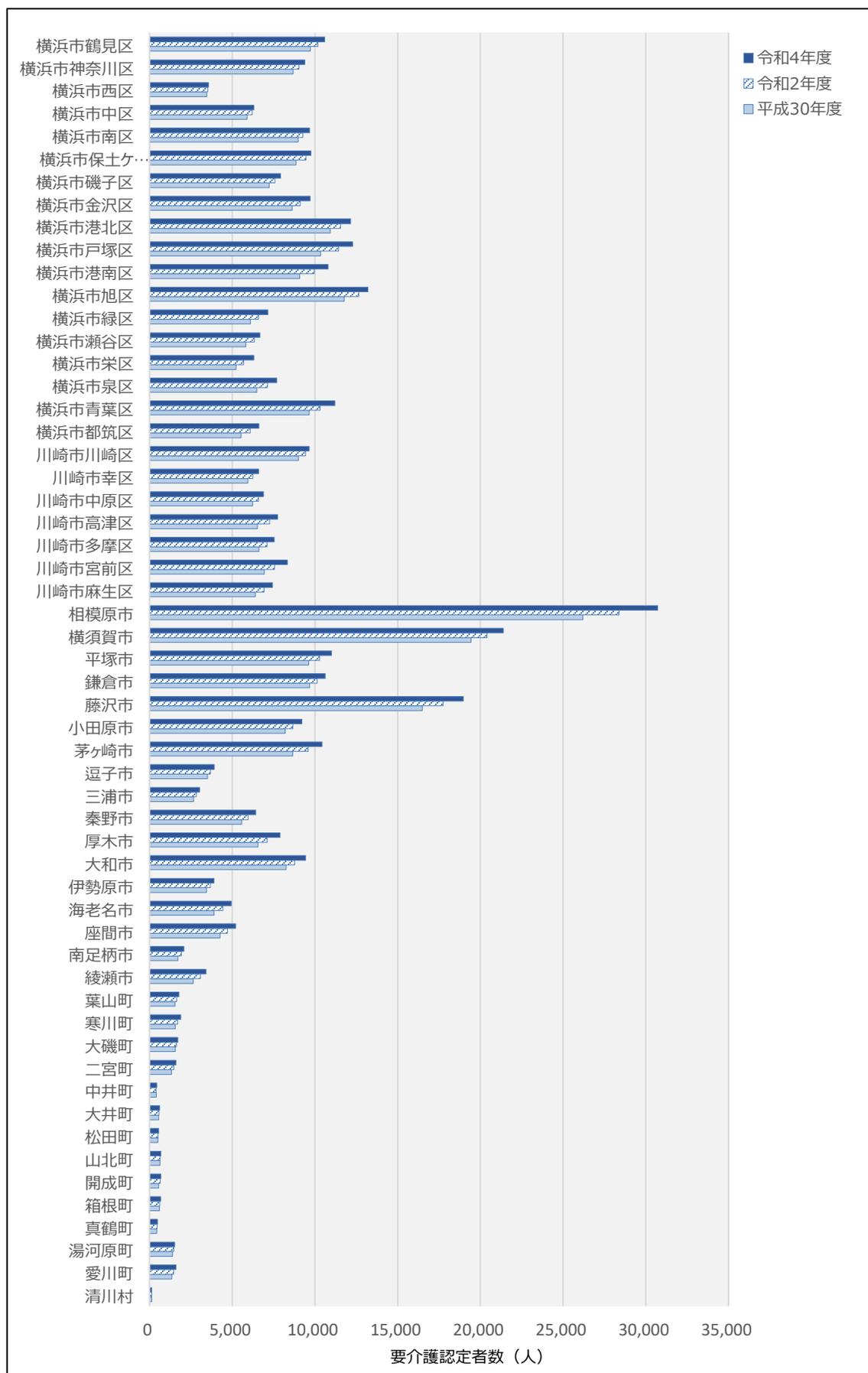
【要介護認定者の年齢階層ごとの構成推移】



* KDB健康スコアリング(介護)より集計

なお、要介護度ごとの5年間の構成推移については大きな変化はみられません。

【市区町村別の75歳以上要介護認定者数の推移】



* KDB健康スコアリング(介護)より集計(相模原市は全市でまとまっていることに注意)
 * 認定者数は月次集計値の年間累積数を12ヵ月で除して月平均として算出した値
 * 市区町村別の推移と明細については(資料-3)を参照

(2) 前期計画に対する実績と評価

1) 総括評価

平成30年6月に初版作成、令和3年2月に改訂した『第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）』で計画した保健事業と、その実施評価結果は下表のとおりです。

【前期計画における保健事業とその実施評価】

保健事業	事業の内容	実施評価
1) 健康診査事業	被保険者の生活習慣病等の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療による重症化予防を図るため、市町村が主体となって実施する健康診査事業費用の一部を助成する。	A
2) 歯科健康診査事業	歯・歯肉の状態や口腔衛生状態等をチェックすることで、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、被保険者の健康の保持増進を目的とし、県歯科医師会への委託により歯科健康診査を実施する。	A
3) 重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導事業	レセプトデータを活用し、医療機関への重複や頻回受診が確認される被保険者、または重複して同一薬を処方されている被保険者を特定し、適正な医療機関へのかかり方等について、保健師等の専門職による指導を行うことにより、被保険者の健康保持及び医療費の適正化を図る。	B
4) 糖尿病化腎症重症化予防事業	健康診査及びレセプトデータを活用し、事業対象者を選定し、正しい生活習慣を身に着けつことができるように保健師等の専門職による保健指導を行い、病期進行の防止または遅らせることにより、対象者のQOL（Quality of life：生活の質）の向上を図り、医療費の適正化に繋げる。	A
5) 後発医薬品利用差額通知事業	レセプトデータを活用し、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品に切り替えることにより薬剤費が一定額以上軽減する被保険者を特定し、通知を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促進し、医療費の適正化を図る。	B
6) 医療費通知事業	被保険者の健康に対する意識向上、ひいては、後期高齢者医療制度の健全な運営に資することを目的とし、レセプトデータを活用し、年2回医療費通知を送付する。	A
7) 市町村保健事業支援	市町村で行っている保健事業を支援し、実効性のある保健事業の拡大を図る。条件を検討し補助金を交付する。	A
8) 薬剤併用禁忌	併用禁忌薬剤による健康被害の防止を図る。	A

* 平成30年度から令和4年度までに実施した事業について、令和5年9月末段階で行った評価結果を掲載

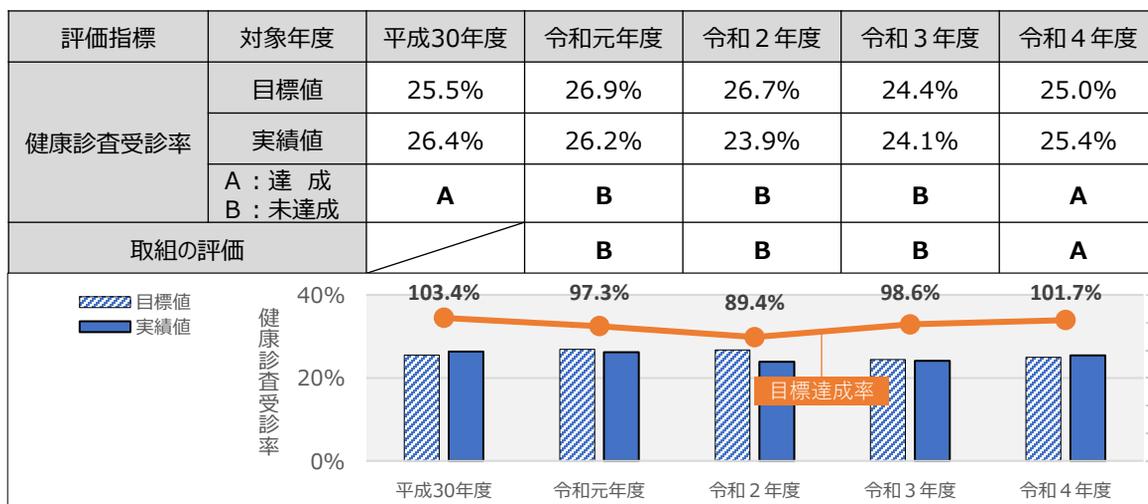
* 実施評価(A/B/C)の意味は次のとおり
 A：目標を達成し十分な効果が現れている
 B：目標値は未達であるが一定の効果が現れている
 C：目標値は未達であり取組の改善がひつようである

前期計画での対象期間とした平成30年度から平成4年度までの5年間においては、令和2年度からの新型コロナウイルスの蔓延と度重なる非常事態宣言の発出があり、とりわけ「健康弱者」である高齢者の感染・重症化リスクが強く懸念される中でこれらの保健事業を実施してきました。結果としてはアウトプット/アウトカム評価において数値目標に達することができなかった事業もいくつかありますが、計画期初に想定できなかった保健環境の激変を考慮すると、ほぼ目的は達成できたものと評価しています。

2) 個別事業評価

事業1 健康診査事業

①健康診査受診率（アウトプット／アウトカム評価項目）



* KDB等のシステム登録データからの集計結果については（資料－9）を参照

■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

初年度の実績値:26.36%に対し、令和4年度の実績値は25.36%となり、初年度と比較して実績値で1.0ポイント減少している。この結果には、新型コロナウイルス蔓延により健康診査の受診控えの影響が背景にあると考えられるが、コロナ禍でも受診率が下がっていない市町村もあった。計画期間中を通して受診率が伸びなかった要因のさらなる深堀が必要である。

■プロセス評価（実施方法）

本広域連合及び市町村による事業周知の方法や受診勧奨に工夫を重ねて来たが、大きな効果は得られなかった。本広域連合としても受診率向上の要因を分析し、市町村への情報提供を行った。しかしながら、本広域連合から健康診査の受診勧奨に医療機関の支援を働きかけるといことは行っていない。後期高齢者の場合は特にかかりつけ医への信頼が高いことから、主治医をはじめとする医療専門職からの受診勧奨を積極的に推進していく仕組みづくりが課題であった。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

令和2年度以降は、市町村への補助の仕組みについて見直し検討を行い、その上で計画上の対象者を「県内に住所を有する被保険者」から「住所地特例者を含めたすべての被保険者」に変更した。

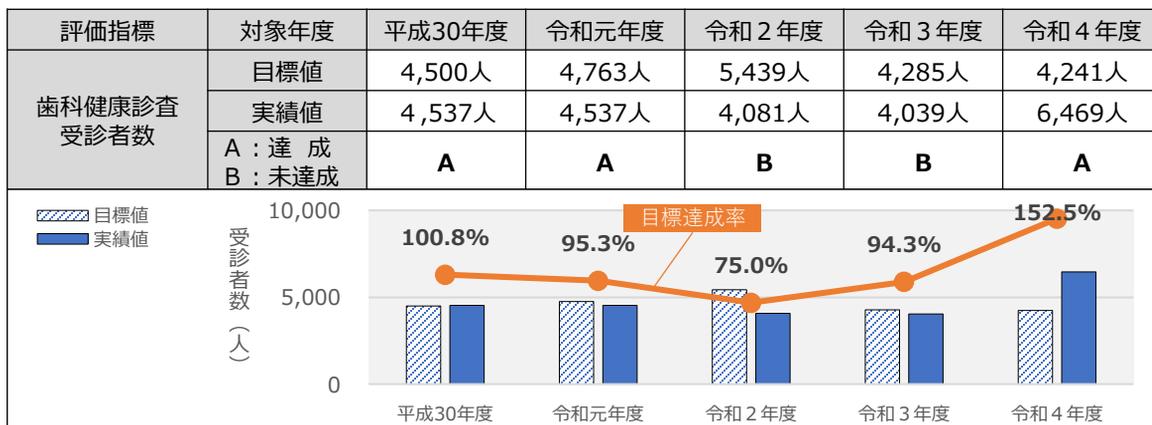
■課題と今後の対策

本広域連合としては市町村毎の健康診査受診率の分析により課題を把握し、個々の市町村の現状に即した支援を行うことが必要である。また、後期高齢者への健康診査の受診勧奨は書面や通知では限界があることから、今後は、県及び市町村の介護事業に関わる外部機関にも協力や支援をお願いし、すべての地域包括ケアシステムに関わる方々の協力がいただけるような体制の構築を、市町村と連携して検討する。

さらに、一体的事業実施の拡充に伴い、地域住民が自主的に取り組む「通いの場」や「老人会」、「チームオレンジ」などの既存の住民組織に県民目線の言葉で啓発の協力をお願いし、可能な限り多くの被保険者の健康状態を把握することが重要と考える。

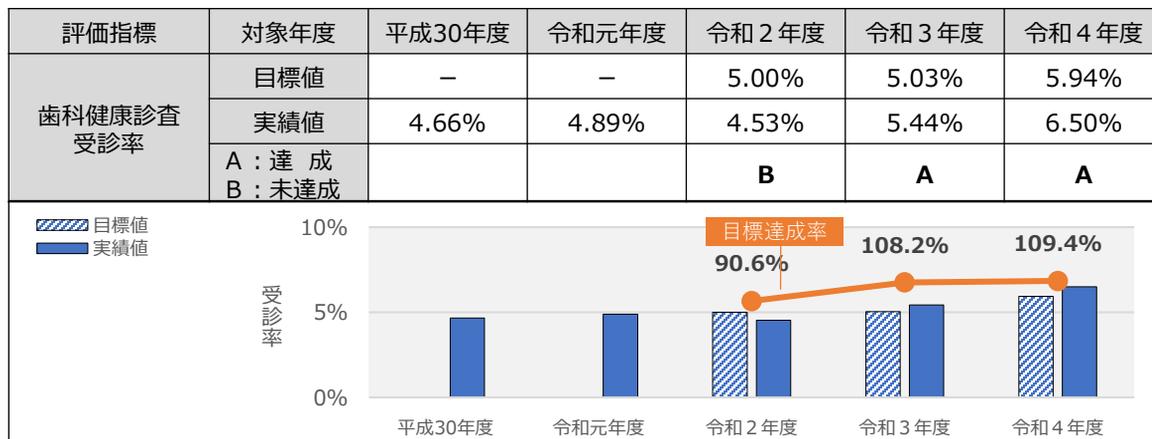
事業2 歯科健康診査事業

① 歯科健康診査受診者数（アウトプット評価項目）

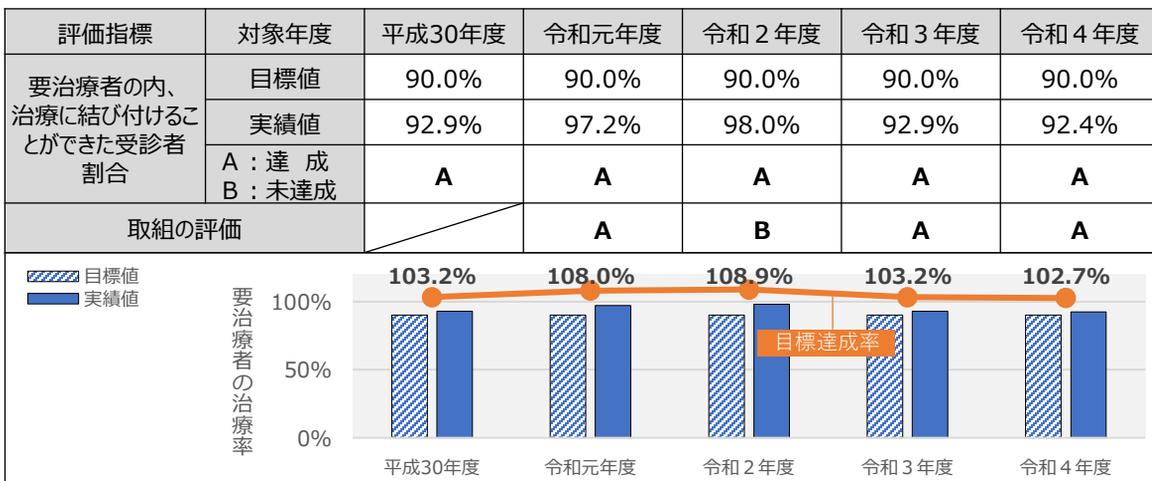


* KDB等のシステム登録データからの集計結果については（資料-15）参照

② 歯科健康診査受診率（アウトプット評価項目）



③ 要治療者の内、治療に結び付けることができた受診者数の割合（アウトカム評価項目）



■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

前年75歳到達者を対象とする歯科健康診査の令和2年度の受診率は目標:5%に対し、実績は4.53%であった。健康診査受診後に歯科の治療を必要とする受診者が、治療に結び付いた受療率は90%の目標に対し、98%と高い実績値となった。令和4年度にはアウトプット評価、アウトカム評価において、すべて目標達成することができた。

■プロセス評価（実施方法）

歯科健康診査は、これまで神奈川県歯科医師会の指導と県内の個別の歯科医院の協力をいただき、継続することができている。健康診査の後に、治療を必要とする人には後日受療勧奨の案内をお願いしているが、それが効果的に機能していると判断している。また、新型コロナウイルスが蔓延する中でありながら、対象者への事業の必要性と制度の理解が深まるように、各市町村の広報誌等での掲載協力いただいたことも効果的であった。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

歯科健康診査の対象者は「前年度で75歳に到達した方」としているため、毎年の対象者となる人数に増減がある。そのため「歯科健康診査者数」という人数では保健事業として評価が難しいと考え、令和2年度は「受診率目標:5.00%」とし、令和3年度以降は「前年度実績+5.00%」の目標値に変更した。

また、令和4年度と令和5年度に限定して、低栄養防止の一環やオーラルフレイルによる社会的フレイル予防を目的に、管理栄養士が栄養相談を行う「モデル事業」を、神奈川県歯科医師会及び神奈川県栄養士会の協力のもと、横須賀市、鎌倉市、三浦市の3市で実施した。

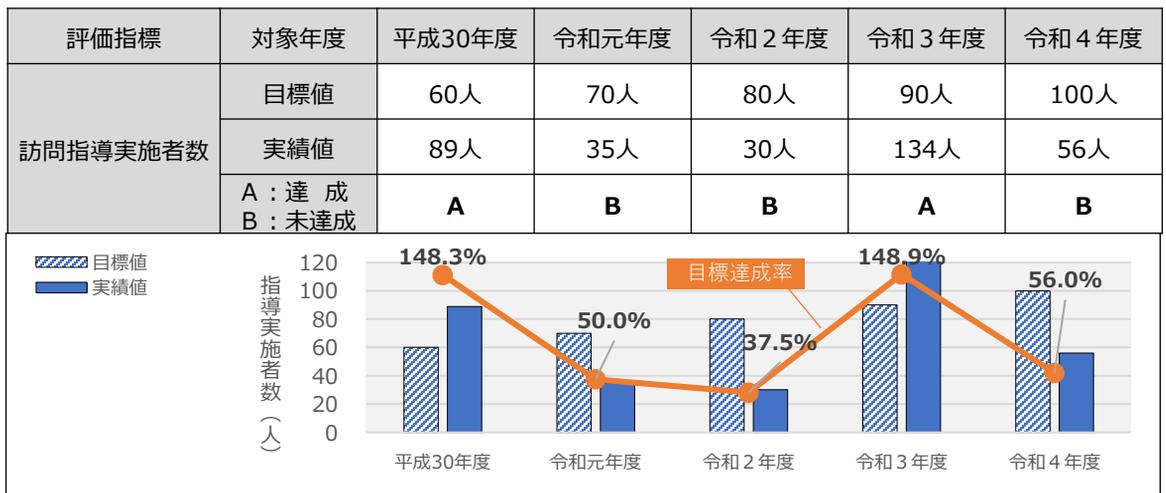
■課題と今後の対策

本事業は、本広域連合が自営で行う保健事業であることから、神奈川県歯科医師会を通してできるだけ多くの県内の歯科医院に健康診査の実施に参加をいただくよう働きかけていく必要がある。それにより、歯科医院の多寡による地域格差が生じないように努めていく責務がある。

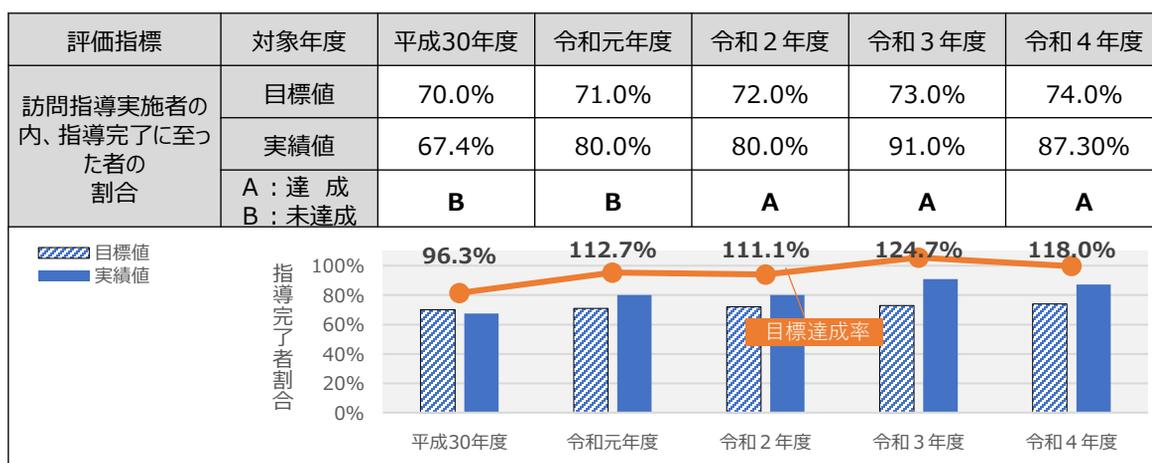
また、口腔機能低下と全身疾患のリスクの啓発を充実させていくことが求められる。これらの事業は、今後市町村が実施する高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組と関係が深いことから、市町村との連携強化が今後のポイントとなるものとする。

事業3 重複・頻回受療者、重複投薬者訪問指導事業

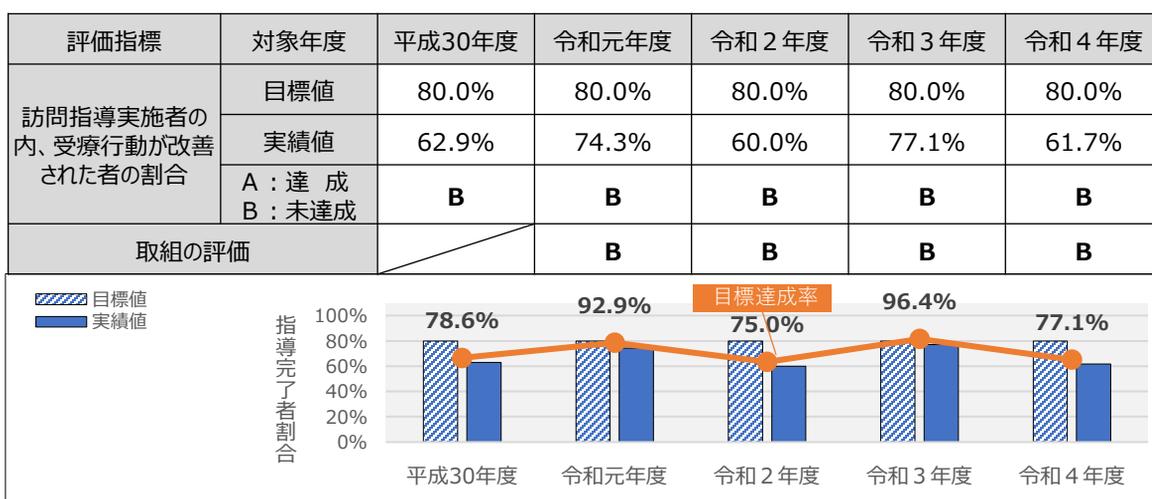
①訪問指導実施者数（アウトプット評価項目）



②訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合（アウトプット評価項目）



③訪問指導実施者の内、受療行動が改善された者の割合（アウトカム評価項目）



■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

本事業は、受療行動の適正化を目的として、被保険者への訪問指導を行うものである。令和3年度は重複受診、頻回受診、重複服薬対象者のうち連絡先が判明したものを優先的に勧奨したため、訪問指導実施者数が大幅に増加した。令和4年度は連絡先が判明した者及び、より程度の重いものを半々で抽出したため、訪問指導実施者数は前年より大幅に減少した。また、アウトカム評価の訪問指導実施者のうち、受療行動が改善された者の割合は、計画期間中、一度も80%の目標値には至らなかった。

■プロセス評価（実施方法）

対象者への訪問指導を行う専門職は外部事業者に委託しており、指導対象者には2回の対面指導を行うことを基本としている。しかし、対象者が高齢であることや、疾病の状況によって2回の面談ができない状況も見られた。また、案内通知送付、指導受入れの電話勧奨などの課題も今後検討する必要がある。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

対面指導ができる専門職は、住民の一番近くにいる市町村専門職が本事業には適任と判断したが、広域連合及び市町村の組織体制上で、外部事業者に委託する方法が適当と判断した。

■課題と今後の対策

重複・頻回受診者の健康保持と疾病管理を促すためのハイリスクアプローチは、レセプト情報により抽出した対象者に対し、保健師又は看護師、薬剤師等が個別訪問して指導・健康相談を実施する。今後は、当事業について市町村が実施主体となっていけるよう、関係団体の一層の協力や理解を得られるように働きかけ、市町村に対しての効果的な実施方法等を提供できるように検討していく。

事業4 糖尿病性腎症重症化予防事業

①訪問指導実施者数（アウトプット評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪問指導実施者数	目標値	15人	20人	－	－	－
	実績値	11人	18人	－	－	－
	A：達成 B：未達成	B	B	－	－	－

②訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合（アウトプット評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合	目標値	35.0%	35.0%	－	－	－
	実績値	90.9%	94.4%	－	－	－
	A：達成 B：未達成	A	A	－	－	－

③受診勧奨が必要な者の内、受診勧奨を実施した者の割合（アウトプット評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受診勧奨が必要な者の内、受診勧奨を実施した者の割合	目標値	－	－	100%	100%	100%
	実績値	－	－	100%	100%	100%
	A：達成 B：未達成	－	－	A	A	A

④受診勧奨実施者の内、医療機関の受診に繋がった者の割合（アウトプット評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受診勧奨実施者の内、医療機関の受診に繋がった者の割合	目標値	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
	実績値	13.0%	52.3%	33.3%	43.3%	※令和5年12月 確定予定
	A：達成 B：未達成	B	A	A	A	※令和5年12月 判断

指導完了者割合

年度	目標値 (%)	実績値 (%)	目標達成率 (%)
平成30年度	20.0%	13.0%	78.6%
令和元年度	20.0%	52.3%	92.9%
令和2年度	20.0%	33.3%	75.0%
令和3年度	20.0%	43.3%	96.4%
令和4年度	20.0%	※令和5年12月確定予定	－

⑤訪問指導実施者の内、検査値が改善された者の割合（アウトカム評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪問指導実施者の内、検査値が改善された者の割合	目標値	80.0%	80.0%	－	－	－
	実績値	0.0%	25%	－	－	－
	A：達成 B：未達成	－	－	－	－	－
取組の評価			B	A	A	※令和5年12月 頃判断

■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

令和2年度以降の「受療勧奨が必要な者の内、受療勧奨を実施した者の割合」は毎年100%となっている。しかし、医療機関の受療に繋がった者の割合を指標とするアウトカム指標は、令和2年度以降も目標値:20%を越えていることから、数値的な目標は達成できた。

■プロセス評価（実施方法）

本事業では、対象者の抽出方法と訪問指導受入れの了解を得ることが重要なプロセスとなる。第2期の保健事業では、現状の抽出基準による対象者に受療勧奨を行っても治療の必要がないケースもあり、「対象候補者の抽出」と「対象者への訪問指導等の実施」を分けて実施することで、事業の効率的・効果的な実施を目指した。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

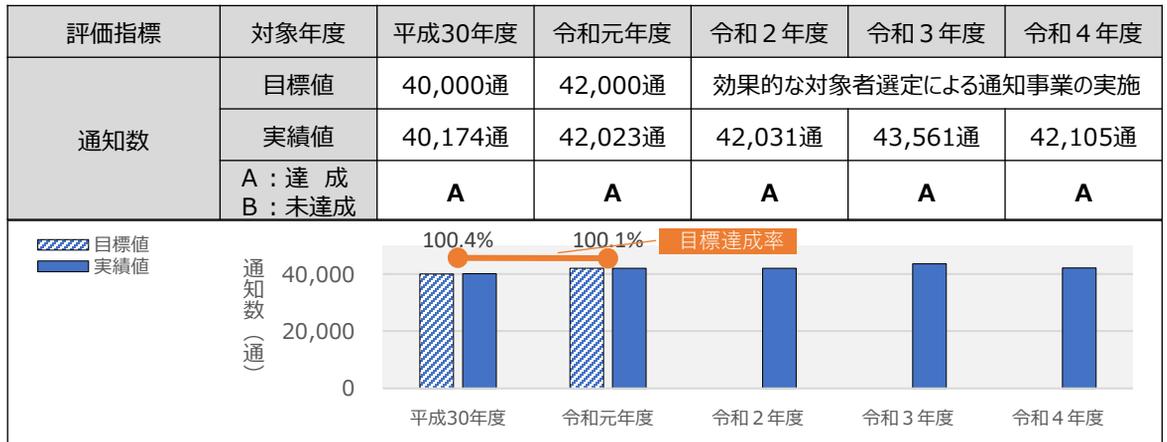
令和元年度までは対象地域を限定してモデル的に実施していたが、令和2年度からはKDBシステムに健康診査データが登録されている全市町村に対象を広げて実施するようにしている。ただし、保健指導と介護予防の一体的実施を行っている市町村は対象から除くこととした。また、令和4年度からはナッジ理論を活用した受療勧奨の通知を送付したり、通院者への訪問指導を広域連合職員の専門職が行うようにした。

■課題と今後の対策

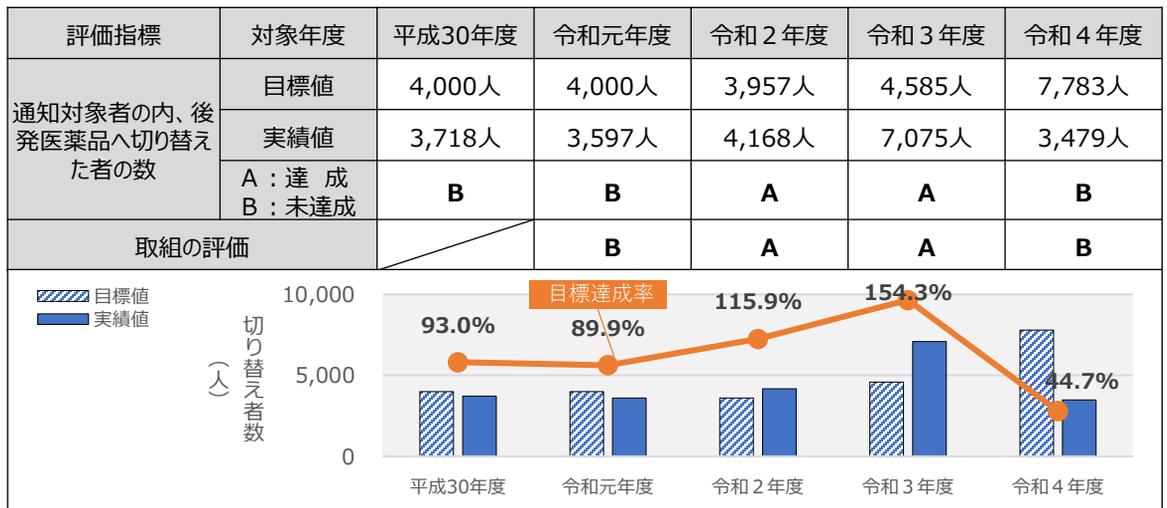
糖尿病腎症重症化予防では、何よりも早期の疾病管理に対する介入が重要である、しかし、現状では各市町村国民健康保険と広域連合との連携が弱いことから、74歳までは国民健康保険で重症化予防の保健指導を受けていた被保険者が、75歳になった段階で広域連合へ移動となるため、保健指導が受けられない状況が発生しうる。現在のところ、健康情報が医療保険者間で継承されないが、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」では、保健事業における国民健康保険と広域連合の連携が求められることから、早急にハイリスクアプローチ対象者の情報が引き継がれることが重要である。また、糖尿病性腎症だけでなく、CKDや腎症からの人工透析治療リスク保有者へも同様の情報の継承が強く求められる。

事業5 後発医薬品利用差額通知事業

①通知事業の実施（アウトプット評価項目）



②通知対象者の内、後発医薬品に切り替えた者の人数（アウトカム評価項目）



■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

差額通知の送付数は、計画期間中を通して毎年度安定して40,000通以上を保持している。アウトカム評価の「通知対象者の内、後発医薬品へ切り替えた者の数」では、令和3年度は目標を大幅に超えた実績となった。要因としては、後発医薬品製薬会社の相次ぐ業務停止命令（令和3年2月以降）により先発医薬品を使用せざるを得なくなったが、その後、後発医薬品の供給が復旧したことにより、一時的に切替率が上がったものと推測される（翌年の令和4年度の切り替え者の人数は、令和3年度の半数に減少している）。

■プロセス評価（実施方法）

対象者の抽出は、国保連合会に依頼している。毎年一人の患者に通知が繰り返し届かないように、5年間は同じ人には送付されないようにした。抽出方法は、薬効区分を基本としており、毎年度ごとに対象とする薬効区分を決めて服薬者の抽出を行い、効果額の大きい対象者から順にその年度の対象者を決めるといった方法を採用してきた。令和元年度は44の薬効から抽出したが、令和4年度は9の薬効として大幅に絞り込みを行った。また一方では、差額通知文を単色からカラーに変更するなど、解り易さの工夫も行っている。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

計画実施期間の途中で、製薬会社の不祥事の発生により、後発医薬品が不足するという事態が影響し、年度ごとの切替率と効果額にばらつきが見られ、評価が難しい状況である。また、令和4年度は国保連合会が設置している「ジェネリック医薬品コールセンター」への問い合わせも、前年に比較して大幅に減少している。

■課題と今後の対策

後発医薬品の普及率では市町村にばらつきがみられるが、特に人口の少ない自治体でのばらつきが大きいという特徴がある。調剤薬局の多寡や医薬分業の状況など市町村の実情に合わせた推進策が求められると考えるが、現状では構成市町村が同じ方法で実施している。

市町村の国民健康保険では、後発医薬品の普及率を後発医薬品の数量ベースや金額ベースの伸び率において評価する保険者が多い。本事業では「通知対象者の内、後発医薬品への切り替え者の数」という評価指標としているが、中長期的な施策としての視点が足りていないのではないかと考えている。本事業は、長期的な医療費の適正化の側面から、今後は数量ベースや金額ベースでのアウトプット評価も求められると考える。

事業6 医療費通知事業

①実施市町村数（アウトプット／アウトカム評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施市町村数	目標値	33	33	33	33	33
	実績値	33	33	33	33	33
	A：達成 B：未達成	A	A	A	A	A
取組の評価			A	A	A	A

■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

本事業は、年度ごとに医療機関や柔整、あはきの施術を受けた被保険者に対し、自己負担金額が解るような形式で医療費を通知することにより、費用という視点から健康への意識向上と後期高齢者医療制度の健全な運営に資する目的を持って行う事業であり、33構成市町村すべてで実施している。

■プロセス評価（実施方法）

医療費通知は、レセプトデータを活用して年2回送付を行っているが、送付時期は1月から11月受療分を2月中旬に送付し、12月の受療分を3月中旬に送付している。このような変則的な送付方法となったのは、平成29年度の確定申告での医療費控除の申告方法が改正され、確定申告手続きの時期に合わせて送付する必要が求められてきたという経緯がある。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

確定申告での医療費控除に活用できるようにするためには、高齢者の通知物の保管状況から今後も現行の通知方法の継続が求められる。なお、被保険者からの要望として、年度途中の死亡者に対しても送付をして欲しいとの要望が寄せられている。

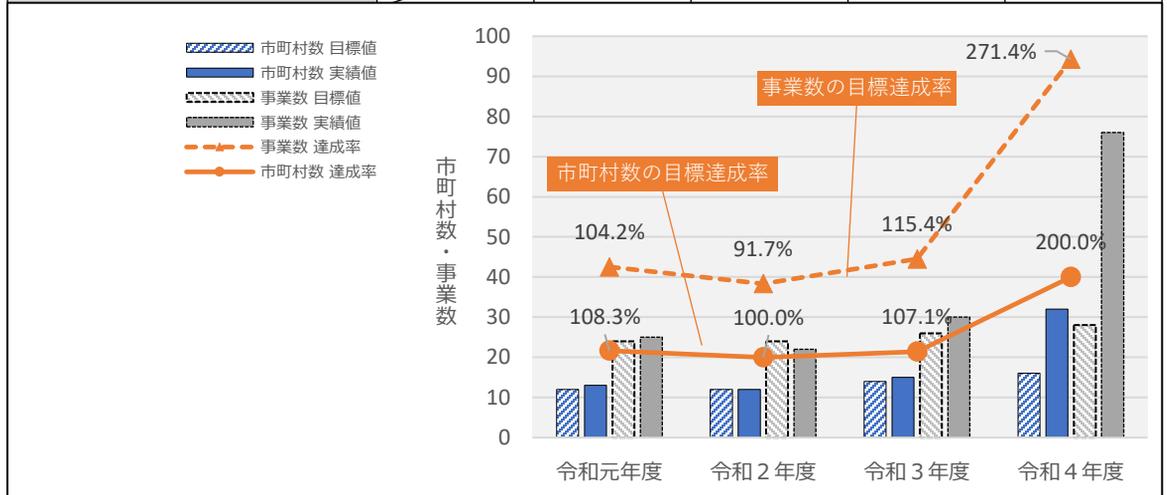
■課題と今後の対策

本事業において、全市町村での実施が継続されており、目標が達成された。

事業7 市町村保健事業支援

①市町村保健事業支援数（アウトプット／アウトカム評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市町村保健事業支援数 (市町村数/事業数)	目標値	—	12市 24事業	12市 24事業	14市 26事業	16市 28事業
	実績値	—	13市町 25事業	12市町 22事業	15市町村 30事業	32市町村 76事業
	A：達成 B：未達成	—	A	B	A	A
取組の評価			A	B	A	A



■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

令和元年度は13市町/25事業と目標は達成したが、令和2年度は12市町/22事業と事業数は達成できなかった。令和3年度は15市町/30事業となり、更に、令和4年度は32市町村/76事業と大幅な増加となった。要因は、令和4年度から保険者支援制度事業補助金が新設されたことにより、一町を除いたすべての市町村が当補助金を申請したことがあげられる。

■プロセス評価（実施方法）

本広域連合が市町村に対して支援する保健事業は以下のとおり。

- ・ 長寿・健康増進事業の実施
- ・ 低栄養防止・重症化予防等の推進
- ・ 重複・頻回受診者、重複投薬者への相談及び指導
- ・ 保険者インセンティブ評価対象事業等の推進
- ・ 一体的実施事業を含むその他の事業

また、市町村職員を対象とした「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に向けた講習や研修を国保連合会と協力して実施している。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

本広域連合が市町村保健事業を支援していくためには、各市町村との連携を強化し、意見交換によってニーズや要望を把握することが求められる。また、個々の事業において、本広域連合と市町村の役割を再整理する必要があると考える。本広域連合の重要な役割として、保健・医療・介護に関するデータ分析において、市町村が有効活用できる分析結果を提供することが求められる。

また、保健事業は三師会や国保連合会や大学など外部関係機関との連携が重要と考えることから、今以上の連携強化を図っていく。

■課題と今後の対策

令和6年度からの高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進を検討するにあたり、全市町村に対してこの事業に関するアンケート調査を実施した。アンケートに寄せられた意見としては、保健事業と介護予防に関わる専門職の不足と、医療専門職の業務を円滑に行うための事務職員の増加等に関する人的な不安を上げる意見が多く寄せられた。当然、新たに専門職を採用する費用や、外部委託の場合の委託費をどのように手立てするかという問題も議論の柱となる。その他にも市町村固有の課題も様々であることから、一律的な支援ではなく、各市町村の事情を踏まえた個別の支援が求められる。さらに、今後の本格的な「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を推進していくための、個別事業を越えてリーダーシップを発揮できる保健師を中心とした医療専門職の育成とサポートが急務であると考えられる。

事業8 薬剤併用禁忌

①通知事業の実施者数（アウトプット評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
通知事業の実施者数	目標値	検討中	検討中	検討中	—	効果的な対象者選定による通知事業の実施
	実績値	検討中	検討中	検討中	258	317
	A：達成 B：未達成				—	A

②多剤・併用禁忌薬剤が改善した者の割合（アウトカム評価項目）

評価指標	対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
多剤・併用禁忌薬剤が改善した者の割合	目標値	検討中	検討中	検討中	—	—
	実績値	検討中	検討中	検討中	74.8%	11.1%
	A：達成 B：未達成				—	—
取組の評価					—	—

■アウトプット/アウトカム評価（実績評価）

アウトプット評価の項目のとおり、令和3年度は通知事業の実施者数は258名となり、令和4年度は317名となった。アウトカム評価項目の「多剤・併用禁忌薬剤が改善された者の割合」は74.8%となった。

■プロセス評価（実施方法）

第2期の保健事業計画の前半では、神奈川県医師会、神奈川県薬剤師会の助言を頂きながら、併用禁忌薬剤の分析による現状把握が主な活動であった。令和3年度には、多剤服薬者、併用禁忌薬剤服薬者の対象者を抽出し、薬と上手に付き合うための通知を送付した。なお、この事業では実績のある外部事業者から支援をいただき、ナッジ理論を取り入れたが、その効果は評価できていない。

■ストラクチャー評価（仕組み・体制評価）

令和3年1月～令和3年3月の3ヶ月のレセプトを使用して対象者を抽出した結果、長期多剤服用者は276,599人（被保険者の23.75%）、併用禁忌薬剤服用者は2,745人であった。90日処方や60日処方を考慮すると、もっと多くの患者が対象者になると推測されることから、更にデータ分析を継続し、関係機関等との連携を図りながら推進していく必要がある。

■課題と今後の対策

本事業は、患者の受療行動の適正化という点で、「重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導事業」とも深く関係している。保健指導対象者もこれらの事象が重なって抽出されることも多いと考えられる。また、これらの受療行動に関する事業は、医師会と薬剤師会との連携が欠かせない事業であることから、今後は事業の枠組みや関係機関の役割の整理が必要である。

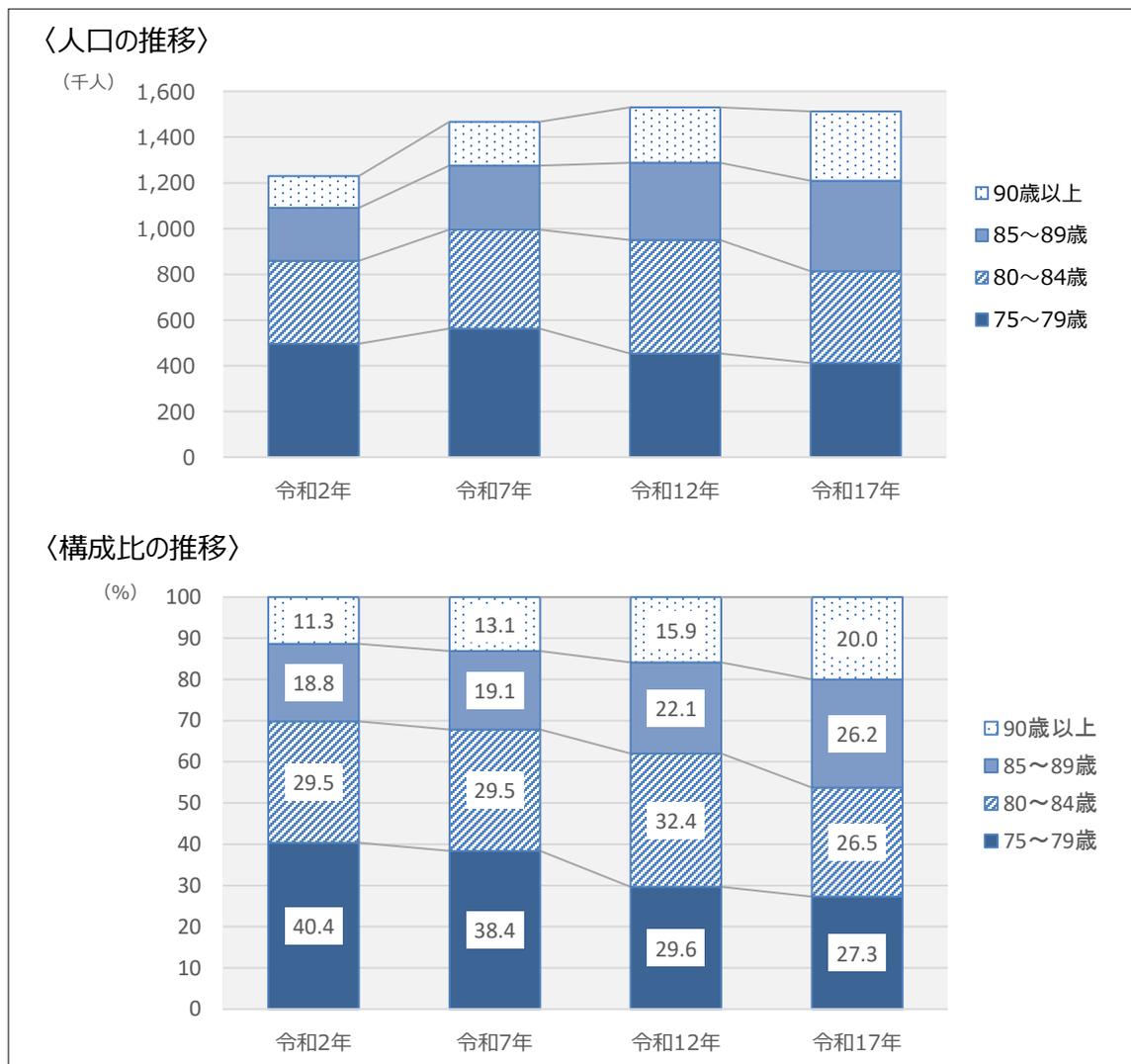
第3章 健康医療情報等の分析

(1) 被保険者数に関する分析

1) 年齢階層別被保険者数の推移予測

前期計画時点からの被保険者数の推移については、「第2章(1) 保険者の特性」で述べたとおり、80歳以上の被保険者を中心とした増加が顕著となっています。さらに、今後10数年間の被保険者数の推移について、「国立社会保障・人口問題研究所」の人口予測結果を基に予測したものが次のグラフになります。

【令和2年以降の75歳以上年齢階層別人口の推移予測】



* 国立社会保障・人口問題研究所 『日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）』のデータをもとに作成

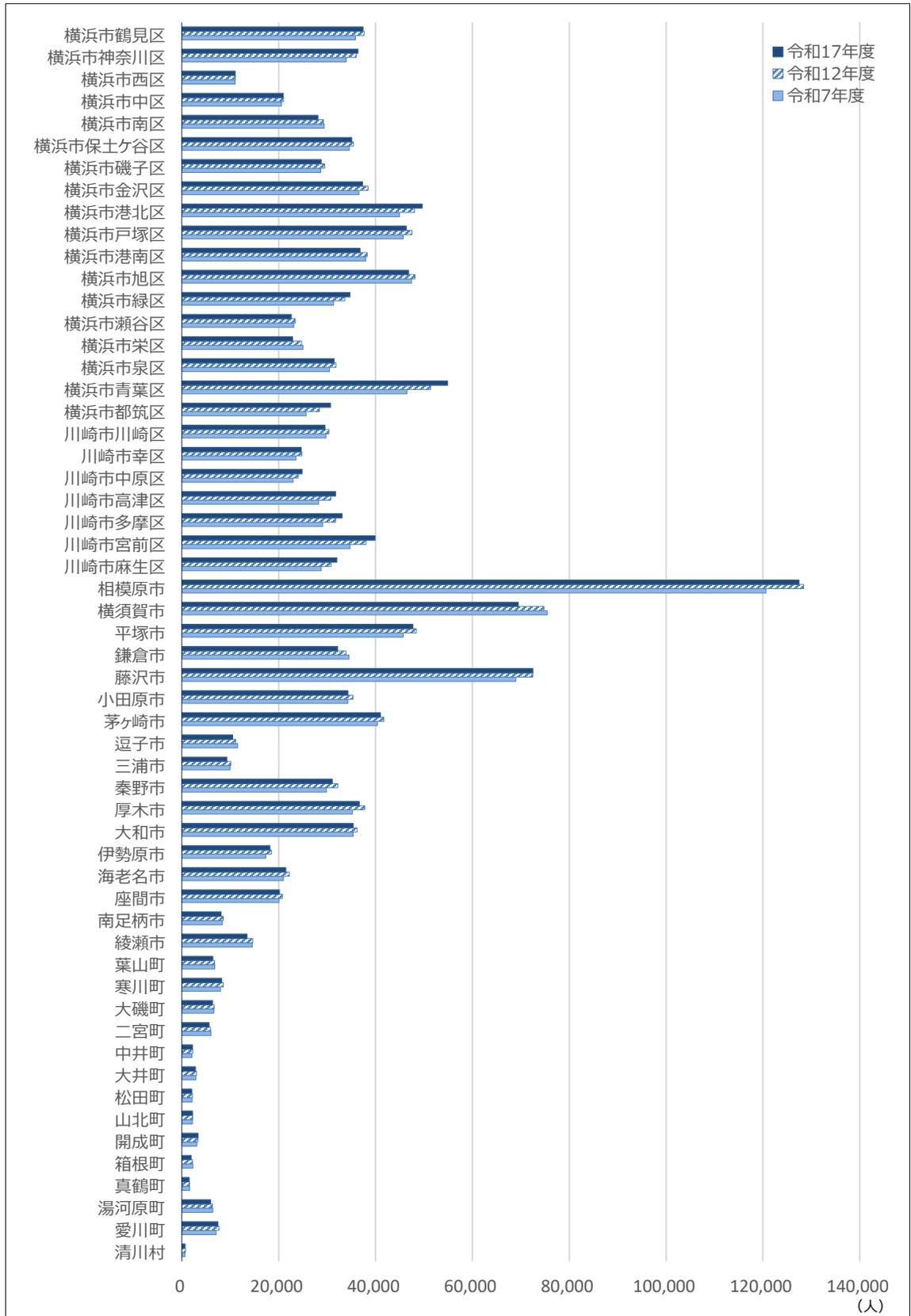
令和2年から令和17年までの75歳以上の人数を年齢階層別（5歳刻み）でみると、団塊世代が75歳を迎える「2025年問題」に起因して、令和7年までは75歳～79歳の人数がピークを迎えますが、それ以降は減少していきます。しかし、80歳以上の被保険者は、平均寿命の延伸により増え続けます。そのため75歳以上の年齢階層別人数は、より高齢化し続けて増加すると見込まれます。ただし、令和12年以降をピークに減少に転じており、令和17年以降は減少が続くものと推測されます。

75歳以上の県内人口を年齢階層別（5歳刻み）の構成比でみると、84歳以下の割合は減少していきますが、逆に85歳以上の割合は増加し続け、令和2年に30%だった構成比が令和17年には46%と約1.5倍になると予測されます。

2) 市区町村別被保険者数の推移予測

前述の「国立社会保障・人口問題研究所」の人口予測結果を基に市区町村別に予測したものが次のグラフになります。

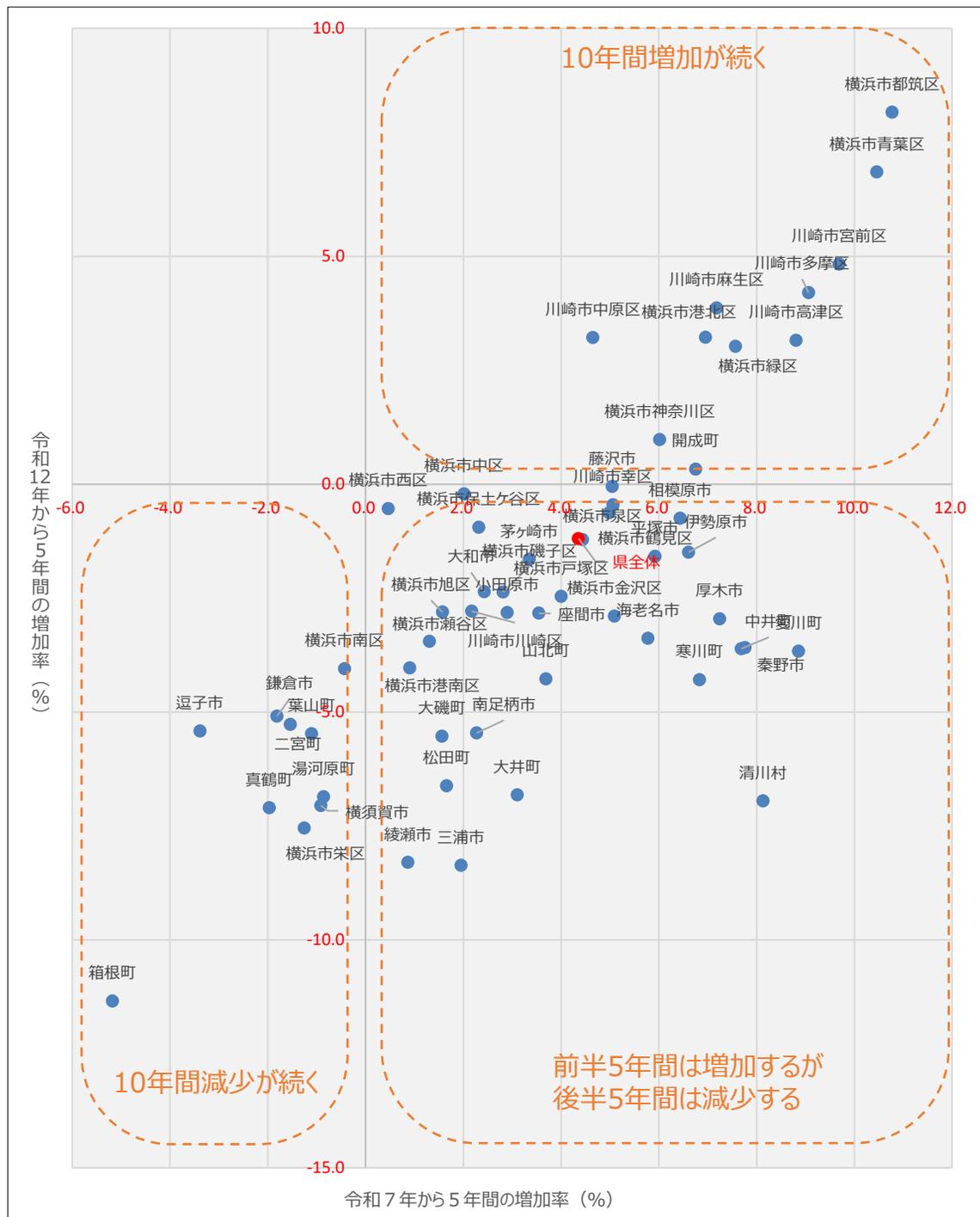
【市区町村別の75歳以上人口の推移予測】



* 国立社会保障・人口問題研究所 『日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）』のデータをもとに作成
 * 相模原市は上記データが政令市移行前のものであったため、全市でまとめている
 * 詳細の明細については（資料－4）参照

この市区町村別の人口予測をもとに、令和7年から10年間の75歳以上の人口増減率の予測を5年レンジでの増減パターンでプロットしたものが次のマップになります。

【令和7年から10年間の75歳以上人口の推移パターンマップ】



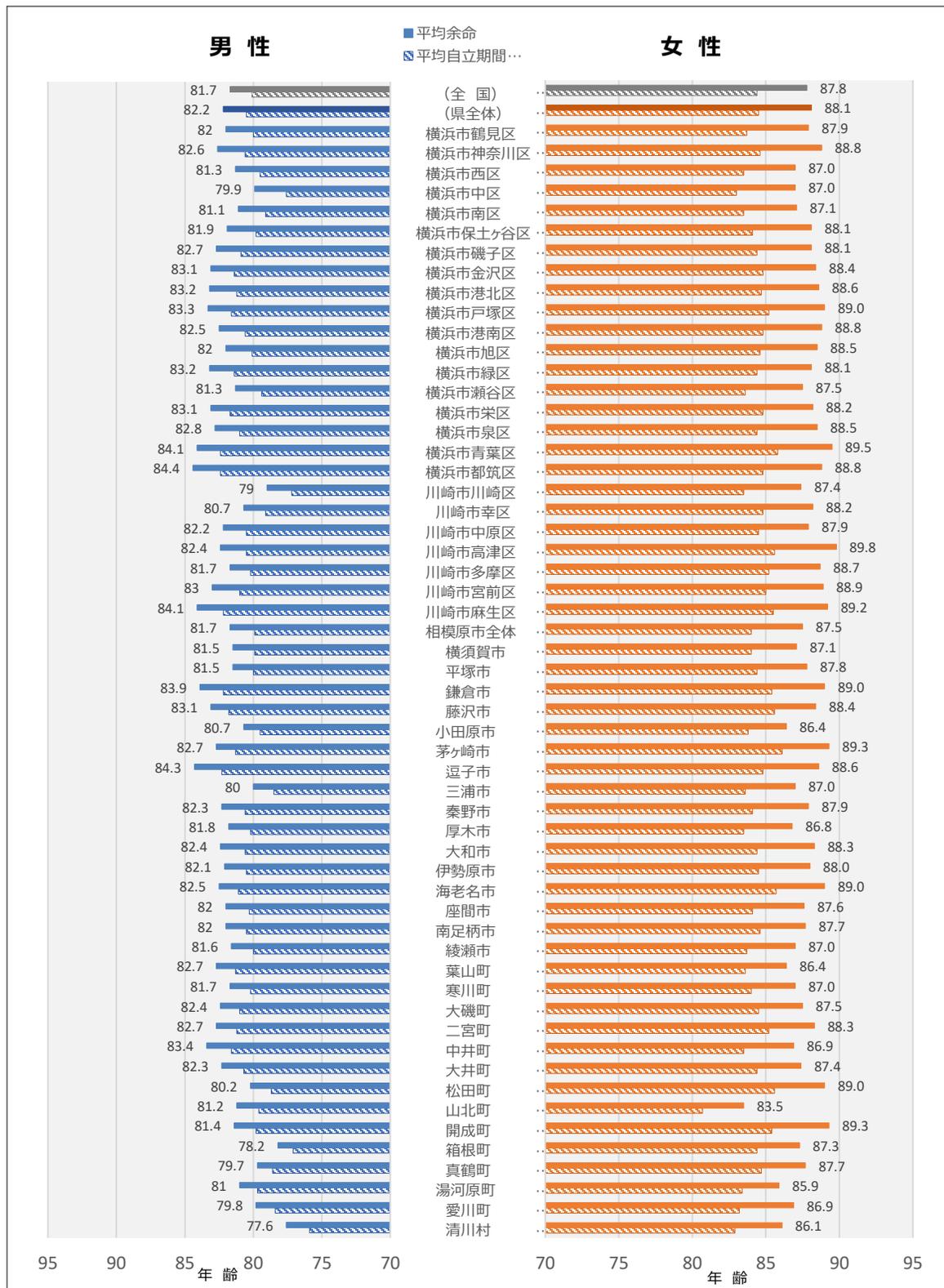
多くの市区町村が「前半5年間は増加が続くがその後5年間は減少に転じる」グループにプロットされていますが、川崎市の多くの区や横浜市の一部の区は「10年間増加が続く」グループにプロットされています。また、箱根町を筆頭に県西部や横須賀・三浦エリアの一部市町村は「10年間減少が続く」グループにプロットされています。各市町村、または二次医療圏ごとに、今後の被保険者数の増減予測に応じた中長期での体制整備が必要となってくるものと推測されます。

(2) 寿命に関する分析

1) 平均余命と平均自立期間

まずは市区町村別の平均余命と平均自立期間（≒健康寿命）を男女別に見たものが次のグラフとなります。なお、ここでいう「自立」は、要介護認定区分が「要介護2以上」となるまでの期間と定義しています。

【市区町村別の平均余命・平均自立期間（令和4年度）】



* KDB健康スコアリング（介護）より集計

* 相模原市は行政区別の健康スコアリング(介護)のデータがないため、相模原市全体のみとなっている

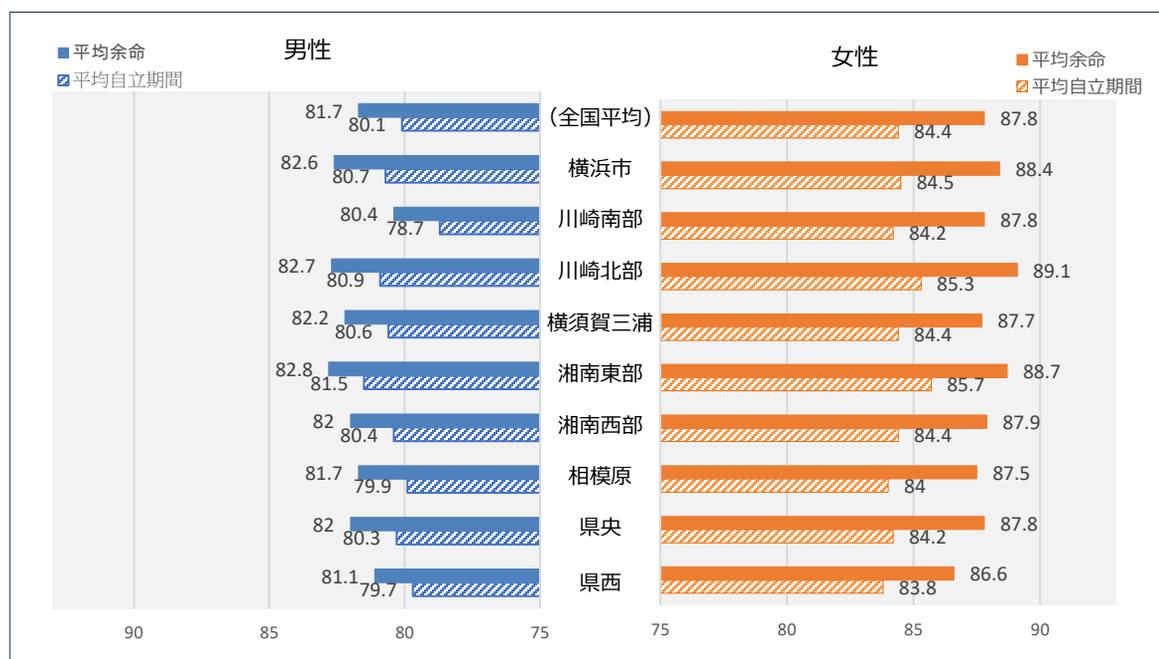
* 詳細の明細については（資料-5）参照

男性においても女性においても、平均余命と平均自立期間の両方で全国平均を上回っています。また、男女の比較においては、両方とも女性の方が圧倒的に長いものの、男性に比較して女性の方が平均余命と平均自立期間の差が大きいことから、女性の方が支援を必要とする期間が長いことがわかります。

市区町村別に見ると、男性においては、横浜市都筑区、逗子市、横浜市青葉区、川崎市麻生区が自立期間、余命ともに長くなっています。一方、清川村、箱根村、川崎市川崎区、横浜市中区は自立期間、余命ともに短くなっています。また、女性においては、茅ヶ崎市、横浜市青葉区が自立期間、余命ともに長く、山北町、清川村は自立期間、余命ともに短くなっています。

次に、同様な方法で県内の二次医療圏域別に平均余命・平均自立期間をみると次のようなグラフになります。男性で最も平均自立期間の長い地域は湘南東部となり、女性は横須賀三浦地域となります。なお、川崎南部は平均寿命、平均自立期間ともに最も短くなっています。

【二次医療圏域別の平均余命・平均自立期間（令和4年度）】



* KDB健康スコアリング（介護）より集計

2) 要介護期間

平均余命から平均自立期間を引いた差の期間を「要介護期間」（≒不健康期間）と見なして、平成30年度から令和4年度までの5年間における伸縮傾向を見てみました。

市区町村別は次ページのような結果となりました。

※データが不足している15市町村（三浦市、南足柄市、葉山町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村）については現在作成中です。

【市区町村別の要介護期間の伸縮傾向（平成30年度→令和4年度）】

男性			二次医療圏名	女性		
延伸傾向	ほぼ変化なし (または不明)	短縮傾向		短縮傾向	ほぼ変化なし (または不明)	延伸傾向
←			(全国)			→
←			(県全体)			→
←	—		横浜市鶴見区			→
←			横浜市神奈川区			→
←			横浜市西区	←		
←			横浜市中区		—	
←			横浜市南区	←		
←			横浜市保土ヶ谷区			→
←			横浜市磯子区			→
	—		横浜市金沢区			→
	—		横浜市港北区	←		
		→	横浜市戸塚区			→
		→	横浜市港南区		—	
←			横浜市旭区	←		
		→	横浜市緑区	←		
←			横浜市瀬谷区			→
		→	横浜市栄区	←		
	—		横浜市泉区			→
		→	横浜市青葉区		—	
←			横浜市都筑区			→
	—		川崎市川崎区			→
		→	川崎市幸区	←		
←			川崎市中原区			→
←			川崎市高津区			→
		→	川崎市多摩区			→
←			川崎市宮前区			→
←			川崎市麻生区			→
		→	相模原市全体	←		
		→	横須賀市	←		
		→	平塚市			→
		→	鎌倉市	←		
←			藤沢市	←		
		→	小田原市	←		
←			茅ヶ崎市			→
←			逗子市	←		
	—		三浦市		—	
	—		秦野市			→
	—		厚木市			→
←			大和市			→
	—		伊勢原市		—	
←			海老名市			→
←			座間市	←		
	—		南足柄市		—	
←			綾瀬市	←		
	—		葉山町		—	
	—		寒川町		—	
	—		大磯町		—	
	—		二宮町		—	
	—		中井町		—	
	—		大井町		—	
	—		松田町		—	
	—		山北町		—	
	—		開成町		—	
	—		箱根町		—	
	—		真鶴町		—	
	—		湯河原町		—	
	—		愛川町		—	
	—		清川村		—	

* KDB健康スコアリング（介護）より集計

* 15市町村（三浦市、南足柄市、葉山町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村）については現在作成中

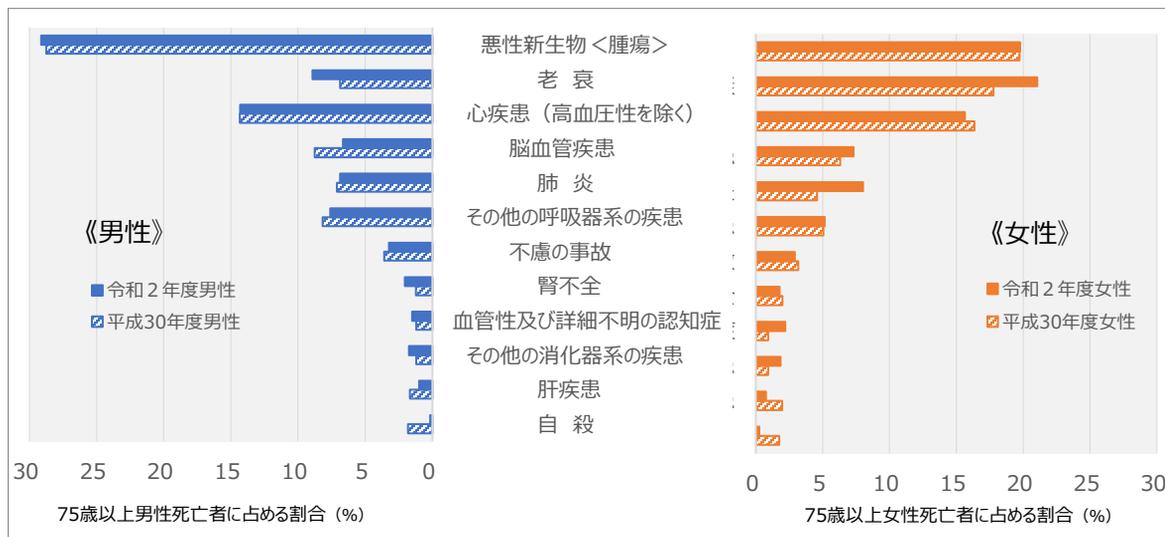
* 市区町村別の明細にちては（資料－6）参照

個々の市区町村にはばらつきがありますが、大きな傾向としては男女共に横浜市と川崎市の都市部で延伸の傾向が多くみられるのに対し、相模原市、横須賀市、藤沢市、逗子市など中堅の市では短縮傾向が多く見受けられます。

3) 死因

神奈川県から公表されている「衛生統計年報」から、平成30年度と令和2年度の75歳以上県内住民の死亡者における死因の割合を男女別にまとめたのが次のグラフになります。

【75歳以上死亡者における主要死因別割合の推移（平成30年度・令和2年度）】

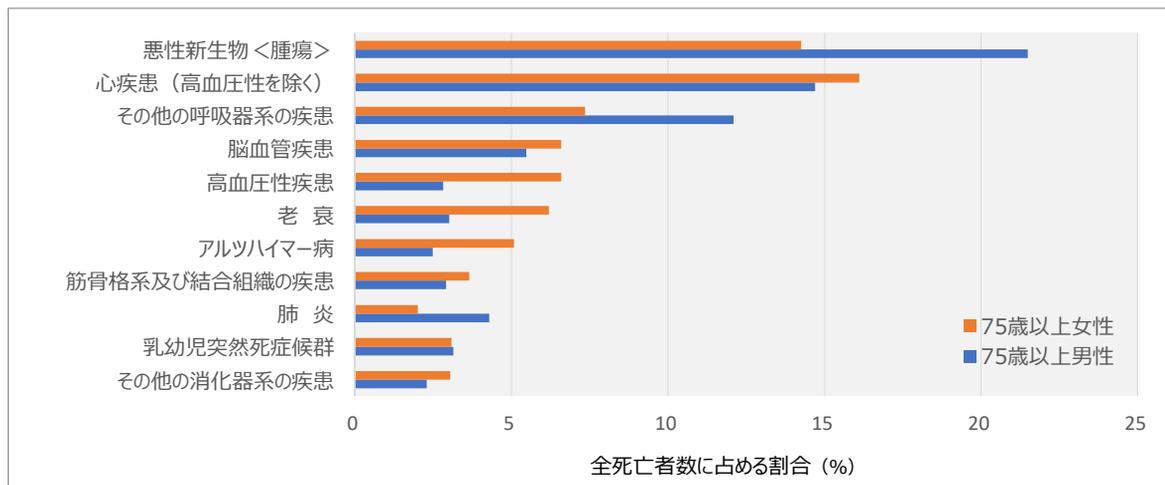


* 「平成30年度神奈川県衛生統計年報」および「令和2年度神奈川県衛生統計年報」より集計
 * 死因分類は「死因簡易分類コード」の中位分類にて集計
 * 掲載した死因分類は平成30年度または令和2年度に上位10分類、掲載順序は令和2年度における男女合計割合の高い順
 * 詳細の明細については（資料-7）参照

平成30年度、令和2年度共に男性は「悪性新生物<腫瘍>」が、女性は「老衰」がそれぞれ最も高くなっています。また、男女を合わせた死亡者数で見ると、悪性新生物による死因が24.3%に達し、ほぼ4人に1人ががんで亡くなっていることがわかります。また、平成30年度から令和2年度への変化を見ると、男女ともに「老衰」が2ポイント以上増加している点と、女性の「肺炎」の割合が3ポイント以上増加している点が目立ちます。

令和4年度分の死因統計についてはまだ公表されたものがないため、参考に令和4年度の死亡レセプトから死因の状況を集計したものが次のグラフになります。あくまでもレセプトベースのため、自宅で終末を迎えたケース等の医療機関以外で死亡したケースが計上されていないため、「老衰」等の一部に令和2年度と異なるものも散見されますが、傾向としては大きな変化は見られません。

【死亡レセプトから見た75歳以上死亡者における主要死因別割合（令和4年度）】



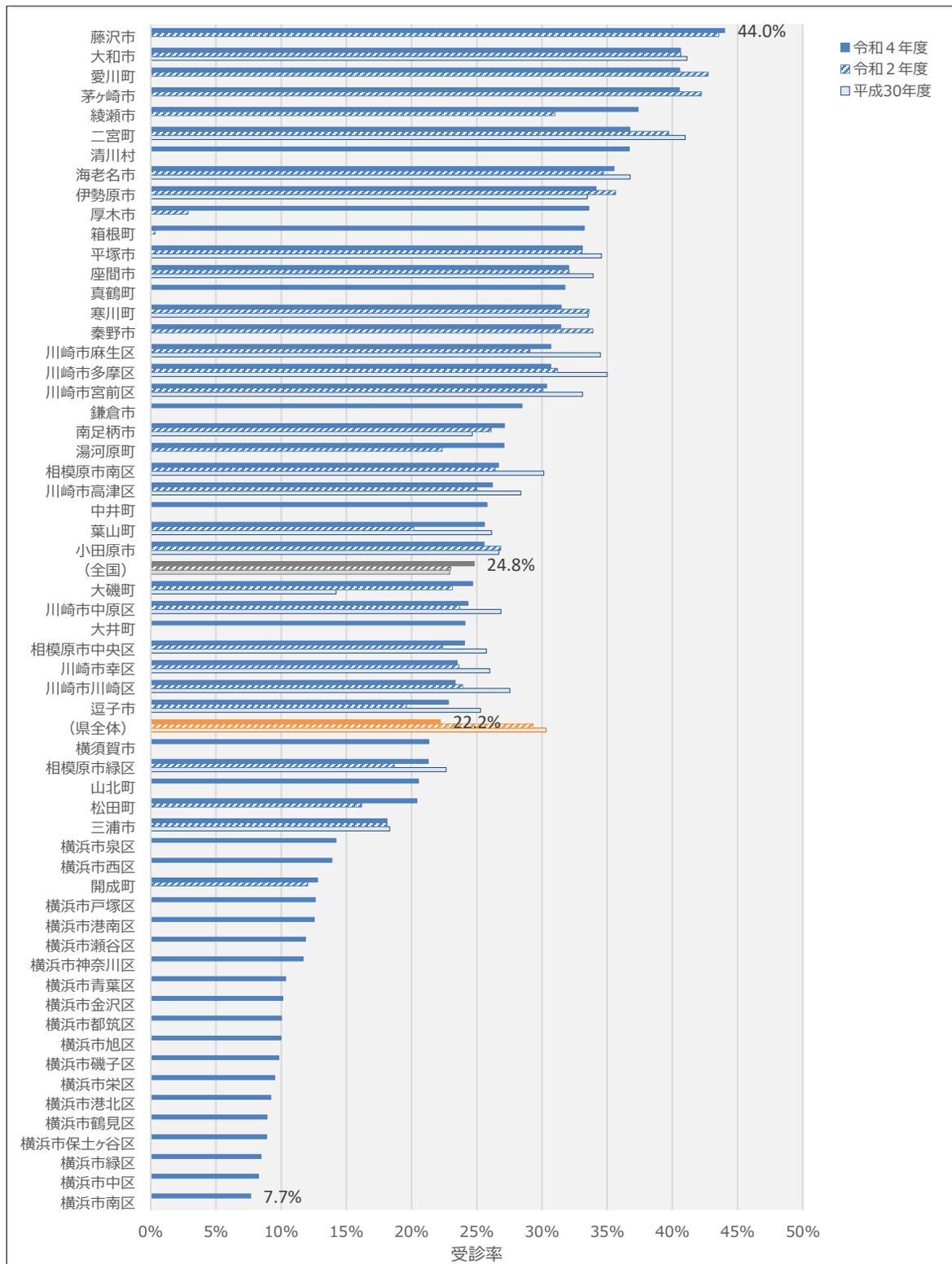
* 令和4年度のレセプトより死亡レセプト（転帰区分が「死亡」のもの）を抽出し、そのレセプトの主病名から対応する死因簡易分類（中位）に変換して集計
 * 掲載した死因分類は男女合計での割合の上位11分類（男女別での上位10分類を含む）、掲載順序は男女合計での割合の高い順
 * 詳細の明細については（資料-8）参照

(3) 健康診査に関する分析

1) 健康診査受診状況

KDBシステムに登録されているデータと一部個別提供のあった健診データをもとに、平成30年度、令和2年度、令和4年度を受診率を市区町村別に集計したものが次のグラフとなります。

【市区町村別の健康診査受診率の推移】

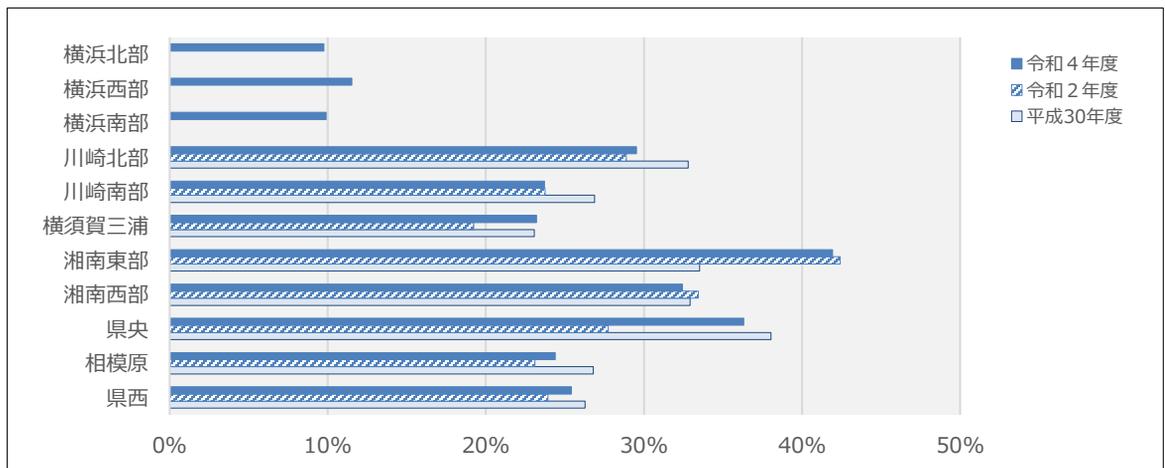


* KDB健康スコアリング（健診）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
 （グラフ掲載の無い年度は受診率:0%ではなく、データ欠損によるものであることに注意）
 * 市区町村の掲載順は令和4年度受診率の高い順
 * 詳細の明細については（資料-9）参照

令和4年度受診率は、全国平均が24.8%であったのに対し、本広域連合は22.4%に留まっています。県全体での令和4年度の受診率が、平成30年度および令和2年度から大きく低下しているのは、主には令和4年度分に横浜市の実績が反映されたことに起因していますが、令和2年度以降の新型コロナウイルスの影響が尾を引いていることも要因の一つと考えられます。また、市区町村別に見ると、最も高い藤沢市の44.0%に対し、最も低い横浜市南区が7.7%と開きがあり、地域格差が顕著となっています。さらに、対象3年度のデータが揃っている23市区町だけを見ても、平成30年度実績からの低下がみられる市区町が20市区町あり、横浜市全体の底上げと合わせて、効果的な受診率向上施策の継続が求められます。

同様に対象3年度の受診率を県内二次医療圏域ごとに見たのが次のグラフになります。横浜市3圏域はいずれも低く、最も高い湘南東部圏域の受診率と比較して4倍程度の開きがあります。いずれの圏域も各年度の変動が大きく、健康診査の定期受診の定着・習慣化に課題があると考えられます。

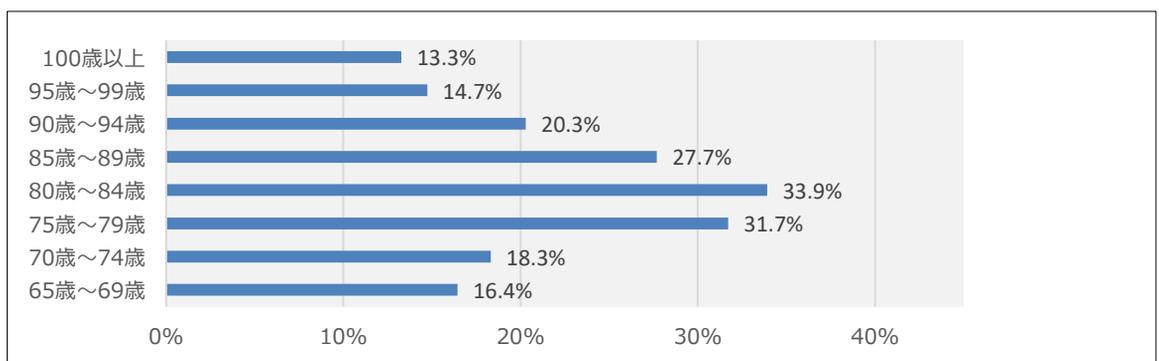
【二次医療圏別の健康診査受診率の推移】



* KDB健康スコアリング（健診）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
 （グラフ掲載の無い年度は受診率:0%ではなく、データ欠損によるものであることに注意）
 * 詳細の明細については（資料-10）参照

さらに、令和4年度の受診率を年齢階層別に見たのが次のグラフです。最も受診率が高いのは80歳～84歳の階層ですが、その後加齢と共に急激に受診率は低下しています。対策としては、健康診査の対象者が最も多い75歳～79歳の階層の受診率の底上げであるといえます。

【年齢階層別健康診査受診率の推移】

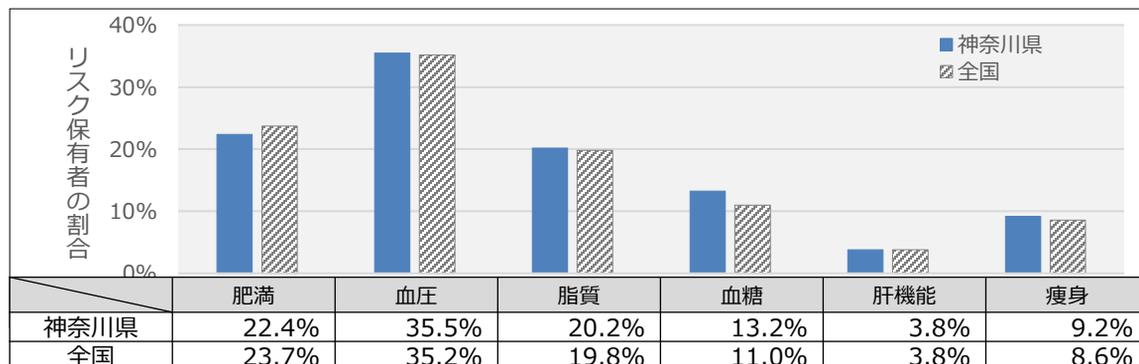


* KDB健康スコアリング（健診）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
 * 詳細の明細については（資料-11）参照

2) 健康診査結果からみるリスク状況

令和4年度の健康診査結果をもとに、「肥満」「血圧」「脂質」「血糖」「肝機能」「痩身」の6項目についてリスク保有者の割合を集計したものが次のグラフになります。全国平均と比較すると、「肥満」の割合は若干低いものの、「血糖」については2ポイント以上高くなっています。

【健康診査結果6項目のリスク保有者率（令和4年度）】



* KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
 * 市区町村別リスク保有者の明細人数については（資料-12）参照
 * 結果のリスク判定詳細条件については（参考-3）参照

市区町村別のリスク保有状況については、次ページに一覧表を示します。主な傾向としては、脂質リスク保有者割合は横浜市や川崎市の大都市で高くなっています。また、血糖のリスク保有者割合の高い市町村は川崎市以外の県内各地に分散しています。なお、川崎市は血糖のリスク保有者率が有意に低い反面、脂質が有意に高い区が多くあります。

次に、糖尿病性腎症を含む慢性腎臓病（CKD）のリスクについて見ていきます。CKDのリスク判定は、健康診査項目にある血清クレアチニンと尿蛋白（定性）の結果をもとに、右図に示した「CKDヒートマップ」に沿って、リスクをレベル0からレベル3の4段階に分けて判定を行いました。判定対象者数とリスクレベルごとの人数と構成割合は下表のとおりです。なお、市区町村別の該当者数については次々ページに掲載します。

〈CKDヒートマップ〉

eGFR	尿蛋白(定性)		
	-	±	+以上
≥90	0	1	2
60~89	0	1	2
45~59	1	2	3
30~44	2	3	3
15~29	3	3	3
<15	3	3	3

【CKDリスクレベルごとの対象者数（令和4年度）】

	対象者数	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3
該当者数	283,199	128,397	90,209	41,308	23,285
(構成比)	100.0%	45.3%	31.9%	14.6%	8.2%

* KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
 * 市区町村別の明細人数については（資料-13）参照

市区町村別のリスク保有状況については、次々ページに一覧表を示します。主な傾向としては、川崎市は相対的にレベル1以上の割合が高く、特にレベル3については麻生区以外のすべての区で県平均よりも有意に高くなっています。同様に平塚市、藤沢市、小田原市もレベル2以上の割合が県平均よりも有意に高くなっており、リスクの高い状態となっています。

【市区町村別の健康診査結果 6 項目リスク保有者率（令和 4 年度）】

市区町村名	肥満	血压	脂質	血糖	肝機能	痩身
横浜市鶴見区	23.4% ↗	39.9% ↑	20.5% ↗	13.2% ↘	4.0% ↗	8.9% ↘
横浜市神奈川区	23.3% ↗	34.9% ↘	22.0% ↑	16.2% ↑	4.1% ↗	10.0% ↗
横浜市西区	23.1% ↗	36.6% ↗	20.8% ↗	15.3% ↑	4.2% ↗	10.2% ↗
横浜市中区	21.7% ↘	34.1% ↘	19.2% ↘	15.9% ↑	4.6% ↗	11.8% ↑
横浜市南区	21.9% ↘	38.9% ↑	20.5% ↗	14.7% ↗	4.0% ↗	8.8% ↘
横浜市保土ヶ谷区	21.3% ↘	40.4% ↑	23.1% ↑	13.3% ↗	3.5% ↘	10.0% ↗
横浜市磯子区	22.6% ↗	35.5% ↗	19.5% ↘	13.0% ↘	3.4% ↘	10.1% ↗
横浜市金沢区	18.7% ↓	43.4% ↑	21.8% ↑	12.6% ↘	3.5% ↘	9.2% ↗
横浜市港北区	19.7% ↓	33.6% ↘	22.8% ↑	13.0% ↘	3.0% ↓	10.7% ↑
横浜市戸塚区	22.1% ↘	38.5% ↑	23.1% ↑	15.5% ↑	3.4% ↘	9.2% ↗
横浜市港南区	21.1% ↘	32.6% ↓	20.1% ↘	12.9% ↘	3.2% ↓	9.5% ↗
横浜市旭区	19.9% ↓	36.0% ↗	20.7% ↗	12.5% ↘	4.0% ↗	9.3% ↗
横浜市緑区	20.2% ↓	35.2% ↘	22.3% ↑	13.3% ↗	3.2% ↘	8.0% ↘
横浜市瀬谷区	19.4% ↓	41.6% ↑	23.1% ↑	11.0% ↓	3.6% ↘	10.9% ↑
横浜市栄区	19.2% ↓	36.4% ↗	24.0% ↑	13.4% ↗	3.2% ↘	9.3% ↗
横浜市泉区	20.2% ↓	33.6% ↘	21.0% ↗	15.5% ↑	3.6% ↘	9.5% ↗
横浜市青葉区	17.0% ↓	35.9% ↗	22.2% ↑	10.3% ↓	3.3% ↘	9.7% ↗
横浜市都筑区	19.5% ↓	36.7% ↗	24.4% ↑	14.5% ↗	3.0% ↘	9.8% ↗
川崎市川崎区	27.1% ↑	30.3% ↓	19.6% ↘	14.6% ↑	4.7% ↑	8.1% ↓
川崎市幸区	25.6% ↑	40.2% ↑	20.5% ↗	12.7% ↘	4.5% ↑	8.7% ↘
川崎市中原区	22.7% ↗	32.0% ↓	20.9% ↗	12.0% ↓	4.2% ↗	9.3% ↗
川崎市高津区	23.5% ↗	35.4% ↘	21.6% ↑	11.8% ↓	4.1% ↗	8.7% ↘
川崎市多摩区	21.4% ↘	37.1% ↑	22.2% ↑	11.7% ↓	3.6% ↘	9.9% ↗
川崎市宮前区	21.8% ↘	30.7% ↓	22.8% ↑	11.0% ↓	3.8% ↗	9.5% ↗
川崎市麻生区	19.0% ↓	42.2% ↑	24.0% ↑	11.4% ↓	3.5% ↘	11.5% ↑
相模原市緑区	24.0% ↑	38.0% ↑	20.6% ↗	11.1% ↓	3.3% ↘	7.5% ↓
相模原市中央区	22.7% ↗	31.0% ↓	20.0% ↘	12.6% ↘	4.0% ↗	8.1% ↓
相模原市南区	21.6% ↘	37.2% ↑	19.4% ↘	12.1% ↓	3.8% ↗	8.5% ↓
横須賀市	23.5% ↑	36.9% ↑	18.4% ↓	10.9% ↓	4.0% ↗	8.5% ↓
平塚市	23.6% ↑	33.2% ↓	18.2% ↓	15.1% ↑	4.1% ↗	8.9% ↘
鎌倉市	18.9% ↓	33.9% ↓	20.1% ↘	9.7% ↓	3.2% ↓	10.7% ↑
藤沢市	22.3% ↘	31.8% ↓	19.9% ↘	12.8% ↓	3.8% ↗	9.3% ↗
小田原市	22.8% ↗	30.0% ↓	19.2% ↓	14.1% ↑	3.6% ↘	9.4% ↗
茅ヶ崎市	22.0% ↘	39.0% ↑	17.0% ↓	15.3% ↑	4.0% ↗	9.9% ↑
逗子市	19.2% ↓	31.0% ↓	25.2% ↑	12.9% ↘	3.2% ↘	9.8% ↗
三浦市	22.2% ↘	37.1% ↑	17.9% ↓	15.8% ↑	3.5% ↘	9.9% ↗
秦野市	23.9% ↑	33.0% ↓	18.2% ↓	14.8% ↑	3.3% ↓	8.7% ↘
厚木市	23.3% ↗	38.3% ↑	19.0% ↓	15.5% ↑	3.8% ↗	8.5% ↓
大和市	24.3% ↑	36.0% ↗	20.3% ↗	15.4% ↑	3.9% ↗	8.1% ↓
伊勢原市	23.5% ↗	37.8% ↑	17.4% ↓	10.9% ↓	3.6% ↘	8.1% ↓
海老名市	22.5% ↗	39.5% ↑	22.8% ↑	12.0% ↓	3.8% ↘	8.7% ↘
座間市	23.4% ↗	33.3% ↓	17.8% ↓	16.1% ↑	3.9% ↗	9.5% ↗
南足柄市	21.9% ↘	32.0% ↓	17.6% ↓	18.5% ↑	3.8% ↗	8.9% ↘
綾瀬市	25.4% ↑	38.4% ↑	24.5% ↑	11.8% ↓	4.5% ↑	7.2% ↓
葉山町	20.0% ↓	37.2% ↗	27.4% ↑	13.8% ↗	3.4% ↘	9.3% ↗
寒川町	24.5% ↑	46.6% ↑	16.5% ↓	9.1% ↓	4.6% ↗	7.6% ↓
大磯町	23.8% ↗	26.8% ↓	16.9% ↓	15.4% ↑	3.6% ↘	8.4% ↘
二宮町	19.3% ↓	29.2% ↓	15.8% ↓	11.0% ↓	2.9% ↓	12.1% ↑
中井町	21.1% ↘	39.4% ↗	18.8% ↘	14.7% ↗	2.3% ↘	10.4% ↗
大井町	21.3% ↘	39.3% ↗	21.5% ↗	14.1% ↗	2.6% ↘	10.0% ↗
松田町	17.2% ↓	36.6% ↗	26.4% ↑	17.0% ↑	2.6% ↘	9.7% ↗
山北町	26.0% ↗	36.0% ↗	19.7% ↘	14.7% ↗	4.5% ↗	5.9% ↓
開成町	16.7% ↓	31.7% ↘	19.6% ↘	10.9% ↘	2.2% ↘	9.0% ↘
箱根町	32.6% ↑	34.9% ↘	20.7% ↗	15.8% ↗	4.6% ↗	7.4% ↘
真鶴町	21.3% ↘	39.8% ↗	21.3% ↗	12.1% ↘	4.4% ↗	9.9% ↗
湯河原町	21.1% ↘	41.6% ↑	16.7% ↓	18.7% ↑	3.4% ↘	10.5% ↗
愛川町	25.9% ↑	36.0% ↗	17.5% ↓	17.3% ↑	4.9% ↑	8.4% ↘
清川村	27.0% ↗	37.6% ↗	19.0% ↘	16.4% ↗	2.1% ↘	7.9% ↘

↑ 県平均割合よりも有意に高い
 ↗ 県平均割合よりも高いが有意ではない
 ↘ 県平均割合よりも低い有意ではない
 ↓ 県平均割合よりも有意に低い

* KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データ（横浜市と真鶴町の令和4年度分）をもとに集計
 * 有意差の判定は z 検定（両側検定）にて有意水準5%で判断
 * 市区町村別リスク保有者の明細人数については（資料-12）参照

【市区町村別のCKDリスク保有者率（令和4年度）】

市区町村名	判定対象者数	レベル0		レベル1		レベル2		レベル3	
横浜市鶴見区	2,848	1,360	↗	931	↗	372	↓	185	↓
横浜市神奈川区	3,321	1,299	↓	1,043	↘	562	↑	417	↑
横浜市西区	1,516	628	↓	494	↗	249	↗	145	↗
横浜市中区	1,398	611	↘	447	↗	201	↘	139	↑
横浜市南区	2,165	981	↘	701	↗	312	↘	171	↘
横浜市保土ヶ谷区	2,679	1,233	↗	880	↗	377	↘	189	↓
横浜市磯子区	2,553	1,204	↗	755	↓	381	↗	213	↗
横浜市金沢区	3,348	1,617	↑	1,074	↗	424	↓	233	↓
横浜市港北区	3,526	1,662	↗	1,146	↗	486	↘	232	↓
横浜市戸塚区	5,160	2,440	↑	1,597	↘	743	↘	380	↓
横浜市港南区	4,498	2,004	↘	1,430	↘	674	↗	390	↗
横浜市旭区	4,156	2,047	↑	1,357	↗	501	↓	251	↓
横浜市緑区	2,067	871	↓	704	↗	309	↗	183	↗
横浜市瀬谷区	2,327	1,010	↘	782	↗	347	↗	188	↘
横浜市栄区	2,171	1,122	↑	678	↘	240	↓	131	↓
横浜市泉区	3,531	1,728	↑	1,054	↓	483	↘	266	↘
横浜市青葉区	3,846	1,844	↑	1,274	↗	481	↓	247	↓
横浜市都筑区	2,106	983	↗	694	↗	276	↘	153	↘
川崎市川崎区	5,818	2,184	↓	1,955	↑	1,044	↑	635	↑
川崎市幸区	4,521	1,752	↓	1,588	↑	724	↑	457	↑
川崎市中原区	5,097	2,053	↓	1,662	↗	877	↑	505	↑
川崎市高津区	5,891	2,197	↓	1,953	↗	1,087	↑	654	↑
川崎市多摩区	6,895	2,781	↓	2,362	↑	1,069	↑	683	↑
川崎市宮前区	7,852	2,968	↓	2,650	↑	1,359	↑	875	↑
川崎市麻生区	7,205	3,113	↓	2,476	↑	1,069	↗	547	↘
相模原市緑区	5,197	2,236	↓	1,786	↑	781	↗	394	↘
相模原市中央区	8,522	3,739	↓	2,740	↗	1,306	↗	737	↗
相模原市南区	10,359	4,528	↓	3,493	↑	1,489	↘	849	↘
横須賀市	15,312	7,293	↑	4,875	↘	2,052	↓	1,092	↓
平塚市	13,059	5,496	↓	4,182	↗	2,132	↑	1,249	↑
鎌倉市	9,351	4,945	↑	2,568	↓	1,171	↓	667	↓
藤沢市	26,642	9,978	↓	9,169	↑	4,569	↑	2,926	↑
小田原市	7,919	3,244	↓	2,678	↑	1,248	↑	749	↑
茅ヶ崎市	15,051	6,211	↓	5,334	↑	2,201	↗	1,305	↗
逗子市	2,599	1,540	↑	706	↓	228	↓	125	↓
三浦市	1,697	759	↘	575	↗	217	↘	146	↘
秦野市	8,150	3,610	↘	2,721	↑	1,165	↘	654	↘
厚木市	10,307	4,771	↗	3,250	↘	1,446	↘	840	↘
大和市	12,808	10,023	↑	1,506	↓	1,275	↓	4	↓
伊勢原市	4,989	2,405	↑	1,500	↓	684	↘	400	↘
海老名市	6,581	3,082	↗	2,143	↗	850	↓	506	↘
座間市	5,875	2,565	↘	1,961	↑	851	↘	498	↗
南足柄市	2,118	877	↓	727	↑	330	↗	184	↗
綾瀬市	4,887	2,212	↘	1,646	↑	631	↓	398	↘
葉山町	1,606	957	↑	427	↓	152	↓	70	↓
寒川町	2,232	1,109	↑	718	↗	274	↓	131	↓
大磯町	1,577	693	↘	571	↑	202	↘	111	↘
二宮町	2,114	1,024	↑	646	↘	305	↘	139	↓
中井町	442	208	↗	135	↘	67	↗	32	↘
大井町	652	309	↗	227	↘	79	↘	37	↓
松田町	424	166	↘	182	↑	62	↗	14	↓
山北町	442	210	↗	142	↗	59	↘	31	↘
開成町	312	178	↑	92	↘	29	↓	13	↓
箱根町	734	351	↗	242	↗	90	↘	51	↘
真鶴町	545	214	↓	194	↗	87	↗	50	↗
湯河原町	1,515	552	↓	571	↑	247	↗	145	↗
愛川町	2,497	1,141	↗	738	↓	359	↘	259	↑
清川村	189	79	↘	77	↑	23	↘	10	↘

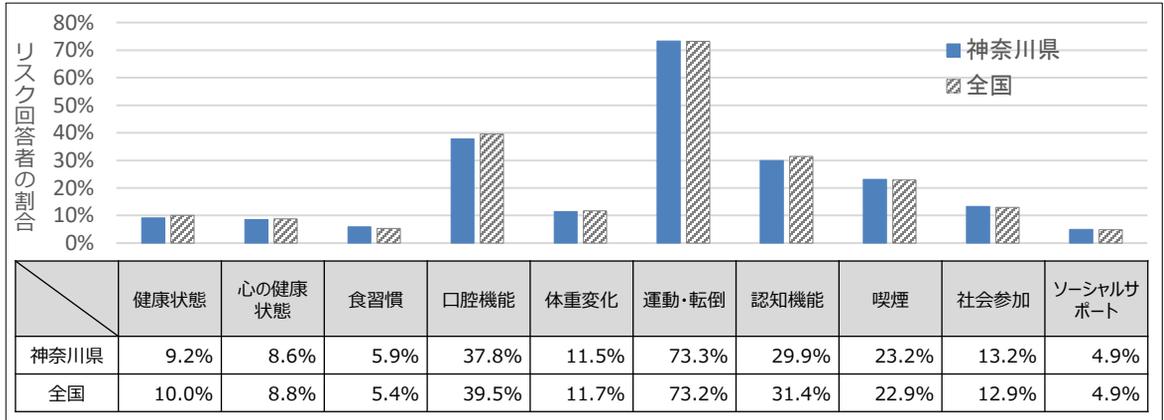
↑ 県平均割合よりも有意に高い
 ↗ 県平均割合よりも高いが有意ではない
 ↘ 県平均割合よりも低い有意ではない
 ↓ 県平均割合よりも有意に低い

* KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データ（横浜市と真鶴町の令和4年度分）をもとに集計
 * 有意差の判定はz検定（両側検定）にて有意水準5%で判断

3) 後期高齢者質問票からみるリスク状況

令和4年度の後期高齢者質問票（以下、「質問票」と記載）の回答結果をもとに、日常生活の中で感じている10種類の健康リスクに該当する回答者割合を集計したものが次のグラフになります。まず、全国平均との比較においては、「口腔機能」と「認知機能」の割合が若干少ない以外は、いずれも1ポイント未満の差に収まっており、非常によく似た傾向を示しています。次に、各類型別の割合については、歩行機能や転倒経験についての「運動・転倒」に対するものが最も高く、回答者の7割以上の人々が該当しています。次に割合が高いのが咀嚼や嚥下についての「口腔機能」に対するものです。この2つはいずれも身体機能の低下に伴うものですが、その機能維持のための支援が求められていることを示していることができます。

【質問票からのリスク保有者率（令和4年度）】



- * KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データをもとに集計
- * 市区町村別リスク保有者の明細人数については（資料-14）参照
- * 結果のリスク判定詳細条件については（参考-4）参照

市区町村別のリスク保有状況については、次ページに一覧表を示します。主な傾向としては、川崎市はほとんどの類型においてリスク割合が有意に高い点です。特に認知機能についてはすべての区がそれに該当しています。逆に相模原市は有意に低い類型が多くなっています。なお、「口腔機能」は他の類型と比較して該当者割合値のばらつきが大きくなっています。

【市区町村別の質問票リスク保有者率（令和4年度）】 1/2

市区町村名	健康状態	心の健康状態	食習慣	口腔機能	体重変化
横浜市鶴見区	8.9% ↘	8.0% ↘	6.3% ↗	35.6% ↗	13.4% ↑
横浜市神奈川区	9.5% ↗	8.5% ↘	8.4% ↑	34.0% ↑	12.0% ↗
横浜市西区	8.8% ↘	6.6% ↓	8.3% ↑	33.1% ↑	13.6% ↑
横浜市中区	9.3% ↗	8.0% ↘	8.8% ↑	37.4% ↗	12.4% ↗
横浜市南区	7.8% ↓	6.8% ↓	8.6% ↑	37.7% ↗	12.3% ↗
横浜市保土ヶ谷区	7.0% ↓	6.5% ↓	5.5% ↘	33.4% ↑	11.9% ↗
横浜市磯子区	8.7% ↘	8.2% ↘	8.2% ↑	36.2% ↗	12.5% ↗
横浜市金沢区	7.6% ↓	6.4% ↓	5.0% ↓	33.0% ↓	10.8% ↘
横浜市港北区	7.2% ↓	6.6% ↓	6.6% ↗	33.8% ↓	11.3% ↘
横浜市戸塚区	8.0% ↓	7.5% ↓	5.1% ↓	34.8% ↑	12.3% ↗
横浜市港南区	7.1% ↓	7.9% ↘	5.9% ↗	34.1% ↓	10.4% ↓
横浜市旭区	8.0% ↓	7.6% ↓	5.3% ↘	34.1% ↓	11.0% ↘
横浜市緑区	7.5% ↓	7.4% ↘	4.7% ↓	37.0% ↘	10.9% ↘
横浜市瀬谷区	8.0% ↘	7.2% ↓	5.1% ↘	34.5% ↓	10.6% ↘
横浜市栄区	6.2% ↓	7.2% ↓	5.3% ↘	32.9% ↓	11.0% ↘
横浜市泉区	8.0% ↓	6.8% ↓	5.0% ↓	34.1% ↓	10.9% ↘
横浜市青葉区	7.5% ↓	6.8% ↓	5.0% ↓	31.9% ↓	10.1% ↓
横浜市都筑区	8.5% ↘	6.7% ↓	4.5% ↓	34.5% ↓	10.9% ↘
川崎市川崎区	10.6% ↑	9.5% ↑	8.7% ↑	44.1% ↑	14.1% ↑
川崎市幸区	9.8% ↗	8.9% ↗	7.9% ↑	42.0% ↑	12.6% ↑
川崎市中原区	8.8% ↘	8.7% ↗	8.2% ↑	40.9% ↑	12.7% ↑
川崎市高津区	9.2% ↗	8.7% ↗	7.2% ↑	41.8% ↑	12.6% ↑
川崎市多摩区	9.4% ↗	9.2% ↗	7.0% ↑	42.2% ↑	13.3% ↑
川崎市宮前区	8.0% ↓	7.3% ↓	6.3% ↗	38.5% ↗	12.7% ↑
川崎市麻生区	8.3% ↓	7.6% ↓	6.1% ↗	38.9% ↗	11.8% ↗
相模原市緑区	6.9% ↓	6.8% ↓	4.6% ↓	37.8% ↘	9.4% ↓
相模原市中央区	8.3% ↓	7.3% ↓	4.7% ↓	39.5% ↓	10.5% ↓
相模原市南区	8.2% ↓	8.2% ↘	4.9% ↓	37.9% ↘	10.4% ↓
横須賀市	7.7% ↓	7.3% ↓	5.5% ↓	36.3% ↓	10.5% ↓
平塚市	8.4% ↓	9.6% ↑	5.2% ↓	39.6% ↑	12.8% ↑
鎌倉市	8.8% ↘	9.1% ↗	5.7% ↘	31.6% ↓	10.7% ↓
藤沢市	12.4% ↑	10.6% ↑	6.3% ↑	36.5% ↓	11.4% ↘
小田原市	8.7% ↘	8.0% ↘	4.8% ↓	39.3% ↓	10.0% ↓
茅ヶ崎市	10.4% ↑	10.8% ↑	6.0% ↗	39.8% ↑	11.9% ↗
逗子市	9.2% ↗	7.8% ↘	5.0% ↘	35.3% ↓	11.1% ↘
三浦市	10.3% ↗	9.4% ↗	6.2% ↗	36.7% ↗	11.6% ↗
秦野市	9.6% ↗	8.3% ↘	4.4% ↓	41.5% ↓	11.0% ↘
厚木市	9.7% ↗	9.5% ↑	8.2% ↑	35.3% ↓	11.4% ↘
大和市	8.5% ↓	8.7% ↗	5.3% ↓	39.0% ↓	11.4% ↘
伊勢原市	10.2% ↑	8.6% ↘	3.8% ↓	41.1% ↓	11.2% ↘
海老名市	10.3% ↑	8.8% ↗	6.5% ↑	38.6% ↘	10.6% ↓
座間市	10.1% ↑	9.0% ↗	5.3% ↘	43.2% ↑	11.6% ↗
南足柄市	8.6% ↘	8.9% ↗	3.8% ↓	36.3% ↗	11.6% ↗
綾瀬市	11.7% ↑	11.1% ↑	5.3% ↘	37.9% ↘	10.0% ↓
葉山町	9.4% ↗	8.0% ↘	5.8% ↘	36.4% ↘	10.6% ↘
寒川町	8.1% ↘	6.9% ↓	4.0% ↓	37.7% ↘	10.2% ↘
大磯町	7.9% ↘	7.9% ↘	4.2% ↓	34.5% ↓	8.7% ↓
二宮町	8.4% ↘	8.7% ↗	5.0% ↘	37.0% ↗	12.5% ↗
中井町	10.4% ↗	10.7% ↗	5.0% ↘	41.4% ↘	10.7% ↘
大井町	8.9% ↘	9.4% ↗	4.5% ↘	36.4% ↗	12.0% ↗
松田町	5.8% ↘	8.7% ↗	0.0% ↘	43.5% ↘	10.1% ↘
山北町	8.8% ↘	7.2% ↘	2.9% ↓	41.1% ↗	12.0% ↗
開成町	8.9% ↘	8.0% ↘	4.2% ↘	31.9% ↘	8.3% ↘
箱根町	8.0% ↘	6.9% ↘	7.4% ↗	46.5% ↓	11.3% ↘
真鶴町	10.5% ↗	8.8% ↗	7.9% ↗	36.9% ↗	13.4% ↗
湯河原町	9.6% ↗	9.0% ↗	9.0% ↑	43.4% ↑	14.1% ↑
愛川町	10.6% ↑	10.1% ↑	5.6% ↘	44.2% ↑	11.6% ↗
清川村	10.4% ↗	5.5% ↘	6.5% ↗	46.2% ↘	11.4% ↘

↑ 県平均割合よりも有意に高い
 ↗ 県平均割合よりも高いが有意ではない
 ↘ 県平均割合よりも低い有意ではない
 ↓ 県平均割合よりも有意に低い

* KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データ（横浜市と真鶴町の令和4年度分）をもとに集計
 * 有意差の判定はz検定（両側検定）にて有意水準5%で判断
 * 市区町村別リスク保有者の明細人数については（資料-14）参照

【市区町村別の質問票リスク保有者率（令和4年度）】 2/2

市区町村名	運動・転倒		認知機能		喫煙		社会参加		ソーシャルサポート	
横浜市鶴見区	73.4%	↗	29.9%	↘	23.3%	↗	13.0%	↘	5.5%	↗
横浜市神奈川区	75.2%	↗	32.0%	↑	21.3%	↓	13.4%	↗	5.2%	↗
横浜市西区	73.0%	↘	28.7%	↘	20.7%	↘	12.5%	↘	5.3%	↗
横浜市中区	73.7%	↗	32.4%	↗	23.8%	↗	11.9%	↘	6.2%	↑
横浜市南区	73.1%	↘	30.1%	↗	22.8%	↘	13.0%	↘	6.8%	↑
横浜市保土ヶ谷区	71.3%	↘	28.3%	↘	23.9%	↗	10.6%	↓	4.9%	↘
横浜市磯子区	73.8%	↗	31.7%	↗	21.1%	↓	14.8%	↑	5.6%	↗
横浜市金沢区	71.0%	↘	28.0%	↓	20.4%	↓	11.6%	↓	4.1%	↓
横浜市港北区	72.0%	↘	28.6%	↘	20.6%	↓	9.9%	↘	4.4%	↘
横浜市戸塚区	70.7%	↓	28.9%	↘	22.0%	↘	12.3%	↘	6.0%	↑
横浜市港南区	72.8%	↘	27.9%	↓	20.8%	↓	10.7%	↓	5.5%	↗
横浜市旭区	72.4%	↘	28.9%	↘	24.2%	↗	12.3%	↘	4.9%	↘
横浜市緑区	72.6%	↘	29.1%	↘	21.8%	↘	11.5%	↓	5.1%	↗
横浜市瀬谷区	71.8%	↘	29.5%	↘	22.2%	↘	13.1%	↘	4.9%	↘
横浜市栄区	69.4%	↓	27.5%	↓	20.3%	↓	9.8%	↓	4.0%	↘
横浜市泉区	72.2%	↘	30.0%	↗	20.0%	↓	14.3%	↗	4.9%	↘
横浜市青葉区	69.6%	↓	26.7%	↓	22.9%	↘	9.7%	↓	4.5%	↘
横浜市都筑区	70.6%	↘	29.7%	↘	23.3%	↗	10.9%	↓	4.2%	↘
川崎市川崎区	76.7%	↑	38.0%	↑	27.4%	↑	17.5%	↑	5.6%	↑
川崎市幸区	74.0%	↗	35.1%	↑	25.2%	↑	14.0%	↗	5.1%	↗
川崎市中原区	75.7%	↑	34.7%	↑	24.3%	↗	13.5%	↗	4.6%	↘
川崎市高津区	76.8%	↑	35.5%	↑	24.9%	↑	15.8%	↑	5.3%	↗
川崎市多摩区	77.0%	↑	36.4%	↑	24.2%	↗	18.7%	↑	5.3%	↗
川崎市宮前区	74.3%	↗	34.1%	↑	24.9%	↑	14.4%	↑	5.2%	↗
川崎市麻生区	74.0%	↗	33.1%	↑	23.0%	↘	14.1%	↗	4.6%	↘
相模原市緑区	67.7%	↓	26.8%	↓	25.0%	↑	12.8%	↘	5.0%	↗
相模原市中央区	70.4%	↓	30.0%	↗	24.6%	↑	11.3%	↓	4.7%	↘
相模原市南区	72.4%	↘	28.6%	↓	22.7%	↘	11.1%	↓	4.9%	↘
横須賀市	72.5%	↘	27.2%	↓	22.7%	↘	12.7%	↘	5.5%	↑
平塚市	72.9%	↘	31.5%	↑	23.1%	↘	16.2%	↑	6.3%	↑
鎌倉市	71.1%	↓	25.8%	↓	26.0%	↑	9.8%	↓	3.7%	↓
藤沢市	75.9%	↑	27.3%	↓	26.0%	↑	13.6%	↗	4.6%	↓
小田原市	73.4%	↗	29.4%	↘	19.6%	↓	12.8%	↘	4.5%	↘
茅ヶ崎市	75.0%	↑	30.1%	↗	22.5%	↘	12.4%	↓	4.7%	↘
逗子市	73.4%	↗	26.5%	↓	22.8%	↘	9.4%	↓	4.5%	↘
三浦市	76.2%	↗	30.0%	↗	25.2%	↗	20.6%	↑	5.9%	↗
秦野市	74.1%	↗	30.1%	↗	20.4%	↓	14.8%	↑	5.0%	↗
厚木市	74.5%	↗	27.5%	↓	17.6%	↓	13.7%	↗	5.2%	↗
大和市	72.6%	↘	31.3%	↑	25.7%	↑	11.0%	↓	4.6%	↘
伊勢原市	71.9%	↘	30.1%	↗	20.9%	↓	12.9%	↘	4.2%	↓
海老名市	71.6%	↘	28.8%	↘	21.9%	↓	13.3%	↗	4.9%	↘
座間市	73.6%	↗	33.5%	↑	19.9%	↓	14.6%	↑	4.8%	↘
南足柄市	75.6%	↗	28.7%	↘	21.5%	↘	14.2%	↗	4.4%	↘
綾瀬市	72.1%	↘	28.2%	↓	26.7%	↑	15.3%	↑	4.9%	↘
葉山町	75.6%	↗	29.3%	↘	26.2%	↑	12.7%	↘	4.4%	↘
寒川町	68.5%	↓	30.0%	↗	26.7%	↑	12.1%	↘	4.5%	↘
大磯町	72.0%	↘	28.6%	↘	19.4%	↓	14.5%	↗	3.3%	↓
二宮町	73.4%	↗	27.5%	↓	15.8%	↓	13.7%	↗	4.1%	↘
中井町	73.0%	↘	30.2%	↗	19.8%	↘	15.5%	↗	3.6%	↘
大井町	69.3%	↘	29.2%	↘	19.8%	↘	10.8%	↘	3.4%	↘
松田町	82.6%	↗	26.1%	↘	15.5%	↘	21.7%	↗	5.8%	↗
山北町	70.7%	↘	27.8%	↘	23.2%	↗	13.8%	↗	5.6%	↗
開成町	62.0%	↓	23.6%	↓	20.8%	↘	11.2%	↘	2.2%	↓
箱根町	74.8%	↗	31.9%	↗	30.4%	↑	13.8%	↗	5.6%	↗
真鶴町	78.3%	↗	28.9%	↘	20.1%	↘	14.7%	↗	6.8%	↗
湯河原町	73.8%	↗	28.9%	↘	20.7%	↘	15.9%	↑	6.6%	↑
愛川町	75.0%	↗	31.1%	↗	23.9%	↗	18.6%	↑	4.5%	↘
清川村	75.1%	↗	31.5%	↗	23.9%	↗	10.4%	↘	2.7%	↘

↑ 県平均割合よりも有意に高い
 ↗ 県平均割合よりも高いが有意ではない
 ↘ 県平均割合よりも低い有意ではない
 ↓ 県平均割合よりも有意に低い

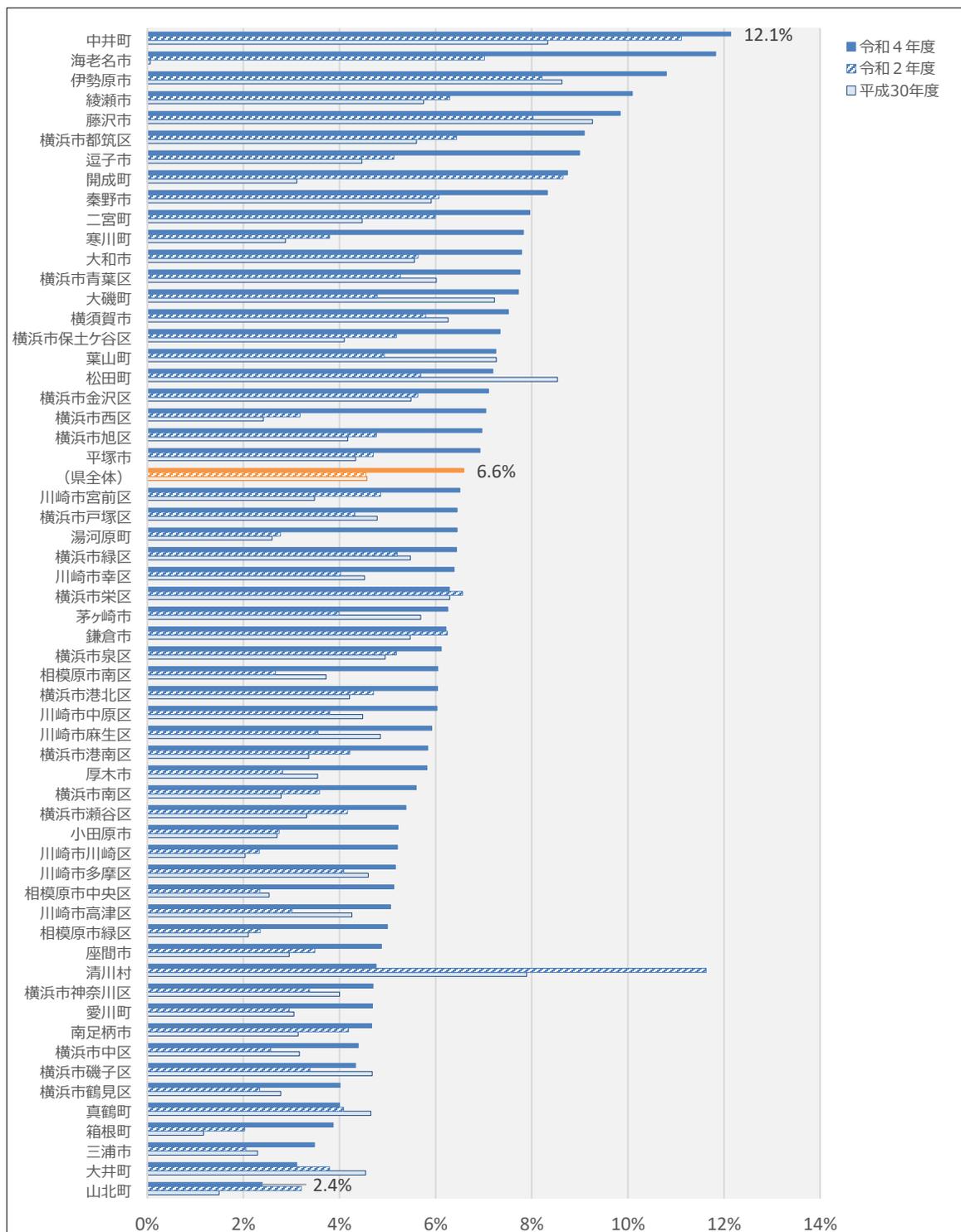
* KDB健康スコアリング（健診）、KDB健診データ（令和4年度）と個別に提供のあった健診データ（横浜市と真鶴町の令和4年度分）をもとに集計
 * 有意差の判定はz検定（両側検定）にて有意水準5%で判断
 * 市区町村別リスク保有者の明細人数については（資料-14）参照

4) 歯科健康診査受診状況

本広域連合における歯科健康診査の受診対象者は、前年度に満75歳に達した被保険者としています。令和4年度については、モデル実施事業に参加いただいた対象3市の80歳到達者も受診対象としましたが、以下の分析においては前者の受診者のみを対象として行っています。

まず、市区町村別の平成30年度、令和2年度、令和4年度の受診状況は以下のとおりです。

【市区町村別の歯科健康診査受診率の推移】



* 本広域連合の持つ歯科健診データをもとに集計

* 受診率を求める際の受診対象者には、本来対象外となる長期入院患者や施設入所者等も含む

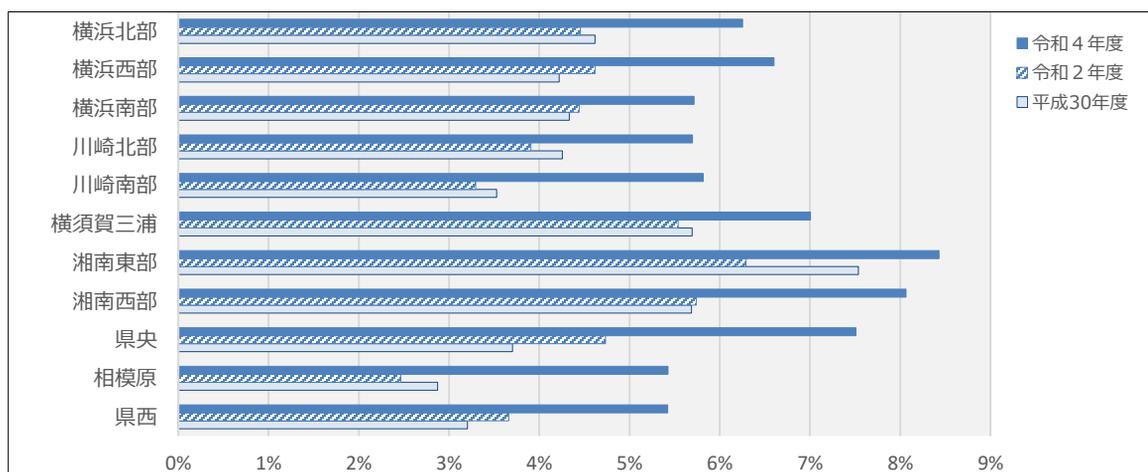
* 市区町村の掲載順は令和4年度受診率の高い順

* 詳細の明細については(資料-15)参照

令和4年度の県全体での平均受診率は6.6%であり、平成30年度、令和2年度が4.5%に留まっていた状況からすると、2ポイント以上の上昇がみられます。市区町村別にみても、ほとんどの市区町村で年度を追っての上昇がみられます。しかしながら、令和4年度に最も高かったのは中井町の12.1%、最も低かったのが山北町の2.4%と約6倍近い開きがあり地域格差が大きいこと、市区町村ごとの受診率推移をみても年度ごとのばらつきが目立つことより、地域ごとのさらなる周知の徹底と受診勧奨の継続が必要な状況です。

同様に対象3年度の受診率を県内二次医療圏域ごとに見たのが次のグラフになります。いずれの圏域においても令和4年度は令和2年度からの大幅な受診率の向上が見られ、特に相模原圏域は令和2年度からの倍増が図られています。また、湘南東部：8.4%、湘南西部：8.1%と、両湘南地域の圏域が高くなっています。受診率の低い圏域は、相模原圏域：5.4%と県西医療圏域：5.4%です。歯科健康診査の受診率に地域差が生じている要因は、今後さらなる検証を行う必要があります。

【二次医療圏域別の歯科健康診査受診率の推移】



- * 本広域連合の持つ歯科健診データをもとに集計
- * 受診率を求める際の受診対象者には、本来対象外となる長期入院患者や施設入所者等も含む
- * 市区町村の掲載順は令和4年度受診率の高い順

(4) 医療費に関する分析

1) 医療費基礎統計値

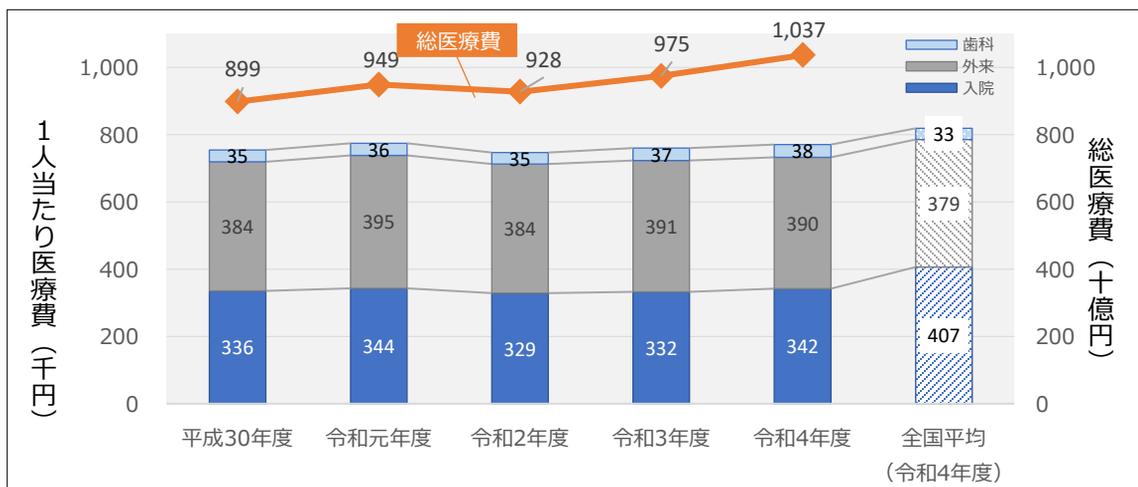
平成30年度から令和4年までの5年間における診療報酬明細（レセプト）をもとにした総医療費に関する基礎数値は以下のとおりです。

【総医療費に関する基礎数値】

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(参考) 令和4年度 全 国
被保険者数 (人)		1,190,695	1,225,232	1,241,551	1,281,505	1,346,133	20,577,819
レセプト件数 (千件)	入院	689	701	645	655	682	13,425
	外来	17,654	18,244	17,338	18,182	19,127	283,984
	歯科	2,977	3,201	2,935	3,253	3,547	46,959
	(計)	21,319	22,147	20,918	22,090	23,356	344,368
医療費 (百万円)	入院	399,908	420,938	408,515	425,816	460,654	8,366,203
	外来	457,138	483,883	476,200	501,456	525,285	7,803,542
	歯科	41,467	44,235	43,124	47,265	50,947	683,094
	(計)	898,514	949,056	927,839	974,537	1,036,886	16,852,839
実日数 (千日)	入院	10,778	11,030	10,413	10,450	10,684	232,550
	外来	30,578	31,065	28,711	30,113	31,436	470,866
	歯科	5,594	5,872	5,367	5,766	6,125	82,475
	(計)	46,949	47,967	44,490	46,328	48,246	785,891
1人当たり医療費 (円/人)	入院	335,861	343,558	329,036	332,278	342,206	406,564
	外来	383,925	394,932	383,552	391,303	390,218	379,221
	歯科	34,826	36,103	34,734	36,883	37,847	33,196
	(計)	754,613	774,593	747,322	760,463	770,270	818,981
1件当たり日数 (日/件)	入院	15.6	15.7	16.2	16.0	15.7	17.3
	外来	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.7
	歯科	1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.8
	(計)	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.3
1日当たり医療費 (円/日)	入院	37,104	38,162	39,233	40,750	43,116	35,976
	外来	14,950	15,577	16,586	16,652	16,710	16,573
	歯科	7,413	7,534	8,035	8,198	8,317	8,282
	(計)	19,138	19,786	20,855	21,035	21,492	21,444
1人当たり件数 (件/人)	入院	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.7
	外来	14.8	14.9	14.0	14.2	14.2	13.8
	歯科	2.5	2.6	2.4	2.5	2.6	2.3
	(計)	17.9	18.1	16.8	17.2	17.4	16.7

* KDB健康スコアリング（医療）より集計

【総医療費と1人当たり医療費の推移】

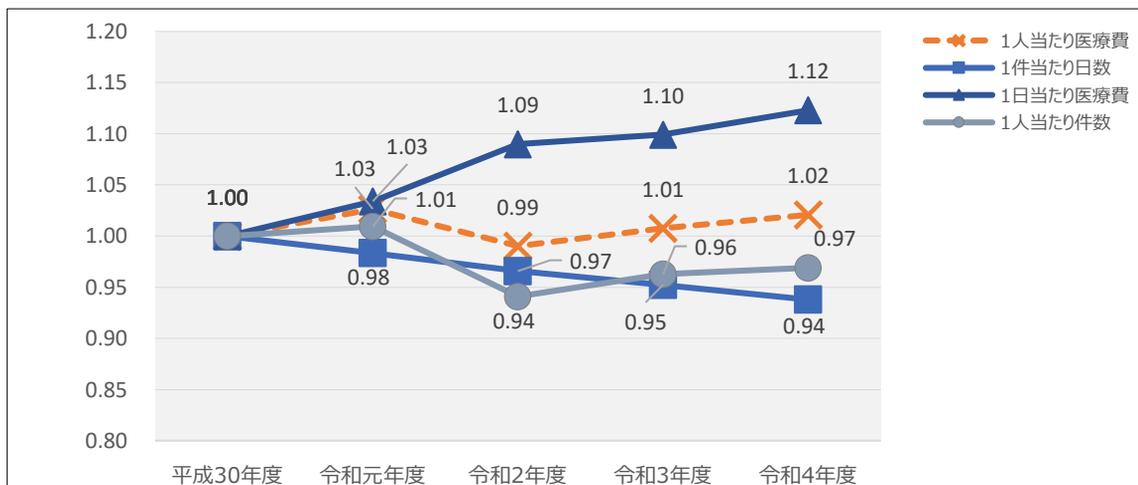


* KDB健康スコアリング（医療）より集計
* 詳細の明細については（資料－16）参照

平成30年度から5年間の総医療費の状況を見ると、平成30年度に令和2年度は新型コロナウイルスによる感染リスクを回避するために患者が受療行動を控えたり、医療機関においては感染者の急増への対応で入院制限等を余儀なくされたため、一旦、総医療費は減少しましたが、令和3年度では再び増加に転じました。令和4年度の総医療費は、令和3年度よりも更に5%以上の増加となっています。全国平均と比較すると、入院医療費の低さにより1人当たり医療費全体では低いものの、令和3年度から令和4年度への伸び率：1.3%は全国平均：0.6%を上回っています。

更に被保険者1人当たりの医療費を「医療費の3要素」ごとに見ていくと、「1件あたり日数」は毎年減少傾向、「1人あたり件数」は令和2年度に大幅減少しその後微増傾向にあります。一方、「1日当たり医療費」は毎年増加傾向にはあるものの、令和2年度以降大幅に増加しています。この「1日当たり医療費」の数値は、患者の受療行動の要因だけでなく、医療機関の要因にも影響されることから、どちらの傾向が影響しているか考慮する必要がありますが、令和2年の変動は新型コロナウイルス禍に起因するものであり、令和3年度以降も少ない期間・回数で密度の濃い医療を受ける（または医療機関側からの提供）といった変化が継続していると判断することができます。

【医療費3要素の推移（平成30年度を1とした年度変化）】

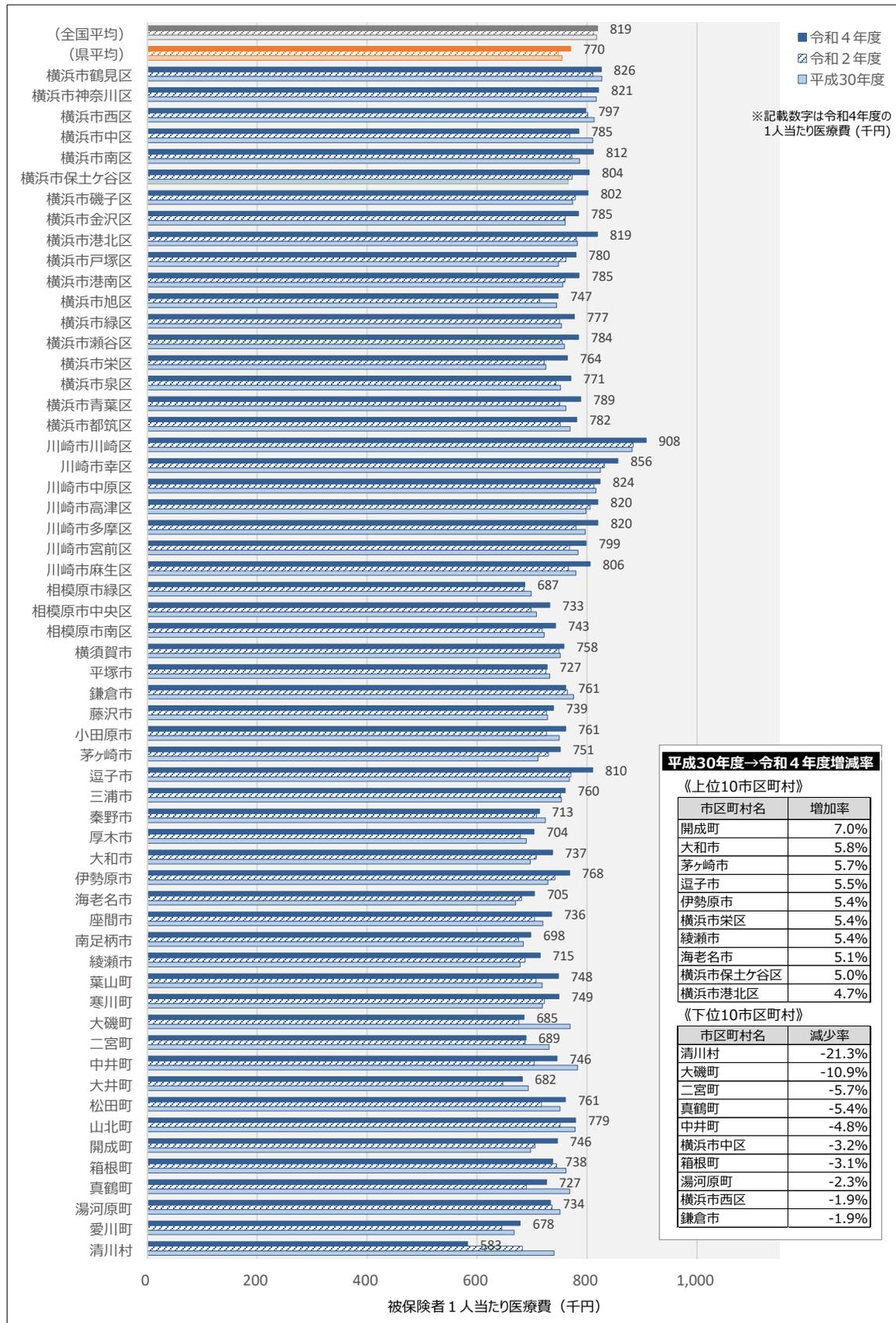


* KDB健康スコアリング（医療）より集計
* 詳細の明細については（資料－16）参照

2) 地域別の被保険者1人当たり医療費

平成30年度、令和2年度、令和4年度の市区町村別被保険者1人当たり医療費は以下のとおりです。

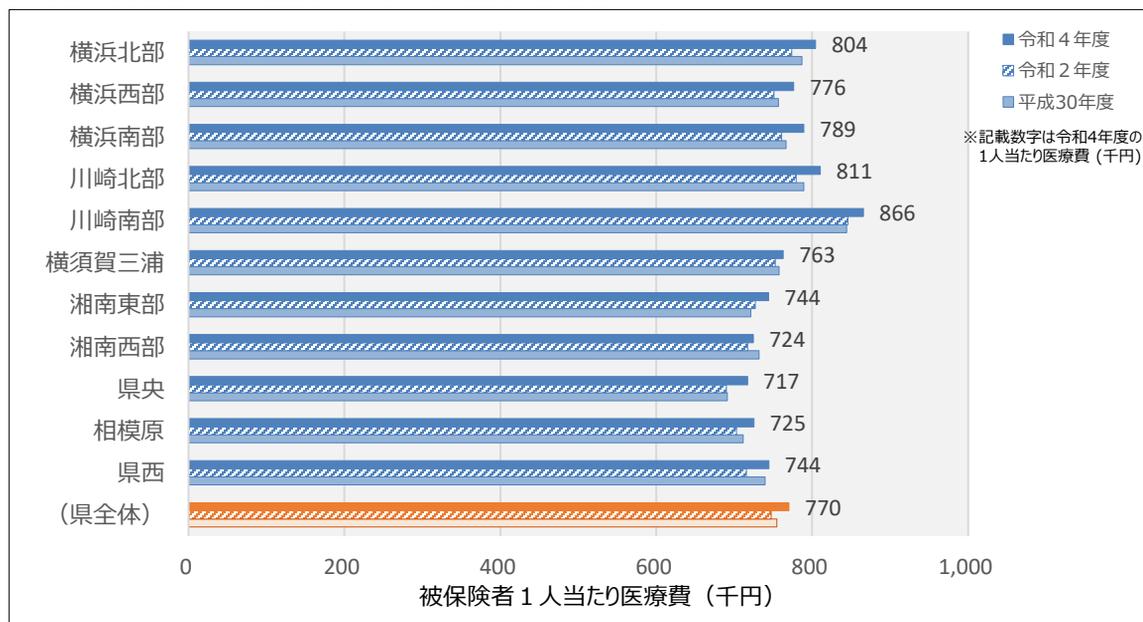
【市区町村別の被保険者1人当たり医療費の推移】



* KDB健康スコアリング(医療)より集計
 * 詳細の明細については(資料-16)参照

また、県内二次医療圏域別の被保険者1人当たり医療費は以下のとおりです。

【二次医療圏域別の保険者1人当たり医療費の推移】

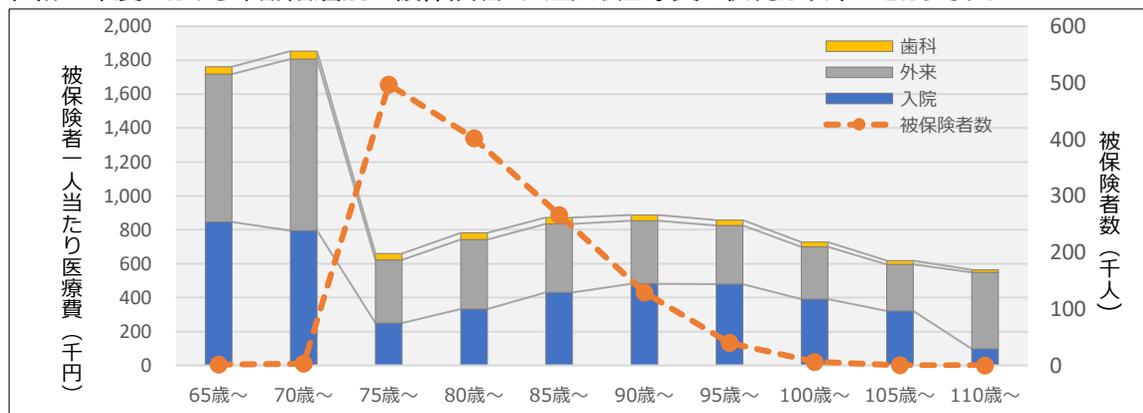


* KDB健康スコアリング（医療）より集計

二次医療圏域別でみると、評価対象の3年度共に「川崎南部」が最も高く、「県央」が最も低くなっています。また、「川崎南部」と「湘南東部」だけは連続して上昇を続けていますが、平成30年度から令和4年度の上昇率でみると、程度の差こそあるものの「湘南西部」を除くすべての圏域で上昇しています。なお、この5年間での圏域間格差についてはほとんどみられませんでした。

《参考》年齢階層別の1人当たり医療費

令和4年度における年齢階層別の被保険者1人当たり医療費の状況は以下のとおりです。

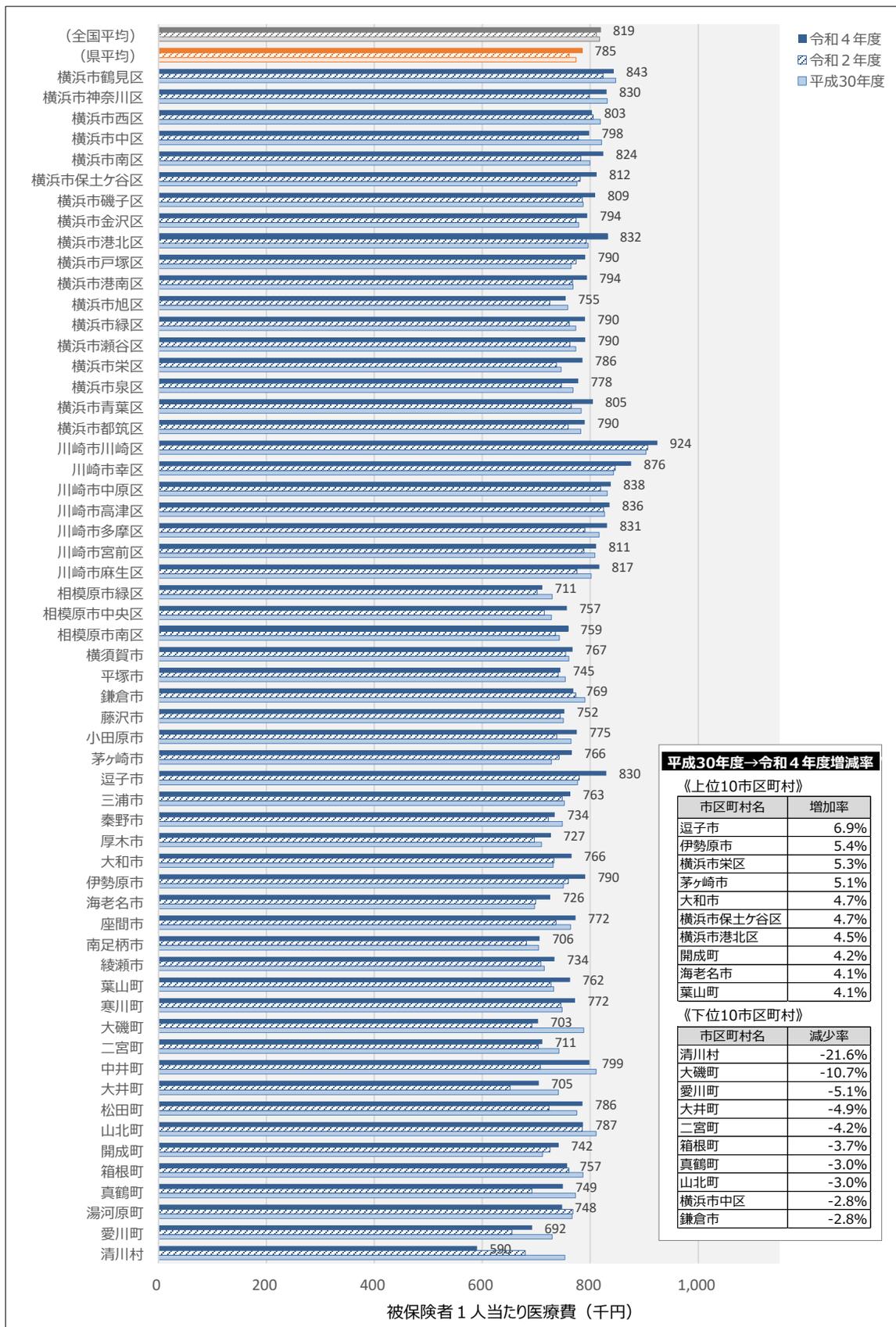


* KDB健康スコアリング（医療）より集計

令和4年度における年齢階層別の被保険者1人当たり医療費をみると、75歳未満においては非常に高くなっているのがわかりますが、被保険者数、総医療費ともに全体の1%未満であり、全体としての1人当たり医療費にほとんど影響はありません。一方、75歳以上においては、主に入院医療費の増加に伴い1人当たり医療費も増加し、90～94歳でピークに達しますが、95歳以上では減少に転じています。このことより、比較的1人当たり医療費の高い85歳～94歳の年齢階層の被保険者数の割合が高い地域ほど、1人当たり医療費も高くなる傾向にあることがわかります。

被保険者の年齢階層別構成の違いによる影響を極小化するために、各市区町村の年齢調整を実施した場合の1人当たり医療費は以下のとおりです。

【被保険者の1人当たり医療費の推移（年齢調整後）】



平成30年度→令和4年度増減率

《上位10市区町村》

市区町村名	増加率
逗子市	6.9%
伊勢原市	5.4%
横浜市栄区	5.3%
茅ヶ崎市	5.1%
大和市	4.7%
横浜市保土ヶ谷区	4.7%
横浜市港北区	4.5%
開成町	4.2%
海老名市	4.1%
葉山町	4.1%

《下位10市区町村》

市区町村名	減少率
清川村	-21.6%
大磯町	-10.7%
愛川町	-5.1%
大井町	-4.9%
二宮町	-4.2%
箱根町	-3.7%
真鶴町	-3.0%
山北町	-3.0%
横浜市中区	-2.8%
鎌倉市	-2.8%

* KDB健康スコアリング（医療）のデータをもとに直接法により年齢調整を実施
 * 詳細の明細については（資料－17）参照

《参考》 医療費の将来予測

「第3章(1)1)」で述べた年齢階層別被保険者数の推移予測結果をもとに、総医療費の令和17年度までの将来予測を行ってみました。予測を行う際の変動要素としては以下の2つに限定しています。

①年齢階層別の被保険者数がどのように変化していくか？

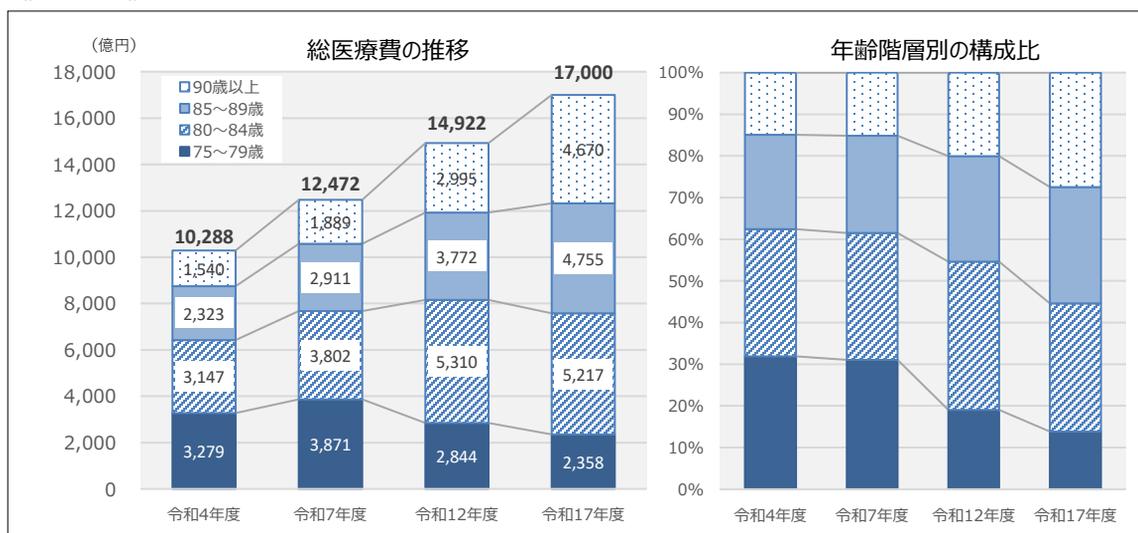
②年齢階層別の1人当たり医療費がどのように変化していくか？

①については前述の年齢階層別被保険者数の推移予測結果をそのまま採用しています。②については医療技術の進歩や社会環境の変化等により、かなり予測しづらい側面がありますが、以下の2つのケースを想定して実施してみました。

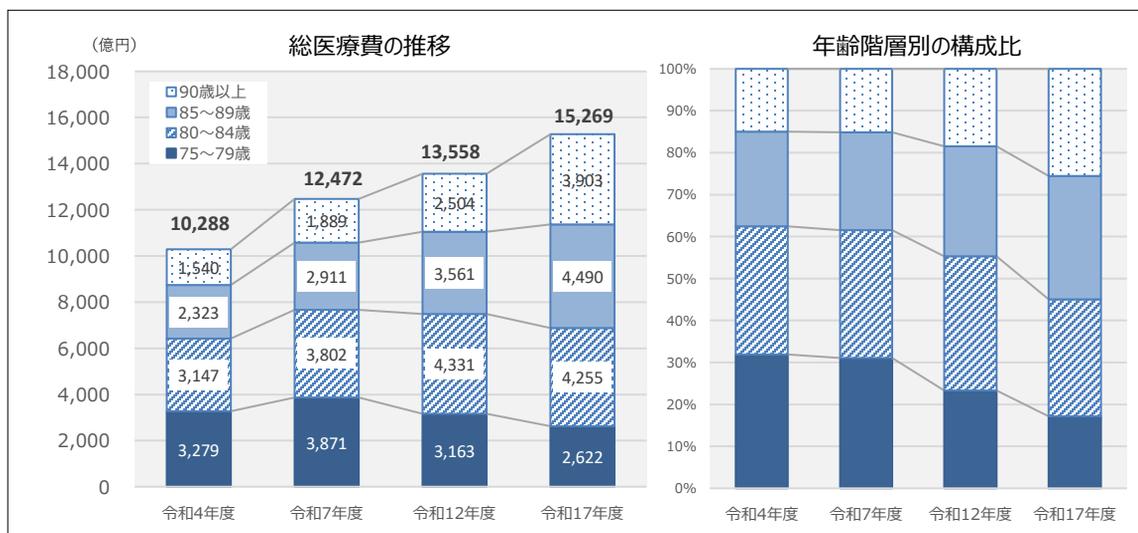
《ケース1》 令和3年度から令和4年度の伸び率がそのまま継続していくと想定した場合

《ケース2》 令和7年度までは令和3年度から令和4年度までの伸び率がそのまま継続するが、それ以降は平成30年度から令和4年度までの伸び率で推移すると想定した場合

《ケース1》



《ケース2》



令和7年度は令和4年度から約2,000億円増えて1.25兆円、令和12年度には1.36兆円~1.49兆円、さらに令和17年度には1.5~1.7兆円と大幅な上昇結果となりました。また、年齢階層別では令和12年度の時点で80歳以上の年齢階層で全体の約7割を占めるといった結果となりました。

3) 高額医療費の状況

次に、1人当たり医療費増加の要因となる高額レセプト（30万円以上/件）、長期入院レセプト（入院期間：6ヵ月以上）、人工透析レセプトの状況を見てみます。

まず、高額・長期レセプトの発生状況の推移は以下のとおりです。高額レセプトの発生割合は微増傾向にあります。長期入院レセプトの発生割合は、令和2年度に一旦上昇したものの、令和4年度は平成30年度レベルに低下しています。令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあって全体の入院医療費は減少したにも関わらず長期入院の割合は増加したことになります。なお、歯科の長期入院については件数も微小に留まっています。

【高額・長期レセプトの発生状況推移】

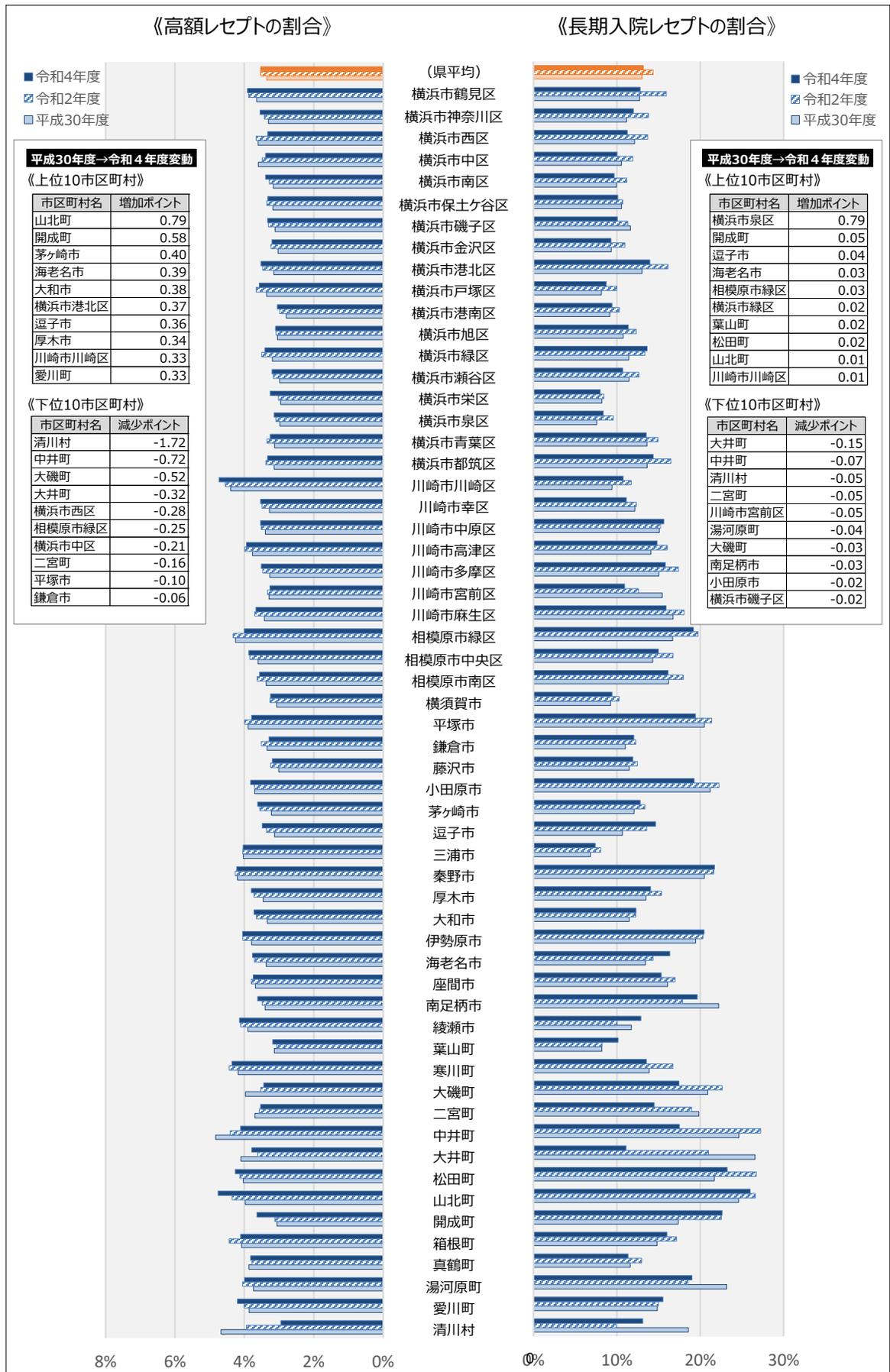
		年 度	平成30年度	令和2年度	令和4年度
被保険者数（人）			1,190,695	1,241,551	1,346,133
高額レセプト (30万円以上/件)	(医科)	レセプト件数	18,342,757	17,982,839	19,809,458
		該当レセプト件数	615,541	635,672	699,379
		(割合)	3.36%	3.53%	3.53%
	(歯科)	レセプト件数	2,976,711	2,935,079	3,546,633
		該当レセプト件数	662	670	750
		(割合)	0.02%	0.02%	0.02%
長期入院レセプト (入院期間:6ヵ月以上)	(医科)	入院レセプト件数	688,706	644,594	681,963
		該当レセプト件数	89,703	92,303	89,803
		(割合)	13.02%	14.32%	13.17%
	(歯科)	入院レセプト件数	2,511	1,881	2,002
		該当レセプト件数	8	1	0
		(割合)	0.32%	0.05%	0.00%

* KDB健康スコアリング（医療）より集計

* 市区町村別の詳細については（資料-18）を参照

さらに、医科レセプトにおけるこれらの発生状況を市区町村別に経年でまとめたものが次ページのグラフになります。高額レセプトの割合は、どの市区町村においても年度による変動は小幅に収まっており、また、市区町村による違いも小さい状況です。一方、長期入院レセプトの割合はどの市区町村においても年度による変動も大きく、市区町村によっても3倍以上の大きなばらつきが見られます。

【市区町村別の高額・長期入院レセプト割合の推移（医科のみ）】



* KDB健康スコアリング（医療）より集計
 * 市区町村の掲載順は令和4年度における該当レセプト割合が両方とも相対的に高い順（それぞれの該当レセプト割合から求めた偏差値の合計順）
 * 詳細の明細については（資料-18）参照

次に、糖尿病や糖尿病性腎症を中心とした人工透析導入者数の状況は以下のとおりです。まず人工透析導入数は被保険者数の増加に伴い増加していますが、対象者の割合は5年間でほぼ横ばいの状況です。また、最も注目すべきであるところの、導入者数に占める新規導入者数の割合については、令和2年度に微増したものの、令和4年度においては平成30年度とほぼ同一レベルに戻っています。

【人工透析導入者数の推移】

	平成30年度	令和2年度	令和4年度
被保険者数（人）	1,124,660	1,173,080	1,264,236
人工透析導入者数（人） （被保険者数に占める割合）	9,805 (0.9%)	10,497 (0.9%)	11,341 (0.9%)
新規導入者数（人）[上記の内数] （新規導入者数に占める割合）	1,097 (11.2%)	1,233 (11.8%)	1,266 (11.2%)

*「新規人工透析者数等集計表（令和5年9月提供）」（令和5年度データ分析支援事業として神奈川県国保連合会にて独自作成）をもとに集計

*各年度の被保険者数は、元データ作成仕様の相違により、KDBから集計したものと異なることに注意

*詳細の明細については（資料－19）参照

さらに、人工透析導入者の発生状況を市区町村別に経年でまとめたものが次ページのグラフになります。被保険者に占める導入者割合の増減傾向については、被保険者数の少ない清川村での変動（大幅減少）を除くと、いずれの市町村も小幅な変動に収まってはいるものの、その中でも増加率の高い上位3町はいずれも県西部に集中しています。さらに、導入者に占める新規導入者割合の増減傾向を見ると、市町村によりかなりばらつきが見られます。

《参考》 令和4年度における人工透析患者の医療費状況について

令和4年度のレセプトをもとにした人工透析患者の医療費の状況は以下のとおりです。

まず人工透析患者数は11,746人であり、被保険者数全体の0.9%ではあるものの、人工透析患者の医療費が占める割合は県全体医療費の6.3%に達しています。また、1人当たり医療費は700万円（被保険者平均の9.1倍）を越えており、医療費増加の大きな要因となっていることがわかります。

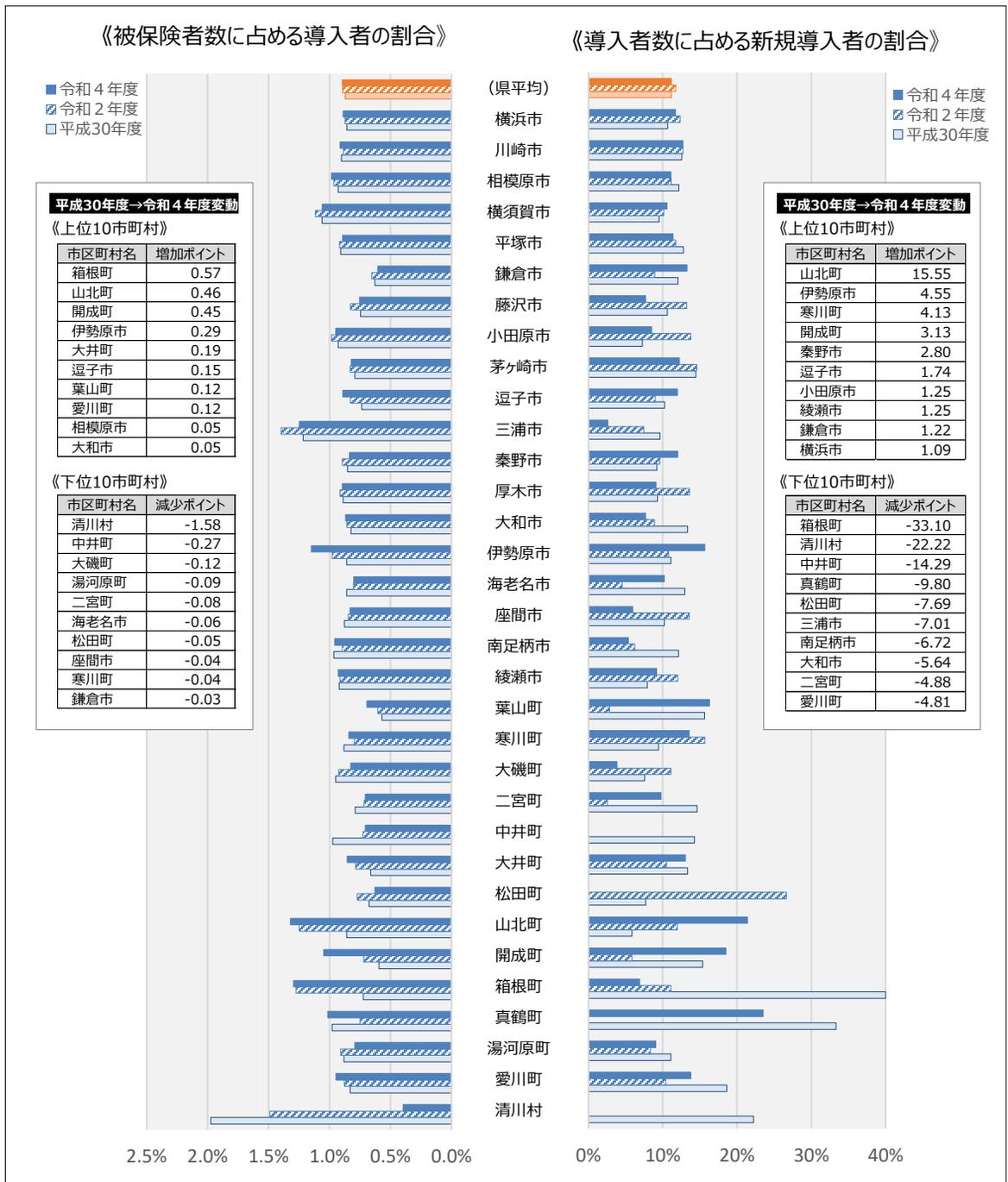
【人工透析患者の医療費状況（令和4年度）】

	被保険者全体 (a)	人工透析患者 (b)	割合 (b/a)
対象者数（人）	1,346,133	11,746	0.9%
全体医療費（百万円）	1,036,886	64,874	6.3%
1人当たり医療費（円）	770,270	7,016,100	910.9%

* KDB厚労省様式2-2人工透析患者一覧データをもとに、該当者の令和4年度レセプトデータを突合させて集計

* 被保険者数および人工透析患者数は、元データ作成仕様の相違により前述した人工透析導入者数と異なる

【市町村別の人工透析導入者割合の推移】



*「新規人工透析者数等集計表（令和5年9月提供）」（令和5年度データ分析支援事業として神奈川県国保連合会にて独自作成）をもとに集計（集計は政令市についても行政区単位ではなく市単位に集計されている）

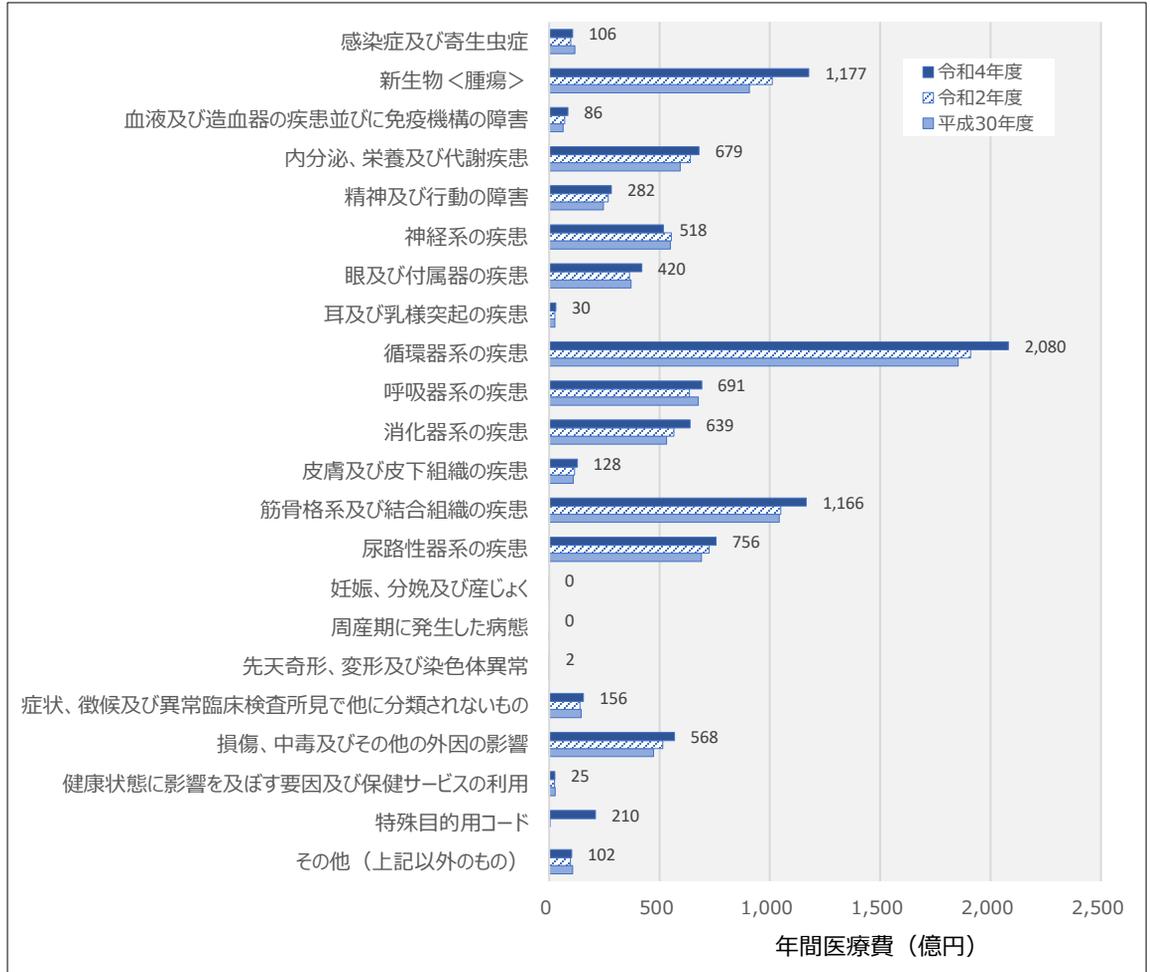
* 詳細の明細については（資料-19）参照

4) 疾病別医療費の状況

平成30年度・令和2年度・令和4年度における疾病別医療費の状況について見ていきます。

まず、疾病の大分類別の医療費の状況は以下のとおりです。どの年度もよく似た構成と傾向を示していますが、令和4年度にのみ「特殊目的用コード」が発生しています。これは、COVID-19によるものです。

【大分類による疾病別医療費の推移】



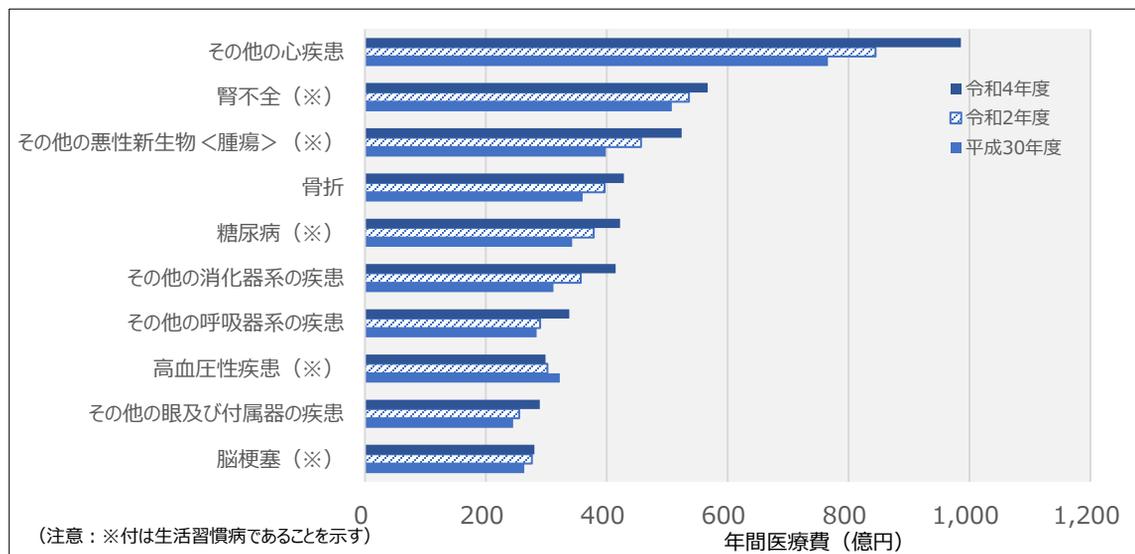
* KDB医療費分析(2) (大中細小分類) データより集計
 * 詳細の明細については (資料-20) 参照

大分類による疾病別医療費で最も多く医療費を占めるのは「循環器系の疾患」であり、令和4年度で見ると、総医療費: 1兆37億円に対して2,080億円と、医療費全体の2割を占めています。

次いで、「新生物<腫瘍>」と「筋骨格系及び結合組織の疾患」が多く、それぞれ全体の1割以上を占めています。この3分類の医療費は、平成30年度との比較においていずれも10%以上の伸びを示しており、今後も確実に増えてくるものと予想されます。

次に中分類で見ていくと、最も医療費が多いのは「その他の心疾患」、続いて「腎不全」となります。この2疾病は対象とした年度に共通して上位2疾病となっています。また「その他の心疾患」は、他の10疾病分類の中で5年間の増加率も最も高くなっており、今後のさらなる増加も予想されます。なお、これら上位10疾病分類の半数となる5疾病分類は生活習慣病に分離される疾病分類となっています。

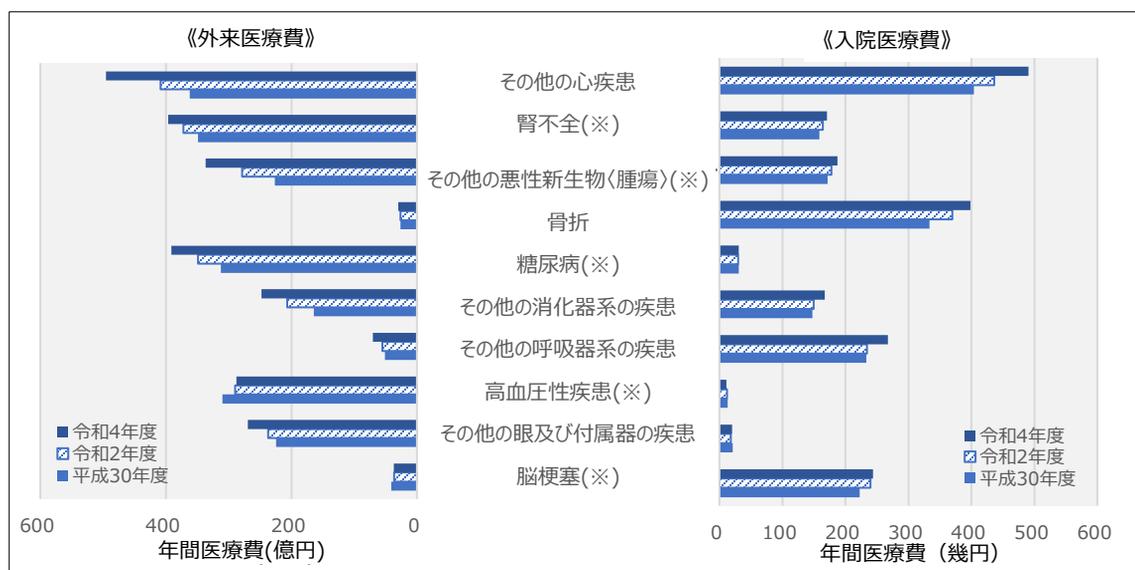
【中分類による疾病別医療費の上位10分類（総医療費）】



- * KDB医療費分析(2) (大中細小分類) データより集計
- * 掲載した中分類は令和4年度の総医療費上位10分類 (表示順も令和4年度の総医療費の多い順)
- * 詳細の明細については(資料-2.1)、市区町村別の上位5分類については(資料-2.2) 参照

中分類による疾病別医療費をさらに入院医療費と外来医療費に分解してみると、総医療費で一位だった「その他の心疾患」は入院・外来別でもいずれも一位となっています。一方、「糖尿病」・「高血圧性疾患」・「その他の眼及び付属器の疾患」は外来に多く、「骨折」・「脳梗塞」は入院に多くなっています。年齢階層別の1人当たり医療費においても高齢化に伴って入院医療費の増加が顕著でしたが、その要因の一つが長期の入院治療が必要となる高齢者の「骨折」や「脳梗塞」にあると見ることができます。

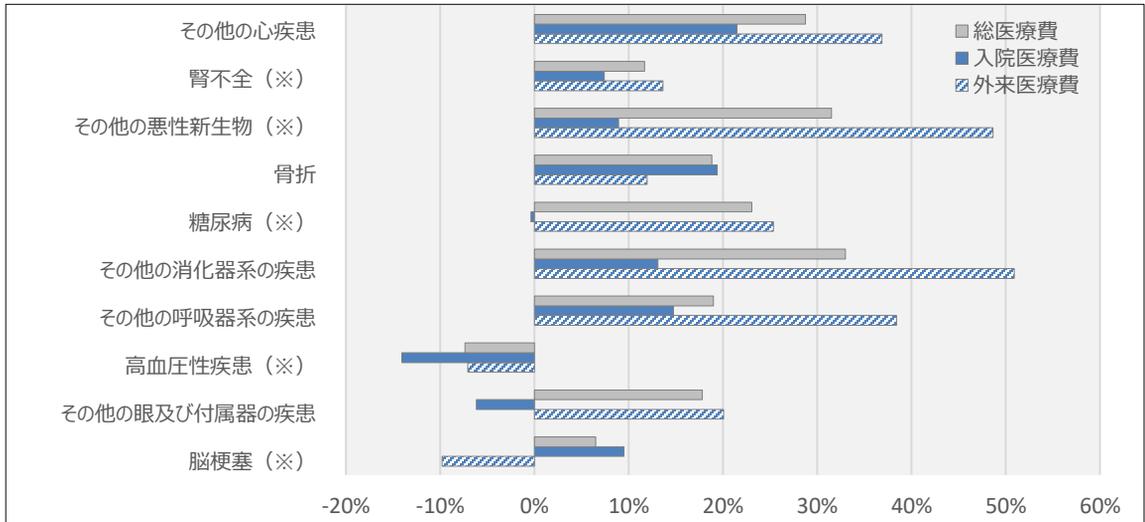
【上位10分類の入院/外来別医療費】



- * KDB医療費分析(2) (大中細小分類) データより集計
- * 掲載した中分類は令和4年度の総医療費上位10分類 (表示順も令和4年度の総医療費の多い順)

平成30年度から5年間で疾病別医療費の増加率を見ると、対象10疾病のうち上位7疾病については、入院・外来ともに増加しており、今後もこの傾向は継続が予想されます。

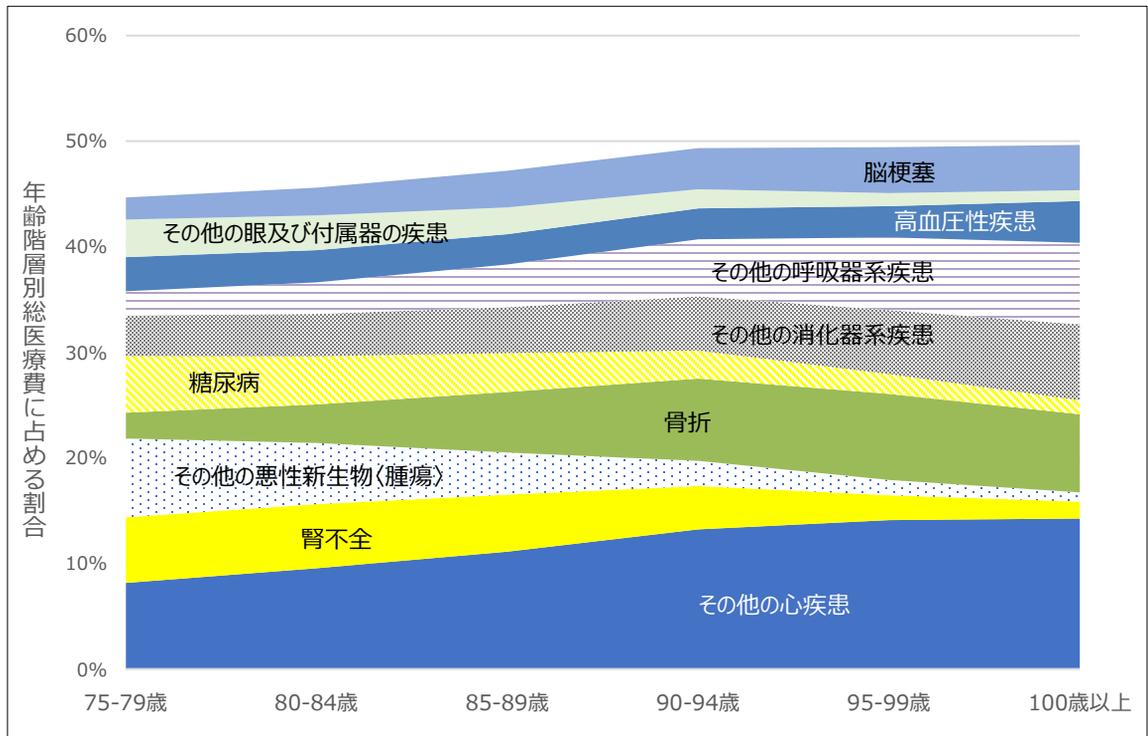
【平成30年度から5年間の疾病別医療費増加率】



* KDB医療費分析(2) (大中細小分類) データより集計
 * 掲載した中分類は令和4年度の総医療費上位10分類 (表示順も令和4年度の総医療費の多い順)

さらに、75歳以上の被保険者について、加齢に伴ってこれら上位10疾病ごとの医療費の割合がどのように変化していくのかを見たものが、次のグラフのようになります。

【上位10分類の年齢階層別総医療費に占める割合 (令和4年度)】



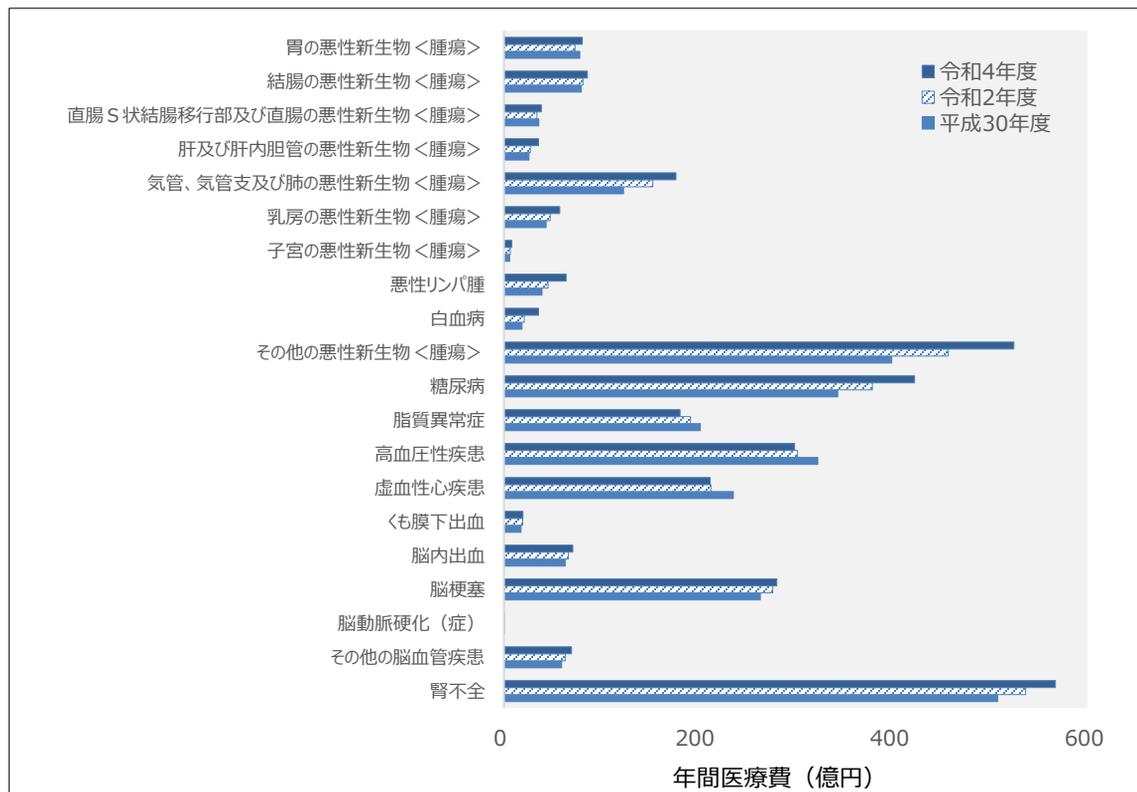
* KDB医療費分析(2) (大中細小分類) データより集計

75歳以上の場合、すべての年齢階層において「その他の心疾患」の割合が最も高くなっています。「腎不全」、「その他の悪性新生物<腫瘍>」、「糖尿病」については、高齢になるほど低下していますが、「その他の心疾患」、「骨折」、「その他の呼吸器系疾患」については、高齢になるにつれて増加しています。

5) 生活習慣病の医療費

全医療費に占める生活習慣病医療費の占める割合は各年度ともに約33%前後で、大きな変動は見られません。また、各年度共通して「腎不全」、「その他の悪性新生物〈腫瘍〉」、「糖尿病」が上位を占めており、いずれも高い増加率を示しています。なお、「脂質異常症」、「高血圧性疾患」、「虚血性心疾患」は減少傾向にあります。

【生活習慣病の医療費推移】



* KDB医療費分析(2)(大中細小分類)データより集計

*掲載した中分類はコード順

*詳細の明細については(資料-23)参照

6) 健康診査受診と医療費の関係

令和4年度内の資格保有者を、平成30年度から令和4年度までの5年間に健康診査を受診したことがある集団（受診あり）と無い集団（受診なし）に分けて、令和4年度の一人当たり医療費を比較してみました。その結果が下表のとおりです。

【過去5年間の健康診査受診有無による令和4年度1人当たり医療費の比較】

	対象者数（人）	令和4年度の1人当たり医療費（円）			
		入院	外来	歯科	（合計）
受診あり	283,302	134,131	332,272	43,519	509,922
受診なし	1,052,077	412,293	409,802	36,298	858,392
（差額）	－	-278,162	-77,530	7,221	-348,470

* KDB健診データをもとに令和4年度のレセプトデータを突合して集計

令和4年度内の資格保有者:1,335,379人のうち、過去5年間の健康診査データが存在した方は283,302人でした。この「受診あり」集団の1人当たり医療費は509,922円、一方「受診なし」集団の1人当たり医療費は858,392円であり、「受診あり」集団のほうが348,470円と40%以上も低いという結果になりました。診療種別ごとにみると、「受診あり」集団は入院医療費と外来医療費は低いのに、歯科診療費については高くなっています。一般的に歯科の診療については医科以上に予防的意味合いが高いこともあり、「受診あり」集団の健康に対する意識は高く、健康診査の積極的受診行動や発症予防（または重症化予防）行動につながっており、その結果として医療費の抑制に結び付いているものと推察されます。

歯科健康診査は、令和4年度内の資格保有者が、年度末年齢:75歳時に歯科健康診査を受診した集団の令和4年度1人当たり医療費を、令和4年度の被保険者全体の1人当たり医療費と比較を行いました。その結果は下表のとおりです。

【過去5年間の歯科健康診査受診者の令和4年度1人当たり医療費比較】

	対象者数	令和4年度の1人当たり医療費（円）			
		入院	外来	歯科	（合計）
歯科健康診査受診者	24,611	184,538	362,763	47,273	594,575
被保険者全体	1,335,379	353,281	393,354	37,830	784,464
（差額）	－	-168,742	-30,590	9,444	-189,889

令和4年度内の資格保有者:1,335,379人のうち、過去5年間の歯科健康診査データが存在した方は24,611人でした。この集団の1人当たり医療費は594,575円、一方、被保険者全体の1人当たり医療費は784,464円であり、歯科健康診査受診者のほうが189,889円と約24%低いという結果になりました。

7) 重複受診等の状況

医療費適正化の観点から、本広域連合でもその対策に取り組んでいる重複受診等として、

- ①重複受診：1ヵ月間に同一疾病(傷病コード)を理由に3医療機関以上受診している、かつ複数月連続して受診している
- ②頻回受診：頻回受診：1ヵ月間に同一医療機関を15回以上受診している、かつ3ヵ月連続して受診している
- ③重複服薬：1ヵ月間に同系薬品(薬価基準コード先頭7桁)の処方日数の合計が60日を超えている、且つ3ヵ月連続して超えている

があります。これらの令和4年度の発生状況は下表のとおりです。

【重複受診等の該当者数（令和4年度）】

	対象者の特別な事情を考慮しない場合			対象者の特別な事情を考慮した場合		
	重複受診	頻回受診	重複服薬	重複受診	頻回受診	重複服薬
対象者数(人)	7,010	4,879	1,828	1,462	2,457	449
被保険者数に占める割合	0.52%	0.36%	0.14%	0.11%	0.18%	0.03%

* 令和4年度のレセプトデータから抽出集計

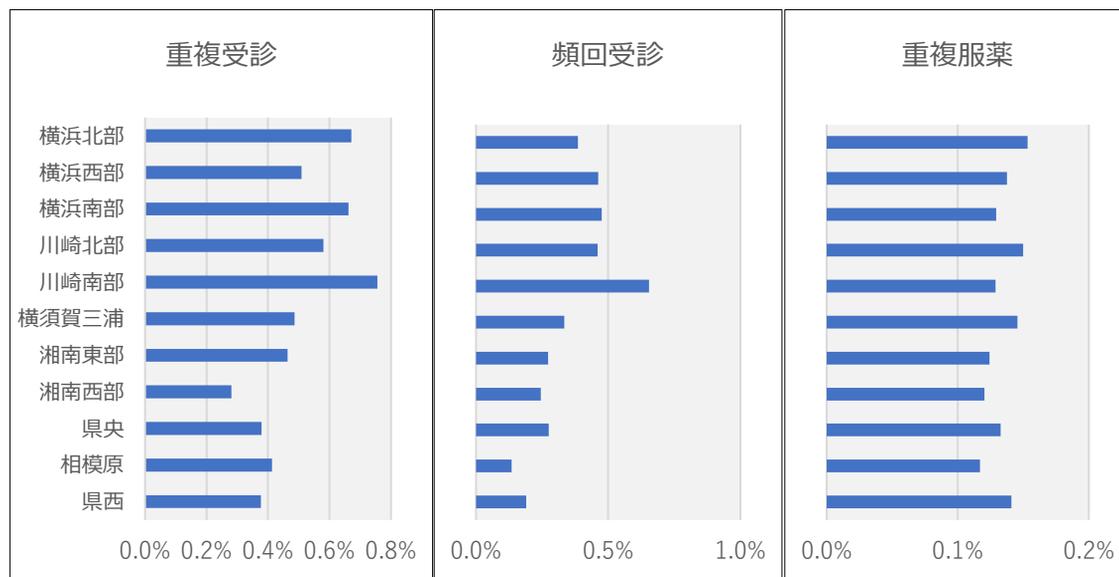
* 「特別な事情」とは、対象者が特定の疾患・治療の対象となっており、改善指導が不要、または不適切と判断される場合を示す

* 市区町村別の明細については（資料-24）参照

市区町村別の発生状況（該当者率）については次ページの通りです。これを見ると、強い相関関係にはないものの、重複受診者の割合が高い市区町村は頻回受診者の割合も高い傾向が見られます。また、重複服用の対象者割合は、重複受診や頻回受診の対象者割合に比べ低く、市区町村ごとのばらつきも小さくなっています。

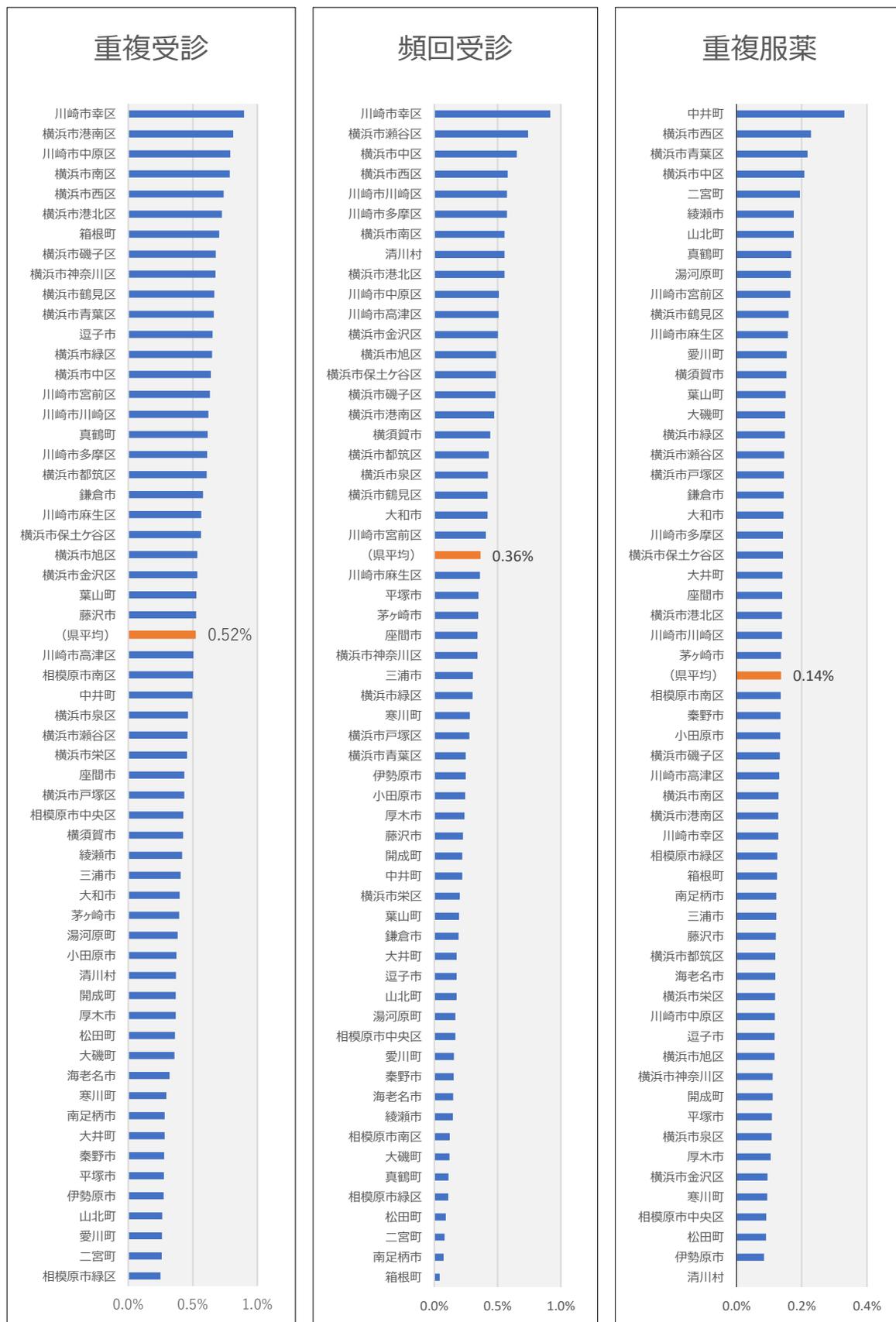
同様に二次医療圏域別での発生状況について見ると、横浜市と川崎市の圏域は、他の圏域に比べて重複受診と頻回受診が高めとなっています。

【二次医療圏域別の重複受診等対象者の被保険者数に占める割合（令和4年度）】



* 令和4年度分のレセプトデータより集計

【市区町村別の重複受診等対象者の被保険者数に占める割合（令和4年度）】



* 令和4年度分のレセプトデータより集計
 * 重複受診は「1か月間に同一疾病(傷病コード)を理由に3医療機関以上受診している、かつ複数月連続して受診している者」を対象に抽出
 * 頻回受診は「1か月間に同一医療機関を15回以上受診している、かつ3ヵ月連続して受診している者」を対象に抽出
 * 重複服薬は「1か月間に同系薬品(薬価基準コード先頭7桁)の処方日数の合計が60日を超えている、且つ3箇月連続して超えている者」を対象に抽出
 * 市区町村の掲載順は令和4年度における該当者率の高い順
 * 詳細の明細については(資料-24)参照

8) ジェネリック医薬品の普及状況

先発医薬品からジェネリック医薬品（後発医薬品）への切り替えを被保険者に促し、薬剤費の削減を行うことで、医療費の適正化を図ることができます。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの被保険者に対してアプローチできる利点があり、本広域連合でも積極的に取り組んでいる事業のひとつです。

令和4年度の医薬品の使用状況は下表のとおりです。なお、市区町村別および二次医療圏域別での大きな地域差はみられませんでした。

【医薬品の使用状況（令和4年度）】

	数量ベース（百万単位）		金額ベース（億円）		差額（億円）	
	先発	後発	先発	後発	最大	最小
医薬品使用量	543.6	1,954.7	313.8	339.4	153.6	134.1
ジェネリック普及率		78.2%		52.0%		

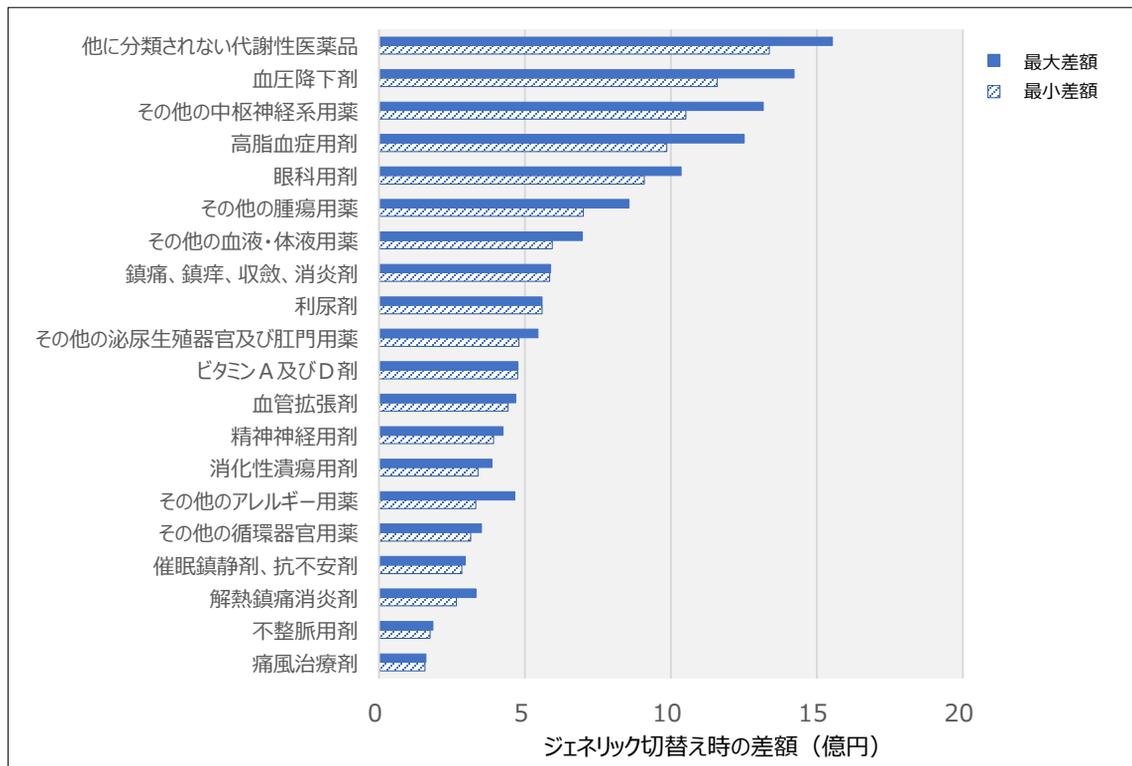
* 令和4年度のレセプトデータから抽出集計（金額は処方時点の単価×数量×回数で計算）

* 差額の最大/最小は、使用した先発薬に対する後発品のうち、最も単価が安い/高いものに変えた場合の差額を示す（対応する後発薬がない場合はゼロ）

* 市区町村別の使用状況については（資料-25）参照

次に、令和4年度の医薬品使用実績と各医薬品の切り替え状況に基づいて、薬効別でのジェネリック切り替えポテンシャル（期待効果額）を示したものが次のグラフになります。

【薬効分類でみたジェネリック切替えポテンシャル（上位20分類）】



* 令和4年度のレセプトデータから抽出集計

* 差額の最大/最小は、使用した先発薬に対する後発品のうち、最も単価が安い/高いものに変えた場合の差額を示す（対応する後発薬がない場合はゼロ）

* 薬効分類の掲載順除はジェネリック切替え自の最小差額が大きい順

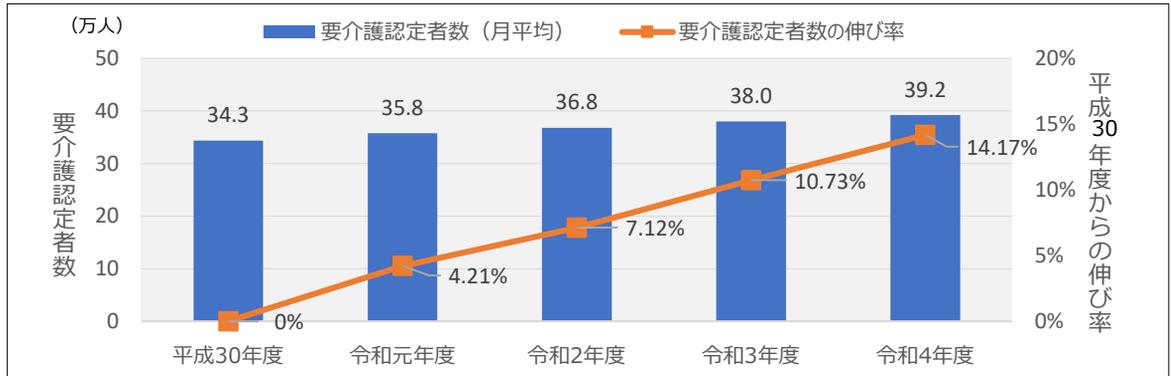
薬効別のジェネリック切替えポテンシャルが最も高いのは、関節痛治療薬等を含む「他に分類されない代謝性医薬品」、高血圧治療薬の「血圧降下剤」、不眠症治療薬等を含む「その他の中枢神経系用薬」が上位を占めています。

(5) 介護に関する分析

1) 要介護認定者数の状況

平成30年度から令和4年までの5年間における要介護認定状況については、本計画「第2章(1)2)」で述べた通り、要介護認定者数は平成30年度以降毎年1万人以上の増加が続いており、平成30年度からの5年間で約14%の増加となっています。

【75歳以上の要介護認定者数とその伸び率（対平成30年度）】（再掲）



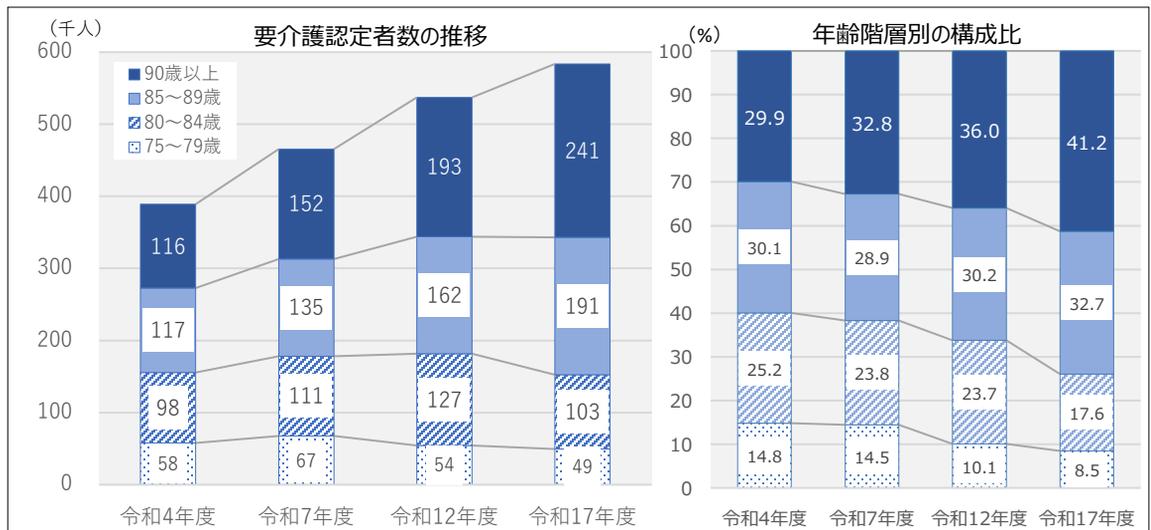
要介護認定者数は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」にも深く関わる指標の一つであり、今後の動向をしっかりと把握しておく必要があります。そこで「第3章(1)1)」で述べた年齢階層別被保険者数の推移予測結果をもとに、今後の推移予測を行ってみました。

予測を行う際の変動要素としては以下の2つに限定しています。

- ①年齢階層ごとの被保険者数がどのように変化していくか？
- ②年齢階層ごとの要介護認定者率がどのように変化していくか？

①については前述の年齢階層別被保険者数の推移予測結果をそのまま採用しています。②については今後の健康寿命の延伸や介護保険制度を中心とした社会保障制度の動向等により、予測しづらい側面がありますが、今回の予測にあたっては令和4年度の認定者率が継続していくことを前提としました。

【75歳以上の要介護認定者数の推移予測結果】

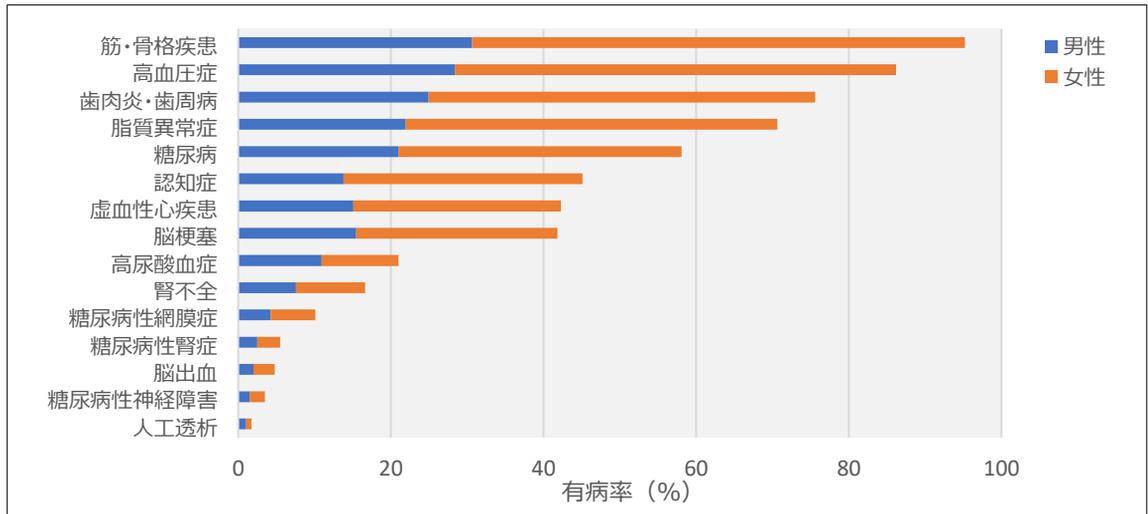


後期高齢者の増加に伴い要介護認定者も増加を続け、令和17年には約58万人と、令和4年から約20万人の増加が見込まれます。また、後期高齢者人口の増加は令和17年以降は減少していく予測ですが、要介護認定者数自体はその後も継続して増加していく結果となりました。

2) 要介護認定者の有病状況

令和4年度の75歳以上要介護認定者について、当年度のレセプトから主要疾病の治療中と判断される疾病について、有病率とその男女内訳を集計したのが次のグラフとなります。最も有病率の高い疾病は「筋・骨格疾患」（＝身体系フレイル）であり、要介護認定者のうち95.1%の方がこの該当者となっています。続いて「高血圧症」、「歯肉炎・歯周病」（＝オーラルフレイル）、「脂質異常症」の順で有病率が高く、これらの疾病有病率はいずれも7割を超えています。

【75歳以上要介護認定者数の主要疾病別有病率】



* KDB介護データを元にレセプトデータを突合して集計
* 男女別の詳細人数については（資料－26）参照

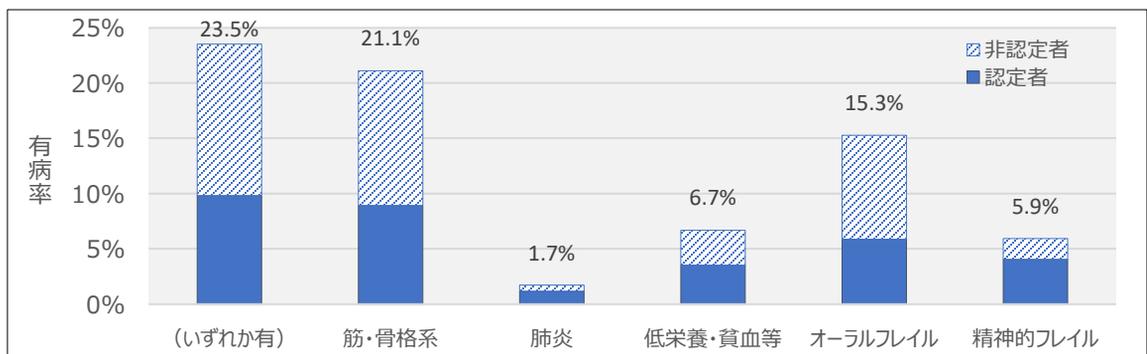
《参考》 要介護未認定者を含めたフレイル系疾病の有病率

上記は要介護認定者の有病状況ですが、さらに要介護認定予備群となる要介護非認定者を含めた75歳以上被保険者全員のレセプトを対象に、フレイル系疾病の有病状況を分析しました。対象としたフレイル系疾病は右表のとおりです。

〈フレイル系疾患と代表的な傷病名〉

筋骨格系	関節症、骨折、骨粗鬆症
肺炎	感染症肺炎、誤嚥性肺炎
貧血・低栄養等	貧血、低栄養、尿失禁
オーラルフレイル	う蝕、歯肉炎、歯槽膿漏
精神的フレイル	うつ、認知症

【フレイル系疾病の75歳以上被保険者の有病率】



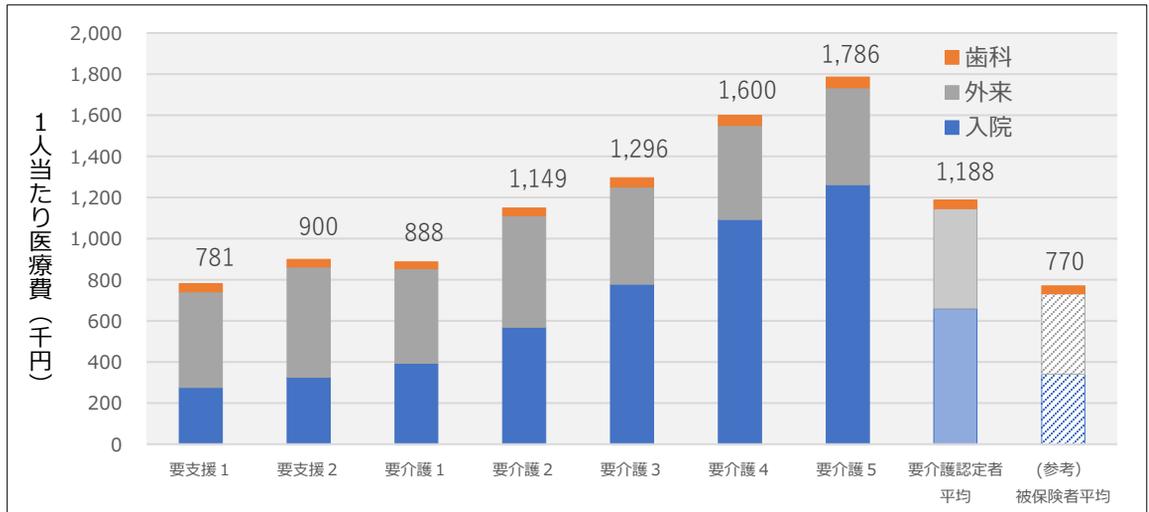
* KDB介護データを元にレセプトデータを突合して集計
* 対象とした傷病名の詳細は（参考－5）参照

「肺炎」と「精神的フレイル」については、有病者の半数以上が要介護認定者となっています。他のフレイル系疾患においてはすでに有病状態である（ただし、すでに治癒している場合もあり）が、まだ認定者となっていない方が半数以上存在していることを示しており、今後、介護予防の優先的対象者としていく必要があります。

3) 要介護認定者の医療費状況

同様の方法で、令和4年度の75歳以上要介護認定者の1人当たり医療費を要介護度ごとに示したものが次のグラフになります。要支援1と要介護1の場合を除くと、要介護度の進行と共に1人当たり医療費も上昇しています。また、外来医療費と歯科医療費は要介護度の違いによる差は少額ですが、入院医療費については要介護度の進行と共に大きく上昇しています。要介護認定者1人当たり医療費の平均額を被保険者全体の平均額と比較すると、医療費全体で1.5倍、特に入院については1.9倍と大きな差が発生しています。これらのことから、医療費適正化の面からも要介護度の進行をどう予防していくかが重要となります。

【75歳以上要介護認定者数の1人当たり医療費】

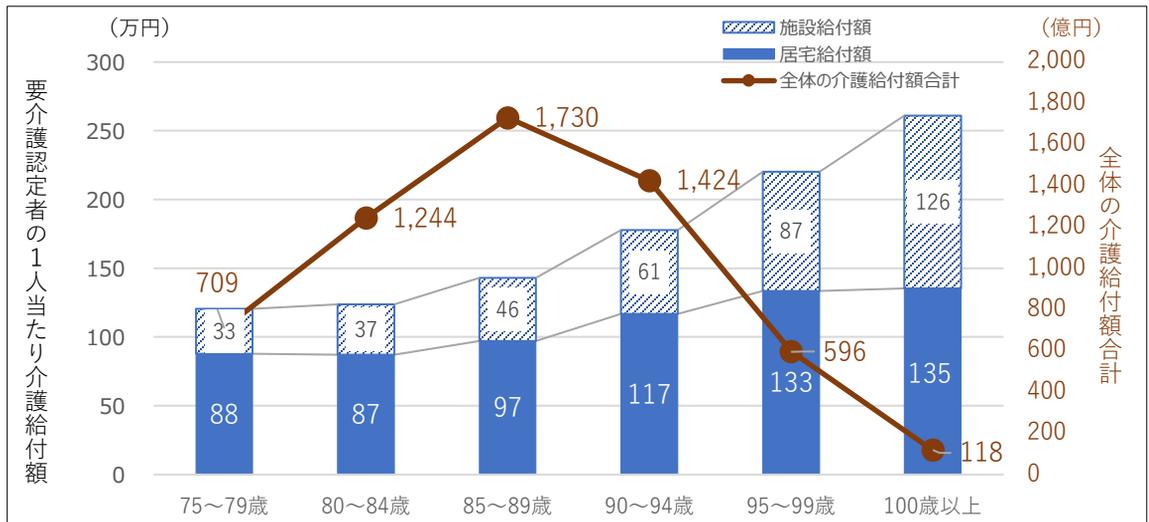


* KDB介護データを元にレセプトデータを突合して集計
* 年度途中で要介護区分の変更があった場合は、要介護度の高い内に集計

4) 要介護認定者の介護給付状況

令和4年度の75歳以上要介護認定者について、介護保険適用の1人当たり介護給付額を年齢階層別に示したものが次のグラフになります。1人当たり医療費の場合は、90～94歳をピークにそれ以降は低下していましたが、介護給付費の場合は、加齢と共に上昇が続いています。施設給付と居宅介護の割合の変化をみると、加齢と共に施設給付費の割合が増加し、100歳以上では居宅給付額とほぼ同じ割合となっています。

【年齢階層別の介護給付額】



* KDB健康スコアリング (介護) より集計
* 市区町村別の1人当たり介護給付額については (資料-27) 参照

第4章 課題と対策

(1) 計画全体に関わる目的と現状把握

高齢者保健事業の目的は、令和5年3月30日に改訂された「高齢者保健事業の実施計画（データヘルス計画）策定の手引き」にも明記されたとおり、「生活習慣病をはじめとする疾病の発症や重症化の予防及び心身機能の低下を防止し、できる限り長く在宅で自立した生活を送ることのできる高齢者を増やすことが高齢者保健事業の最大の目的である。効果的な保健事業の実施により、生涯にわたる健康増進、生活の質（QOL）の維持及び向上が図られ、結果として、医療費の適正化、要介護認定率の低下や介護給付費の減少に資する」です。

この目的達成に向けての保健事業計画全体を検討するにあたり、KDBシステム、レセプト情報、健康診査結果等のデータ分析と将来予測の結果から、被保険者の現状把握と健康課題の明確化を行いました。明らかになった現状と課題を整理すると以下のとおりです。

《被保険者の状況》

- ・ 県の人口は微増が続いていますが、本広域連合の被保険者数は、団塊世代の全員が75歳に到達する「2025年問題」の影響もあって増加が続いています。
- ・ 年齢階層別の構成比については、75歳～80歳の比率が徐々に減少していく一方、80歳以上の比率が増加しています。すなわち、被保険者全体がより高齢化にシフトしています。
- ・ 令和17年度までの被保険者数の推移予測結果によると、被保険者の増加も令和12年度をピークに減少に転じ、令和17年度以降は減少に転じるものと推測されます。そこに至るまでの市区町村ごとの推移パターンは、「増加が継続するパターン」、「増加した後に減少に転じるパターン」、「減少が継続するパターン」の3つに分かれ、各パターンに応じた中長期での体制整備が必要となります。

《健康診査受診の状況》

- ・ これまでは、健康診査受診データがKDBシステムにアップされていない市町村があり、県全体の受診率の経年変化を客観的に把握することができませんでした。今回のデータ分析で揃った全市町村の健康診査データを元に令和4年度の健康診査受診率をみると22.2%でした。
- ・ 令和4年度の二次医療圏域別の健康診査受診率をみると、横浜市3圏域はいずれも極端に低く、最も高い湘南東部圏域の受診率と比較して4倍程度の格差があります。いずれの圏域も各年度の変動が大きく、健康診査の定期受診の定着・習慣化に課題があります。
- ・ 県全体の年齢階層別の健康診査受診率は、80歳～84歳が最も高く、被保険者数が最も多い75歳～79歳を上回っています。後期高齢加入時の受診動機付けに課題があります。
- ・ 75歳到達者の歯科健康診査受診率は、平成30年度以降で最も高かった令和4年度は6.6%であり、受診勧奨の方法や広報のあり方に課題があります。

《医療費の状況》

- ・ 本県には58市区町村がありますが、令和4年度の年間1人当たり医療費（年齢調整後）をみると、全国平均よりも高いのは9つの市区町村となり、残りの市区町村は全国平均を下回っています。
- ・ 平成30年度～令和4年度の医療費3要素でみると、1件あたり日数、1人あたり件数は減少傾向ですが、1日あたり医療費が増加し続けているため1人あたり医療費は微増に留まっています。但し、令和2年度以降の新型コロナウイルスの影響により、患者の受療行動がこれまでと大きく変化していることから、今後もこの傾向が続くかは不明です。

- ・ 年齢階層別の年間1人当たり医療費が高いのは85歳～95歳であることから、今後団塊世代が85歳に到達するようになると、本広域連合の医療費総額は大きく増加すると予想されます。
- ・ 疾病別総医療費高位10疾病の年齢階層推移をみると、「腎不全」と「糖尿病」の割合は高齢になるほど低下していきますが、代わって「骨折」、「その他心疾患」、「その他呼吸器系疾患」の割合が上昇しています。中でも高齢者の骨折は長期の入院を要することから、医療費だけに留まらず、QOLやADLなどの生活の質にまで直接影響を及ぼすこととなり、今後もその対策が必要です。
- ・ 人工透析治療は高額医療費を必要とするだけでなく、患者の生活の質を著しく悪化させることから重症化予防の最も重要な課題です。

《要介護認定者の状況》

- ・ 要介護認定者数はほとんどの市区町村で増加傾向にあります。平成30年以降毎年計1万人以上の増加が続いており、平成30年度からの5年間で約14%増加しています。
- ・ 要介護認定者の有病状況においては、「筋・骨格疾患」の有病率が最も高くなっています。ここでも骨折が最大の課題です。続いて「高血圧症」、「歯肉炎・歯周病」、「脂質異常症」の順となります。
- ・ 二次医療圏域単位の介護保険の居宅給付額と施設給付額の割合をみると、政令市とその他の市町村とでは両給付額の割合に違いが見られます。政令市では施設給付額の割合が高くなり、その他の市町村は居宅給付額の割合が高くなります。
- ・ 二次医療圏域別の令和4年度介護認定者1人当たり介護給付額をみると、施設給付額が多いのは川崎南部圏域が最も高く、次いで川崎北部圏域となります。一方、居宅給付額が多いのは、横浜西部圏域が最も高く、次いで湘南西部圏域となります。要介護認定者のニーズだけでなく、介護施設数の状況なども影響していると考えます。
- ・ 後期高齢者の増加に伴い要介護認定者も増加を続け、現在の要介護認定率の継続を前提にすると、令和17年には約58万人と、令和4年から約20万人の増加が見込まれます。また、後期高齢者人口の増加は令和17年以降は減少していく予測ですが、要介護認定者数自体はその後も継続して増加していく見込みです。

(2) 事業推進に関わる課題と対策

第2期保健事業実施計画の最終評価を通して上がった課題や、本計画で取り上げる保健事業の推進した上で想定される課題を整理し、以下5点を推進ポイントとして設定します。

ポイント1：地域分析を取り入れた保健事業の運用

これまでのデータ分析は県全体と市区町村別の分析が中心でしたが、介護に伴う施設やサービスの利用は市区町村の中だけでなく、他の市区町村にも及ぶケースが多く見受けられる状況から、二次医療圏域による現状把握が必要と考えます。また、介護予防だけでなく、従来の健康診査受診率や歯科健康診査受診率でも、個々の市区町村の分析では気付かない特性が、二次医療圏域の広い地域で見ると共通した特性が浮かび上がってくることもあります。

高齢者の保健事業では、住み慣れた地域での暮らしやすい生活環境を整えることが求められています。市区町村の枠だけでなく、近隣の市区町村も含めた広い地域特性を把握していきます。

ポイント2：本広域連合と市町村との役割の明確化

保健事業の実施にあたり、本広域連合と市町村の役割を被保険者にも解かりやすくし、また、市町村との事業内容の認識共有化を図るためにも明文化が必要です。保健事業の中でもハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチが必要な事業については、特に明確にしておくことが重要であると考えます。

ポイント3：保健医療関係者との連携

保健医療関係者（県三師会、地域三師会及び県内の個々の医療機関）との連携は、効果的・効率的な事業の推進につながるため、地域のデータ分析の結果を活用しながら、高齢者保健事業を推進していきます。

ポイント4：データを活用した市町村保健事業

今回の実施計画から導入する「共通評価指標」（詳細は次章にて記載）に対する実績をタイムリーに把握し、全国レベルでの達成・進捗状況を見ながら事業を推進していきます。また当広域連合ではKDBデータを活用した保健事業の実施を支援していきます。

ポイント5：保健事業及び介護予防に関する県内外の好事例収集と情報提供

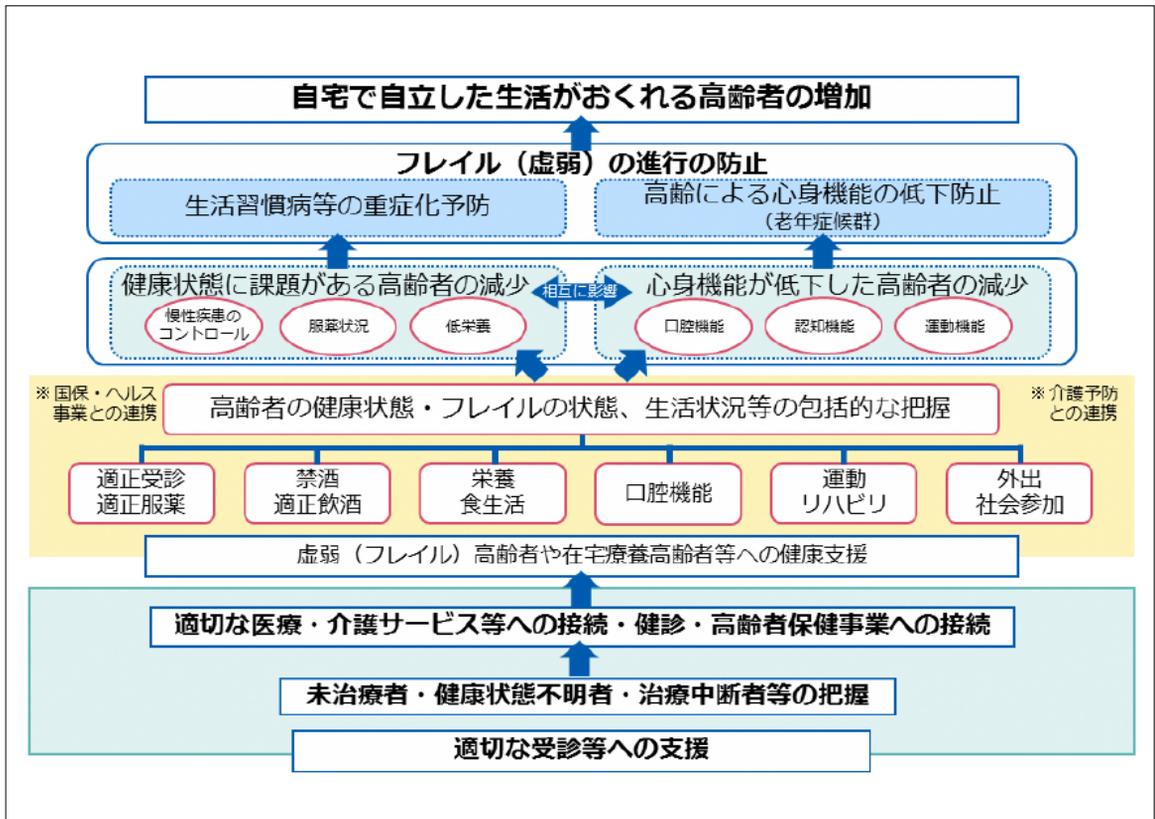
当広域連合としても本計画書に取り上げる保健事業に関する県内外の市町村の好事例を収集し、市町村への紹介や情報提供を行います。また、県や市町村にある医療機関、大学や研究機関の学識経験者の意見も市町村に提供していきます。

第5章 保健事業計画

(1) 高齢者保健事業の全体像

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、広域連合と市町村が連携し、市町村において、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施できるよう、「高齢者保健事業と介護予防の一体的な実施」が制度化され、令和2年4月から取組が開始されました。これを念頭に、本広域連合が果たすべき役割の全体像を以下のように捉えています。

【本広域連合の果たす役割の全体像】



※出典：「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第2版補足版」（令和4年3月） 図表-1

第2期のデータヘルス計画においては、被保険者の生活習慣病の早期発見による発症予防と重症化予防に重きを置いた健康増進が主な事業内容でした。しかし、第3期のデータヘルス策定からは、加齢に伴う心身の虚弱に対する一次予防としてのフレイル予防を計画に取り入れます。フレイル予防の取組は、介護保険制度にとっても重要な予防対策となることから、保健事業と介護予防の一体的実施を推進していくための広域的な取組を実施していきます。

(2) 総合的な評価指標について

後期高齢者に対する保健事業と介護予防の一体的な実施を効果的・効率的に推進するため、全国の都道府県の広域連合が策定するデータヘルス計画は、標準化が推進され、そのため標準的な評価指標が設定されています。

【総合的な評価指標（共通評価指標）】

重点的な取組	共通指標	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康診査・歯科健診の実施 ■ ハイリスク者の把握 (スクリーニング) 	健診受診率 歯科健診受診率 質問票を圧用したハイリスク把握に基づき保健事業を実施している市町村数・割合	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活習慣病の重症化予防 ■ 重症化予防 <ul style="list-style-type: none"> ・コントロール不良者 ・糖尿病治療中断者 ・基礎疾患保有＋フレイル ・腎機能不良未受療者 ■ 高齢による心身機能の低下防止 <ul style="list-style-type: none"> ・低栄養 ・口腔 ・身体的フレイル 	アウトプット	実施市町村数 <ul style="list-style-type: none"> ・低栄養 ・口腔 ・服薬（重複・多剤等） ・重症化予防（糖尿病性腎症） ・重症化予防（その他 身体的フレイルを含む） ・健康状態不明者対策
	アウトカム	平均自立期間（要介護 2 以上） ハイリスク者割合 <ul style="list-style-type: none"> ・低栄養 ・口腔 ・服薬（睡眠薬） ・身体的フレイル（ロコモ含む） ・重症化予防（コントロール不良者） ・重症化予防（糖尿病等治療中断者） ・重症化予防（基礎疾患保有＋フレイル） ・重症化予防（腎機能不良未受診者） ・健康状態不明者対策 服薬（多剤）

(3) 本計画書の事業全体計画

取り上げる保健事業は、共通評価指標に取り上げられている評価指標の中から、医療機関との連携が重要な事業であったり、対象者のレセプトデータによる抽出が効率的に行えると想定されることを考慮し、当広域連合では、独自にカテゴライズを行うことにより作成しました。

【第3期保健事業一覧】

保健事業カテゴリー	事業名	評価指標	
		アウトプット指標	アウトカム指標
■健康診査事業	1) 健康診査事業	受診率	
	2) 歯科健康診査事業	受診率	
■一体的実施事業	3) ハイリスク者対策事業	実施市町村	
	4) 低栄養予防事業	実施市町村	低栄養該当者割合
	5) 口腔機能低下予防事業	実施市町村	口腔機能低下予防該当者割合
	6) 服薬適正化事業	実施市町村	①重複・頻回受診該当者割合 ②ポリファーマシー保健指導実施者割合 ③睡眠薬多量処方者割合
	7) 身体的フレイル予防事業	実施市町村	身体的フレイル（ロコモ含む）予防該当者割合
	8) 重症化予防事業	実施市町村	糖尿病性腎症保健指導該当者割合
			コントロール不良者該当者割合
			糖尿病等治療中断者該当者割合
			基礎疾患保有+フレイル該当者割合
その他身体的フレイルを含む該当者割合			
9) 健康状態不明者対策事業	実施市町村	健康状態不明者割合	
■ジェネリック利用促進事業	10) 後発医薬品利用差額通知事業	年間通知数	後発医薬品利用率（数量ベース）
■平均自立期間	11) （事業共通）		平均自立期間（要介護2以上）

※注）青字：共通評価指標

(4) 個別事業計画

1) 健康診査事業（継続）

【事業目的及び概要】

被保険者の生活習慣病の発症予防と疾病の早期発見・早期治療を図るため、一人でも多くの未受診者の被保険者に受診勧奨を行い、健康診査受診率の向上を目指します。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：健康診査受診率

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		26.0%	26.5%	27.0%	27.5%	28.0%

【確認すべきデータ】

- ・市町村別健康診査受診者数
- ・市町村別被保険者数

【構成市町村と本広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none">・市町村による健康診査受診率向上に向けた課題の分析・抽出した課題に沿った効果的な受診勧奨の実施・全市町村による健康診査受診データのKDBシステムへの登録・医療機関、老人会、介護施設等の社会資源を活用した受診勧奨の実施・健康診査案内、受診券等、解りやすいツールの作成
広域連合	<ul style="list-style-type: none">・後期高齢者医療制度事業補助金、特別調整交付金、保険料を財源として補助金を交付・市町村及び二次保健医療圏域の受診率のデータ分析結果の提供と提言・受診率向上対策に向けた受診勧奨ツール等の好事例収集と紹介

【実施に当たっての留意点】

健康診査の検査項目のデータや質問票の回答内容は、一体的実施に関する個別事業の対象者抽出や共通評価指標のアウトカム評価に欠かせないデータとなります。この点を視野に入れて、受診率向上を目指します。

2) 歯科健康診査事業（継続）

【事業目的及び概要】

歯・歯肉の状態や口腔衛生状態等をチェックすることで、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、被保険者の健康の保持増進を目的として、歯科健康診査を実施します。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：歯科健康診査受診率

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	7.0%	7.5%	8.0%	8.5%	9.0%	9.5%

【確認すべきデータ】

- ・市区町村別歯科健康診査受診率／二次医療圏域別歯科健康診査受診率
- ・口腔機能低下症患者
- ・協力歯科医療機関数（市区町村別増加状況）

【構成市町村と本広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村国民健康保険での「口腔機能低下症」の患者数など状況把握 ・商業施設、老人会、介護施設等での歯科健康診査受診勧奨の実施 ・市町村健康増進課、保健センター等と介護担当部局との定期的な会議の実施 ・「社会的処方」として歯科衛生士等による口腔機能保持の啓発活動
広域連合	<ul style="list-style-type: none"> ・県内協力歯科医院でのポスター、チラシ等での健康診査受診勧奨の要請 ・健康診査受診可能な歯科医院の増加と地域格差の是正 ・レセプトデータの分析による「口腔機能低下症」の状況把握の実施 ・歯科健康診査受診勧奨の好事例収集と紹介

【実施に当たっての留意点】

歯科健康診査は本広域連合が行う事業です。令和5年度までの各年度において、本広域連合が神奈川県歯科医師会に業務委託し事業を行ってきました。当該事業は、神奈川県歯科医師会の協力歯科医療機関で行われるものであり、協力歯科医療機関数の増加は、当該歯科健康診査を受診しようとする者にとって利便性の向上の観点から受診率の向上に寄与します。協力歯科医療機関の増加につながるよう引き続き神奈川県歯科医師会と協力しながら事業を行います。

3) ハイリスク者対策事業（新規）

【事業目的及び概要】

健康診査受診時等に提出された高齢者質問票の回答内容に基づいて被保険者のリスク有無を判定し、ハイリスク者に対して保健指導を実施していく事業です。質問票からは、健康状態、心の健康状態、食習慣、口腔機能、体重変化、運動・転倒、喫煙、社会参加、ソーシャルサポートの計10類型でのリスク有無回答がなされます。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：ハイリスク把握に基づく保健指導実施市町村数

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		26	27	28	29	30

【確認すべきデータ】

- ・ 質問票を利用したハイリスク者を把握している市町村数

【構成市町村と本広域連合の主な役割】

市町村	・ 一体的実施事業の推進 ・ 回収質問票のKDBアップロード ・ 抽出ハイリスク者の実情フィードバック
広域連合	・ 標準化に備え、後期高齢者の質問票を利用するよう県内市町村の統一実施 ・ 後期高齢者の質問票を使用している市町村の把握

【実施に当たっての留意点】

標準化に備え、各市町村が異動などにより後期高齢者の質問票を使用しなくなることを避けるために、定期的に呼びかけ、質問票の利用を継続するように促します。

4) 低栄養予防事業（新規）

【事業目的及び概要】

低栄養状態の可能性のある者を抽出し、低栄養防止の取組に繋がります。

【評価指標と目標値】

○アウトプット評価：低栄養予防事業を実施した市町村数

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		17	18	19	20	21

○アウトカム評価：低栄養指導該当者割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

【確認すべきデータ】

・健康診査データによる「痩身リスク者数」（低栄養対象者数）の抽出

【構成市町村と本広域連合の主な役割】

市町村	・一体的実施事業の推進 ・低栄養予防に向けた保健指導の実施
広域連合	・市町村における一体的実施を中心とした保健事業の進捗管理 ・KDBシステムデータの集計、分析によるデータの提供 ・市区町村及び二次保健医療圏域のデータ分析の提供

【実施に当たっての留意点】

低栄養予防事業を行う市町村の増加を目指し、当広域連合からは市町村への支援を継続して行います。

5) 口腔機能低下予防事業（新規）

【事業目的及び概要】

オーラルフレイル（口腔機能低下）を早期に発見し、フレイル、低栄養、認知機能の低下につながる負の連鎖を予防します。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：口腔機能低下予防事業を実施した市町村数

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		5	6	7	8	9

○アウトカム評価：口腔機能低下症患者割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

【確認すべきデータ】

- ・健康診査データによる口腔機能リスク保有者数

【構成市町村と本広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的実施事業の推進 ・口腔機能低下予防に向けた保健指導の実施
広域連合	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村における一体的実施を中心とした保健事業の進捗管理 ・KDBシステムデータの集計、分析によるデータの提供 ・市区町村及び二次保健医療圏域のデータ分析の提供

【実施に当たっての留意点】

口腔機能低下予防事業を行う市町村の増加を目指し、当広域連合からは市町村への支援を継続して行います。

6) 服薬等適正化事業（再編・新規）

【事業目的及び概要】

医療機関への重複や頻回受療が確認される被保険者に保健事業を実施します。後期高齢者は、日常的に多剤を経口投与しており、ポリファーマシーによる健康への被害も問題となっています。また、睡眠薬による薬物有害事象で転倒や要介護状態になる可能性もあります。そのため、これらの受療行動や服薬の適正化を図ることにより、患者の健康と医療費適正化の実現を図っていきます。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：服薬等適正化事業を実施した市町村数

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	4	5	6	7	8	9

○アウトカム評価：重複・頻回受診該当者割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

○アウトカム評価：ポリファーマシー該当者割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

○アウトカム評価：睡眠薬多量処方者割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

【確認すべきデータ】

- ①重複・頻回受療保健指導
 - ・市区町村別重複／頻回受療対象者数
 - ・重複・頻回受療の多い医療機関
- ②ポリファーマシー保健指導
 - ・市区町村別ポリファーマシー（6剤以上の経口投与）の該当者数
 - ・ポリファーマシーの該当者が多い医療機関の抽出
- ③睡眠薬（神経系薬剤）多量処方者保健指導
 - ・市区町村別の睡眠薬の重複服薬者の患者数
 - ・重複処方となる睡眠薬等の商品名のランキング

【構成市町村と本広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的実施事業の推進 ・国民健康保険と連動した地域住民への適正受療の啓発 ・特に、睡眠薬の重複処方とポリファーマシーの課題は、重複受療によって引き起こされるため、重複受療者の健康に害を及ぼす可能性について啓発を重点的に行う
広域連合	<ul style="list-style-type: none"> ・レセプト情報による受療行動に課題のある対象者の抽出及び関連のデータ分析 ・受療行動に問題が頻繁に見られる医療機関の抽出と医師へのヒヤリングの実施 ・県医師会、薬剤師会へのデータ提供 ・受療行動適正化保健事業の好事例の収集と紹介

【実施に当たっての留意点】

睡眠薬の重複服薬もポリファーマシーの問題も複数の医療機関での重複受療が主な要因となります。従って、重複受療対象者の受療行動の分析が基本となります。ポリファーマシーについては、一般的に6剤以上を日常的に経口投与している患者に身体的な健康被害が見られると言われています。薬剤に関する訪問指導時には、必ず対象となる薬剤だけでなく、ポリファーマシーの把握も行って実施できるようにします。

薬剤に関する保健指導提供者は薬剤師が最も適任と考えていますが、市町村職員の専門職には薬剤師が少なく、薬剤師会との連携も重要と考えます。

頻回受療は、「はしご受診」や「コンビニ受診」と言われ、月に15日以上受療されている患者となります。頻回受療に対する訪問による保健指導は専門職の効率的な運用の点からも難しく、ハイリスクアプローチではなく、ポピュレーションアプローチ事業として広報誌や医療費通知送付時にDMを同封するなどにより受療行動の見直しを図っていく方針です。

7) 身体的フレイル予防事業（新規）

【事業目的及び概要】

身体的フレイル（ロコモを含む）のリスクのある者を抽出し、「通いの場」や適切なサービスにつなぎ、フレイル状態予防を図ります。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：身体的フレイル（ロコモ含む）予防事業を実施した市町村数

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	対象者数の把握	対象者数の把握	対象者数の把握	対象者数の把握	対象者数の把握	対象者数の把握

○アウトカム評価：身体的フレイル（ロコモ含む）該当者の割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	対象市町村数の把握	前年度よりも増加させる	前年度よりも増加させる	前年度よりも増加させる	前年度よりも増加させる	前年度よりも増加させる

【確認すべきデータ】

- ・市区町村別身体的フレイルリスク保有率／二次医療圏域別身体的フレイルリスク保有率
- ・新規介護認定者情報（人数、認定時保有疾病）

【構成市町村と本広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的実施事業の推進 ・フレイル予防事業の実施 ・「通いの場」におけるポピュレーションアプローチや、地域支援事業からの連携 ・「通いの場」で活躍するボランティア（フレイルサポーター等）との連携
広域連合	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村が実施する保健事業への支援、助言等 ・KDBシステムデータの集計、分析によるデータの提供

【実施に当たっての留意点】

各市町村が、フレイル予防事業を実施するために、当広域連合からは市町村への情報提供および助言を行います。

8) 重症化予防事業（再編・新規）

【事業目的及び概要】

重症化予防の対象者に対して、市町村の専門職が訪問指導や対面指導を行うことによって、患者の重症化を予防するための事業です。第2期保健事業実施計画までは、主に糖尿病性腎症を対象に実施してきましたが、本計画よりさらに対象を身体的フレイルの対象者まで範囲を広げて実施します。なお、本事業をより効果的に行うには、健康診査及びKDBデータを活用して保健指導が有効に作用する対象者を抽出していくと共に、かかりつけ医や主治医との連携が必要となります。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：一体的実施事業として重症化予防事業に取り組んだ市町村数

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		17	18	19	20	21

○アウトカム評価：糖尿病性腎症の保健指導該当者割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

○アウトカム評価：コントロール不良群の該当者割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

○アウトカム評価：糖尿病治療中断者割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

○アウトカム評価：腎機能不良未受診者割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

○アウトカム評価：基礎疾患＋フレイル対象者割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

○アウトカム評価：その他の身体的フレイル該当者割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		—	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる	前年度よりも減少させる

【確認すべきデータ】

- ・クレアチニン検査と尿たんぱくのデータのある者のヒートマップ分布の作成によるリスクの階層化
- ・毎年度の新規透析患者数と経年変化

【構成市町村と本広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none">・一体的実施事業の推進・国民健康保険離脱後の糖尿病性腎症重症化リスク保有者に関する指導の継続（国民健康保険加入者と広域連合加入者の保健指導の一体化）・地域住民に対する生活習慣病重症化予防のための全体計画策定（ポピュレーションアプローチからハイリスクアプローチまでの総合的な対策立案）
広域連合	<ul style="list-style-type: none">・個々の疾病の重症化予防に関連するデータの収集と保健指導に活用できるデータ分析の実施と結果の提供・県及び保健医療関係者へ分析データを提供する

【実施に当たっての留意点】

生活習慣病の重症化予防の目的は、人工透析治療を回避する、あるいは透析治療を可能な限り遅らせることにあります。そのためには糖尿病性腎症やCKDのリスクの階層化を行い、早い段階からトータルにリスク管理を行う必要があります。

また、訪問指導や対面指導の保健事業を実施する上で、患者本人の了解と、患者の主治医の了解が必要となります。また、主治医やかかりつけ医から患者の推薦をいただくことも視野にいれながら検討します。その上で、主治医と保健指導提供者の専門職との生活指導でハイリスクアプローチが提供されます。指導を行う専門職と患者だけでは、重症化予防の効果的・効率的な指導は難しいと考えています。

糖尿病性腎症は糖尿病の疑いが判明した時点から相当の時間を要して重症化しますので、早期に運動・食事等の生活習慣の見直しに向けた指導の徹底と受療勧奨が大切です。生活習慣の行動変容や受療勧奨を本広域連合と市町村が連携していくことが重要になります。また、治療中断者に対しても早期の受療再開の勧奨を行います。

今回の疾病の分析で、筋・骨格系疾患が要介護認定に重大な影響を及ぼしていることが確認されました。中でも後期高齢者の骨折は長期入院を伴うため、生活の質を極度に低下させます。身体的フレイル予防やロコモティブシンドロームの運動指導には施設や専門職の指導員が少ない上に、参加する個々の高齢者の身体的虚弱や疾病に配慮する必要があるため、十分な準備と体制を整備していきます。

9) 健康状態不明者対策事業（新規）

【事業目的及び概要】

健康状態不明者に対するアウトリーチ等により健康状態等を把握し、必要な支援を行います。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：健康状態不明者対策事業実施市町村数

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		12	13	14	15	16

○アウトカム評価：健康状態不明者割合（前年度からの減少率）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値		1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%

【確認すべきデータ】

- ・市区町村別健康状態不明者割合
- ・要介護認定者リストと健康状態不明者のリストの突合

【構成市町村と本広域連合の主な役割】

市町村	・一体的実施事業の推進 ・各市町村の独自アンケートや、後期高齢者の質問票等も活用しての健康状態等の把握
広域連合	・市町村が実施する健康状態不明者対策事業への支援、助言等 ・健康状態不明者対策事業の好事例の収集と紹介

【実施に当たっての留意点】

健康状態不明者の母数の減少を図るために、健診受診率向上にも取り組みます。

10) 後発医薬品差額通知事業（継続）

【事業目的及び概要】

レセプトデータを活用し、患者が服用している先発医薬品を抽出し、その薬を後発医薬品に切り替えることにより患者の自己負担額がどれくらい軽減するかということをお知らせする通知を送付します。単に自己負担の軽減だけを訴求するのではなく、後発医薬品に対する先入観や不安感を取り除くことが伝わる内容としていきます。

【評価指標と目標値】

◎アウトプット評価：通知事業の実施数（通知数）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000

○アウトカム評価：後発医薬品使用率（数量ベース）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値	80.0%	80.5%	81.0%	81.5%	82.0%	82.5%

【確認すべきデータ】

- ・後発医薬品利用率（市町村別・地域別の数量ベース）
- ・後発医薬品利用率（市町村別・地域別の金額ベース）
- ・市町村別後発医薬品利用差額通知送付数

【構成市町村と本広域連合の主な役割】

市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険加入時から後発医薬品に対する理解向上のための広報活動 ・調剤薬局での利用勧奨の促進 ・地域医師会、薬剤師会との連携
広域連合	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な差額通知送付対象者抽出条件の検討 ・後発医薬品への切り替え率の低い薬効区分の薬剤抽出 ・地域分析による各地域の特性の把握 ・市町村及び二次保健医療圏域の後発医薬品切替率のデータ分析結果の提供 ・後発医薬品利用率向上施策の好事例の収集と紹介

【実施に当たっての留意点】

医療保険者として後発医薬品の普及促進を進めるにあたり、県民への働きかけだけでなく、医療機関と薬局への働きかけが重要です。この差額通知事業では、主として患者の自己負担軽減を訴求してきました。後発医薬品への変薬に対する不安を取り除くような働きかけを、県三師会、地域医師会及び薬剤師会と行います。

1 1) 平均自立期間（要介護2以上）（新規）

【事業目的及び概要】

KDBシステムでは、「日常生活動作が自立している期間の平均」を指標とした市町村別の「平均自立期間」（健康寿命）を算出しています。平均余命と平均自立期間のそれぞれの延伸の差を経年変化で把握することにより、市町村別の寿命の質の向上を評価します。健康か不健康かの判定は、介護受給者台帳における「要介護2以上」を「不健康」と定義して算出しています。

【評価指標と目標値】

◎アウトカム評価：平均自立期間（平均余命の延伸を上回る平均自立期間の延伸）

計画値 （※仮設定）	対象年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	目標値（男性）	80.5	前年度よりも 延伸させる	前年度よりも 延伸させる	前年度よりも 延伸させる	前年度よりも 延伸させる	前年度よりも 延伸させる
	目標値（女性）	84.5					

【確認すべきデータ】

- ・KDBシステムによる平均余命・平均自立期間

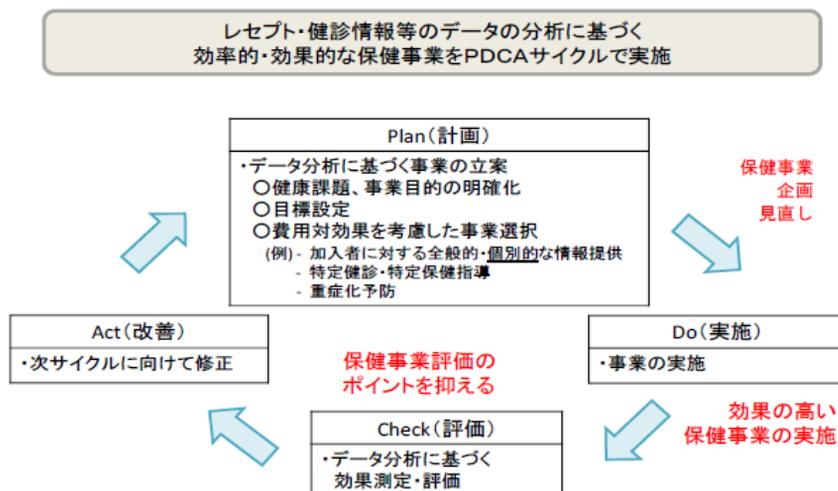
【実施に当たっての留意点】

市町村の平均自立期間の評価は、男女共に対前年からの平均余命の伸びた期間と平均自立期間の伸びた期間との比較で評価されます。市町村の保健事業として直接的な平均自立期間を延伸するための施策を立てることは難しく、様々な保健事業の積み重ねの成果として延伸するものとなりますので、保健事業の成果の指標として有効と考えます。また、一般的に、ある人口集団の最終的、包括的な健康度を示す指標としては平均寿命（0歳児の平均余命）が適切とされていますが、後期高齢者に関しては全国の市町村が介護保険者であることから、介護保険データを活用した平均自立期間が妥当と考えます。

第6章 その他

(1) 計画の評価・見直し

本計画の目的及び目標の達成状況については、設定した評価指標に基づき、毎年度評価及び進捗確認を行い、必要に応じて事業の実施内容、方法等の見直しを行います。また、計画期間の途中で事業実績に基づく中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行います。次期計画の策定を円滑に行うため、本計画の最終年度においては、その上半期に仮評価を行います。



* 出典：「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第2版」(厚労省)より

(2) 計画の公表・周知

本計画は、本広域連合のホームページに掲載し、被保険者への周知に努めます。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めます。

(3) 個人情報の取扱い

本計画の実施に当たり、本広域連合における個人情報の取り扱いについては、神奈川県後期高齢者医療広域連合個人情報保護条例(平成19年3月条例第16号)に基づき、適正に管理します。

(4) 地域包括ケアに関する取組

要介護認定率等の地域差、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携した事業への取り組みに努めます。

【資料】

(資料-1) 市区町村別の被保険者数の推移明細 (平成30年度～令和4年度)

(単位:人)

市町村名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度における 平成30年度からの増加率
横浜市鶴見区	28,196	28,829	29,113	29,855	31,304	11.0%
横浜市神奈川区	25,476	25,837	25,999	26,440	27,643	8.5%
横浜市西区	9,849	9,966	9,899	10,064	10,508	6.7%
横浜市中区	14,901	15,167	15,169	15,542	16,294	9.3%
横浜市南区	25,619	25,968	25,835	26,325	27,357	6.8%
横浜市保土ヶ谷区	27,354	27,853	27,965	28,275	29,363	7.3%
横浜市磯子区	22,999	23,450	23,647	24,192	25,262	9.8%
横浜市金沢区	28,667	29,502	29,944	30,838	32,458	13.2%
横浜市港北区	33,794	34,732	35,029	35,855	37,486	10.9%
横浜市戸塚区	35,221	36,443	36,917	38,103	40,038	13.7%
横浜市港南区	31,407	32,243	32,667	33,592	35,078	11.7%
横浜市旭区	37,626	38,358	38,595	39,271	40,749	8.3%
横浜市緑区	20,924	21,679	22,095	22,745	23,897	14.2%
横浜市瀬谷区	17,637	18,035	18,126	18,365	19,098	8.3%
横浜市栄区	19,500	20,200	20,623	21,321	22,371	14.7%
横浜市泉区	21,634	22,314	22,648	23,222	24,346	12.5%
横浜市青葉区	31,168	32,465	33,180	34,477	36,595	17.4%
横浜市都筑区	17,321	18,086	18,538	19,251	20,407	17.8%
川崎市川崎区	22,991	23,266	23,225	23,601	24,450	6.3%
川崎市幸区	17,271	17,612	17,629	18,051	18,821	9.0%
川崎市中原区	18,910	19,229	19,318	19,774	20,516	8.5%
川崎市高津区	19,119	19,851	20,198	20,789	21,950	14.8%
川崎市多摩区	20,105	20,604	20,809	21,349	22,146	10.2%
川崎市宮前区	22,005	22,777	23,279	24,092	25,396	15.4%
川崎市麻生区	20,262	20,964	21,328	22,010	23,175	14.4%
相模原市緑区	20,523	21,504	22,114	23,106	24,764	20.7%
相模原市中央区	30,698	32,035	32,794	34,006	35,962	17.1%
相模原市南区	34,938	36,257	36,712	37,800	39,426	12.8%
横須賀市	64,859	66,443	66,662	68,168	71,057	9.6%
平塚市	34,254	35,400	35,886	37,065	38,999	13.9%
鎌倉市	30,175	30,670	30,784	31,326	32,255	6.9%
藤沢市	52,672	54,178	55,216	57,064	59,762	13.5%
小田原市	27,937	28,511	28,556	29,316	30,628	9.6%
茅ヶ崎市	32,123	33,119	33,627	34,777	36,611	14.0%
逗子市	10,512	10,680	10,658	10,830	11,165	6.2%
三浦市	8,488	8,670	8,606	8,742	9,149	7.8%
秦野市	21,426	22,426	23,041	24,117	25,646	19.7%
厚木市	25,252	26,459	27,163	28,416	30,355	20.2%
大和市	27,105	28,210	28,678	29,667	31,223	15.2%
伊勢原市	12,481	12,953	13,191	13,709	14,358	15.0%
海老名市	15,150	15,917	16,345	17,054	18,230	20.3%
座間市	15,503	16,168	16,438	17,039	18,003	16.1%
南足柄市	6,802	7,025	7,120	7,318	7,685	13.0%
綾瀬市	10,900	11,429	11,738	12,227	12,838	17.8%
葉山町	5,559	5,669	5,744	5,920	6,155	10.7%
寒川町	5,973	6,224	6,370	6,643	6,970	16.7%
大磯町	5,543	5,657	5,791	5,961	6,273	13.2%
二宮町	5,160	5,310	5,415	5,530	5,764	11.7%
中井町	1,424	1,487	1,509	1,600	1,694	19.0%
大井町	2,254	2,340	2,409	2,511	2,672	18.5%
松田町	1,897	1,903	1,912	1,967	2,047	7.9%
山北町	1,963	1,982	1,985	2,024	2,112	7.6%
開成町	2,169	2,263	2,342	2,429	2,556	17.8%
箱根町	2,065	2,071	2,100	2,137	2,221	7.6%
真鶴町	1,525	1,576	1,584	1,604	1,665	9.2%
湯河原町	5,055	5,159	5,217	5,290	5,503	8.9%
愛川町	5,127	5,309	5,425	5,669	6,079	18.6%
清川村	455	461	465	475	504	10.8%
(県合計)	1,117,923	1,150,895	1,165,372	1,198,906	1,257,039	12.4%

* 本広域連合にて管理している最新被保険者基本データ (令和5年5月現在) より集計

* 平成30～令和4年度の各年度末 (翌年3月31日) 時点での被保険者資格保有者のみを計上

(資料 - 2) 市区町村別の年齢階層別被保険者数明細 (令和4年度)

(単位:人)

市町村名	男性									女性									合計
	75歳未満	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	(小計)	75歳未満	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	(小計)			
横浜市鶴見区	61	5,740	3,778	2,086	772	159	19	12,615	44	6,657	5,323	3,895	2,060	597	113	18,689	31,304		
横浜市神奈川区	65	4,654	3,308	1,896	794	171	20	10,908	60	5,604	4,767	3,548	2,028	612	116	16,735	27,643		
横浜市西区	39	1,714	1,159	730	308	81	2	4,033	28	2,183	1,746	1,403	793	284	38	6,475	10,508		
横浜市中区	35	2,899	1,797	1,073	495	89	8	6,396	23	3,428	2,597	2,119	1,262	403	66	9,898	16,294		
横浜市南区	59	4,556	3,202	2,030	805	146	15	10,813	55	5,486	4,823	3,605	1,903	573	99	16,544	27,357		
横浜市保土ヶ谷区	53	4,644	3,574	2,279	888	180	20	11,638	63	5,836	5,308	3,880	1,949	589	100	17,725	29,363		
横浜市磯子区	55	4,234	3,078	1,855	734	142	18	10,116	45	5,302	4,369	3,174	1,698	493	65	15,146	25,262		
横浜市金沢区	87	5,688	4,192	2,542	893	199	17	13,618	63	6,758	5,471	3,840	1,947	636	125	18,840	32,458		
横浜市港北区	95	6,305	4,505	2,718	1,105	258	17	15,003	72	7,751	6,392	4,684	2,612	844	128	22,483	37,486		
横浜市戸塚区	88	6,691	5,264	3,225	1,108	203	19	16,598	84	8,282	7,157	4,799	2,300	704	114	23,440	40,038		
横浜市港南区	64	5,586	4,590	2,884	1,032	172	17	14,345	69	7,358	6,208	4,435	2,011	567	85	20,733	35,078		
横浜市旭区	104	6,435	5,332	3,280	1,224	211	20	16,606	92	8,061	7,261	5,227	2,576	798	128	24,143	40,749		
横浜市緑区	36	4,045	3,200	1,918	672	100	8	9,979	30	5,045	4,187	2,890	1,307	396	63	13,918	23,897		
横浜市瀬谷区	50	2,989	2,547	1,561	532	113	7	7,799	42	3,829	3,463	2,318	1,238	349	60	11,299	19,098		
横浜市栄区	38	3,636	3,206	1,986	617	105	9	9,597	39	4,854	4,000	2,300	1,135	394	52	12,774	22,371		
横浜市泉区	49	4,150	3,274	1,997	659	120	9	10,258	50	4,993	4,299	2,936	1,359	372	79	14,088	24,346		
横浜市青葉区	32	6,627	4,722	2,775	1,067	219	13	15,455	33	7,778	5,983	4,127	2,248	831	140	21,140	36,595		
横浜市都筑区	37	3,435	2,713	1,525	544	120	10	8,384	30	4,235	3,640	2,421	1,251	394	52	12,023	20,407		
川崎市川崎区	23	4,331	2,890	1,684	621	117	7	9,673	16	4,895	4,162	3,249	1,782	577	96	14,777	24,450		
川崎市幸区	25	3,223	2,327	1,250	493	110	16	7,444	21	3,929	3,263	2,341	1,354	404	65	11,377	18,821		
川崎市中原区	12	3,503	2,425	1,410	585	149	14	8,098	13	4,115	3,465	2,695	1,574	460	96	12,418	20,516		
川崎市高津区	27	3,915	2,672	1,512	539	123	7	8,795	24	4,706	3,835	2,675	1,408	427	80	13,155	21,950		
川崎市多摩区	18	3,718	2,731	1,664	708	126	11	8,976	17	4,451	3,867	2,848	1,451	462	74	13,170	22,146		
川崎市宮前区	18	4,376	3,364	1,922	673	121	12	10,486	24	5,513	4,505	2,989	1,412	407	60	14,910	25,396		
川崎市麻生区	14	3,911	2,969	1,846	756	159	16	9,671	13	4,765	3,853	2,800	1,529	462	82	13,504	23,175		
相模原市緑区	33	5,051	3,695	1,620	535	110	4	11,048	33	5,685	4,034	2,303	1,205	381	75	13,716	24,764		
相模原市中央区	53	6,511	5,155	2,626	767	130	15	15,257	52	8,171	6,435	3,666	1,791	505	85	20,705	35,962		
相模原市南区	38	6,385	5,374	3,197	1,094	184	12	16,284	41	8,363	7,175	4,634	2,147	672	110	23,142	39,426		
横浜質市	272	11,971	9,447	5,384	1,845	361	31	29,311	221	14,889	12,237	8,450	4,340	1,363	246	41,746	71,057		
平塚市	90	7,093	5,220	2,802	919	231	19	16,374	93	8,202	6,747	4,388	2,294	770	131	22,625	38,999		
鎌倉市	44	4,807	3,897	2,643	1,099	247	21	12,758	43	6,355	5,576	4,128	2,478	764	153	19,497	32,255		
藤沢市	84	10,117	7,665	4,563	1,619	326	29	24,403	70	12,524	10,255	7,288	3,785	1,228	209	35,359	59,762		
小田原市	56	5,368	3,728	2,213	837	165	17	12,384	47	6,298	5,350	3,772	1,976	699	102	18,244	30,628		
茅ヶ崎市	50	6,131	4,827	2,857	1,004	217	12	15,098	35	7,715	6,372	4,331	2,236	693	131	21,513	36,611		
逗子市	12	1,618	1,359	883	386	83	12	4,353	14	2,222	1,963	1,468	839	261	45	6,812	11,165		
三浦市	72	1,562	1,111	659	250	44	4	3,702	41	1,854	1,575	1,113	637	192	35	5,447	9,149		
秦野市	104	5,118	3,606	1,674	598	102	9	11,211	107	5,690	4,132	2,562	1,381	476	87	14,435	25,646		
厚木市	57	6,051	4,333	2,080	653	114	11	13,299	54	6,869	5,203	2,971	1,440	441	78	17,056	30,355		
大和市	26	5,361	4,365	2,330	673	161	10	12,926	14	6,978	5,718	3,422	1,580	491	94	18,297	31,223		
伊勢原市	26	2,629	2,013	1,080	358	62	8	6,176	26	3,088	2,475	1,544	733	277	39	8,182	14,358		
海老名市	34	3,392	2,620	1,404	375	74	2	7,901	34	4,015	3,222	1,848	894	274	42	10,329	18,230		
座間市	18	3,217	2,510	1,340	363	60	9	7,517	22	3,995	3,353	1,933	875	276	32	10,486	18,003		
南足柄市	4	1,326	1,059	572	198	38	7	3,204	4	1,618	1,358	877	456	145	23	4,481	7,685		
綾瀬市	14	2,396	2,017	915	237	31	3	5,613	10	2,987	2,260	1,252	511	170	35	7,225	12,838		
葉山町	6	980	773	491	205	36	4	2,495	3	1,294	1,067	732	368	159	37	3,660	6,155		
寒川町	9	1,343	1,018	519	133	25	3	3,050	9	1,574	1,223	688	315	102	9	3,920	6,970		
大磯町	4	1,116	922	450	159	33	2	2,686	9	1,331	1,011	712	369	128	27	3,587	6,273		
二宮町	11	998	770	454	185	35	5	2,453	7	1,166	961	667	370	119	21	3,311	5,764		
中井町		361	231	100	53	9		754	2	392	266	160	76	38	6	940	1,694		
大井町	1	526	351	174	67	13	1	1,133	1	582	477	290	126	54	9	1,539	2,672		
松田町		331	254	150	54	16	1	806	1	416	344	278	150	43	9	1,241	2,047		
山北町	2	385	241	164	65	14	2	873	1	395	347	273	153	62	8	1,239	2,112		
開成町	4	406	363	203	65	11	3	1,055	1	543	439	290	165	51	12	1,501	2,556		
箱根町	10	396	281	135	46	6	2	876	2	483	384	271	128	66	11	1,345	2,221		
真鶴町	4	274	209	109	36	13		645	1	365	282	216	108	40	8	1,020	1,665		
湯河原町	8	884	677	384	132	32	1	2,118	3	1,184	1,017	699	348	121	13	3,385	5,503		
愛川町	3	1,241	880	413	135	23	1	2,696	2	1,364	1,064	565	282	91	15	3,383	6,079		
清川村		112	59	32	14	5		222		105	79	61	24	12	1	282	504		
(県合計)	2,333	216,462	163,849	94,268	33,783	6,704	586	517,985	2,053	264,526	218,345	149,050	76,767	24,199	4,114	739,054	1,257,039		

*本広域連合にて管理している最新被保険者基本データ(令和5年5月現在)より集計

*平成30～令和4年度の各年度末(翌年3月31日)時点での被保険者資格保有者のみを計上

(資料-3) 市区町村別の要介護認定者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(単位:人)

市町村名	(12か月の延べ人数)			(1か月あたりの平均人数)			令和4年度における 平成30年度からの増加率
	平成30年度	令和2年度	令和4年度	平成30年度	令和2年度	令和4年度	
横浜市鶴見区	116,684	122,112	127,012	9,724	10,176	10,584	8.9%
横浜市神奈川区	104,263	108,480	112,657	8,689	9,040	9,388	8.1%
横浜市西区	41,577	42,292	42,839	3,465	3,524	3,570	3.0%
横浜市中区	70,835	74,431	75,637	5,903	6,203	6,303	6.8%
横浜市南区	107,952	111,252	116,198	8,996	9,271	9,683	7.6%
横浜市保土ヶ谷区	106,400	113,483	117,097	8,867	9,457	9,758	10.1%
横浜市磯子区	86,705	90,984	95,081	7,225	7,582	7,923	9.7%
横浜市金沢区	103,452	109,296	116,457	8,621	9,108	9,705	12.6%
横浜市港北区	131,170	138,547	145,844	10,931	11,546	12,154	11.2%
横浜市戸塚区	124,104	137,153	147,385	10,342	11,429	12,282	18.8%
横浜市港南区	108,972	119,583	129,517	9,081	9,965	10,793	18.9%
横浜市旭区	141,160	151,700	158,375	11,763	12,642	13,198	12.2%
横浜市緑区	73,265	78,958	85,923	6,105	6,580	7,160	17.3%
横浜市瀬谷区	69,838	75,986	79,996	5,820	6,332	6,666	14.5%
横浜市栄区	62,787	68,333	75,634	5,232	5,694	6,303	20.5%
横浜市泉区	77,875	85,501	92,154	6,490	7,125	7,680	18.3%
横浜市青葉区	115,833	123,816	134,541	9,653	10,318	11,212	16.2%
横浜市都筑区	66,345	73,122	79,436	5,529	6,094	6,620	19.7%
川崎市川崎区	108,071	113,209	115,899	9,006	9,434	9,658	7.2%
川崎市幸区	71,200	74,963	79,166	5,933	6,247	6,597	11.2%
川崎市中原区	74,791	78,949	82,662	6,233	6,579	6,889	10.5%
川崎市高津区	78,344	87,175	92,905	6,529	7,265	7,742	18.6%
川崎市多摩区	79,348	85,252	90,538	6,612	7,104	7,545	14.1%
川崎市宮前区	83,263	90,705	99,965	6,939	7,559	8,330	20.1%
川崎市麻生区	76,786	83,024	89,271	6,399	6,919	7,439	16.3%
相模原市	314,353	340,615	368,612	26,196	28,385	30,718	17.3%
横須賀市	233,282	244,854	256,663	19,440	20,405	21,389	10.0%
平塚市	115,412	123,346	131,952	9,618	10,279	10,996	14.3%
鎌倉市	116,088	121,708	127,391	9,674	10,142	10,616	9.7%
藤沢市	197,848	213,050	227,619	16,487	17,754	18,968	15.0%
小田原市	98,358	104,001	110,530	8,197	8,667	9,211	12.4%
茅ヶ崎市	103,839	115,151	125,110	8,653	9,596	10,426	20.5%
逗子市	42,129	44,173	46,943	3,511	3,681	3,912	11.4%
三浦市	31,987	34,007	36,374	2,666	2,834	3,031	13.7%
秦野市	66,921	71,503	77,054	5,577	5,959	6,421	15.1%
厚木市	78,604	85,353	94,633	6,550	7,113	7,886	20.4%
大和市	99,134	105,298	113,221	8,261	8,775	9,435	14.2%
伊勢原市	41,316	44,181	46,770	3,443	3,682	3,898	13.2%
海老名市	46,825	53,093	59,238	3,902	4,424	4,937	26.5%
座間市	51,192	56,420	62,535	4,266	4,702	5,211	22.2%
南足柄市	20,661	23,085	24,941	1,722	1,924	2,078	20.7%
綾瀬市	31,615	36,898	41,047	2,635	3,075	3,421	29.8%
葉山町	18,532	19,689	21,312	1,544	1,641	1,776	15.0%
寒川町	18,685	20,340	22,773	1,557	1,695	1,898	21.9%
大磯町	18,646	19,527	20,519	1,554	1,627	1,710	10.0%
二宮町	16,040	17,619	19,255	1,337	1,468	1,605	20.0%
中井町	4,871	4,801	5,219	406	400	435	7.1%
大井町	6,685	6,774	7,393	557	565	616	10.6%
松田町	6,132	6,169	6,580	511	514	548	7.3%
山北町	7,503	7,569	8,194	625	631	683	9.2%
開成町	6,605	7,673	8,267	550	639	689	25.2%
箱根町	7,198	7,366	7,995	600	614	666	11.1%
真鶴町	5,173	5,414	5,708	431	451	476	10.3%
湯河原町	16,750	17,591	18,330	1,396	1,466	1,528	9.4%
愛川町	16,142	17,350	19,209	1,345	1,446	1,601	19.0%
清川村	1,532	1,556	1,620	128	130	135	5.7%
(県合計)	4,004,394	4,292,368	4,578,184	333,700	357,697	381,515	14.2%

* KDB健康スコアリング(介護)より集計

(資料-4) 市区町村別の75歳以上人口の推移予測明細 (令和7年度・令和12年度・令和17年度)

市町村名	推定人口(人)			増加率(%)	
	令和7年度	令和12年度	令和17年度	令和7年度 ↓ 令和12年度	令和12年度 ↓ 令和17年度
横浜市鶴見区	35,841	37,626	37,389	5.0	-0.6
横浜市神奈川区	33,965	36,009	36,361	6.0	1.0
横浜市西区	10,992	11,043	10,984	0.5	-0.5
横浜市中区	20,552	20,966	20,922	2.0	-0.2
横浜市南区	29,394	29,268	28,083	-0.4	-4.0
横浜市保土ヶ谷区	34,612	35,413	35,078	2.3	-0.9
横浜市磯子区	28,683	29,490	28,793	2.8	-2.4
横浜市金沢区	36,573	38,435	37,322	5.1	-2.9
横浜市港北区	44,919	48,041	49,589	7.0	3.2
横浜市戸塚区	45,699	47,528	46,359	4.0	-2.5
横浜市港南区	37,959	38,301	36,757	0.9	-4.0
横浜市旭区	47,434	48,180	46,828	1.6	-2.8
横浜市緑区	31,303	33,671	34,689	7.6	3.0
横浜市瀬谷区	23,109	23,411	22,604	1.3	-3.4
横浜市栄区	25,041	24,726	22,861	-1.3	-7.5
横浜市泉区	30,483	31,835	31,447	4.4	-1.2
横浜市青葉区	46,493	51,356	54,873	10.5	6.8
横浜市都筑区	25,637	28,398	30,716	10.8	8.2
川崎市川崎区	29,754	30,399	29,552	2.2	-2.8
川崎市幸区	23,562	24,754	24,642	5.1	-0.5
川崎市中原区	22,963	24,030	24,803	4.6	3.2
川崎市高津区	28,277	30,767	31,738	8.8	3.2
川崎市多摩区	29,110	31,748	33,083	9.1	4.2
川崎市宮前区	34,685	38,045	39,883	9.7	4.8
川崎市麻生区	28,761	30,826	32,018	7.2	3.9
相模原市	120,634	128,397	127,438	6.4	-0.7
横須賀市	75,435	74,744	69,474	-0.9	-7.1
平塚市	45,736	48,443	47,675	5.9	-1.6
鎌倉市	34,512	33,886	32,161	-1.8	-5.1
藤沢市	69,013	72,496	72,461	5.0	-0.0
小田原市	34,309	35,303	34,309	2.9	-2.8
茅ヶ崎市	40,350	41,700	41,013	3.3	-1.6
逗子市	11,502	11,112	10,510	-3.4	-5.4
三浦市	9,946	10,140	9,292	2.0	-8.4
秦野市	29,876	32,195	31,041	7.8	-3.6
厚木市	35,204	37,754	36,638	7.2	-3.0
大和市	35,353	36,210	35,355	2.4	-2.4
伊勢原市	17,321	18,465	18,189	6.6	-1.5
海老名市	20,991	22,203	21,452	5.8	-3.4
座間市	20,048	20,758	20,171	3.5	-2.8
南足柄市	8,369	8,559	8,092	2.3	-5.5
綾瀬市	14,540	14,666	13,449	0.9	-8.3
葉山町	6,798	6,723	6,355	-1.1	-5.5
寒川町	8,006	8,553	8,186	6.8	-4.3
大磯町	6,589	6,692	6,322	1.6	-5.5
二宮町	6,030	5,937	5,624	-1.5	-5.3
中井町	2,082	2,242	2,161	7.7	-3.6
大井町	2,902	2,992	2,788	3.1	-6.8
松田町	2,111	2,146	2,004	1.7	-6.6
山北町	2,168	2,248	2,152	3.7	-4.3
開成町	3,111	3,321	3,332	6.8	0.3
箱根町	2,297	2,178	1,931	-5.2	-11.3
真鶴町	1,624	1,592	1,479	-2.0	-7.1
湯河原町	6,383	6,328	5,894	-0.9	-6.9
愛川町	7,067	7,693	7,411	8.9	-3.7
清川村	652	705	656	8.1	-7.0
(合計)	1,466,760	1,530,647	1,512,389	4.4	-1.2

* 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』のデータをもとに作成

* 相模原市は行政区別の健康スコアリングデータ(介護) データがないため、市全体のみとなっている

(資料-5) 市区町村別の平均余命・平均自立期間明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(単位:年)

市区町村名	平成30年度				令和2年度				令和4年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	平均余命	平均自立期間	平均余命	平均自立期間	平均余命	平均自立期間	平均余命	平均自立期間	平均余命	平均自立期間	平均余命	平均自立期間
横浜市鶴見区	80.7	78.7	86.7	82.6	80.2	78.4	87.1	83.2	82	80	87.9	83.7
横浜市神奈川区	81.9	80	87.3	83.3	81.3	79.5	87.4	83.5	82.6	80.6	88.8	84.6
横浜市西区	80.7	79	86.9	83.2	80.7	79	86.7	83.2	81.3	79.5	87	83.5
横浜市中区	78.4	76.5	86.9	82.9	78.3	76.4	86.9	82.9	79.9	77.6	87	83
横浜市南区	79.7	77.9	86.7	82.7	81	79	86.7	83	81.1	79.1	87.1	83.5
横浜市保土ヶ谷区	80.9	79	86.7	82.9	82.3	80.2	87.3	83.4	81.9	79.8	88.1	84.1
横浜市磯子区	81.5	79.8	87.3	83.7	81.3	79.7	87.2	83.7	82.7	80.9	88.1	84.4
横浜市金沢区	82.1	80.4	87.5	84	82.8	81.2	87.5	84.3	83.1	81.4	88.4	84.8
横浜市港北区	82.6	80.6	88.2	84.3	83.2	81.4	88.6	84.6	83.2	81.2	88.6	84.7
横浜市戸塚区	82.4	80.6	87.1	83.5	82.1	80.4	88	84.2	83.3	81.6	89	85.2
横浜市港南区	82	80	87.7	83.7	83.1	81.1	89.1	84.8	82.5	80.6	88.8	84.8
横浜市旭区	81.6	79.8	87.7	83.6	82.6	80.7	87.2	83.3	82	80.1	88.5	84.6
横浜市緑区	83.1	81.1	86.9	82.9	82.9	81.1	86.7	83.3	83.2	81.4	88.1	84.4
横浜市瀬谷区	81.1	79.3	86.4	82.8	81	79.3	86.9	83.1	81.3	79.4	87.5	83.6
横浜市栄区	82.3	80.8	88	84.5	82.5	81	88	84.5	83.1	81.7	88.2	84.8
横浜市泉区	82.5	80.7	87	83.4	82.1	80.1	87.4	83.7	82.8	81	88.5	84.4
横浜市青葉区	83.9	82	88.3	84.6	84.9	83	88.4	84.8	84.1	82.4	89.5	85.8
横浜市都筑区	82.7	80.8	87.6	84	82.2	80.5	88.5	84.4	84.4	82.4	88.8	84.8
川崎市川崎区	79.3	77.5	86.2	82.6	79.3	77.4	86.8	83.1	79	77.2	87.4	83.5
川崎市幸区	80.4	78.7	87.5	83.5	81.2	79.5	87.6	84.2	80.7	79.1	88.2	84.8
川崎市中原区	82.6	81.1	88.1	84.9	81.8	80.2	87.3	84.1	82.2	80.5	87.9	84.5
川崎市高津区	82	80.3	87.2	83.7	81.8	80.2	87.8	84.3	82.4	80.5	89.8	85.6
川崎市多摩区	82.4	80.7	88	84.6	82.9	81.2	87.7	84.2	81.7	80.2	88.7	85.2
川崎市宮前区	82.2	80.5	87.5	83.9	83.4	81.4	87.9	84.1	83	81	88.9	85
川崎市麻生区	83.3	81.6	88	84.6	82.9	81.2	88.9	85.3	84.1	82.2	89.2	85.5
相模原市全体	81.8	79.8	87.5	83.4	81.3	79.4	87.4	83.6	81.7	79.9	87.5	84
横須賀市	81.2	79.6	87.6	84.2	81.2	79.7	86.9	83.7	81.5	79.9	87.1	84
平塚市	81.5	79.9	86.4	83.3	81.3	79.7	86.6	83.3	81.5	80	87.8	84.4
鎌倉市	82.8	81	88.4	84.7	83.6	81.8	89	85.2	83.9	82.2	89	85.4
藤沢市	82.2	81	88.4	85.4	83.1	81.8	88.4	85.5	83.1	81.8	88.4	85.6
小田原市	80.1	78.8	87.5	84.5	81.2	79.9	87.1	84.3	80.7	79.5	86.4	83.8
茅ヶ崎市	82.5	81.2	87.7	84.9	82.7	81.4	87.9	85.1	82.7	81.3	89.3	86.1
逗子市	82.4	80.6	88.1	84.1	82.8	81	88.1	84.3	84.3	82.3	88.6	84.8
三浦市									80	78.5	87	83.6
秦野市	81.2	79.5	87.7	83.9	82	80.2	87.2	83.6	82.3	80.6	87.9	84.1
厚木市	81.5	79.9	85.8	82.6	81.5	79.9	86.8	83.5	81.8	80.2	86.8	83.5
大和市	81.2	79.5	87.2	83.6	81.7	80	87.3	83.8	82.4	80.6	88.3	84.4
伊勢原市	81.6	80	87.4	83.9	81.8	80.3	87.9	84.4	82.1	80.5	88	84.5
海老名市	82	80.7	87.1	84.4	81.5	80.3	87.3	84.6	82.5	81.1	89	85.7
座間市	80	78.4	87.2	83.5	81.6	79.8	87.1	83.7	82	80.3	87.6	84.1
南足柄市									82	80.5	87.7	84.6
綾瀬市	80.1	78.7	86.4	83	81	79.6	86.3	83.1	81.6	80	87	83.7
葉山町									82.7	81.3	86.4	83.6
寒川町	81	79.5	86.4	83.4	81.7	80.2	86.5	83.5	81.7	80.2	87	84
大磯町									82.4	81	87.5	84.5
二宮町									82.7	81.2	88.3	85.2
中井町									83.4	81.6	86.9	83.5
大井町									82.3	80.7	87.4	84.4
松田町									80.2	78.7	89	85.6
山北町									81.2	79.6	83.5	80.7
開成町									81.4	79.8	89.3	85.4
箱根町									78.2	77.1	87.3	84.4
真鶴町									79.7	78.6	87.7	84.7
湯河原町									81	79.7	85.9	83.4
愛川町									79.8	78.4	86.9	83.2
清川村									77.6	75.9	86.1	82.9
(県平均)	81.6	79.9	87.3	83.8	81.9	80.2	87.5	84	82.2	80.5	88.1	84.5
(全国平均)	81	79.5	87.1	83.8	81.3	79.8	87.3	84	81.7	80.1	87.8	84.4

* KDB健康スコアリング (介護) より集計

* 相模原市は行政区別の健康スコアリングデータ (介護) データがないため、市全体のみとなっている

(資料-6) 市区町村別の要介護期間明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

地区名	要介護期間(年)						平成30年度→令和4年度 増減年数(年)	
	平成30年度		令和2年度		令和4年度		男性	女性
	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
横浜市鶴見区	2.0	4.1	1.8	3.9	2.0	4.2	0.0	0.1
横浜市神奈川区	1.9	4.0	1.8	3.9	2.0	4.2	0.1	0.2
横浜市西区	1.7	3.7	1.7	3.5	1.8	3.5	0.1	-0.2
横浜市中区	1.9	4.0	1.9	4.0	2.3	4.0	0.4	0.0
横浜市南区	1.8	4.0	2.0	3.7	2.0	3.6	0.2	-0.4
横浜市保土ヶ谷区	1.9	3.8	2.1	3.9	2.1	4.0	0.2	0.2
横浜市磯子区	1.7	3.6	1.6	3.5	1.8	3.7	0.1	0.1
横浜市金沢区	1.7	3.5	1.6	3.2	1.7	3.6	0.0	0.1
横浜市港北区	2.0	3.9	1.8	4.0	2.0	3.9	0.0	-0.0
横浜市戸塚区	1.8	3.6	1.7	3.8	1.7	3.8	-0.1	0.2
横浜市港南区	2.0	4.0	2.0	4.3	1.9	4.0	-0.1	0.0
横浜市旭区	1.8	4.1	1.9	3.9	1.9	3.9	0.1	-0.2
横浜市緑区	2.0	4.0	1.8	3.4	1.8	3.7	-0.2	-0.3
横浜市瀬谷区	1.8	3.6	1.7	3.8	1.9	3.9	0.1	0.3
横浜市栄区	1.5	3.5	1.5	3.5	1.4	3.4	-0.1	-0.1
横浜市泉区	1.8	3.6	2.0	3.7	1.8	4.1	0.0	0.5
横浜市青葉区	1.9	3.7	1.9	3.6	1.7	3.7	-0.2	0.0
横浜市都筑区	1.9	3.6	1.7	4.1	2.0	4.0	0.1	0.4
川崎市川崎区	1.8	3.6	1.9	3.7	1.8	3.9	0.0	0.3
川崎市幸区	1.7	4.0	1.7	3.4	1.6	3.4	-0.1	-0.6
川崎市中原区	1.5	3.2	1.6	3.2	1.7	3.4	0.2	0.2
川崎市高津区	1.7	3.5	1.6	3.5	1.9	4.2	0.2	0.7
川崎市多摩区	1.7	3.4	1.7	3.5	1.5	3.5	-0.2	0.1
川崎市宮前区	1.7	3.6	2.0	3.8	2.0	3.9	0.3	0.3
川崎市麻生区	1.7	3.4	1.7	3.6	1.9	3.7	0.2	0.3
相模原市全体	2.0	4.1	1.9	3.8	1.8	3.5	-0.2	-0.6
横須賀市	1.6	3.4	1.5	3.2	1.6	3.1	-0.0	-0.3
平塚市	1.6	3.1	1.6	3.3	1.5	3.4	-0.1	0.3
鎌倉市	1.8	3.7	1.8	3.8	1.7	3.6	-0.1	-0.1
藤沢市	1.2	3.0	1.3	2.9	1.3	2.8	0.1	-0.2
小田原市	1.3	3.0	1.3	2.8	1.2	2.6	-0.1	-0.4
茅ヶ崎市	1.3	2.8	1.3	2.8	1.4	3.2	0.1	0.4
逗子市	1.8	4.0	1.8	3.8	2.0	3.8	0.2	-0.2
三浦市								
秦野市	1.7	3.8	1.8	3.6	1.7	3.8	0.0	0.0
厚木市	1.6	3.2	1.6	3.3	1.6	3.3	0.0	0.1
大和市	1.7	3.6	1.7	3.5	1.8	3.9	0.1	0.3
伊勢原市	1.6	3.5	1.5	3.5	1.6	3.5	0.0	0.0
海老名市	1.3	2.7	1.2	2.7	1.4	3.3	0.1	0.6
座間市	1.6	3.7	1.8	3.4	1.7	3.5	0.1	-0.2
南足柄市								
綾瀬市	1.4	3.4	1.4	3.2	1.6	3.3	0.2	-0.1
葉山町								
寒川町	1.5	3.0	1.5	3.0	1.5	3.0	0.0	0.0
大磯町								
二宮町								
中井町								
大井町								
松田町								
山北町								
開成町								
箱根町								
真鶴町								
湯河原町								
愛川町								
清川村								
(県全体)	1.7	3.5	1.7	3.5	1.7	3.6	0.0	0.1
(全国)	1.5	3.3	1.5	3.3	1.6	3.4	0.1	0.1

* KDB健康スコアリング(介護)より集計

* 15市町村(三浦市、南足柄市、葉山町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村)については現在作成中)

(資料-7) 75歳以上死亡者における主要死因別人数明細 (平成30年度・令和2年度)

(人数単位:人)

死因分類コード (中位分類)	死因分類名	平成30年度				令和2年度			
		男性	女性	(計)	順位	男性	女性	(計)	順位
1100	腸管感染症	56	55	111	35	40	66	106	35
1200	結核	58	56	114	34	59	49	108	33
1300	敗血症	208	248	456	20	207	228	435	21
1400	ウイルス性肝炎	44	57	101	36	31	48	79	38
1500	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	2	0	2	47	0	0	0	
1600	その他の感染症及び寄生虫症	121	138	259	28	126	157	283	28
2100	悪性新生物<腫瘍>	8,416	6,160	14,576	1	8,987	6,378	15,365	1
2200	その他の新生物<腫瘍>	335	284	619	15	329	302	631	16
3100	貧血	36	61	97	37	51	57	108	33
3200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	34	43	77	39	39	41	80	37
4100	糖尿病	246	267	513	18	247	281	528	19
4200	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	150	188	338	24	144	191	335	24
5100	血管性及び詳細不明の認知症	427	698	1,125	8	462	712	1,174	9
5200	その他の精神及び行動の障害	19	33	52	41	34	28	62	40
6100	髄膜炎	6	10	16	43	10	4	14	44
6200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	42	38	80	38	41	34	75	39
6300	パーキンソン病	327	277	604	16	389	307	696	14
6400	アルツハイマー病	354	625	979	12	376	716	1,092	11
6500	その他の神経系の疾患	349	287	636	14	321	344	665	15
7000	眼及び付属器の疾患	0	1	1	49	0	1	1	49
8000	耳及び乳様突起の疾患	0	0	0		0	1	1	49
9100	高血圧性疾患	92	174	266	27	114	206	320	25
9200	心疾患 (高血圧性を除く)	4,195	5,107	9,302	2	4,412	5,043	9,455	3
9300	脳血管疾患	2,011	2,509	4,520	5	2,055	2,359	4,414	4
9400	大動脈瘤及び解離	410	409	819	13	353	414	767	12
9500	その他の循環器系の疾患	108	204	312	25	120	189	309	26
10100	インフルエンザ	73	66	139	31	18	13	31	42
10200	肺炎	2,565	1,972	4,537	4	2,189	1,477	3,666	6
10300	急性気管支炎	4	11	15	44	3	7	10	46
10400	慢性閉塞性肺疾患	795	218	1,013	11	602	163	765	13
10500	喘息	25	42	67	40	13	22	35	41
10600	その他の呼吸器系の疾患	2,223	1,609	3,832	6	2,522	1,634	4,156	5
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	65	62	127	32	47	40	87	36
11200	ヘルニア及び腸閉塞	180	178	358	23	182	192	374	22
11300	肝疾患	316	246	562	17	303	246	549	18
11400	その他の消化器系の疾患	488	614	1,102	9	540	599	1,139	10
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	44	82	126	33	52	86	138	32
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	147	243	390	21	161	302	463	20
14100	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	71	120	191	30	80	116	196	30
14200	腎不全	530	553	1,083	10	633	577	1,210	8
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	193	301	494	19	232	356	588	17
15000	妊娠, 分娩及び産じょく	0	0	0		0	0	0	
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	0	0	0		0	0	0	
16200	出産外傷	0	0	0		0	0	0	
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	0	0	0		0	0	0	
16400	周産期に特異的な感染症	0	0	0		0	0	0	
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	0	0	0		0	0	0	
16600	その他の周産期に発生した病態	0	0	0		0	0	0	
17100	神経系の先天奇形	0	0	0		0	1	1	49
17200	循環器系の先天奇形	10	13	23	42	5	21	26	43
17300	消化器系の先天奇形	0	2	2	47	0	2	2	48
17400	その他の先天奇形及び変形	2	8	10	45	3	8	11	45
17500	染色体異常, 他に分類されないもの	1	0	1	49	0	0	0	
18100	老衰	2,010	5,555	7,565	3	2,752	6,792	9,544	2
18200	乳幼児突然死症候群	0	0	0		0	0	0	
18300	その他の症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	127	153	280	26	140	164	304	27
20100	不慮の事故	1,050	993	2,043	7	996	943	1,939	7
20200	自殺	116	88	204	29	105	77	182	31
20300	他殺	2	6	8	46	2	2	4	47
20400	その他の外因	192	187	379	22	202	168	370	23
22100	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0	0		0	0	0	
22200	その他の特殊目的用コード	0	0	0		115	97	212	29

*「平成30年度神奈川県衛生統計年報」および「令和2年度神奈川県衛生統計年報」より集計

(資料- 8) 死亡レセプトから見た75歳以上死亡者における主要死因別明細 (令和4年度)

(人数単位:人)

死因分類コード (中位分類)	死亡時の主病名に対応した死因簡単分類名	人数			順位		
		男性	女性	(計)	男性	女性	全体
02100	悪性新生物<腫瘍>	5699.3	4025.0	9724.3	1	2	1
09200	心疾患(高血圧性を除く)	3898.1	4550.6	8448.7	2	1	2
10600	その他の呼吸器系の疾患	3209.1	2075.3	5284.4	3	3	3
09300	脳血管疾患	1452.5	1860.5	3313.0	4	5	4
09100	高血圧性疾患	749.0	1861.5	2610.5	9	4	5
18100	老 衰	800.4	1749.5	2549.8	7	6	6
06400	アルツハイマー病	660.2	1434.6	2094.8	10	7	7
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	772.9	1032.5	1805.3	8	8	8
10200	肺 炎	1070.8	651.5	1722.3	5	13	9
18300	乳幼児突然死症候群	834.5	872.9	1707.4	6	9	10
11400	その他の消化器系の疾患	609.4	859.8	1469.2	12	10	11
20400	他 殺	614.0	596.7	1210.7	11	14	12
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	451.0	667.2	1118.2	15	12	13
05100	血管性及び詳細不明の認知症	413.1	683.2	1096.3	18	11	14
14200	腎不全	602.1	475.1	1077.2	13	17	15
22200	その他の特殊目的用コード	533.3	478.6	1011.9	14	15	16
06500	その他の神経系の疾患	428.3	477.1	905.4	17	16	17
04100	糖尿病	443.9	443.9	887.7	16	18	18
01300	敗血症	355.8	344.0	699.8	19	20	19
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	254.4	369.7	624.2	23	19	20
06300	パーキンソン病	273.6	288.3	561.9	22	22	21
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	275.8	278.4	554.3	21	23	22
05200	その他の精神及び行動の障害	221.7	316.4	538.1	24	21	23
10400	慢性閉塞性肺疾患	341.5	121.4	462.9	20	30	24
09400	大動脈瘤及び解離	169.2	192.5	361.7	27	24	25
01600	その他の感染症及び寄生虫症	180.0	178.3	358.3	25	26	26
02200	その他の新生物<腫瘍>	175.4	163.3	338.7	26	28	27
11300	肝疾患	166.5	165.5	332.0	28	27	28
09500	その他の循環器系の疾患	133.9	180.2	314.1	29	25	29
03100	貧血	90.4	126.7	217.1	32	29	30
11200	ヘルニア及び腸閉塞	105.8	109.1	215.0	30	31	31
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	90.7	81.0	171.7	31	34	32
07000	眼及び付属器の疾患	63.2	94.3	157.5	33	32	33
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	55.2	84.5	139.7	36	33	34
10500	喘息	47.2	76.9	124.1	37	35	35
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	60.7	57.0	117.7	34	36	36
	(不明)	57.7	45.6	103.3	35	37	37
01100	腸管感染症	32.0	32.2	64.1	40	39	38
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	33.8	27.1	60.9	38	40	39
01400	ウイルス性肝炎	24.1	33.9	58.0	41	38	40
01200	結 核	33.2	21.7	54.9	39	42	41
10300	急性気管支炎	14.0	22.2	36.2	42	41	42
08000	耳及び乳様突起の疾患	10.1	14.8	25.0	43	43	43
17400	その他の先天奇形及び変形	3.8	4.9	8.7	44	45	44
06100	髄膜炎	2.3	5.4	7.7	46	44	45
10100	インフルエンザ	2.9	3.6	6.4	45	47	46
17200	循環器系の先天奇形	1.3	3.7	5.1	49	46	47
20200	自 殺	2.0	1.0	3.0	47	49	48
01500	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	1.8	0.2	2.1	48	50	49
17300	消化器系の先天奇形	0.1	1.5	1.6	50	48	50
22100	重症急性呼吸器症候群[SARS]		0.1	0.1		51	51
	総 計	26522	28241	54763			

* 令和4年度のレセプトより死亡レセプト(転帰区分が「死亡」のもの)を抽出し、そのレセプトの主病名から対応する死因簡単分類(中位)に変換して集計
 * 主病名が複数存在した場合は主病名の数に応じて人数を按分して計上(主病名が存在しない場合も同様に記載病名に数に応じて人数を按分)

(資料－ 9) 市区町村別の健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(人数単位：人)

市区町村名	平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
横浜市鶴見区	-	-	-	-	-	-	31,967	2,848	8.9%
横浜市神奈川区	-	-	-	-	-	-	28,430	3,321	11.7%
横浜市西区	-	-	-	-	-	-	10,909	1,516	13.9%
横浜市中区	-	-	-	-	-	-	16,934	1,398	8.3%
横浜市南区	-	-	-	-	-	-	28,276	2,165	7.7%
横浜市保土ヶ谷区	-	-	-	-	-	-	30,136	2,679	8.9%
横浜市磯子区	-	-	-	-	-	-	25,986	2,553	9.8%
横浜市金沢区	-	-	-	-	-	-	33,068	3,348	10.1%
横浜市港北区	-	-	-	-	-	-	38,294	3,526	9.2%
横浜市戸塚区	-	-	-	-	-	-	40,907	5,161	12.6%
横浜市港南区	-	-	-	-	-	-	35,843	4,498	12.5%
横浜市旭区	-	-	-	-	-	-	41,643	4,157	10.0%
横浜市緑区	-	-	-	-	-	-	24,445	2,067	8.5%
横浜市瀬谷区	-	-	-	-	-	-	19,618	2,327	11.9%
横浜市栄区	-	-	-	-	-	-	22,822	2,171	9.5%
横浜市泉区	-	-	-	-	-	-	24,844	3,531	14.2%
横浜市青葉区	-	-	-	-	-	-	37,213	3,846	10.3%
横浜市都筑区	-	-	-	-	-	-	21,014	2,106	10.0%
川崎市川崎区	23,129	6,371	27.5%	23,474	5,612	23.9%	24,919	5,818	23.3%
川崎市幸区	17,415	4,529	26.0%	17,857	4,221	23.6%	19,239	4,521	23.5%
川崎市中原区	19,060	5,119	26.9%	19,529	4,623	23.7%	20,954	5,097	24.3%
川崎市高津区	19,330	5,485	28.4%	20,453	5,111	25.0%	22,485	5,891	26.2%
川崎市多摩区	20,194	7,066	35.0%	20,972	6,540	31.2%	22,473	6,895	30.7%
川崎市宮前区	22,147	7,332	33.1%	23,526	7,076	30.1%	25,864	7,852	30.4%
川崎市麻生区	20,395	7,032	34.5%	21,503	6,249	29.1%	23,481	7,205	30.7%
相模原市緑区	19,938	4,515	22.6%	21,515	4,017	18.7%	24,425	5,197	21.3%
相模原市中央区	29,854	7,686	25.7%	31,902	7,146	22.4%	35,431	8,522	24.1%
相模原市南区	34,004	10,249	30.1%	35,748	9,439	26.4%	38,850	10,359	26.7%
横須賀市	-	-	-	-	-	-	71,829	15,312	21.3%
平塚市	34,470	11,913	34.6%	36,209	11,977	33.1%	39,463	13,059	33.1%
鎌倉市	-	-	-	-	-	-	32,833	9,351	28.5%
藤沢市	-	-	-	55,721	24,276	43.6%	60,525	26,642	44.0%
小田原市	28,071	7,490	26.7%	28,798	7,727	26.8%	30,991	7,919	25.6%
茅ヶ崎市	-	-	-	33,944	14,332	42.2%	37,144	15,054	40.5%
逗子市	10,565	2,672	25.3%	10,795	2,118	19.6%	11,389	2,599	22.8%
三浦市	8,586	1,573	18.3%	8,732	1,582	18.1%	9,372	1,697	18.1%
秦野市	-	-	-	23,216	7,871	33.9%	25,916	8,150	31.4%
厚木市	-	-	-	27,398	783	2.9%	30,698	10,309	33.6%
大和市	27,347	11,243	41.1%	29,020	11,793	40.6%	31,771	12,904	40.6%
伊勢原市	12,599	4,217	33.5%	13,364	4,763	35.6%	14,614	4,989	34.1%
海老名市	15,248	5,604	36.8%	16,541	5,739	34.7%	18,526	6,581	35.5%
座間市	15,588	5,288	33.9%	16,653	5,343	32.1%	18,334	5,875	32.0%
南足柄市	6,845	1,687	24.6%	7,181	1,874	26.1%	7,810	2,118	27.1%
綾瀬市	-	-	-	11,867	3,679	31.0%	13,073	4,887	37.4%
葉山町	5,586	1,460	26.1%	5,826	1,175	20.2%	6,278	1,606	25.6%
寒川町	6,019	2,018	33.5%	6,455	2,169	33.6%	7,093	2,232	31.5%
大磯町	5,567	791	14.2%	5,854	1,354	23.1%	6,386	1,577	24.7%
二宮町	5,106	2,092	41.0%	5,366	2,131	39.7%	5,754	2,114	36.7%
中井町	-	-	-	-	-	-	1,714	442	25.8%
大井町	-	-	-	-	-	-	2,707	652	24.1%
松田町	-	-	-	1,941	314	16.2%	2,078	424	20.4%
山北町	-	-	-	-	-	-	2,153	442	20.5%
開成町	-	-	-	2,271	273	12.0%	2,439	312	12.8%
箱根町	-	-	-	2,053	7	0.3%	2,207	734	33.3%
真鶴町	-	-	-	-	-	-	1,716	545	31.8%
湯河原町	-	-	-	5,261	1,176	22.4%	5,592	1,515	27.1%
愛川町	-	-	-	5,472	2,339	42.7%	6,155	2,497	40.6%
清川村	-	-	-	-	-	-	515	189	36.7%
(県全体)	407,063	123,432	30.3%	596,417	174,829	29.3%	1,277,545	283,302	22.2%
(全国)	16,540,843	3,793,031	22.9%	17,759,752	4,084,905	23.0%	18,934,749	4,693,781	24.8%

* KDB健康スコアリング(健診)と個別に提供のあったデータより集計

* 平成30年度および令和2年度の対象者数、受診者数、受診率が「-」の市区町村については、KDBへのデータ登録が無かったことを示す(受診者自体がいなかったためではないことに注意)

(資料-10) 二次医療圏域別の健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(人数単位:人)

二次医療圏域名	平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
横浜北部	—	—	—	—	—	—	181,363	17,714	9.8%
横浜西部	—	—	—	—	—	—	168,057	19,371	11.5%
横浜南部	—	—	—	—	—	—	162,929	16,133	9.9%
川崎北部	82,066	82,066	32.8%	86,454	86,454	28.9%	94,303	27,843	29.5%
川崎南部	59,604	59,604	26.9%	60,860	60,860	23.8%	65,112	15,436	23.7%
横須賀三浦	24,737	24,737	23.1%	25,353	25,353	19.2%	131,701	30,565	23.2%
湘南東部	6,019	6,019	33.5%	96,120	96,120	42.4%	104,762	43,928	41.9%
湘南西部	57,742	57,742	32.9%	84,009	84,009	33.4%	92,133	29,889	32.4%
県央	58,183	58,183	38.0%	106,951	106,951	27.7%	119,072	43,242	36.3%
相模原	83,796	83,796	26.8%	89,165	89,165	23.1%	98,706	24,078	24.4%
県西	34,916	34,916	26.3%	47,505	47,505	23.9%	59,407	15,103	25.4%
(県全体)	407,063	407,063	30.3%	596,417	596,417	29.3%	1,277,545	283,302	22.2%

* KDB健康スコアリング(健診)と個別に提供のあったデータより集計

(資料-11) 年齢階層別の健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(人数単位:人)

年齢階層	平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
100歳以上	1,402	186	13.3%	2,390	267	11.2%	6,395	301	4.7%
95歳～99歳	8,574	1,263	14.7%	14,419	2,078	14.4%	34,980	2,951	8.4%
90歳～94歳	31,091	6,306	20.3%	49,649	9,622	19.4%	116,608	15,950	13.7%
85歳～89歳	70,363	19,479	27.7%	111,727	30,815	27.6%	248,578	50,187	20.2%
80歳～84歳	118,892	40,320	33.9%	180,513	58,589	32.5%	385,064	98,531	25.6%
75歳～79歳	175,406	55,643	31.7%	239,833	73,149	30.5%	481,855	114,943	23.9%
70歳～74歳	830	152	18.3%	1,325	221	16.7%	2,809	321	11.4%
65歳～69歳	505	83	16.4%	589	88	14.9%	1,256	118	9.4%
(県全体)	407,063	407,063	30.3%	596,417	596,417	29.3%	1,277,545	283,302	22.2%

* KDB健康スコアリング(健診)と個別に提供のあったデータより集計

(資料-12) 市区町村別の健康診査結果6項目リスク保有者数明細 (令和4年度)

(単位:人)

市区町村名	肥満リスク		血圧リスク		脂質リスク		血糖リスク		肝機能リスク		痩身リスク	
	対象者数	該当者数	対象者数	該当者数	対象者数	該当者数	対象者数	該当者数	対象者数	該当者数	対象者数	該当者数
横浜市鶴見区	2,846	665	2,848	1,137	2,848	583	2,848	375	2,848	114	2,846	253
横浜市神奈川区	3,314	772	3,319	1,159	3,321	732	3,321	537	3,321	137	3,314	330
横浜市西区	1,513	349	1,515	555	1,516	316	1,516	232	1,516	63	1,513	154
横浜市中区	1,397	303	1,397	477	1,398	269	1,398	222	1,398	65	1,397	165
横浜市南区	2,162	474	2,164	842	2,165	444	2,165	318	2,165	86	2,162	191
横浜市保土ヶ谷区	2,677	569	2,679	1,082	2,679	619	2,679	357	2,679	93	2,677	269
横浜市磯子区	2,548	575	2,553	907	2,553	497	2,553	331	2,553	88	2,548	257
横浜市金沢区	3,347	625	3,347	1,453	3,348	731	3,348	423	3,348	118	3,347	308
横浜市港北区	3,523	695	3,525	1,185	3,526	803	3,526	457	3,526	105	3,523	377
横浜市戸塚区	5,156	1,141	5,160	1,985	5,161	1,192	5,161	798	5,161	178	5,156	474
横浜市港南区	4,496	949	4,497	1,466	4,497	903	4,498	581	4,498	144	4,496	425
横浜市旭区	4,151	824	4,157	1,498	4,157	859	4,157	521	4,157	167	4,151	388
横浜市緑区	2,067	417	2,066	728	2,067	461	2,067	274	2,067	66	2,067	166
横浜市瀬谷区	2,326	452	2,327	969	2,327	537	2,327	256	2,327	84	2,326	253
横浜市栄区	2,171	417	2,170	789	2,171	520	2,171	290	2,171	70	2,171	202
横浜市泉区	3,527	712	3,531	1,187	3,530	742	3,531	549	3,530	128	3,527	335
横浜市青葉区	3,843	654	3,845	1,380	3,846	855	3,846	397	3,845	126	3,843	372
横浜市都筑区	2,106	410	2,105	772	2,106	514	2,106	306	2,106	63	2,106	207
川崎市川崎区	5,817	1,574	5,818	1,764	5,818	1,140	5,818	851	5,818	271	5,817	473
川崎市幸区	4,520	1,155	4,521	1,816	4,521	926	4,521	573	4,521	204	4,520	391
川崎市中原区	5,096	1,156	5,097	1,633	5,097	1,063	5,097	611	5,097	213	5,096	475
川崎市高津区	5,890	1,385	5,888	2,084	5,891	1,275	5,891	698	5,891	240	5,890	513
川崎市多摩区	6,893	1,476	6,895	2,560	6,895	1,531	6,894	806	6,895	250	6,893	680
川崎市宮前区	7,848	1,712	7,851	2,414	7,852	1,790	7,852	867	7,852	301	7,848	743
川崎市麻生区	7,204	1,370	7,204	3,038	7,205	1,727	7,205	818	7,205	251	7,204	830
相模原市緑区	5,195	1,245	5,197	1,973	5,197	1,069	5,197	576	5,197	171	5,195	391
相模原市中央区	8,522	1,932	8,522	2,644	8,522	1,708	8,522	1,078	8,522	338	8,522	689
相模原市南区	10,359	2,238	10,358	3,855	10,359	2,012	10,359	1,258	10,359	396	10,359	880
横須賀市	15,308	3,602	15,312	5,653	15,312	2,825	15,312	1,664	15,312	613	15,308	1,303
平塚市	13,051	3,078	13,059	4,339	13,059	2,372	13,059	1,974	13,059	535	13,051	1,164
鎌倉市	9,349	1,768	9,351	3,171	9,351	1,877	9,351	910	9,351	296	9,349	1,002
藤沢市	26,637	5,950	26,642	8,475	26,642	5,310	26,641	3,397	26,642	1,015	26,637	2,485
小田原市	7,919	1,802	7,919	2,378	7,919	1,517	7,919	1,115	7,919	287	7,919	744
茅ヶ崎市	15,054	3,312	15,048	5,865	15,042	2,563	15,047	2,306	15,047	602	15,054	1,491
逗子市	2,599	498	2,599	806	2,599	656	2,599	336	2,599	83	2,599	255
三浦市	1,697	377	1,697	629	1,697	303	1,697	268	1,697	59	1,697	168
秦野市	8,141	1,945	8,148	2,686	8,149	1,480	8,149	1,206	8,150	271	8,141	709
厚木市	10,306	2,399	10,307	3,948	10,303	1,955	10,305	1,594	10,304	396	10,306	878
大和市	12,899	3,130	12,903	4,647	12,541	2,547	12,902	1,986	12,902	498	12,899	1,049
伊勢原市	4,967	1,166	4,989	1,887	4,989	869	4,987	546	4,987	179	4,967	400
海老名市	6,579	1,478	6,573	2,598	6,579	1,503	6,579	790	6,579	248	6,579	571
座間市	5,872	1,375	5,875	1,958	5,875	1,045	5,875	946	5,875	229	5,872	556
南足柄市	2,118	463	2,118	678	2,115	373	2,117	391	2,117	81	2,118	188
綾瀬市	4,882	1,240	4,887	1,875	4,887	1,196	4,887	578	4,887	218	4,882	353
葉山町	1,606	321	1,606	598	1,606	440	1,606	221	1,606	54	1,606	150
寒川町	2,231	547	2,232	1,040	2,232	368	2,232	203	2,232	102	2,231	169
大磯町	1,575	375	1,577	422	1,577	266	1,577	243	1,577	57	1,575	133
二宮町	2,114	407	2,114	617	2,114	335	2,114	232	2,114	61	2,114	255
中井町	441	93	442	174	442	83	442	65	442	10	441	46
大井町	652	139	652	256	652	140	652	92	652	17	652	65
松田町	424	73	424	155	424	112	424	72	424	11	424	41
山北町	442	115	442	159	442	87	442	65	442	20	442	26
開成町	312	52	312	99	312	61	312	34	312	7	312	28
箱根町	734	239	734	256	733	152	733	116	734	34	734	54
真鶴町	545	116	545	217	347	74	544	66	544	24	545	54
湯河原町	1,515	320	1,515	630	1,515	253	1,515	283	1,515	51	1,515	159
愛川町	2,497	646	2,497	899	2,497	437	2,497	431	2,497	123	2,497	210
清川村	189	51	189	71	189	36	189	31	189	4	189	15
(県全体)	283,169	63,323	283,264	100,538	282,714	57,053	283,279	37,521	283,280	10,715	283,169	25,912
(全国)	4,693,781	1,113,736	4,693,781	1,650,971	4,693,781	930,435	4,693,781	514,121	4,693,781	177,206	4,693,781	402,764

* KDB健康スコアリング(健診)、KDB健診データ(令和4年度)と個別に提供のあった健診データをもとに集計

(資料-13) 市区町村別のCKDリスクレベル別人数明細 (令和4年度)

(単位:人)

市区町村名	判定可能者数	リスクレベル			
		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3
横浜市鶴見区	2,848	1,360	931	372	185
横浜市神奈川区	3,321	1,299	1,043	562	417
横浜市西区	1,516	628	494	249	145
横浜市中区	1,398	611	447	201	139
横浜市南区	2,165	981	701	312	171
横浜市保土ヶ谷区	2,679	1,233	880	377	189
横浜市磯子区	2,553	1,204	755	381	213
横浜市金沢区	3,348	1,617	1,074	424	233
横浜市港北区	3,526	1,662	1,146	486	232
横浜市戸塚区	5,160	2,440	1,597	743	380
横浜市港南区	4,498	2,004	1,430	674	390
横浜市旭区	4,156	2,047	1,357	501	251
横浜市緑区	2,067	871	704	309	183
横浜市瀬谷区	2,327	1,010	782	347	188
横浜市栄区	2,171	1,122	678	240	131
横浜市泉区	3,531	1,728	1,054	483	266
横浜市青葉区	3,846	1,844	1,274	481	247
横浜市都筑区	2,106	983	694	276	153
川崎市川崎区	5,818	2,184	1,955	1,044	635
川崎市幸区	4,521	1,752	1,588	724	457
川崎市中原区	5,097	2,053	1,662	877	505
川崎市高津区	5,891	2,197	1,953	1,087	654
川崎市多摩区	6,895	2,781	2,362	1,069	683
川崎市宮前区	7,852	2,968	2,650	1,359	875
川崎市麻生区	7,205	3,113	2,476	1,069	547
相模原市緑区	5,197	2,236	1,786	781	394
相模原市中央区	8,522	3,739	2,740	1,306	737
相模原市南区	10,359	4,528	3,493	1,489	849
横須賀市	15,312	7,293	4,875	2,052	1,092
平塚市	13,059	5,496	4,182	2,132	1,249
鎌倉市	9,351	4,945	2,568	1,171	667
藤沢市	26,642	9,978	9,169	4,569	2,926
小田原市	7,919	3,244	2,678	1,248	749
茅ヶ崎市	15,051	6,211	5,334	2,201	1,305
逗子市	2,599	1,540	706	228	125
三浦市	1,697	759	575	217	146
秦野市	8,150	3,610	2,721	1,165	654
厚木市	10,307	4,771	3,250	1,446	840
大和市	12,808	10,023	1,506	1,275	4
伊勢原市	4,989	2,405	1,500	684	400
海老名市	6,581	3,082	2,143	850	506
座間市	5,875	2,565	1,961	851	498
南足柄市	2,118	877	727	330	184
綾瀬市	4,887	2,212	1,646	631	398
葉山町	1,606	957	427	152	70
寒川町	2,232	1,109	718	274	131
大磯町	1,577	693	571	202	111
二宮町	2,114	1,024	646	305	139
中井町	442	208	135	67	32
大井町	652	309	227	79	37
松田町	424	166	182	62	14
山北町	442	210	142	59	31
開成町	312	178	92	29	13
箱根町	734	351	242	90	51
真鶴町	545	214	194	87	50
湯河原町	1,515	552	571	247	145
愛川町	2,497	1,141	738	359	259
清川村	189	79	77	23	10
(県全体)	283,199	128,397	90,209	41,308	23,285

* KDB健康スコアリング(健診)、KDB健診データ(令和4年度)と個別に提供のあった健診データをもとに集計

(資料-14) 市区町村別の質問票リスク保有者数明細 (令和4年度) [1/2]

(単位:人)

市区町村名	健康状態		心の健康状態		食習慣		口腔機能		体重変化	
	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数
横浜市鶴見区	2,803	249	2,830	225	2,844	180	2,834	1,009	2,831	379
横浜市神奈川区	3,292	313	3,308	280	3,317	279	3,313	1,126	3,301	397
横浜市西区	1,497	132	1,510	99	1,507	125	1,506	499	1,503	205
横浜市中区	1,380	129	1,393	112	1,392	122	1,392	520	1,390	173
横浜南区	2,148	167	2,160	147	2,162	187	2,159	814	2,157	266
横浜市保土ヶ谷区	2,650	186	2,668	174	2,673	147	2,672	893	2,665	318
横浜市磯子区	2,530	219	2,540	208	2,546	210	2,544	921	2,541	317
横浜市金沢区	3,317	253	3,325	213	3,342	166	3,341	1,104	3,332	361
横浜市港北区	3,495	252	3,509	230	3,521	232	3,514	1,188	3,507	397
横浜市戸塚区	5,111	410	5,137	383	5,149	262	5,144	1,789	5,136	633
横浜市港南区	4,436	316	4,479	354	4,493	267	4,487	1,529	4,475	466
横浜市旭区	4,126	332	4,135	316	4,152	220	4,151	1,415	4,138	457
横浜市緑区	2,050	154	2,061	152	2,066	97	2,066	765	2,059	224
横浜市瀬谷区	2,295	184	2,319	168	2,320	119	2,319	800	2,315	246
横浜市栄区	2,152	134	2,158	155	2,169	114	2,162	711	2,157	237
横浜市泉区	3,481	280	3,507	240	3,519	176	3,521	1,201	3,516	384
横浜市青葉区	3,808	285	3,831	260	3,842	193	3,836	1,222	3,837	389
横浜市都筑区	2,081	176	2,098	140	2,102	95	2,100	724	2,094	228
川崎市川崎区	5,864	621	5,865	556	5,864	508	5,862	2,587	5,862	829
川崎市幸区	4,526	442	4,527	403	4,520	356	4,529	1,903	4,523	568
川崎市中原区	5,089	448	5,086	442	5,087	415	5,085	2,081	5,082	644
川崎市高津区	5,910	543	5,910	513	5,907	426	5,907	2,468	5,901	742
川崎市多摩区	6,752	638	6,753	618	6,754	474	6,750	2,849	6,746	899
川崎市宮前区	7,849	630	7,848	570	7,846	491	7,844	3,023	7,843	996
川崎市麻生区	6,279	519	6,279	480	6,280	383	6,283	2,443	6,264	739
相模原市緑区	5,205	361	5,206	355	5,204	239	5,201	1,966	5,201	491
相模原市中央区	8,517	707	8,516	623	8,512	400	8,513	3,362	8,500	895
相模原市南区	10,409	854	10,409	853	10,403	512	10,396	3,945	10,392	1,082
横須賀市	15,308	1,180	15,309	1,121	15,308	841	15,309	5,551	15,308	1,609
平塚市	13,034	1,095	13,030	1,251	13,021	674	12,967	5,132	12,989	1,657
鎌倉市	9,335	817	9,329	847	9,336	532	9,331	2,952	9,334	1,003
藤沢市	26,634	3,310	26,634	2,833	26,634	1,673	26,634	9,712	26,634	3,048
小田原市	7,913	692	7,914	631	7,913	377	7,909	3,109	7,907	789
茅ヶ崎市	15,043	1,569	15,039	1,619	15,044	902	15,041	5,986	15,027	1,795
逗子市	2,591	238	2,591	201	2,597	129	2,587	912	2,587	286
三浦市	1,419	146	1,419	134	1,419	88	1,418	520	1,418	165
秦野市	7,291	700	7,289	602	7,291	322	7,284	3,024	7,281	802
厚木市	9,966	966	9,966	944	9,966	820	9,966	3,516	9,965	1,135
大和市	12,886	1,093	12,887	1,127	12,888	685	12,879	5,026	12,860	1,469
伊勢原市	4,696	478	4,697	402	4,697	178	4,696	1,928	4,696	528
海老名市	6,575	680	6,575	579	6,575	428	6,575	2,540	6,570	697
座間市	5,657	571	5,658	512	5,655	298	5,652	2,440	5,654	658
南足柄市	1,939	166	1,939	172	1,937	74	1,933	702	1,934	224
綾瀬市	4,854	566	4,826	535	4,864	259	4,860	1,844	4,868	486
葉山町	1,590	149	1,592	127	1,595	92	1,595	580	1,590	169
寒川町	2,232	181	2,232	154	2,232	90	2,231	841	2,231	227
大磯町	1,566	124	1,568	124	1,576	66	1,566	540	1,556	136
二宮町	2,114	177	2,114	184	2,113	106	2,113	781	2,112	264
中井町	338	35	338	36	338	17	338	140	337	36
大井町	650	58	651	61	651	29	651	237	651	78
松田町	69	4	69	6	69	0	69	30	69	7
山北町	443	39	443	32	443	13	443	182	442	53
開成町	313	28	313	25	313	13	313	100	313	26
箱根町	734	59	734	51	734	54	734	341	733	83
真鶴町	544	57	544	48	544	43	544	201	543	73
湯河原町	1,514	145	1,514	136	1,515	136	1,514	657	1,515	214
愛川町	2,486	264	2,472	249	2,466	137	2,039	901	2,477	288
清川村	182	19	182	10	184	12	182	84	184	21
(県全体)	278,968	25,540	279,235	24,022	279,411	16,483	278,804	105,366	279,053	31,988
(全国)	4,546,725	456,400	4,544,152	398,898	4,549,664	244,257	4,543,395	1,796,173	4,541,072	532,006

* KDB健康スコアリング(健診)、KDB健診データ(令和4年度)と個別に提供のあった健診データをもとに集計

(次ページにつづく)

(資料-14) 市区町村別の質問票リスク保有者数明細 (令和4年度) [2/2]

(単位:人)

市区町村名	運動・転倒		認知機能		喫煙		社会参加		ソーシャルサポート	
	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数	回答者数	該当者数
横浜市鶴見区	2,825	2,073	2,830	847	2,843	663	2,831	368	2,837	155
横浜市神奈川区	3,303	2,485	3,305	1,059	3,317	705	3,311	444	3,309	173
横浜市西区	1,505	1,098	1,507	432	1,510	313	1,507	189	1,507	80
横浜市中区	1,386	1,022	1,389	450	1,394	332	1,389	165	1,389	86
横浜市南区	2,155	1,576	2,149	646	2,159	493	2,162	280	2,160	147
横浜市保土ヶ谷区	2,662	1,899	2,667	755	2,669	637	2,667	282	2,671	130
横浜市磯子区	2,531	1,867	2,544	807	2,547	538	2,540	375	2,544	142
横浜市金沢区	3,326	2,362	3,333	932	3,340	683	3,334	386	3,333	138
横浜市港北区	3,512	2,528	3,516	1,004	3,518	725	3,518	348	3,515	154
横浜市戸塚区	5,120	3,618	5,136	1,485	5,149	1,133	5,128	633	5,144	311
横浜市港南区	4,471	3,255	4,478	1,249	4,492	934	4,482	480	4,485	248
横浜市旭区	4,131	2,990	4,141	1,197	4,155	1,005	4,140	509	4,150	203
横浜市緑区	2,056	1,493	2,060	600	2,065	451	2,061	237	2,061	105
横浜市瀬谷区	2,308	1,658	2,315	684	2,323	515	2,313	302	2,316	113
横浜市栄区	2,164	1,502	2,156	593	2,165	439	2,165	212	2,167	87
横浜市泉区	3,501	2,527	3,516	1,054	3,523	703	3,511	501	3,513	173
横浜市青葉区	3,833	2,666	3,827	1,022	3,839	880	3,839	371	3,837	172
横浜市都筑区	2,092	1,477	2,089	620	2,102	489	2,094	228	2,101	89
川崎市川崎区	5,859	4,492	5,863	2,228	5,863	1,606	5,865	1,027	5,866	327
川崎市幸区	4,516	3,341	4,520	1,588	4,529	1,143	4,524	634	4,526	231
川崎市中原区	5,079	3,847	5,081	1,763	5,088	1,236	5,085	687	5,090	233
川崎市高津区	5,898	4,528	5,902	2,096	5,912	1,473	5,904	932	5,910	311
川崎市多摩区	6,743	5,194	6,750	2,454	6,752	1,632	6,750	1,262	6,754	360
川崎市宮前区	7,826	5,814	7,838	2,676	7,847	1,956	7,842	1,130	7,846	408
川崎市麻生区	6,272	4,642	6,275	2,075	6,283	1,445	6,281	884	6,282	287
相模原市緑区	5,203	3,525	5,203	1,393	5,205	1,300	5,204	665	5,203	261
相模原市中央区	8,500	5,986	8,506	2,549	8,513	2,091	8,507	964	8,517	404
相模原市南区	10,391	7,523	10,399	2,972	10,408	2,358	10,405	1,158	10,404	511
横須賀市	15,308	11,094	15,308	4,159	15,309	3,474	15,309	1,950	15,308	836
平塚市	12,962	9,451	12,948	4,084	13,014	3,000	13,017	2,115	13,036	817
鎌倉市	9,328	6,636	9,331	2,406	9,347	2,428	9,337	919	9,342	346
藤沢市	26,634	20,221	26,634	7,283	26,634	6,918	26,634	3,618	26,634	1,237
小田原市	7,907	5,803	7,909	2,329	7,907	1,553	7,913	1,014	7,915	357
茅ヶ崎市	15,036	11,271	15,033	4,526	15,046	3,389	15,038	1,865	15,040	714
逗子市	2,560	1,878	2,576	682	2,596	592	2,593	243	2,597	117
三浦市	1,417	1,080	1,419	425	1,419	358	1,419	292	1,419	84
秦野市	7,281	5,393	7,289	2,193	7,294	1,486	7,292	1,082	7,293	362
厚木市	9,967	7,424	9,967	2,745	10,152	1,791	9,967	1,370	9,964	520
大和市	12,850	9,327	12,856	4,023	12,873	3,304	12,880	1,413	12,890	593
伊勢原市	4,694	3,377	4,696	1,412	4,697	981	4,695	608	4,693	197
海老名市	6,570	4,706	6,574	1,895	6,576	1,437	6,575	875	6,573	323
座間市	5,654	4,161	5,655	1,892	5,658	1,128	5,656	825	5,656	272
南足柄市	1,933	1,462	1,936	556	1,937	416	1,934	274	1,938	85
綾瀬市	4,841	3,489	4,853	1,367	4,872	1,299	4,860	746	4,880	240
葉山町	1,585	1,198	1,588	465	1,597	418	1,594	203	1,598	70
寒川町	2,228	1,527	2,231	670	2,230	595	2,231	269	2,231	101
大磯町	1,558	1,121	1,557	445	1,572	305	1,555	225	1,570	52
二宮町	2,114	1,552	2,112	581	2,114	333	2,113	289	2,114	87
中井町	337	246	338	102	338	67	336	52	338	12
大井町	651	451	650	190	650	129	650	70	651	22
松田町	69	57	69	18	71	11	69	15	69	4
山北町	440	311	442	123	440	102	443	61	443	25
開成町	313	194	313	74	313	65	313	35	313	7
箱根町	734	549	734	234	734	223	734	101	734	41
真鶴町	544	426	544	157	543	109	544	80	544	37
湯河原町	1,514	1,117	1,514	438	1,515	314	1,514	241	1,515	100
愛川町	2,440	1,830	2,470	769	2,484	593	2,486	463	2,495	112
清川村	181	136	181	57	184	44	183	19	184	5
(県全体)	278,818	204,476	279,022	83,530	279,626	64,740	279,243	36,985	279,414	13,814
(全国)	4,531,898	3,316,930	4,535,606	1,425,866	4,540,055	1,039,546	4,545,127	587,800	4,548,833	222,240

* KDB健康スコアリング(健診)、KDB健診データ(令和4年度)と個別に提供のあった健診データをもとに集計

(資料-15) 市区町村別の歯科健康診査受診者数明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(人数単位:人)

市区町村名	平成30年度			令和2年度			令和4年度		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
横浜市鶴見区	2,483	69	2.8%	2,308	54	2.3%	2,518	101	4.0%
横浜市神奈川区	2,151	86	4.0%	1,867	63	3.4%	2,044	96	4.7%
横浜市西区	786	19	2.4%	724	23	3.2%	809	57	7.0%
横浜市中区	1,200	38	3.2%	1,130	29	2.6%	1,367	60	4.4%
横浜市南区	2,050	57	2.8%	1,871	67	3.6%	2,109	118	5.6%
横浜市保土ヶ谷区	2,245	92	4.1%	1,968	102	5.2%	2,084	153	7.3%
横浜市磯子区	1,901	89	4.7%	1,743	59	3.4%	1,939	84	4.3%
横浜市金沢区	2,497	137	5.5%	2,239	126	5.6%	2,494	177	7.1%
横浜市港北区	2,874	121	4.2%	2,633	124	4.7%	2,830	171	6.0%
横浜市戸塚区	3,136	150	4.8%	2,847	123	4.3%	3,119	201	6.4%
横浜市港南区	2,679	90	3.4%	2,398	101	4.2%	2,621	153	5.8%
横浜市旭区	3,020	126	4.2%	2,686	128	4.8%	2,945	205	7.0%
横浜市緑区	1,900	104	5.5%	1,692	88	5.2%	1,818	117	6.4%
横浜市瀬谷区	1,479	49	3.3%	1,296	54	4.2%	1,319	71	5.4%
横浜市栄区	1,859	117	6.3%	1,631	107	6.6%	1,702	107	6.3%
横浜市泉区	1,919	95	5.0%	1,697	88	5.2%	1,798	110	6.1%
横浜市青葉区	2,828	170	6.0%	2,676	141	5.3%	3,004	233	7.8%
横浜市都筑区	1,553	87	5.6%	1,414	91	6.4%	1,616	147	9.1%
川崎市川崎区	1,965	40	2.0%	1,714	40	2.3%	1,901	99	5.2%
川崎市幸区	1,437	65	4.5%	1,318	53	4.0%	1,441	92	6.4%
川崎市中原区	1,561	70	4.5%	1,396	53	3.8%	1,593	96	6.0%
川崎市高津区	1,714	73	4.3%	1,627	49	3.0%	1,758	89	5.1%
川崎市多摩区	1,784	82	4.6%	1,566	64	4.1%	1,665	86	5.2%
川崎市宮前区	2,071	72	3.5%	1,854	90	4.9%	1,968	128	6.5%
川崎市麻生区	1,691	82	4.8%	1,606	57	3.5%	1,807	107	5.9%
相模原市緑区	2,091	44	2.1%	1,959	46	2.3%	2,220	111	5.0%
相模原市中央区	3,038	77	2.5%	2,819	66	2.3%	2,905	149	5.1%
相模原市南区	3,116	116	3.7%	2,923	78	2.7%	2,928	177	6.0%
横須賀市	5,721	358	6.3%	5,144	298	5.8%	5,494	413	7.5%
平塚市	3,208	139	4.3%	2,806	132	4.7%	3,178	220	6.9%
鎌倉市	2,322	127	5.5%	2,066	129	6.2%	2,317	144	6.2%
藤沢市	4,556	422	9.3%	4,138	332	8.0%	4,726	465	9.8%
小田原市	2,333	63	2.7%	2,151	59	2.7%	2,397	125	5.2%
茅ヶ崎市	2,761	157	5.7%	2,506	100	4.0%	2,894	181	6.3%
逗子市	873	39	4.5%	741	38	5.1%	767	69	9.0%
三浦市	698	16	2.3%	633	13	2.1%	747	26	3.5%
秦野市	2,082	123	5.9%	1,961	119	6.1%	2,234	186	8.3%
厚木市	2,597	92	3.5%	2,415	68	2.8%	2,663	155	5.8%
大和市	2,736	152	5.6%	2,326	131	5.6%	2,504	195	7.8%
伊勢原市	1,217	105	8.6%	1,035	85	8.2%	1,185	128	10.8%
海老名市	1,557	1	0.1%	1,368	96	7.0%	1,497	177	11.8%
座間市	1,559	46	3.0%	1,407	49	3.5%	1,437	70	4.9%
南足柄市	605	19	3.1%	573	24	4.2%	600	28	4.7%
綾瀬市	1,165	67	5.8%	1,065	67	6.3%	1,090	110	10.1%
葉山町	482	35	7.3%	426	21	4.9%	469	34	7.2%
寒川町	591	17	2.9%	554	21	3.8%	613	48	7.8%
大磯町	540	39	7.2%	418	20	4.8%	505	39	7.7%
二宮町	425	19	4.5%	417	25	6.0%	402	32	8.0%
中井町	144	12	8.3%	144	16	11.1%	173	21	12.1%
大井町	220	10	4.5%	211	8	3.8%	225	7	3.1%
松田町	164	14	8.5%	123	7	5.7%	153	11	7.2%
山北町	134	2	1.5%	156	5	3.2%	167	4	2.4%
開成町	193	6	3.1%	185	16	8.6%	183	16	8.7%
箱根町	171	2	1.2%	148	3	2.0%	181	7	3.9%
真鶴町	129	6	4.7%	147	6	4.1%	125	5	4.0%
湯河原町	462	12	2.6%	397	11	2.8%	388	25	6.4%
愛川町	524	16	3.1%	440	13	3.0%	555	26	4.7%
清川村	38	3	7.9%	43	5	11.6%	42	2	4.8%
(県全体)	99,235	4,536	4.6%	89,746	4,081	4.5%	98,233	6,464	6.6%

* 本広域連合の持つ歯科健診データをもとに集計

* 75歳到達時の受診対象者だけを対象 (モデル事業ので対象とした80歳到達時の対象者は除外)

* 受診率を求める際の受診対象者には、本来対象外となる長期入院患者や施設入所者等も含む

(資料-16) 市区町村別の1人当たり医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

【年齢調整なし】

(金額単位:円)

市区町村名	平成30年度	令和2年度	令和4年度	ランク (降順)	令和4年度における 平成30年度からの 増減率
横浜市鶴見区	826,844	810,574	826,019	3	-0.1%
横浜市神奈川区	816,838	789,081	821,274	5	0.5%
横浜市西区	813,063	801,091	797,486	15	-1.9%
横浜市中区	810,441	768,249	784,852	18	-3.2%
横浜市南区	786,335	772,592	811,780	9	3.2%
横浜市保土ヶ谷区	765,648	773,020	804,168	12	5.0%
横浜市磯子区	773,821	778,611	801,712	13	3.6%
横浜市金沢区	760,098	760,397	784,573	19	3.2%
横浜市港北区	782,433	780,592	818,861	8	4.7%
横浜市戸塚区	748,226	761,744	780,055	22	4.3%
横浜市港南区	755,843	759,597	785,435	17	3.9%
横浜市旭区	744,528	713,783	747,197	36	0.4%
横浜市緑区	753,599	749,812	777,045	24	3.1%
横浜市瀬谷区	758,801	754,928	784,383	20	3.4%
横浜市栄区	725,035	721,985	764,320	27	5.4%
横浜市泉区	751,829	743,160	770,529	25	2.5%
横浜市青葉区	761,577	750,491	788,826	16	3.6%
横浜市都筑区	769,484	751,085	781,530	21	1.6%
川崎市川崎区	882,124	883,877	907,759	1	2.9%
川崎市幸区	824,088	831,523	856,344	2	3.9%
川崎市中原区	816,213	812,526	823,987	4	1.0%
川崎市高津区	798,108	805,843	819,771	7	2.7%
川崎市多摩区	796,563	780,307	819,941	6	2.9%
川崎市宮前区	783,861	767,793	798,550	14	1.9%
川崎市麻生区	779,734	766,066	805,709	11	3.3%
相模原市緑区	698,592	684,841	686,853	54	-1.7%
相模原市中央区	708,007	697,880	732,523	45	3.5%
相模原市南区	721,813	718,452	742,722	39	2.9%
横須賀市	751,382	748,751	758,074	32	0.9%
平塚市	731,811	725,034	727,252	46	-0.6%
鎌倉市	775,785	764,141	761,076	29	-1.9%
藤沢市	728,156	726,217	739,250	40	1.5%
小田原市	749,258	725,981	761,131	28	1.6%
茅ヶ崎市	710,750	729,666	751,043	33	5.7%
逗子市	768,054	770,491	810,346	10	5.5%
三浦市	753,392	751,584	760,274	31	0.9%
秦野市	724,135	708,051	713,252	49	-1.5%
厚木市	689,541	678,716	703,576	51	2.0%
大和市	696,914	707,330	737,329	42	5.8%
伊勢原市	728,715	741,154	768,252	26	5.4%
海老名市	670,199	680,906	704,555	50	5.1%
座間市	719,908	704,525	735,576	43	2.2%
南足柄市	684,128	675,558	697,801	52	2.0%
綾瀬市	678,088	687,214	714,602	48	5.4%
葉山町	718,194	707,280	748,086	35	4.2%
寒川町	718,981	722,611	748,880	34	4.2%
大磯町	769,155	675,930	685,434	55	-10.9%
二宮町	730,902	687,353	689,026	53	-5.7%
中井町	783,002	703,396	745,612	38	-4.8%
大井町	693,226	646,622	682,130	56	-1.6%
松田町	750,714	717,128	760,890	30	1.4%
山北町	778,172	750,591	779,138	23	0.1%
開成町	697,299	705,201	746,175	37	7.0%
箱根町	761,674	744,399	737,829	41	-3.1%
真鶴町	768,445	689,371	726,593	47	-5.4%
湯河原町	750,900	736,399	733,503	44	-2.3%
愛川町	667,551	645,005	678,346	57	1.6%
清川村	740,132	682,334	582,808	58	-21.3%
(県平均)	754,613	747,322	770,270		2.1%
(全国平均)	817,405	811,435	818,981		0.2%

* KDB健康スコアリング(医療)より集計

(資料－17) 市区町村別の1人当たり医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

【年齢調整あり】

(金額単位：円)

市区町村名	平成30年度	令和2年度	令和4年度	ランク (降順)	令和4年度における 平成30年度からの 増減率
横浜市鶴見区	847,059	823,684	843,294	3	-0.4%
横浜市神奈川区	831,397	798,004	830,334	8	-0.1%
横浜市西区	818,631	805,153	802,860	16	-1.9%
横浜市中区	820,857	777,803	797,953	18	-2.8%
横浜市南区	799,251	782,526	824,008	10	3.1%
横浜市保土ヶ谷区	775,333	781,421	811,573	12	4.7%
横浜市磯子区	786,931	784,995	808,821	14	2.8%
横浜市金沢区	778,483	773,536	794,330	19	2.0%
横浜市港北区	796,133	792,628	831,660	6	4.5%
横浜市戸塚区	764,571	773,438	790,464	21	3.4%
横浜市港南区	768,327	767,386	793,617	20	3.3%
横浜市旭区	758,496	724,992	754,508	42	-0.5%
横浜市緑区	773,285	761,166	790,332	24	2.2%
横浜市瀬谷区	773,105	761,961	790,440	23	2.2%
横浜市栄区	746,035	737,134	785,586	28	5.3%
横浜市泉区	768,137	746,348	777,538	29	1.2%
横浜市青葉区	783,431	764,945	804,728	15	2.7%
横浜市都筑区	782,503	758,858	789,694	25	0.9%
川崎市川崎区	903,192	906,629	924,429	1	2.4%
川崎市幸区	843,161	846,037	875,854	2	3.9%
川崎市中原区	831,725	819,306	837,985	4	0.8%
川崎市高津区	826,482	824,637	835,543	5	1.1%
川崎市多摩区	816,266	789,995	831,288	7	1.8%
川崎市宮前区	808,421	788,378	810,775	13	0.3%
川崎市麻生区	801,657	775,287	816,741	11	1.9%
相模原市緑区	729,418	701,468	711,315	52	-2.5%
相模原市中央区	728,331	715,010	756,505	41	3.9%
相模原市南区	742,884	735,434	758,553	39	2.1%
横須賀市	760,501	754,480	767,345	34	0.9%
平塚市	753,681	740,522	744,765	46	-1.2%
鎌倉市	790,385	773,117	768,556	33	-2.8%
藤沢市	750,227	744,252	751,855	43	0.2%
小田原市	764,234	737,685	775,138	30	1.4%
茅ヶ崎市	728,299	742,369	765,644	35	5.1%
逗子市	776,450	779,722	829,807	9	6.9%
三浦市	752,189	747,924	763,044	37	1.4%
秦野市	748,230	722,207	734,109	48	-1.9%
厚木市	709,724	696,401	727,022	50	2.4%
大和市	731,232	732,657	765,540	36	4.7%
伊勢原市	750,029	759,594	790,450	22	5.4%
海老名市	697,043	698,691	725,850	51	4.1%
座間市	763,514	736,540	772,478	31	1.2%
南足柄市	704,347	681,876	706,237	54	0.3%
綾瀬市	714,690	708,341	733,638	49	2.7%
葉山町	732,324	727,359	762,387	38	4.1%
寒川町	747,920	745,545	771,728	32	3.2%
大磯町	787,717	691,751	703,108	56	-10.7%
二宮町	741,903	703,649	710,994	53	-4.2%
中井町	810,858	707,515	798,530	17	-1.5%
大井町	741,018	651,254	704,571	55	-4.9%
松田町	774,853	723,569	785,736	27	1.4%
山北町	811,049	785,074	786,514	26	-3.0%
開成町	711,713	725,385	741,564	47	4.2%
箱根町	786,379	760,151	757,022	40	-3.7%
真鶴町	772,800	691,734	749,308	44	-3.0%
湯河原町	766,391	767,865	748,053	45	-2.4%
愛川町	729,467	655,171	692,315	57	-5.1%
清川村	753,017	679,279	590,426	58	-21.6%
(県平均)	773,612	760,875	784,956		1.5%
(全国平均)	817,405	811,435	818,981		0.2%

* KDB健康スコアリング(医療)をもとに直接法により年齢調整を実施

(資料-18) 市区町村別の高額・長期入院レプト件数明細 (平成30年度・令和4年度) ※令和2年度分は掲載割愛

(件数単位: 件)

市区町村名	平成30年度						令和4年度					
	高額レプト			長期入院レプト			高額レプト			長期入院レプト		
	レプト件数	該当レプト件数	(割合)	入院レプト件数	該当レプト件数	(割合)	レプト件数	該当レプト件数	(割合)	入院レプト件数	該当レプト件数	(割合)
横浜市鶴見区	472,042	17,225	3.6%	19,784	2,520	12.7%	487,408	19,058	3.9%	19,064	2,436	12.8%
横浜市神奈川区	449,332	14,845	3.3%	16,695	1,864	11.2%	460,279	16,327	3.5%	16,047	1,920	12.0%
横浜市西区	168,535	6,076	3.6%	6,709	814	12.1%	173,121	5,758	3.3%	5,760	648	11.3%
横浜市中区	247,353	8,900	3.6%	9,732	1,026	10.5%	262,930	8,902	3.4%	8,631	866	10.0%
横浜市南区	455,072	14,397	3.2%	15,728	1,570	10.0%	466,869	15,817	3.4%	15,103	1,463	9.7%
横浜市保土ヶ谷区	466,717	14,824	3.2%	16,340	1,722	10.5%	491,314	16,321	3.3%	15,633	1,581	10.1%
横浜市磯子区	404,560	12,605	3.1%	14,087	1,640	11.6%	426,451	14,204	3.3%	13,652	1,372	10.0%
横浜市金沢区	493,742	14,967	3.0%	16,678	1,556	9.3%	541,867	17,375	3.2%	16,579	1,540	9.3%
横浜市港北区	587,453	18,497	3.1%	20,590	2,683	13.0%	624,099	21,959	3.5%	20,999	2,928	13.9%
横浜市戸塚区	554,493	18,645	3.4%	21,253	1,732	8.1%	612,806	21,877	3.6%	21,894	1,911	8.7%
横浜市港南区	567,594	15,868	2.8%	18,020	1,649	9.2%	612,799	18,712	3.1%	18,058	1,700	9.4%
横浜市旭区	641,031	19,502	3.0%	21,686	2,333	10.8%	668,756	20,761	3.1%	20,248	2,302	11.4%
横浜市緑区	347,803	11,108	3.2%	12,450	1,422	11.4%	387,710	13,229	3.4%	12,636	1,723	13.6%
横浜市瀬谷区	319,824	9,541	3.0%	10,408	1,193	11.5%	331,112	10,605	3.2%	10,116	1,081	10.7%
横浜市栄区	316,938	9,361	3.0%	10,779	885	8.2%	358,000	11,653	3.3%	11,288	902	8.0%
横浜市泉区	378,838	11,263	3.0%	12,828	972	7.6%	409,335	12,869	3.1%	12,710	1,064	8.4%
横浜市青葉区	521,256	16,329	3.1%	18,959	2,581	13.6%	595,651	19,397	3.3%	19,393	2,621	13.5%
横浜市都筑区	295,768	9,288	3.1%	9,843	1,343	13.6%	333,884	11,124	3.3%	10,652	1,529	14.4%
川崎市川崎区	360,358	15,840	4.4%	19,420	1,832	9.4%	365,620	17,295	4.7%	18,199	1,960	10.8%
川崎市幸区	305,452	10,010	3.3%	10,988	1,336	12.2%	315,075	11,141	3.5%	11,097	1,235	11.1%
川崎市中原区	327,022	11,108	3.4%	12,544	1,892	15.1%	340,606	12,029	3.5%	11,752	1,839	15.6%
川崎市高津区	306,349	11,530	3.8%	13,197	1,857	14.1%	334,922	13,207	3.9%	13,184	1,956	14.8%
川崎市多摩区	349,534	11,425	3.3%	12,466	1,874	15.0%	372,436	13,086	3.5%	12,395	1,960	15.8%
川崎市宮前区	371,594	12,234	3.3%	13,282	2,050	15.4%	422,630	13,800	3.3%	13,220	1,445	10.9%
川崎市麻生区	332,934	11,385	3.4%	12,184	2,038	16.7%	363,539	13,340	3.7%	12,619	2,007	15.9%
相模原市緑区	276,995	11,786	4.3%	13,115	2,188	16.7%	327,665	13,119	4.0%	13,110	2,515	19.2%
相模原市中央区	461,871	16,636	3.6%	18,220	2,603	14.3%	519,680	20,120	3.9%	19,842	2,972	15.0%
相模原市南区	559,734	18,901	3.4%	21,636	3,505	16.2%	610,619	21,768	3.6%	21,113	3,406	16.1%
横須賀市	1,100,559	33,763	3.1%	34,303	3,175	9.3%	1,163,864	37,801	3.2%	33,737	3,176	9.4%
平塚市	523,160	20,374	3.9%	21,909	4,490	20.5%	581,570	22,078	3.8%	21,096	4,097	19.4%
鎌倉市	492,255	16,466	3.3%	19,062	2,100	11.0%	503,702	16,566	3.3%	17,057	2,051	12.0%
藤沢市	897,809	27,040	3.0%	30,862	3,544	11.5%	972,729	31,051	3.2%	30,059	3,582	11.9%
小田原市	450,008	16,664	3.7%	19,236	4,073	21.2%	469,902	17,941	3.8%	18,317	3,532	19.3%
茅ヶ崎市	512,640	16,501	3.2%	18,955	2,284	12.0%	554,921	20,082	3.6%	20,126	2,573	12.8%
逗子市	181,395	5,673	3.1%	6,174	659	10.7%	186,723	6,505	3.5%	6,246	915	14.6%
三浦市	124,103	4,999	4.0%	5,649	386	6.8%	131,173	5,296	4.0%	5,291	393	7.4%
秦野市	317,124	13,308	4.2%	14,973	3,069	20.5%	360,722	15,214	4.2%	14,695	3,189	21.7%
厚木市	371,971	12,854	3.5%	14,837	1,999	13.5%	422,988	16,068	3.8%	15,814	2,221	14.0%
大和市	417,061	13,920	3.3%	15,803	1,815	11.5%	458,035	17,049	3.7%	16,693	2,054	12.3%
伊勢原市	185,419	7,031	3.8%	7,526	1,464	19.5%	210,479	8,534	4.1%	8,058	1,648	20.5%
海老名市	226,665	7,647	3.4%	8,405	1,129	13.4%	259,795	9,787	3.8%	9,159	1,496	16.3%
座間市	239,194	8,814	3.7%	9,548	1,534	16.1%	266,577	9,976	3.7%	9,821	1,505	15.3%
南足柄市	109,473	3,724	3.4%	4,111	913	22.2%	116,342	4,210	3.6%	4,168	819	19.6%
綾瀬市	150,626	5,868	3.9%	6,651	782	11.8%	173,456	7,188	4.1%	7,182	924	12.9%
葉山町	92,098	2,886	3.1%	3,202	263	8.2%	98,996	3,151	3.2%	3,099	314	10.1%
寒川町	81,672	3,410	4.2%	4,051	562	13.9%	94,214	4,106	4.4%	4,293	582	13.6%
大磯町	85,112	3,375	4.0%	3,698	773	20.9%	93,524	3,218	3.4%	3,058	533	17.4%
二宮町	79,027	2,923	3.7%	3,185	631	19.8%	83,494	2,952	3.5%	2,838	411	14.5%
中井町	21,074	1,018	4.8%	1,064	262	24.6%	24,535	1,008	4.1%	1,017	178	17.5%
大井町	33,305	1,366	4.1%	1,574	418	26.6%	37,629	1,424	3.8%	1,441	160	11.1%
松田町	29,472	1,188	4.0%	1,383	300	21.7%	30,859	1,315	4.3%	1,353	314	23.2%
山北町	31,337	1,245	4.0%	1,561	384	24.6%	31,193	1,485	4.8%	1,470	382	26.0%
開成町	36,157	1,105	3.1%	1,279	222	17.4%	41,131	1,497	3.6%	1,429	323	22.6%
箱根町	31,502	1,285	4.1%	1,585	235	14.8%	31,764	1,305	4.1%	1,355	217	16.0%
真鶴町	24,320	941	3.9%	1,172	136	11.6%	23,894	913	3.8%	1,031	117	11.3%
湯河原町	79,596	2,973	3.7%	3,878	898	23.2%	81,888	3,272	4.0%	3,539	673	19.0%
愛川町	71,899	2,779	3.9%	3,153	468	14.8%	79,466	3,336	4.2%	3,298	512	15.5%
清川村	6,530	305	4.7%	296	55	18.6%	6,710	198	3.0%	229	30	13.1%
(県全体)	18,342,757	615,541	3.4%	688,706	89,703	13.0%	19,809,458	699,379	3.5%	681,963	89,803	13.2%

* KDB健康スコアリング(医療)より集計

(資料-19) 市区町村別の人工透析導入者数明細 (平成30年度・令和4年度) ※令和2年度分は掲載割愛

(人数単位:人)

市町村名	平成30年度					令和4年度				
	被保険者数	人工透析 導入者数	(割合)	新規導入者数 (内数)	(割合)	被保険者数	人工透析 導入者数	(割合)	新規導入者数 (内数)	(割合)
横浜市	451,788	3,872	0.9%	412	10.6%	502,983	4,476	0.9%	525	11.7%
川崎市	141,590	1,279	0.9%	161	12.6%	157,510	1,438	0.9%	183	12.7%
相模原市	86,714	806	0.9%	98	12.2%	100,754	991	1.0%	110	11.1%
横須賀市	65,196	693	1.1%	66	9.5%	71,371	757	1.1%	80	10.6%
平塚市	34,457	313	0.9%	40	12.8%	39,231	351	0.9%	40	11.4%
鎌倉市	30,336	191	0.6%	23	12.0%	32,422	196	0.6%	26	13.3%
藤沢市	53,058	396	0.7%	42	10.6%	60,125	453	0.8%	35	7.7%
小田原市	28,107	261	0.9%	19	7.3%	30,822	293	1.0%	25	8.5%
茅ヶ崎市	32,280	256	0.8%	37	14.5%	36,784	302	0.8%	37	12.3%
逗子市	10,575	78	0.7%	8	10.3%	11,226	100	0.9%	12	12.0%
三浦市	8,552	104	1.2%	10	9.6%	9,205	115	1.2%	3	2.6%
秦野市	21,586	184	0.9%	17	9.2%	25,822	216	0.8%	26	12.0%
厚木市	25,408	226	0.9%	21	9.3%	30,560	274	0.9%	25	9.1%
大和市	27,324	225	0.8%	30	13.3%	31,389	273	0.9%	21	7.7%
伊勢原市	12,561	108	0.9%	12	11.1%	14,446	166	1.1%	26	15.7%
海老名市	15,221	131	0.9%	17	13.0%	18,316	147	0.8%	15	10.2%
座間市	15,604	137	0.9%	14	10.2%	18,112	151	0.8%	9	6.0%
南足柄市	6,836	66	1.0%	8	12.1%	7,717	74	1.0%	4	5.4%
綾瀬市	10,965	101	0.9%	8	7.9%	12,907	120	0.9%	11	9.2%
葉山町	5,606	32	0.6%	5	15.6%	6,193	43	0.7%	7	16.3%
寒川町	6,003	53	0.9%	5	9.4%	7,000	59	0.8%	8	13.6%
大磯町	5,578	53	1.0%	4	7.5%	6,298	52	0.8%	2	3.8%
二宮町	5,192	41	0.8%	6	14.6%	5,796	41	0.7%	4	9.8%
中井町	1,435	14	1.0%	2	14.3%	1,697	12	0.7%	0	0.0%
大井町	2,264	15	0.7%	2	13.3%	2,688	23	0.9%	3	13.0%
松田町	1,923	13	0.7%	1	7.7%	2,070	13	0.6%	0	0.0%
山北町	1,976	17	0.9%	1	5.9%	2,121	28	1.3%	6	21.4%
開成町	2,187	13	0.6%	2	15.4%	2,575	27	1.0%	5	18.5%
箱根町	2,076	15	0.7%	6	40.0%	2,239	29	1.3%	2	6.9%
真鶴町	1,532	15	1.0%	5	33.3%	1,675	17	1.0%	4	23.5%
湯河原町	5,105	45	0.9%	5	11.1%	5,556	44	0.8%	4	9.1%
愛川町	5,169	43	0.8%	8	18.6%	6,122	58	0.9%	8	13.8%
清川村	456	9	2.0%	2	22.2%	504	2	0.4%	0	0.0%
(県全体)	1,124,660	9,805	0.9%	1,097	11.2%	1,264,236	11,341	0.9%	1,266	11.2%

*「新規人工透析者数等集計表(令和5年9月提供)」(令和5年度データ分析支援事業として神奈川県国保連合会にて独自作成)をもとに集計

*各年度の被保険者数は、元データ作成仕様の相違により、KDBから集計したものと異なることに注意

(資料-20) 大分類による疾病別医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(金額単位:円)

疾病大分類	平成30年度	令和2年度	令和4年度	(構成比)	令和4年度における 平成30年度からの 増減率
感染症及び寄生虫症	1,159,703,781	981,739,812	1,061,675,414	1.1%	-8.5%
新生物<腫瘍>	9,070,873,419	10,110,548,444	11,770,180,192	12.0%	29.8%
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	640,501,753	700,534,303	856,781,903	0.9%	33.8%
内分泌、栄養及び代謝疾患	5,935,648,256	6,396,419,172	6,792,961,065	6.9%	14.4%
精神及び行動の障害	2,466,720,598	2,683,429,824	2,823,262,241	2.9%	14.5%
神経系の疾患	5,499,033,198	5,538,558,816	5,175,762,540	5.3%	-5.9%
眼及び付属器の疾患	3,706,379,545	3,641,727,197	4,195,583,372	4.3%	13.2%
耳及び乳様突起の疾患	264,291,926	255,149,691	297,135,839	0.3%	12.4%
循環器系の疾患	18,535,193,082	19,093,652,387	20,801,041,627	21.2%	12.2%
呼吸器系の疾患	6,753,216,502	6,352,511,980	6,911,532,324	7.0%	2.3%
消化器系の疾患	5,324,564,261	5,648,535,835	6,386,912,150	6.5%	20.0%
皮膚及び皮下組織の疾患	1,095,288,266	1,156,571,428	1,278,985,083	1.3%	16.8%
筋骨格系及び結合組織の疾患	10,420,661,488	10,495,441,510	11,655,031,868	11.9%	11.8%
泌尿器系の疾患	6,904,016,297	7,251,726,776	7,562,127,982	7.7%	9.5%
妊娠、分娩及び産じよく	175,493	64,322	106,100	0.0%	-39.5%
周産期に発生した病態	5,880	1,347	3,779	0.0%	-35.7%
先天奇形、変形及び染色体異常	14,989,939	19,381,263	19,165,183	0.0%	27.9%
症状、徴候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	1,455,057,632	1,401,659,464	1,557,712,105	1.6%	7.1%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	4,737,674,442	5,146,420,802	5,684,177,901	5.8%	20.0%
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	275,170,698	251,446,783	254,299,189	0.3%	-7.6%
特殊目的用コード		50,406,688	2,102,231,037	2.1%	-
その他(上記以外のもの)	1,061,744,204	962,700,260	1,019,569,940	1.0%	-4.0%
(合計)	85,320,910,660	88,138,628,104	98,206,238,834	100.0%	15.1%

* KDB医療費分析(2)(大・中・細小分類)データより集計

(資料-21) 中分類による疾病別医療費明細 (平成30年度・令和2年度・令和4年度)

(金額単位:円)

疾病中分類	平成30年度	令和2年度	令和4年度	(構成比)	令和4年度における 平成30年度からの 増減率
その他の心疾患	7,656,708,649	8,445,168,514	9,857,009,107	10.0%	28.7%
腎不全	5,074,244,640	5,360,803,027	5,666,973,397	5.8%	11.7%
その他の悪性新生物<腫瘍>	3,984,693,514	4,565,232,852	5,240,255,155	5.3%	31.5%
骨折	3,602,882,821	3,963,319,772	4,281,263,073	4.4%	18.8%
糖尿病	3,430,104,909	3,785,478,907	4,220,510,769	4.3%	23.0%
その他の消化器系の疾患	3,119,600,351	3,567,831,783	4,148,597,616	4.2%	33.0%
その他の呼吸器系の疾患	2,840,973,903	2,895,700,919	3,380,692,821	3.4%	19.0%
高血圧性疾患	3,225,231,778	3,018,280,090	2,987,728,928	3.0%	-7.4%
その他の眼及び付属器の疾患	2,453,779,092	2,550,239,983	2,890,512,427	2.9%	17.8%
脳梗塞	2,634,651,447	2,763,001,781	2,805,472,202	2.9%	6.5%
骨の密度及び構造の障害	2,585,275,937	2,598,330,958	2,752,369,719	2.8%	6.5%
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,818,490,738	2,114,019,562	2,677,122,005	2.7%	47.2%
脊椎障害(脊椎症を含む)	2,378,585,701	2,177,375,891	2,283,780,473	2.3%	-4.0%
虚血性心疾患	2,359,034,573	2,128,848,203	2,121,154,846	2.2%	-10.1%
その他の特殊目的用コード		50,406,688	2,102,231,037	2.1%	-
その他の神経系の疾患	1,708,808,407	1,931,062,700	2,097,711,131	2.1%	22.8%
関節症	1,856,514,684	1,753,002,829	1,966,791,420	2.0%	5.9%
脂質異常症	2,018,531,617	1,919,767,842	1,809,970,904	1.8%	-10.3%
気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	1,229,321,046	1,530,574,891	1,769,325,060	1.8%	43.9%
症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	1,455,057,632	1,401,659,464	1,557,712,105	1.6%	7.1%
アルツハイマー病	2,312,767,040	1,992,474,105	1,532,542,948	1.6%	-33.7%
その他の循環器系の疾患	1,084,298,366	1,099,030,879	1,252,451,804	1.3%	15.5%
炎症性多発性関節障害	905,480,166	1,023,846,399	1,136,561,916	1.2%	25.5%
肺炎	1,414,496,534	1,104,065,931	1,083,971,306	1.1%	-23.4%
白内障	988,233,172	821,651,813	1,041,474,226	1.1%	5.4%
慢性閉塞性肺疾患	937,948,674	1,001,233,153	1,022,991,151	1.0%	9.1%
その他(上記以外のもの)	1,061,744,204	962,700,260	1,019,569,940	1.0%	-4.0%
その他の腎尿路系の疾患	772,830,223	921,216,810	975,578,272	1.0%	26.2%
パーキンソン病	893,980,919	961,973,382	925,861,866	0.9%	3.6%
その他損傷及びその他の外因の影響	744,337,283	769,735,463	925,426,901	0.9%	24.3%

* KDB医療費分析(2)(大・中・細小分類)データより集計

(資料-22) 市区町村別の医療費上位5疾病分類 (令和4年度)

市区町村名	1位	2位	3位	4位	5位
横浜市鶴見区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	骨折
横浜市神奈川区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	骨折
横浜市西区	その他の心疾患	腎不全	骨折	糖尿病	その他の消化器系の疾患
横浜市中区	その他の心疾患	腎不全	骨折	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患
横浜市南区	その他の心疾患	腎不全	骨折	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患
横浜市保土ヶ谷区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	骨折
横浜市磯子区	その他の心疾患	腎不全	骨折	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病
横浜市金沢区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	その他の消化器系の疾患
横浜市港北区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	糖尿病
横浜市戸塚区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	糖尿病
横浜市港南区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	その他の消化器系の疾患
横浜市旭区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	糖尿病
横浜市緑区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	骨折
横浜市瀬谷区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	その他の消化器系の疾患
横浜市栄区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	骨折
横浜市泉区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	その他の消化器系の疾患
横浜市青葉区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	その他の消化器系の疾患	骨折
横浜市都筑区	その他の心疾患	腎不全	骨折	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患
川崎市川崎区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	その他の消化器系の疾患
川崎市幸区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	骨折
川崎市中原区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	糖尿病
川崎市高津区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	糖尿病
川崎市多摩区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	糖尿病
川崎市宮前区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	その他の消化器系の疾患
川崎市麻生区	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折	その他の消化器系の疾患
相模原市緑区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	その他の消化器系の疾患
相模原市中央区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	その他の消化器系の疾患
相模原市南区	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	その他の消化器系の疾患
横須賀市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	その他の消化器系の疾患
平塚市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	糖尿病
鎌倉市	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	腎不全	その他の消化器系の疾患
藤沢市	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	その他の消化器系の疾患	骨折
小田原市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	その他の消化器系の疾患
茅ヶ崎市	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	骨折
逗子市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	骨折
三浦市	その他の心疾患	腎不全	糖尿病	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折
秦野市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	糖尿病
厚木市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	その他の消化器系の疾患
大和市	その他の心疾患	腎不全	骨折	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患
伊勢原市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	糖尿病
海老名市	その他の心疾患	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	骨折
座間市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	糖尿病
南足柄市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	糖尿病
綾瀬市	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
葉山町	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	腎不全	糖尿病
寒川町	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	糖尿病
大磯町	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	糖尿病
二宮町	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	骨の密度及び構造の障害
中井町	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他の消化器系の疾患	糖尿病	腎不全
大井町	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	その他の呼吸器系の疾患
松田町	その他の心疾患	骨折	腎不全	その他の呼吸器系の疾患	糖尿病
山北町	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	骨折	糖尿病
開成町	その他の心疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	腎不全	糖尿病	骨折
箱根町	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	骨折
真鶴町	その他の心疾患	骨折	腎不全	その他の消化器系の疾患	糖尿病
湯河原町	その他の心疾患	腎不全	その他の消化器系の疾患	その他の悪性新生物(腫瘍)	その他(上記以外のもの)
愛川町	その他の心疾患	腎不全	その他の悪性新生物(腫瘍)	糖尿病	骨折
清川村	その他の心疾患	その他の神経系の疾患	糖尿病	骨折	高血圧性疾患

* KDB医療費分析(2) (大・中・細小分類) データより集計

(資料－２３) 生活習慣病の疾病別医療費明細 (平成30年度・令和２年度・令和４年度)

(金額単位：円)

疾病中分類	平成30年度	令和2年度	令和4年度	(構成比)	令和4年度における 平成30年度からの 増減率
くも膜下出血	176,020,219	193,146,848	196,890,659	0.6%	11.9%
その他の悪性新生物<腫瘍>	3,984,693,514	4,565,232,852	5,240,255,155	16.2%	31.5%
その他の脳血管疾患	593,925,248	631,115,281	696,076,795	2.2%	17.2%
悪性リンパ腫	391,640,542	454,977,964	641,291,233	2.0%	63.7%
胃の悪性新生物<腫瘍>	780,224,532	730,675,613	806,804,731	2.5%	3.4%
肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	258,436,886	272,991,361	357,017,840	1.1%	38.1%
気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	1,229,321,046	1,530,574,891	1,769,325,060	5.5%	43.9%
虚血性心疾患	2,359,034,573	2,128,848,203	2,121,154,846	6.6%	-10.1%
結腸の悪性新生物<腫瘍>	795,462,265	813,581,728	858,930,416	2.7%	8.0%
高血圧性疾患	3,225,231,778	3,018,280,090	2,987,728,928	9.3%	-7.4%
子宮の悪性新生物<腫瘍>	61,311,237	67,916,356	82,615,381	0.3%	34.7%
脂質異常症	2,018,531,617	1,919,767,842	1,809,970,904	5.6%	-10.3%
腎不全	5,074,244,640	5,360,803,027	5,666,973,397	17.5%	11.7%
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	358,838,397	340,156,304	385,624,227	1.2%	7.5%
糖尿病	3,430,104,909	3,785,478,907	4,220,510,769	13.1%	23.0%
乳房の悪性新生物<腫瘍>	435,034,912	477,075,514	575,213,940	1.8%	32.2%
脳梗塞	2,634,651,447	2,763,001,781	2,805,472,202	8.7%	6.5%
脳動脈硬化(症)	3,758,831	3,817,943	3,924,640	0.0%	4.4%
脳内出血	630,412,105	661,668,917	709,900,220	2.2%	12.6%
白血病	186,989,876	208,844,841	356,033,452	1.1%	90.4%
(生活習慣病計)	28,627,868,574	29,927,956,263	32,291,714,795	100.0%	12.8%
生活習慣病の占める割合	33.6%	34.0%	32.9%		

* KDB医療費分析(2) (大・中・細小分類) データより集計

(資料-24) 市区町村別の重複・頻回・重複投薬者数明細 (令和4年度)

(単位:人)

市区町村名	重複受診	頻回受診	重複服薬	※特定の疾患・治療の対象者を除外した場合の人数(内数)		
				※重複受診	※頻回受診	※重複服薬
横浜市鶴見区	225	142	54	44	65	9
横浜市神奈川区	202	102	33	31	51	8
横浜市西区	84	66	26	15	32	7
横浜市中区	114	116	37	20	58	9
横浜市南区	232	164	38	67	80	12
横浜市保土ヶ谷区	178	154	45	49	80	7
横浜市磯子区	184	131	36	43	65	13
横浜市金沢区	185	174	33	33	80	12
横浜市港北区	292	223	56	46	105	11
横浜市戸塚区	185	118	62	39	60	14
横浜市港南区	304	177	48	85	101	14
横浜市旭区	234	213	51	44	119	13
横浜市緑区	166	77	38	34	37	14
横浜市瀬谷区	94	152	30	22	85	6
横浜市栄区	108	48	28	25	23	6
横浜市泉区	120	110	28	23	53	7
横浜市青葉区	259	97	85	59	45	26
横浜市都筑区	133	94	26	28	44	3
川崎市川崎区	165	153	37	36	74	10
川崎市幸区	182	186	26	34	94	11
川崎市中原区	175	113	26	36	50	6
川崎市高津区	119	120	31	20	56	5
川崎市多摩区	146	137	34	22	70	7
川崎市宮前区	172	111	45	34	51	9
川崎市麻生区	140	89	39	34	53	7
相模原市緑区	66	29	33	12	14	9
相模原市中央区	164	64	35	27	36	7
相模原市南区	212	51	57	31	29	17
横須賀市	321	334	116	74	179	25
平塚市	115	145	45	24	91	11
鎌倉市	200	66	50	33	20	12
藤沢市	336	145	77	72	73	17
小田原市	123	80	44	29	46	11
茅ヶ崎市	153	135	53	33	61	13
逗子市	78	21	14	12	7	5
三浦市	40	30	12	13	16	4
秦野市	76	42	37	11	13	7
厚木市	119	77	34	18	42	4
大和市	133	140	48	36	78	14
伊勢原市	42	38	13	11	17	4
海老名市	62	29	23	15	14	8
座間市	84	66	27	14	32	6
南足柄市	23	6	10	10	3	2
綾瀬市	57	20	24	20	8	7
葉山町	35	13	10	5	6	3
寒川町	22	21	7	7	14	2
大磯町	24	8	10	4	2	2
二宮町	16	5	12	4	2	2
中井町	9	4	6	2	4	3
大井町	8	5	4	3	0	0
松田町	8	2	2	2	1	0
山北町	6	4	4	0	3	2
開成町	10	6	3	3	4	1
箱根町	17	1	3	4	0	1
真鶴町	11	2	3	4	1	1
湯河原町	23	10	10	3	3	3
愛川町	17	10	10	3	6	0
清川村	2	3	0	0	1	0
(県全体)	7,010	4,879	1,828	1,462	2,457	449

* 令和4年度分のレセプトデータより集計

* 「特定の疾患・治療の対象者」とは、癌、精神疾患、認知症、難病、および人工透析の該当者を指す

(資料 - 25) 市区町村別のジェネリック医薬品利用状況明細 (令和4年度)

(金額単位: 円)

市区町村名	数量ベース			金額ベース		
	先発薬	後発薬	(後発薬割合)	先発金額	後発金額	(後発薬割合)
横浜市鶴見区	12,280,686	54,288,602	81.6%	726,530,095	910,997,805	55.6%
横浜市神奈川区	12,210,939	43,984,868	78.3%	698,780,957	744,572,885	51.6%
横浜市西区	5,104,280	17,389,640	77.3%	292,236,496	292,702,354	50.0%
横浜市中区	7,814,324	26,046,798	76.9%	433,556,808	457,591,158	51.3%
横浜南区	12,216,204	44,552,667	78.5%	710,848,664	774,179,586	52.1%
横浜市保土ヶ谷区	12,787,455	49,421,356	79.4%	735,460,722	842,276,162	53.4%
横浜市磯子区	12,075,809	39,428,422	76.6%	654,680,481	682,202,214	51.0%
横浜市金沢区	13,460,975	48,806,120	78.4%	793,091,826	889,113,996	52.9%
横浜市港北区	17,611,939	56,012,206	76.1%	1,000,611,707	986,027,051	49.6%
横浜市戸塚区	13,387,020	65,228,099	83.0%	837,918,518	1,092,851,164	56.6%
横浜市港南区	16,120,316	54,314,752	77.1%	892,521,791	946,382,675	51.5%
横浜市旭区	17,439,401	65,180,165	78.9%	1,002,755,239	1,122,652,176	52.8%
横浜市緑区	8,556,092	39,457,121	82.2%	533,898,279	664,846,872	55.5%
横浜市瀬谷区	6,700,911	32,834,257	83.1%	400,002,852	562,825,916	58.5%
横浜市栄区	7,749,505	32,997,796	81.0%	501,904,387	601,838,141	54.5%
横浜市泉区	9,491,836	40,338,135	81.0%	561,141,120	680,269,230	54.8%
横浜市青葉区	16,450,370	52,309,706	76.1%	987,816,873	934,923,201	48.6%
横浜市都筑区	8,354,372	31,468,844	79.0%	487,621,781	566,540,221	53.7%
川崎市川崎区	10,691,481	45,270,933	80.9%	639,606,896	752,896,569	54.1%
川崎市幸区	8,636,759	32,238,776	78.9%	504,035,743	548,633,122	52.1%
川崎市中原区	10,276,529	31,493,948	75.4%	590,206,724	565,572,558	48.9%
川崎市高津区	9,837,403	35,368,330	78.2%	588,582,898	609,633,321	50.9%
川崎市多摩区	9,461,385	35,748,845	79.1%	577,747,520	626,417,567	52.0%
川崎市宮前区	10,800,034	41,353,740	79.3%	666,944,043	731,050,132	52.3%
川崎市麻生区	9,955,721	34,175,265	77.4%	590,119,912	621,663,154	51.3%
相模原市緑区	8,189,724	38,609,369	82.5%	478,605,443	678,386,323	58.6%
相模原市中央区	15,194,816	55,743,404	78.6%	876,201,896	1,002,795,960	53.4%
相模原市南区	17,611,928	60,307,878	77.4%	1,026,162,282	1,030,502,535	50.1%
横須賀市	34,439,415	112,309,806	76.5%	1,876,134,681	1,953,570,284	51.0%
平塚市	15,731,400	59,844,193	79.2%	860,951,314	1,024,162,732	54.3%
鎌倉市	14,565,911	47,236,748	76.4%	830,201,755	841,330,661	50.3%
藤沢市	25,307,693	91,391,969	78.3%	1,378,312,996	1,568,566,763	53.2%
小田原市	17,412,497	44,669,023	72.0%	984,482,977	760,918,167	43.6%
茅ヶ崎市	14,050,477	55,092,571	79.7%	859,815,296	977,042,263	53.2%
逗子市	4,991,301	15,519,551	75.7%	312,490,381	288,637,909	48.0%
三浦市	4,751,983	15,071,521	76.0%	249,903,577	253,916,369	50.4%
秦野市	11,878,541	34,057,991	74.1%	636,539,142	592,837,488	48.2%
厚木市	14,231,613	43,610,061	75.4%	813,856,677	748,699,425	47.9%
大和市	11,930,865	48,153,487	80.1%	663,214,684	842,272,508	55.9%
伊勢原市	6,727,855	20,574,927	75.4%	376,153,697	376,299,691	50.0%
海老名市	8,881,142	24,715,831	73.6%	502,848,930	420,235,770	45.5%
座間市	7,798,094	27,780,173	78.1%	447,304,649	481,598,587	51.8%
南足柄市	3,043,307	11,297,605	78.8%	194,773,944	190,999,389	49.5%
綾瀬市	4,655,126	19,969,955	81.1%	283,812,586	348,674,235	55.1%
葉山町	2,377,560	8,815,496	78.8%	143,666,995	155,433,580	52.0%
寒川町	3,116,953	10,700,151	77.4%	193,669,623	183,458,940	48.6%
大磯町	2,797,454	9,537,857	77.3%	153,311,692	158,979,921	50.9%
二宮町	2,704,197	8,632,295	76.1%	155,688,295	148,662,401	48.8%
中井町	622,971	2,596,980	80.7%	38,960,542	42,840,812	52.4%
大井町	1,038,700	4,065,964	79.7%	59,982,017	65,536,457	52.2%
松田町	788,222	3,093,037	79.7%	42,045,694	49,303,855	54.0%
山北町	681,595	3,299,097	82.9%	43,707,183	54,666,695	55.6%
開成町	1,089,743	3,883,834	78.1%	59,184,769	66,294,504	52.8%
箱根町	1,084,427	3,447,107	76.1%	57,696,276	59,047,020	50.6%
真鶴町	745,808	2,666,397	78.1%	44,280,068	46,517,129	51.2%
湯河原町	2,828,756	8,500,137	75.0%	172,915,330	149,953,303	46.4%
愛川町	2,483,411	9,192,953	78.7%	139,324,723	155,122,524	52.7%
清川村	356966.682	633777.6682	64.0%	18189523.76	9402886.379	34.1%
(県全体)	543,582,197	1,954,730,536	78.2%	31,383,011,969	33,935,326,314	52.0%

* 令和4年度分のレセプトデータより集計

(資料 - 26) 75歳以上要介護認定者の主要疾病別人数明細 (令和4年度)

【全体】

(単位:人)

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	(計)
認定人数	50,709	56,880	76,621	74,211	58,310	63,499	47,613	427,843
糖尿病	28,793	33,463	43,881	44,333	34,314	36,872	26,954	248,610
糖尿病性神経障害	1,492	2,056	2,509	3,019	2,188	2,237	1,429	14,930
糖尿病性網膜症	5,205	6,380	7,815	8,217	5,783	5,929	3,812	43,141
糖尿病性腎症	2,656	3,238	4,188	4,511	3,263	3,340	2,230	23,426
高血圧症	42,996	49,084	64,994	64,703	50,815	55,613	40,593	368,798
脂質異常症	37,602	42,698	55,319	52,900	40,216	42,753	30,840	302,328
高尿酸血症	9,986	12,079	15,681	16,800	12,608	13,540	9,044	89,738
脳出血	1,060	1,275	2,342	3,054	3,297	4,740	4,613	20,381
脳梗塞	15,606	18,692	29,564	30,810	26,927	31,669	25,594	178,862
虚血性心疾患	20,350	24,409	30,707	32,429	25,103	27,824	20,129	180,951
腎不全	6,144	8,338	10,984	13,447	10,719	12,516	9,018	71,166
人工透析	224	1,179	968	1,910	1,067	1,245	912	7,505
筋・骨格疾患	48,506	55,399	71,775	70,622	55,364	60,759	44,914	407,339
認知症	6,008	5,912	37,675	34,201	35,389	40,107	33,636	192,928
歯肉炎・歯周病	40,823	45,302	58,033	55,256	42,595	46,303	35,058	323,370

【男性】

(単位:人)

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	(計)
認定人数	17,181	17,007	26,648	26,102	19,783	19,898	14,463	141,082
糖尿病	10,840	11,033	16,756	16,982	12,527	12,670	9,076	89,884
糖尿病性神経障害	676	870	1,095	1,368	933	898	594	6,434
糖尿病性網膜症	2,226	2,426	3,457	3,599	2,426	2,412	1,621	18,167
糖尿病性腎症	1,234	1,407	1,949	2,171	1,492	1,444	997	10,694
高血圧症	14,664	14,786	22,633	22,576	17,130	17,317	12,359	121,465
脂質異常症	11,900	12,018	18,046	17,474	12,912	12,704	8,929	93,983
高尿酸血症	5,681	6,066	8,734	8,966	6,411	6,397	4,398	46,653
脳出血	468	532	1,087	1,395	1,505	1,811	1,603	8,401
脳梗塞	6,310	6,636	11,534	12,227	10,241	10,923	8,299	66,170
虚血性心疾患	7,827	8,180	11,569	12,099	8,988	9,233	6,638	64,534
腎不全	3,128	3,721	5,375	6,289	4,806	5,151	3,775	32,245
人工透析	148	726	624	1,155	619	649	510	4,431
筋・骨格疾患	15,883	16,142	24,225	24,256	18,390	18,694	13,496	131,086
認知症	2,373	1,904	12,331	11,087	11,057	11,394	8,943	59,089
歯肉炎・歯周病	13,474	13,360	20,134	19,417	14,624	14,857	10,845	106,711

【女性】

(単位:人)

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	(計)
認定人数	33,528	39,873	49,973	48,109	38,527	43,601	33,150	286,761
糖尿病	17,953	22,430	27,125	27,351	21,787	24,202	17,878	158,726
糖尿病性神経障害	816	1,186	1,414	1,651	1,255	1,339	835	8,496
糖尿病性網膜症	2,979	3,954	4,358	4,618	3,357	3,517	2,191	24,974
糖尿病性腎症	1,422	1,831	2,239	2,340	1,771	1,896	1,233	12,732
高血圧症	28,332	34,298	42,361	42,127	33,685	38,296	28,234	247,333
脂質異常症	25,702	30,680	37,273	35,426	27,304	30,049	21,911	208,345
高尿酸血症	4,305	6,013	6,947	7,834	6,197	7,143	4,646	43,085
脳出血	592	743	1,255	1,659	1,792	2,929	3,010	11,980
脳梗塞	9,296	12,056	18,030	18,583	16,686	20,746	17,295	112,692
虚血性心疾患	12,523	16,229	19,138	20,330	16,115	18,591	13,491	116,417
腎不全	3,016	4,617	5,609	7,158	5,913	7,365	5,243	38,921
人工透析	76	453	344	755	448	596	402	3,074
筋・骨格疾患	32,623	39,257	47,550	46,366	36,974	42,065	31,418	276,253
認知症	3,635	4,008	25,344	23,114	24,332	28,713	24,693	133,839
歯肉炎・歯周病	27,349	31,942	37,899	35,839	27,971	31,446	24,213	216,659

* 令和4年度分のレセプトデータより集計

(資料 - 27) 市区町村別の75歳以上要介護認定者の介護給付額明細 (令和4年度)

市区町村名	介護認定者数 (月平均・人)	全体の介護給付額 (百万円)			要介護認定者1人当たり給付額 (円)		
		居宅給付額	施設給付額	(計)	居宅給付額	施設給付額	(計)
横浜市鶴見区	12,221	12,986	5,102	18,088	1,062,530	417,480	1,480,010
横浜市神奈川区	10,564	10,863	5,496	16,359	1,028,306	520,253	1,548,558
横浜市西区	3,981	4,339	1,952	6,291	1,089,779	490,187	1,579,966
横浜市中区	7,533	9,432	2,659	12,090	1,252,003	352,930	1,604,933
横浜市南区	11,050	11,433	5,182	16,615	1,034,696	468,995	1,503,691
横浜市保土ヶ谷区	10,895	10,846	5,764	16,610	995,481	529,058	1,524,539
横浜市磯子区	8,888	8,665	4,047	12,712	974,918	455,322	1,430,240
横浜市金沢区	10,805	9,984	5,217	15,201	924,014	482,883	1,406,897
横浜市港北区	13,460	14,313	5,876	20,189	1,063,409	436,585	1,499,994
横浜市戸塚区	13,686	13,649	7,092	20,741	997,309	518,229	1,515,539
横浜市港南区	11,976	11,592	5,393	16,985	967,940	450,265	1,418,205
横浜市旭区	14,626	13,668	8,624	22,292	934,472	589,586	1,524,058
横浜市緑区	8,022	7,680	5,030	12,710	957,388	627,087	1,584,474
横浜市瀬谷区	7,443	7,601	3,660	11,261	1,021,135	491,750	1,512,885
横浜市栄区	6,880	6,463	3,086	9,550	939,469	448,612	1,388,081
横浜市泉区	8,566	8,733	5,205	13,938	1,019,515	607,671	1,627,185
横浜市青葉区	12,391	12,467	5,844	18,311	1,006,109	471,615	1,477,724
横浜市都筑区	7,313	7,721	3,567	11,288	1,055,870	487,790	1,543,660
川崎市川崎区	11,265	13,250	4,005	17,255	1,176,225	355,490	1,531,715
川崎市幸区	7,522	8,265	2,942	11,207	1,098,815	391,098	1,489,913
川崎市中区	7,764	8,527	3,249	11,775	1,098,316	418,458	1,516,774
川崎市高津区	8,846	9,295	3,845	13,141	1,050,852	434,721	1,485,572
川崎市多摩区	8,481	8,884	3,810	12,694	1,047,493	449,190	1,496,682
川崎市宮前区	9,369	9,934	3,833	13,767	1,060,228	409,086	1,469,313
川崎市麻生区	8,162	8,312	3,698	12,010	1,018,408	453,141	1,471,549
相模原市	34,991	32,742	15,769	48,511	935,711	450,655	1,386,366
横須賀市	23,929	21,894	11,071	32,965	914,945	462,676	1,377,620
平塚市	12,419	13,046	5,803	18,849	1,050,418	467,282	1,517,700
鎌倉市	11,444	11,184	4,405	15,589	977,276	384,951	1,362,228
藤沢市	21,155	20,164	7,674	27,838	953,160	362,764	1,315,924
小田原市	10,331	10,497	4,589	15,086	1,016,127	444,186	1,460,313
茅ヶ崎市	11,493	10,661	4,659	15,319	927,607	405,356	1,332,963
逗子市	4,244	3,977	1,613	5,589	937,058	379,951	1,317,009
三浦市	3,390	3,166	1,830	4,996	933,901	539,745	1,473,647
秦野市	7,418	7,359	4,471	11,830	992,093	602,740	1,594,833
厚木市	9,090	9,377	4,655	14,033	1,031,675	512,161	1,543,835
大和市	10,803	10,741	4,742	15,484	994,343	439,015	1,433,358
伊勢原市	4,416	4,442	2,101	6,542	1,005,767	475,669	1,481,436
海老名市	5,612	4,905	2,320	7,225	873,999	413,395	1,287,394
座間市	5,928	5,748	2,438	8,186	969,583	411,220	1,380,803
南足柄市	2,287	2,058	1,065	3,123	899,844	465,540	1,365,384
綾瀬市	3,896	3,396	1,838	5,234	871,854	471,706	1,343,560
葉山町	1,921	1,780	880	2,660	926,656	458,298	1,384,954
寒川町	2,159	1,751	1,101	2,852	811,246	509,780	1,321,026
大磯町	1,890	1,720	845	2,565	910,092	447,113	1,357,205
二宮町	1,764	1,528	820	2,348	866,279	465,110	1,331,389
中井町	490	441	263	705	901,057	537,600	1,438,657
大井町	700	636	469	1,105	907,784	670,348	1,578,132
松田町	616	545	388	933	885,113	630,951	1,516,064
山北町	775	643	395	1,038	830,295	509,482	1,339,777
開成町	773	722	399	1,121	934,255	516,724	1,450,979
箱根町	766	620	589	1,209	809,343	769,309	1,578,653
真鶴町	522	493	319	813	945,718	611,838	1,557,556
湯河原町	1,692	1,760	806	2,566	1,040,213	476,418	1,516,631
愛川町	1,899	1,660	1,241	2,901	874,094	653,626	1,527,719
清川村	153	151	121	272	989,063	793,277	1,782,340
(県全体)	440,671	438,709	203,859	642,568	995,546	462,610	1,458,156

* KDB健康スコアリング (介護) より集計

【参 考】

(参考－1) 本計画書で使用した疾病分類表 (1/2)

分類コード	中分類別疾患	生活習慣病	対応する大分類
b-0101 b-0102 b-0103 b-0104 b-0105 b-0106 b-0107 b-0108 b-0109	腸管感染症 結核 主として性的伝播様式をとる感染症 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患 ウイルス性肝炎 その他のウイルス性疾患 真菌症 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 その他の感染症及び寄生虫症		感染症及び寄生虫症
b-0201 b-0202 b-0203 b-0204 b-0205 b-0206 b-0207 b-0208 b-0209 b-0210 b-0211	胃の悪性新生物<腫瘍> 結腸の悪性新生物<腫瘍> 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍> 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍> 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 乳房の悪性新生物<腫瘍> 子宮の悪性新生物<腫瘍> 悪性リンパ腫 白血病 その他の悪性新生物<腫瘍> 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	(対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象)	新生物<腫瘍>
b-0301 b-0302	貧血 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
b-0401 b-0402 b-0403 b-0404	甲状腺障害 糖尿病 脂質異常症 その他の内分泌、栄養及び代謝障害	(対象) (対象)	内分泌、栄養及び代謝疾患
b-0501 b-0502 b-0503 b-0504 b-0505 b-0506 b-0507	血管性及び詳細不明の認知症 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 気分(感情)障害(躁うつ病を含む) 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 知的障害(精神遅滞) その他の精神及び行動の障害		精神及び行動の障害
b-0601 b-0602 b-0603 b-0604 b-0605 b-0606	パーキンソン病 アルツハイマー病 てんかん 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 自律神経系の障害 その他の神経系の疾患		神経系の疾患
b-0701 b-0702 b-0703 b-0704	結膜炎 白内障 屈折及び調節の障害 その他の眼及び付属器の疾患		眼及び付属器の疾患
b-0801 b-0802 b-0803 b-0804 b-0805 b-0806 b-0807	外耳炎 その他の外耳疾患 中耳炎 その他の中耳及び乳様突起の疾患 メニエール病 その他の内耳疾患 その他の耳疾患		耳及び乳様突起の疾患
b-0901 b-0902 b-0903 b-0904 b-0905 b-0906 b-0907 b-0908 b-0909 b-0910 b-0911	高血圧性疾患 虚血性心疾患 その他の心疾患 くも膜下出血 脳内出血 脳梗塞 脳動脈硬化(症) その他の脳血管疾患 動脈硬化(症) 低血圧(症) その他の循環器系の疾患	(対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象)	循環器系の疾患
b-1001 b-1002 b-1003 b-1004 b-1005 b-1006 b-1007 b-1008 b-1009 b-1010 b-1011	急性鼻咽頭炎(かぜ) 急性咽頭炎及び急性扁桃炎 その他の急性上気道感染症 肺炎 急性気管支炎及び急性細気管支炎 アレルギー性鼻炎 慢性副鼻腔炎 急性又は慢性と明示されない気管支炎 慢性閉塞性肺疾患 喘息 その他の呼吸器系の疾患		呼吸器系の疾患

(次ページにつづく)

(参考-1) 本計画書で使用した疾病分類表 (2/2)

分類コード	中分類別疾患	生活習慣病	対応する大分類
b-1101	う蝕		消化器系の疾患
b-1102	歯肉炎及び歯周疾患		
b-1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害		
b-1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍		
b-1105	胃炎及び十二指腸炎		
b-1106	痔核		
b-1107	アルコール性肝疾患		
b-1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）		
b-1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）		
b-1110	その他の肝疾患		
b-1111	胆石症及び胆のう炎		
b-1112	膵疾患		
b-1113	その他の消化器系の疾患		
b-1201	皮膚及び皮下組織の感染症		皮膚及び皮下組織の疾患
b-1202	皮膚炎及び湿疹		
b-1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患		
b-1301	炎症性多発性関節障害		筋骨格系及び結合組織の疾患
b-1302	関節症		
b-1303	脊椎障害（脊椎症を含む）		
b-1304	椎間板障害		
b-1305	頸腕症候群		
b-1306	腰痛症及び坐骨神経痛		
b-1307	その他の脊柱障害		
b-1308	肩の障害		
b-1309	骨の密度及び構造の障害		
b-1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患		
b-1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	(対象)	尿路器系の疾患
b-1402	腎不全		
b-1403	尿路結石症		
b-1404	その他の腎尿路系の疾患		
b-1405	前立腺肥大（症）		
b-1406	その他の男性生殖器の疾患		
b-1407	月経障害及び閉経周辺期障害		
b-1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患		
b-1501	流産		妊娠、分娩及び産じょく
b-1502	妊娠高血圧症候群		
b-1503	単胎自然分娩		
b-1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく		
b-1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害		周産期に発生した病態
b-1602	その他の周産期に発生した病態		その他の周産期に発生した病態
b-1603	その他の周産期に発生した病態		
b-1701	心臓の先天奇形		先天奇形、変形及び染色体異常
b-1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常		
b-1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの		症状、徴候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの
b-1901	骨折		損傷、中毒及びその他の外因の影響
b-1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷		
b-1903	熱傷及び腐食		
b-1904	中毒		
b-1905	その他損傷及びその他の外因の影響		
b-2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者		健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
b-2102	予防接種		
b-2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画		
b-2104	歯の補てつ		
b-2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者		
b-2106	その他の理由による保健サービスの利用者		
b-2210	重症急性性呼吸器症候群（SARS）		特殊目的用コード
b-2220	その他の特殊目的用コード		

(参考-2) 本計画書で使用した死因分類表(死因簡単分類) (1/2)

上位	中位	死因簡単分類コード	分類名	死因基本分類コード(ICD10)
○		01000	感染症及び寄生虫症	A00~B99
	○	01100	腸管感染症	A00~A09
	○	01200	結核	A15~A19
		01201	呼吸器結核	A15~A16
		01202	その他の結核	A17~A19
	○	01300	敗血症	A40~A41
	○	01400	ウイルス性肝炎	B15~B19
		01401	B型ウイルス性肝炎	B16~B17.0, B18.0~B18.1
		01402	C型ウイルス性肝炎	B17.1, B18.2
		01403	その他のウイルス性肝炎	B15~B19の残り
	○	01500	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	B20~B24
	○	01600	その他の感染症及び寄生虫症	A00~B99の残り
○		02000	新生物<腫瘍>	C00~D48
	○	02100	悪性新生物<腫瘍>	C00~C96
		02101	口唇、口腔及び咽喉頭の悪性新生物<腫瘍>	C00~C14
		02102	食道の悪性新生物<腫瘍>	C15
		02103	胃の悪性新生物<腫瘍>	C16
		02104	結腸の悪性新生物<腫瘍>	C18
		02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	C19~C20
		02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	C22
		02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物<腫瘍>	C23~C24
		02108	膵の悪性新生物<腫瘍>	C25
		02109	喉頭の悪性新生物<腫瘍>	C32
		02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	C33~C34
		02111	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	C43~C44
		02112	乳房の悪性新生物<腫瘍>	C50
		02113	子宮の悪性新生物<腫瘍>	C53~C55
		02114	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	C56
		02115	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	C61
		02116	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	C67
		02117	中枢神経系の悪性新生物<腫瘍>	C70~C72, C75.1~C75.3
		02118	悪性リンパ腫	C81~C86
		02119	白血病	C91~C95
		02120	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	C88~C90, C96
		02121	その他の悪性新生物<腫瘍>	C00~C96の残り
	○	02200	その他の新生物<腫瘍>	D00~D48
		02201	中枢神経系のその他の新生物<腫瘍>	D32~D33, D35.2~D35.4, D42~D43, D44.3~D44.5
		02202	中枢神経系を除くその他の新生物<腫瘍>	D00~D48の残り
○		03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	D50~D89
	○	03100	貧血	D50~D64
	○	03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	D65~D89
○		04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	E00~E88
	○	04100	糖尿病	E10~E14
	○	04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	E00~E88の残り
○		05000	精神及び行動の障害	F01~F99
	○	05100	血管性及び詳細不明の認知症	F01~F03
	○	05200	その他の精神及び行動の障害	F01~F99の残り
○		06000	神経系の疾患	G00~G98
	○	06100	髄膜炎	G00~G03
	○	06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	G12
	○	06300	パーキンソン病	G20
	○	06400	アルツハイマー病	G30
	○	06500	その他の神経系の疾患	G00~G98の残り
○		07000	眼及び付属器の疾患	H00~H57
○		08000	耳及び乳様突起の疾患	H60~H93
○		09000	循環器系の疾患	I00~I99
	○	09100	高血圧性疾患	I10~I15
		09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	I11, I13
		09102	その他の高血圧性疾患	I10, I12, I15
	○	09200	心疾患(高血圧性を除く)	I01~I02.0, I05~I09, I20~I25, I27, I30~I51
		09201	慢性リウマチ性心疾患	I05~I09
		09202	急性心筋梗塞	I21~I22
		09203	その他の虚血性心疾患	I20, I24~I25
		09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	I34~I38
		09205	心筋症	I42
		09206	不整脈及び伝導障害	I44~I49
		09207	心不全	I50
		09208	その他の心疾患	I01~I02.0, I27, I30~I33, I40, I51
	○	09300	脳血管疾患	I60~I69
		09301	くも膜下出血	I60, I69.0
		09302	脳内出血	I61, I69.1
		09303	脳梗塞	I63, I69.3
		09304	その他の脳血管疾患	I60~I69の残り
	○	09400	大動脈瘤及び解離	I71
	○	09500	その他の循環器系の疾患	I00~I99の残り

(次ページにつづく)

(参考-2) 本計画書で使用した死因分類表(死因簡単分類) (2/2)

上位	中位	死因簡単 分類コード	分類名	死因基本分類コード(ICD10)
○		10000	呼吸器系の疾患	J00~J98
	○	10100	インフルエンザ	J09~J11
	○	10200	肺炎	J12~J18
	○	10300	急性気管支炎	J20
	○	10400	慢性閉塞性肺疾患	J41~J44
	○	10500	喘息	J45~J46
	○	10600	その他の呼吸器系の疾患	J00~J98の残り
		10601	誤嚥性肺炎	J69
		10602	間質性肺疾患	J84
		10603	その他の呼吸器系の疾患(10601及び10602を除く)	J00~J98の残り(J69,J84を除く)
○		11000	消化器系の疾患	K00~K92
	○	11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	K25~K27
	○	11200	ヘルニア及び腸閉塞	K40~K46, K56
	○	11300	肝疾患	K70~K76
		11301	肝硬変(アルコール性を除く)	K74.3~K74.6
		11302	その他の肝疾患	K70~K76の残り
	○	11400	その他の消化器系の疾患	K00~K92の残り
○		12000	皮膚及び皮下組織の疾患	L00~L98
○		13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	M00~M99
○		14000	腎尿路生殖器系の疾患	N00~N98
	○	14100	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	N00~N15
	○	14200	腎不全	N17~N19
		14201	急性腎不全	N17
		14202	慢性腎臓病	N18
		14203	詳細不明の腎不全	N19
	○	14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	N00~N98の残り
○		15000	妊娠、分娩及び産じょく	O00~O99
○		16000	周産期に発生した病態	P00~P96
	○	16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	P05~P08
	○	16200	出産外傷	P10~P15
	○	16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	P20~P29
	○	16400	周産期に特異的な感染症	P35~P39
	○	16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	P50~P61
	○	16600	その他の周産期に発生した病態	P00~P96の残り
○		17000	先天奇形、変形及び染色体異常	Q00~Q99
	○	17100	神経系の先天奇形	Q00~Q07
	○	17200	循環器系の先天奇形	Q20~Q28
		17201	心臓の先天奇形	Q20~Q24
		17202	その他の循環器系の先天奇形	Q25~Q28
	○	17300	消化器系の先天奇形	Q35~Q45
	○	17400	その他の先天奇形及び変形	Q00~Q89の残り
	○	17500	染色体異常、他に分類されないもの	Q90~Q99
○		18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00~R99
	○	18100	老衰	R54
	○	18200	乳幼児突然死症候群	R95
	○	18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00~R99の残り
○		20000	傷病及び死亡の外因	V01~Y89
	○	20100	不慮の事故	V01~X59
		20101	交通事故	V01~V98
		20102	転倒・転落・墜落	W00~W17
		20103	不慮の溺死及び溺水	W65~W74
		20104	不慮の窒息	W75~W84
		20105	煙・火及び火炎への曝露	X00~X09
		20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	X40~X49
		20107	その他の不慮の事故	W00~X59の残り
	○	20200	自殺	X60~X84
	○	20300	他殺	X85~Y09
	○	20400	その他の外因	Y10~Y89
○		22000	特殊目的用コード	U00~U49
	○	22100	重症急性呼吸器症候群(SARS)	U04
	○	22200	その他の特殊目的用コード	U00~U49の残り

(参考 - 3) 健康診査結果のリスク判定基準

リスク項目	条件
肥満リスクあり	BMI \geq 25
血圧リスクあり	次のいずれかを満たす者 ①収縮期血圧 \geq 140 ②拡張期血圧 \geq 90
脂質リスクあり	次のいずれかを満たす者 ①中性脂肪 \geq 300 ②HDL $>$ 0 かつ HDL $<$ 35 ③LDL \geq 140 ④non-HDL \geq 170
血糖リスクあり	次のいずれかを満たす者 ①空腹時血糖 \geq 126の場合 ②HbA1c \geq 6.5 ③随時血糖 \geq 126 かつ 食後3.5時間 \leq 採血時間 $<$ 10時間
肝機能リスクあり	次のいずれかを満たす者 ①AST(GOT) \geq 51 ②ALT(GPT) \geq 51 ③ γ -GT \geq 101
痩身リスクあり	BMI $<$ 18.5

(参考 - 4) 後期高齢者質問票のリスク判定基準

リスク項目	条件
健康状態リスクあり	「あなたの現在の健康状態はいかがですか」が 4：あまりよくない / 5：よくない のいずれか
心の健康状態リスクあり	「毎日の生活に満足していますか」が 3：やや不満 / 4：不満 のいずれか
食習慣リスクあり	「1日3食きちんと食べていますか」が いいえ
口腔機能リスクあり	下記のいずれかに該当する 「半年前に比べ固いものが食べにくくなりましたか」が はい 「お茶や汁物等でむせることがありますか」が はい
体重変化リスクあり	「6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」が はい
運動・転倒リスクあり	下記のいずれかに該当する 「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか」が はい 「この1年間に転んだことがありますか」が はい 「ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか」が いいえ
認知機能リスクあり	下記のいずれかに該当する 「周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか」が はい 「今日が何月何日かわからない時がありますか」が はい
喫煙リスクあり	「あなたはたばこを吸いますか」が 吸っている/やめた のいずれか
社会参加リスクあり	下記のいずれかに該当する 「週に1回以上は外出しますか」が いいえ 「ふだんから家族や友人との付き合いがありますか」が いいえ
ソーシャルサポートリスクあり	「体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか」が いいえ

(参考 - 5) 本計画書で使用したフレイル該当疾病分類

フレイル系疾患	ICD-10 コードの先頭	分類名
筋骨格系	M00～M25	関節障害
	M40～M54	脊柱障害
	M80	骨粗しょうく鬆> 症 <オステオポロシス> , 病的骨折を伴うもの
	M81	骨粗しょうく鬆> 症 <オステオポロシス> , 病的骨折を伴わないもの
	M82	他に分類される疾患における骨粗しょうく鬆> 症 <オステオポロシス>
	S02	頭蓋骨及び顔面骨の骨折
	S12	頸部の骨折
	S22	肋骨, 胸骨及び胸椎骨折
	S32	腰椎及び骨盤の骨折
	S42	肩及び上腕の骨折
	S52	前腕の骨折
	S62	手首及び手の骨折
	S72	大腿骨骨折
	S82	下腿の骨折, 足首を含む
	S92	足の骨折, 足首を除く
	T02	多部位の骨折
	T08	脊椎骨折, 部位不明
T10	上肢の骨折, 部位不明	
T12	下肢の骨折, 部位不明	
肺炎	J12	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの
	J13	肺炎連鎖球菌による肺炎
	J14	インフルエンザ菌による肺炎
	J15	細菌性肺炎, 他に分類されないもの
	J16	その他の感染病原体による肺炎, 他に分類されないもの
	J17	他に分類される疾患における肺炎
	J18	肺炎, 病原体不詳
	J69	固形物及び液状物による肺臓炎
貧血・低栄養等	D50～D53	栄養性貧血
	D55～D59	溶血性貧血
	D60～D64	無形成性貧血及びその他の貧血
	E46	詳細不明のタンパク<蛋白> エネルギー性栄養失調 (症)
	N393	緊張性<腹圧性> 尿失禁
	N394	その他の明示された尿失禁
R32	詳細不明の尿失禁	
オーラルフレイル	K02	う<齶> 蝕
	K05	歯肉炎及び歯周疾患
	K08	歯及び歯の支持組織のその他の障害
	T888	外科的及び内科的ケアのその他の明示された合併症, 他に分類されないもの (注) 歯科レセプトのみ対象とする)
精神的フレイル	F00	アルツハイマー<Alzheimer> 病の認知症
	F01	血管性認知症
	F02	他に分類されるその他の疾患の認知症
	F03	詳細不明の認知症
	F32	うつ病エピソード
	F33	反復性うつ病性障害
	G30	アルツハイマー<Alzheimer> 病

神奈川県後期高齢者医療広域連合

第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）

令和 年 月

神奈川県後期高齢者医療広域連合

所在地：〒221-0052

神奈川県横浜市神奈川区栄町8番地 1

ヨコハマポートサイドビル9階

代表電話：045-440-6700
